

実践女子大学図書館蔵 山岸徳平文庫目録 上巻

—  
国書  
—





実践女子大学図書館蔵 山岸徳平文庫目録 上巻

— 国 書 —



## 山岸徳平文庫目録

# 目次

一頁



## 刊行にあたって

実践女子大学・短期大学部図書館が誇る山岸文庫は、それ以前に購入された黒川文庫、今日に至るまで拡張が続いている常磐松文庫とともに実践女子大学の古典研究を支える重要な古典籍のコレクションである。

山岸文庫の目録は平成二十九年に「日本漢詩文・儒学」の部を、平成三十年には「仏書・儒学補遺」の部が刊行され、この度『国書』上下二巻の刊行に至り、満尾となった。本目録の実現にあたっては、安達勉氏、大塚宏昌氏が大きな役割を果たしたことを特記しておきたい。本目録に寄せられた両氏の文章にもその努力の跡は示されている。

昭和五十二年に山岸文庫が図書館に帰するにあたっては、当時の図書館長三谷栄一先生の並々ならぬ御奮闘が今日まで語り継がれている。また購入資金の調達にあたっては、文部省からの補助金の獲得など、当時の図書館幹部の活躍がなければ、実現しえなかった。その後の整理においても、永田清一、山口典子、今野千鶴子、安達勉、大塚宏昌、奥島尚樹氏ら歴代の図書館員の献身は語り尽せない。また翠川文子、中島千丘氏などの各々も教員もこれらの作業を支えたことを、ここに明らかにしておきたい。

山岸徳平先生は中古文学を専門とされていたが、その研究領域は、研究が細分化してしまった今日では考えられないほど多岐にわたっている。江戸漢詩文の中の竹枝にまでその炯眼は及び、このような幅広い視点から日本文学全体を見ることができるとは研究者は当分現れないであろう。背景となったのは浩瀚な蔵書であり、業績は昭和四十六年・四十七年に有精堂から刊行された『山岸徳平著作集』全五巻として備わり、ぜひご覧いただきたい。この著作集は「中国漢文学研究」「和歌文学研究」「物語随筆文学研究」「歴史戦記物語研究」「説話文学研究」から成る。

山岸先生の仕事でよく知られているのは、『とはすがたり』を宮内庁書陵部所蔵桂宮本から見出したことであるが、実践女子大学との関わりから言えば、学祖下田歌子以来の実践の学問ともいえる『源氏物語』研究について触れないわけにはいかない。初期の重要な業績として『河内本源氏物語研究序説』（岩波書店、一九三六年）が挙げられる。尾州家本『源氏物語』の複製に付した解題

を基としたもので、今日でも河内本研究の基礎となっている。山岸先生が校訂し、昭和三十三年から三十八年にかけて刊行された日本古典文学大系の『源氏物語』全五巻はよく知られている。また旧版の岩波文庫『源氏物語』も山岸先生の校訂によるものであった。それらの底本となったものが、東海大学桃園文庫と山岸文庫に収蔵されている明融本と呼ばれる室町期の写本である。他に河内本系など多くの写本があり、山岸文庫の特徴となっている。今日、『源氏物語』のテキストは新日本古典文学大系をはじめとして、大島本を使うことが多いが、大島本も多くの問題があり、山岸文庫に所蔵される『源氏物語』はその輝きを失っていない。これらのコレクションは黒川文庫・常磐松文庫などの『源氏物語』関連資料とともに、阿部秋生、野村精一、横井孝と続く三條西家に関わる『源氏物語』研究の基礎となった。この伝統を守るべく、図書館は今日に至るまで、『源氏物語』テキストの収集を続けている。

山岸文庫の特徴の一つが近代に作成された写本が多いことである。写真その他が今日のように容易に使用できなかった時代に、山岸先生をはじめ、多くの門弟の方々が日本各地の様々なテキストの写本を作成し、校訂を続けた成果といえる。その中には不幸にも戦災で焼失し、山岸文庫のみで見られる書物もある。その経緯は各書の「奥書」や「識語」からも窺える。山岸文庫を利用される方々は、これらの先人の努力・学恩に敬意を払ってくださることを希望する。そして今後ともこの目録が活用されることを冀うものである。

令和二年三月吉日

実践女子大学・短期大学部図書館 館長 佐藤 悟



## 凡 例

- 一 この目録は、実践女子大学図書館に所蔵されている山岸徳平文庫の目録です。今回編集したものは、国書三七二八点（一部漢籍を含む。）です。
- 一 書名は、刊本・写本に関わらず、原則として本文巻頭書名を正式書名としました。それ以外の書名を採用した場合は、書物のどの箇所に依拠したかを明示しました。書物中に適切な書名を見出し得ない場合は、適正な仮題をつけて「―」で括りました。
- 一 巻頭書名が題簽や見返の書名等と、著しく異なるときは注記に示しました。
- 一 漢籍も書架番号順に組み入れて著録し、冊数の後に「〔漢籍〕」と付記しました。
- 一 巻数に関しては、本文の巻立てを確認し、その総数を漢数字で表示しました。巻以下がさらに細かく区分されている場合、例えば、巻一之本、巻一之末などは、二巻としないで一卷としました。一卷本については、原則として一卷の表示を省きました。欠本の場合は、原則として残存している巻数を書名の下に示しました。欠けている巻数が少ないときは、総巻数を書名の下に示し、欠けている巻数を刊記の下に「〔關卷第幾〕」で示しました。総目録が書物に残されている場合は、目録によつて総巻数を確定しました。書物上から判断がつかない場合は、『国書総目録』（岩波書店刊行）などを参照しました。
- 一 著者名や編纂者名等は、本姓・諱をもつて表示し、括弧の中に通称・号などを付記しました。
- 一 校訂者・訓点者・評者などもできる限り目録に反映させ、表示の仕方は著者の場合と同様にしました。
- 一 刊記に関しては、書物の記載を重視しましたが、埋木や本文の修訂などが確認された場合には、それを刊年認定に反映させました。刊行・書写時期の不明な書物に関しては、参考書・他機関の目録や書物の現状に鑑みて、推定年次をもつて表示しました。推定年次については、江戸前期（元禄頃まで）、中期（宝永頃から天明頃まで）、後期（寛政頃から天保頃まで）、江戸末（天保以後）、を大まかな目安としました。
- 一 刊記・奥附に書肆が四軒以上連記されている場合は、左端に記載された書肆の住所・書肆名を刊行者として代表させ、複数の書肆

名が連記されていることを「等」で表示しましたが、書肆の軒数や名前は省略しました。

見返や版心下象鼻に書肆の屋号や著述者の書斎号などがある場合には、できる限り刊記に反映させました。しかし記載された屋号と刊行との関係が不明である時は刊記の下に付記しました。

一 卷末に蔵版目録、書肆の広告等がある場合は、それを注記に記述し、丁数も付記しました。

一 昭和期の写本については、識語等で山岸徳平書写が確認できる場合は筆写名に記し、家族による筆写は「山岸氏家中写」、依頼して筆写した場合は、「昭和〇〇年〇月写」と記しました。

一 整版本は「刊」、謄写版は「油印本」、活字印本は「木活字印本」「銅活字印本」、排印等鉛活字印本は「活版」、電子複写は「複写」としました。

一 原本を忠実に複製したものは「複製」とし、写真版、コロタイプ（玻璃）版は「影印」、写真自体を台紙に貼り込んだものは「景照」としました。その底本が明確な場合は、注記あるいは識語に記載しました。

一 書物の外寸は、ミリの単位まで計測して数字で示しました。伝統的な大本、中本などの表示を使用していません。卷子本は、紙高の外寸、地図等の量物は、全紙の外寸と共に畳んだ形態の外寸を記しました。

一 序跋や版式など書誌関連事項を附記しました。

一 丁数は、版心の丁付を基にして本文のみの丁数を示しましたが、複数巻ある場合は巻毎の丁数を示しましたが、巻数が多い場合は省略しました。写本については墨付き部分を数えました。

一 折本の場合は「○折」とし、冊数表記は、「○帖」としました。

一 冊数に関しては、概ね現状のままの数を示しました。ときには合綴されている場合がありますが、そのときは原装の冊数を調べ、その下に括弧で（合綴幾冊）と表示しました。

一 冊数と共に書架番号を併記しました。なお二箇所分散収蔵されたため、書架番号が重複しています。頭にAを付した番号と付していないもので、同一番号の区別としました。

A 一至一三八七

一至五六九二（先に目録刊行されたものを除く。）

― 排列は、著者順や分類順ではなく、書架番号に従いました。

― 内容細目については、必要に応じて列挙しました。

― 蔵書印や筆書きによる旧蔵者名は、翻字或いは楷書に直して著録しました。しかし判読不明なものは、不明印ありなどの表示もせず、割愛しました。

― 「又」は、右側に位置する書物と同版である場合に使用しました。場合によっては「與○○番同版」なる表示を更に書き加えた場合もあります。

― 書物の排列は書架番号に拠っていますので、検索の便を考え、五十音順の書名索引を付けました。



## 萬葉拾穗抄二十卷

北村季吟著

貞享五年（一六八八）跋刊 外寸「二二・六×一六糎」（書名は序文首による。卷頭「萬葉集」 單邊。無界。一〇行。白口。無魚尾。内匡郭「二八・一×一二・五糎」 頭注付。朱筆の書き入れあり）

## 萬葉集略解二十卷

橘千蔭著

江戸淺草茅町 須原屋伊八・大坂 伊丹屋善兵衛（文化九年刊）天保十年（一八三九）後印 外寸「二五・六×一八・六糎」 印記「武藏忌部」（書名は序文首による。卷頭「萬葉集」 單邊。無界。一二行。内匡郭「二〇・七×一四・八糎」 頭注句點付）

## 新撰萬葉集二卷

京都三條通升屋町 出雲寺和泉掾 寛文七年（一六六七）三月刊 外寸「二五・八×一八・二糎」 印記「秋葉義之印」  
「崎房文庫」「下總崎房秋葉孫兵衛藏書」「秋葉義之」（題簽「菅家新撰萬葉集」 四周雙邊。無界。八行二〇字。白口。雙花口魚尾。内匡郭「一九・五×一四・六糎」 片假名傍訓付。上二三丁下三二丁。墨筆朱筆の書き入れあり）

## 萬葉用字格

釋春登著

東京 島屋平七・淺倉屋久兵衛（文化十五年（一八一八）二月刊）明治期後印 外寸「二六×一八・五糎」（單邊。無界。九行。内匡郭「二〇・七×一四・七糎」 漢字片假名。四三丁）

## 萬葉旋頭歌拔書

「江戸後期」寫 外寸「二七×一九・五糎」 印記「真貝藏書」（新貝直蔭）「新貝直蔭所有」（墨書）（書名は書外題による。卷頭「萬葉施頭歌」 假綴。八行。八丁。卷末に「歌數六拾貳首」とある。書き入れあり）

A 一  
三〇冊

A 二  
三〇冊

A 三  
二冊

A 四  
一冊

A 五  
一冊

## 萬葉二聖集二卷

石津亮澄著

大坂 奈良屋長兵衛等〔文化十年刊〕文政二年（一八一九）後印 外寸「二八・三×一二・一糎」印記「溫知堂圖書記」  
「赤穂城下南三木氏」十河藏書之印「屯倉氏藏書」（單邊。無界。一〇行。内匡郭「一四・三×九・三糎」句點付。  
上三・二丁下三・三至五六丁）

A 六  
二册

## 萬葉和歌集校異二十卷

橘經亮校 山田以文再校

〔京都〕松栢堂出雲寺文治郎 文化二年（一八〇五）刊 外寸「二六・五×一九・八糎」印記「吉澤文庫」（吉澤義則）  
〔今村〕「今村圖書」（藏書票）（書名は題簽による。卷頭「萬葉集」四周雙邊。無界。八行。内匡郭「二〇・四×  
一六・二糎」漢字頭注傍訓付。書き入れあり）

A 七  
二〇册

## 萬葉集考六卷

賀茂眞淵著

〔明和五年十一月跋刊〕天明五年（一七八五）二月後印 外寸「二五・四×一八・一糎」（單邊。無界。九行。内匡郭  
「二二・二×一五・七糎」句點付。一卷三三丁二卷四八丁三卷四四丁四卷四三丁五卷四三丁六卷五二丁）

A 八 ①  
六册

## 萬葉集別記六卷

賀茂眞淵著

〔明和五年刊〕天明五年（一七八五）二月後印 外寸「二五・四×一八・一糎」（單邊。無界。九行。内匡郭「二二・一×  
一五・七糎」頭注句點付。一卷三三丁二卷一二丁三卷一六丁四卷六丁五卷五丁六卷五丁）

A 八 ②  
三册

## 柿本朝臣人麻呂歌集之歌

賀茂眞淵著

A 八 ③



文政七年（一八二四）跋刊 外寸「二五・四×一八・一糎」（單邊。無界。九行。内匡郭「二二・一×一五・七糎」 頭注句點付。二六丁）

## 萬葉集

戸田茂睡註

延享元年（一七四四）十二月藤原義古寫 外寸「二八・一×一九・二糎」 印記「青谿書屋」（大島雅太郎）「睦堂」（書外題「戸田茂睡註」 一〇行。九一丁。識語「延享元甲子年十二月用和樓主人藤原義古謄<sup>④</sup>」山岸氏識語「本書佚題目今仮称戸田茂睡註」 別冊（假綴）ペン書き校訂、五丁）

## 萬葉集二十卷

〔京都〕 出雲寺和泉掾 寶永六年（一七〇九）刊 外寸「二六・二×一八・九糎」 印記「稻毛領長尾村鈴木」我始堂記」（書名は卷第二目次首による。題簽「萬葉和歌集」 四周雙邊。無界。八行。内匡郭「二一・九×一六・四糎」 墨筆朱筆の書き入れあり。附録「萬葉集第九番の歌の解讀研究」伊丹未雄著、四七頁（油印）

## 大和言の葉

〔江戸後期〕寫 外寸「横本一四・二×二〇・八糎」（一六行。八七丁。山岸氏識語「昭和十二年十一月十一日奈良市大學堂書店寄贈焉云々」）

## 古今和歌集正義六卷首一卷

香川景樹著

京都 出雲寺松栢堂 〔天保六年（一八三五）香川氏東塲塾刊〕後印 外寸「二五・六×一八・三糎」（單邊。無界。九行。内匡郭「二〇・四×一四・六糎」 總論一八丁正文八丁序本五〇丁序末五二丁。一卷五五丁二卷四六丁三卷三二丁四卷五六丁五卷三四丁六卷二四丁。書目「御書物所 京都三條通堺町 出雲寺松栢堂」半丁）

## 古今序註十卷

一冊

A 九

一冊・別冊校訂一冊

A 一〇

二〇冊・附録一冊

A 一一

一冊

A 一二

九冊

了譽著

〔京都〕 村上勘兵衛 明暦四年（一六五八）刊 外寸「二六×一七糎」（題簽「古今集序註」 四周雙邊。無界。一〇行。白口。雙花口魚尾。内匡郭「九・七×一三・八糎」 漢字片假名句點傍訓付。一卷二〇丁二卷二五丁三卷一五丁四卷二二丁五卷一二丁六卷一九丁七卷二二丁八卷二四丁九卷一三丁一〇卷一四丁）

古今和歌集 存卷第十七第十八

紀友則等撰

〔室町末期〕素眼寫 外寸「二三・一糎」（卷第十七卷頭に琴山極「素眼法師」あり）

古今和歌集二十卷

〔飛鳥井雅俊〕著

京都一條通日暮西 石田治兵衛〔延寶二年（一六七四）刊〕後印 外寸「二六×一八・四糎」 印記「隋椿堂」（題簽「古今榮雅抄」 無匡郭。一二行。句點付）

標註古今和歌集十八卷

内藤萬春標註

山梨縣常盤町 内藤傳右衛門 明治十七年（一八八四）九月活版 外寸「一八・五×一三・一糎」 印記「佃氏圖書」

〔平井藏書〕（墨書）（一卷至六卷三二丁。七卷至一八卷三五四丁）

伏生於古集

藤原定家編

京師 遠藤平左衛門・出雲寺文次郎・吉田四郎右衛門 安永四年（一八五七）九月刊 外寸「一七・八×一二・七糎」 印記「信式之印」「芙蓉館」「羽節印」（書名は跋文首による。單邊。無界。一一行。内匡郭「一三・三×九・二糎」 一三四丁）

A 一三  
五册

A 一四  
卷子本二卷

A 一五  
五册

A 一六  
二册

A 一七  
一册

古今和歌集ひなことば二十卷

尾崎雅嘉著

浪花堺筋清水町 伊豫屋善兵衛等 「寛政八年（一七九六）刊」後印 外寸「二五・四×一七・七糎」（無匡郭。一〇行。頭註付。一卷至三卷二七丁。四卷至六卷二七丁。七卷至一〇卷二五丁。一六卷至一八卷三三丁。一九・二〇卷二〇丁）

古今集眞名字解二卷

菊池春林著

京都二條通 吉田四郎右衛門 安永三年（一七七四）四月刊 外寸「二六・九×一八・三糎」（書名は版心による。單邊。無界。一〇行。内匡郭「二〇・九×一五・八糎」 漢字傍訓付。上①三七丁上②二三丁。下①四〇丁下②三四丁）

古今和歌集 存卷第一第三第六第一一第一五第一八

紀友則等撰

〔京都〕 谷岡七左衛門 萬治三年（一六六〇）五月刊 外寸「二六・三×一九・一糎」（題簽「首書古今和歌集」 單邊。無界。一二行。白口。無魚尾。内匡郭「二三・六×一六・四糎」 頭註付。一卷三〇丁三卷二八丁六卷三〇丁一一卷三三丁一五卷三二丁一八卷三四丁。第二冊に「寛政十一年末五月吉日」と墨書あり

古今和歌集二十卷

紀友則等撰

京都 額田正三郎 享保十四年（一七二九）刊 外寸「二〇・七×一四・五糎」（無匡郭。一〇行。一卷至一〇卷七五丁。一一卷至二〇卷七七丁。見返に「貞應本古今集」と墨書あり。山岸氏識語「嘉禎本古今集尾上八郎博士藏本有之」尾上本奥書別紙加之「朱筆の書き入れあり」

古今和歌集二十卷

紀友則等撰 加茂眞淵校正 本居宣長再訂

A 一八

三冊

A 一九

四冊

A 二〇

三冊

A 二一

一冊

A 二二

東京 金花堂中村佐助〔天保頃刊〕明治期後印 外寸「三・五×一五・四糎」印記「越曾前定」「山峠十茂能藏書」等〔單邊。無界。一四行。内匡郭「一七・九×一二・七糎」一卷至一〇卷三八丁。一一卷至二〇卷三九至八八丁。目錄「東京日本橋區通四丁目七番地 書肆金花堂中村佐助」一丁。書き入れあり〕

古今集撰者家集三卷

紀貫之等撰

皇都寺町通 藤井文政堂山城屋佐兵衛〔江戸後期〕刊 外寸「二六・九×一八・五糎」〔單邊。無界。一一行。白口。無魚尾。内匡郭「二・一×一六・二糎」貫之集一卷至四卷四六丁、五卷至九卷三二丁。躬恆集上二二至二九丁下三〇至四五丁。友則集七至一一丁。忠岑集二二至二六丁〕

東歌六卷

加藤枝直作 加藤千蔭編

享和二年（一八〇二）三月刊 芳宣園藏版 外寸「三・六×一五・八糎」印記「櫻の屋藏」（題簽「安豆麻宇多」）單邊。無界。一一行。内匡郭「一七・四×一二・三糎」一卷一九丁二卷三二丁三卷五〇丁四卷五一至六二丁五卷六四至七五丁六卷七六至一〇四丁。奥付に製本所として「江戸大傳馬町二丁目 瑞玉堂大和田安兵衛」あり〕

古今和歌集遠鏡二十卷

本居宣長著

尾張 東壁堂永樂屋東四郎等 文化十三年（一八一六）十二月刊 外寸「二五・六×一八・四糎」印記「養生園文庫」〔單邊。無界。一〇行。内匡郭「一九・八×一四・二糎」一・二卷五三丁。三卷至六卷四六丁。七卷至一〇卷三五丁。一一卷至一三卷四四丁。一四卷至一六卷四七丁。一七卷至二〇卷六三丁。〕〔尾陽東壁堂藏書目錄之内歌書之部「一丁」〕

古今和歌集遠鏡補正二卷

中村知至著

東京 萬笈閣〔天保十四年（一八四三）刊〕明治期後印 外寸「三・七×一五・四糎」〔單邊。無界。九行。内匡郭

二册

A二三

三册

A二四

三册

A二五

六册

A二六

二册

「一八・一×一二・四糎」 上二七丁下三五丁。裏見返に三都書林として「大阪伊丹屋善兵衛から江戸梶屋喜兵衛まで」全十五書肆名あり）

## 古今和歌集二十卷

紀友則等撰

大坂 秋田屋太右衛門等 文政九年（一八二六）刊 外寸「二六・三×一八・六糎」（題簽「校本古今和歌集」 無匡郭。一行。一卷至一〇卷五八丁。一一卷至二〇卷六六丁。表紙に「井上本対校嘉禎本」と朱書あり。別冊（假綴）の書付けあり。山岸氏識語「井上本者旧吉川家本也試校訂者也」 墨筆朱筆の書き入れあり）

## 古今和歌集二十卷

紀友則等撰

江戸銀座二丁目 伊勢屋忠右衛門等 文政元年（一八一八）六月再版 外寸「一一・五×八・四糎」 印記「小河原藏書」（單邊。無界。一二行。内匡郭「九・七×六・六糎」）

## 古今和歌六帖

〔寛文九年（一六六九）刊 闕卷第五第六 外寸「二六・八×一九・二糎」（書名は目次首による。單邊。無界。一行。白口。無魚尾。内匡郭「二一・八×一六・四糎」 一帖六二丁二帖四一二丁三帖三三丁四帖三八丁。契沖序文及び二帖第一九丁は補鈔。墨筆朱筆の書き入れあり）

## 古今集切紙口傳

〔江戸後期〕寫 外寸「二・八×一七・三糎」（九行。一八丁。奥書「昭應九年八月上旬 西三條稱名寺仍覺御判」）

## 古今和歌集二十卷

紀友則等撰

A二七	二冊・別冊一冊
A二八	二冊
A二九	二冊
A三〇	一冊
A三一	

東都 金花堂須原屋佐助 弘化二年（一八四五）刊 外寸「一八×一二・一糎」 印記「雲鳥堂土曾田之印」（單邊。無界。一一行。内匡郭「二四・七×九・八糎」 上四三丁下五二丁。「金花堂藏版目録 日本橋南通四丁目 須原屋佐助」二四丁）

二册

古今和哥集二十卷

紀友則等撰

江戸 須原屋伊八〔寛政十年九月重刊〕文政九年（一八二六）七月後印 外寸「二五・六×一八・一糎」（無匡郭。一六行。一卷至一〇卷三八丁一一卷至二〇卷四一丁）

A三二  
二册

古今和謡集二十卷

紀友則等撰

京師 出雲寺文次郎・朝倉儀助〔正徳三年一月刊〕文政十三年（一八三〇）五月重刊 外寸「二四・九×一七・五糎」 印記「足穂屋」長田氏藏書印（無匡郭。一四行。一卷至一〇卷四六丁一一卷至二〇卷四七丁）

A三三  
二册

古今和歌集二十卷

紀友則等撰

皇都 吉野屋仁兵衛・吉田四郎右衛門・吉田治兵衛 文政六年（一八二三）三月重刊 外寸「二五・九×一八・六糎」（無匡郭。一二行。一卷至一〇卷四五丁一一卷至二〇卷五七丁）

A三四  
二册

古今和歌集二十卷

紀友則等撰

大坂 嵩山堂青木恆三郎〔江戸後期刊〕明治期後印 外寸「二五・五×一八・三糎」（無匡郭。一四行。一卷至一〇卷三六丁一一卷至二〇卷五一丁）

A三五  
二册

古今和歌集二十卷



紀友則等撰

京師 出雲寺和泉掾・瀬尾源兵衛 正徳三年（一七一三）一月刊 外寸「二六・三×一八・九糎」（無匡郭。一四行。  
一卷至一〇卷二九丁一一卷至二〇卷四九丁。朱筆の書き入れあり）

A三六  
二册

## 古今和歌集二十卷

紀友則等撰

京車屋町 林久次郎・江戸神田元乗物町 林源兵衛 「江戸前期」刊 外寸「二六・五×一八・八糎」（無匡郭。一四行。  
一卷至一〇卷三六丁一一卷至二〇卷五〇丁）

A三七  
二册

## 古今和歌集二十卷

紀友則等撰

「江戸後期」刊 外寸「二六・一×一八・三糎」 印記「寶月」（無匡郭。一〇行。一卷至一〇卷七二丁一一卷至二〇卷  
七八丁）

A三八  
二册

## 古今和歌集二十卷

紀友則等撰

京寺町押小路 野田治兵衛 「江戸後期」刊 外寸「二六×一九糎」（無匡郭。一〇行。一卷至一〇卷七五丁一一卷  
至二〇卷八〇丁。墨筆朱筆藍筆の書き入れあり）

A三九  
二册

## 古今選四卷

明治二十五年（一八九二）十一月寫 外寸「二三・五×一五・八糎」 印記「宮地氏之所藏」（一〇行。一卷三七丁二卷  
三八至六四丁三卷六五至一〇一丁四卷一〇二至一五八丁。識語「于時紀元二千五百五十二年明治二十五年冬十一月  
於肥前國松浦海濱而寫畢⑩」）

A四〇  
三册

## 古今和歌集餘材抄二十卷

釋契沖著

〔江戸末〕寫 外寸「三・三×一六・三糎」(一一行。序九三丁一卷六六丁二卷五〇丁三卷二六丁四卷五二丁五卷七〇丁六卷一八丁七卷二二丁八卷五四丁九卷二六丁一〇卷二八丁一一卷五五丁一二卷四二丁一三卷四五丁一四卷五一丁一五卷三五丁一六卷三〇丁一七卷六八丁一八卷五三丁一九卷九二丁二〇卷四一丁。奥書「元祿五年中秋廿五日 密門釋契沖記之」 朱筆の書き入れあり)

A 四一  
九冊

古今和歌集兩序鄙言二卷

尾崎雅嘉著

浪花堺筋清水町 伊豫屋善兵衛等 〔寛政八年(一七九六)刊〕後印 外寸「二五・三×一七・八糎」(無匡郭。頭注訓點付。上二三丁下三九丁)

A 四二  
二冊

古今和歌集二十卷

紀友則等撰

東都 金花堂須原屋佐助 弘化二年(一八四五)十月刊 外寸「一八・三×二二・四糎」(單邊。無界。一一行。内匡郭「二四・八×九・七糎」 一卷至一〇卷四三丁一一卷至二〇卷五一丁)

A 四三  
一冊

古今和歌六帖六卷

山本明清校注 平由豆流大人校定

江戸 青藜閣・金花堂須原屋佐助 天保十一年(一八四〇)刊 外寸「二六・一×一八・五糎」印記「山岸氏藏書」「山嵎十茂能藏書」「友之助醒」「西浦原郡曾根村山岸十茂能藏書」(墨書) (書名は目次首による。題簽「和歌六帖標注」單邊。無界。一一行。内匡郭「三・五×二六・三糎」 頭注傍注付。一卷五一丁二卷四〇丁三卷三一丁四卷二七丁五卷六三丁六卷七〇丁。「金花堂藏板目錄 日本橋南通四丁目 須原屋佐助」六丁)

A 四四  
六冊

新撰六帖題和歌六卷

藤原家良等著

A 四五

〔京都〕 中野五郎左衛門 萬治三年（一六六〇）二月刊 外寸「二六・七×一九・二糎」〔單邊。無界。一一行。内匡郭「二・五×一七糎」 一帖二八丁二帖三三丁三帖一七丁四帖六丁五帖三三丁六帖四二丁〕

## 新撰六帖題和歌六卷

藤原家良等著

〔萬治三年（一六六〇）二月中野五郎左衛門刊〕後印 外寸「二七・一×一九・二糎」〔單邊。無界。一一行。内匡郭「二・五×一七糎」 一帖二八丁二帖三三丁三帖一七丁四帖六丁五帖三三丁六帖四二丁。與A四五番同版。朱筆の書き入れあり〕

## 六帖詠草六卷

小澤蘆庵（玄仲）詠

京師二條通 吉田四郎右衛門 文化八年（一八一二）刊 外寸「二六・五×一八・七糎」〔無匡郭。一〇行。春四七丁夏三八丁秋四二丁冬一九丁戀一七丁。雜上五四丁下二二丁〕

## 六帖詠草拾遺二卷

小澤蘆庵（玄仲）詠 小川萍流編

京都 吉田四郎右衛門等 嘉永二年（一八四九）刊 外寸「二六・三×一八・六糎」 印記「雲樹軒」濱松小書巢内田旭圖書「老松園文庫」（内田旭）〔無匡郭。一〇行。上二九丁下一二丁〕

## 新校古今和歌六帖

契沖著

大坂 河内屋源七郎・河内屋茂兵衛・京 吉田四郎右衛門 文政三年（一八二〇）七月刊 外寸「二六・六×一八・四糎」〔書名は序文首による。無匡郭。一一行。三九丁〕

## 拾遺和歌集二十卷

六册

A 四六

六册

A 四七

七册

A 四八

二册

A 四九

一册

寛政五年（一七九三）六月寫 外寸「二七・五×一九・二糎」（一一行。一卷八丁二卷六丁三卷九丁四卷五丁五卷六丁六卷七丁七卷八丁八卷一一丁九卷一三丁一〇卷五丁一二卷七丁一二卷七丁一三卷七丁一四卷六丁一五卷六丁一六卷一〇丁一七卷一〇丁一八卷七丁一九卷八丁二〇卷一一丁。書き入れあり）

後拾遺和歌集二十卷

藤原通俊撰

〔明治期〕寫 外寸「二六・二×一八・六糎」 印記「大萱生圖書記勿折昏勿汁墨」（一〇行。一卷二八丁二卷八丁三卷一四丁四卷二二丁五卷一〇丁六卷一〇丁七卷九丁八卷一〇丁九卷八丁一〇卷一八丁一一卷一二丁一二卷一二丁一三卷一二丁一四卷一一丁一五卷一八丁一六卷一八丁一七卷一七丁一八卷一五丁一九卷二〇丁二〇卷一五丁。朱筆の書き入れあり）

拾遺抄物二十卷

〔江戸末〕寫 外寸「二八×一九・六糎」 印記「冷泉府書」（藤原惺窩）（二一行。三三丁。朱筆の書き入れあり）

拾遺和歌抄二十卷

花山院撰 塙保己一校

〔江戸末〕刊 外寸「二六×一七・八糎」 印記「博文」「芳榎書屋圖書之記」（伊藤博文）（群書類従卷第四百十六 和歌部一。書外題「拾遺和歌集」 無匡郭。一〇行。全九〇丁）

拾遺風牀和歌集

〔江戸末〕寫 外寸「二四・五×一七・一糎」（二二行。五一丁。山岸氏識語「近來冷泉家、三條家本多出于坊間矣」）

續現存六帖六卷

A五〇  
二冊

A五一  
八冊

A五二  
一冊

A五三  
一冊

A五四  
一冊

〔昭和期〕寫 關卷第一第六 外寸「二七・三×一九・八糎」〔無匡郭。九行。二卷四一丁三卷五一丁四卷四七丁五卷五四丁〕

## 新古今和歌集二十卷

源通具等撰

〔江戸前期〕刊 外寸「二六・三×一九・七糎」〔單邊。無界。一〇行。白口。雙線魚尾。内匡郭「二一・一×一七・九糎」一卷至五卷三二丁。六卷至一〇卷三三丁。一一卷至一五卷三三丁。一六卷至二〇卷二九丁。墨筆朱筆の書き入れあり〕

## 後撰集詞のつかね緒

本居宣長著

享和二年（一八〇二）五月跋刊 鈴屋藏版 外寸「二六・四×一八・七糎」印記「藤正文庫」「繼志堂圖書記」〔題簽「言葉のつかね緒」單邊。無界。一二行。内匡郭「一九・七×一四・二糎」四三丁。裏見返に弘所として「京都勝村次右衛門から勢州柏屋徳兵衛まで」全八書肆名あり。上欄に書き入れあり〕

## 新古今集美濃の家都登五卷

本居宣長著

尾張名古屋 東壁堂永樂屋東四郎 〔江戸後期刊〕後印 外寸「二六・六×一八・二糎」印記「前田氏尊經閣圖書記」〔尊經閣文庫〕〔題簽「美濃の家つと」單邊。無界。一〇行。白口。無魚尾。内匡郭「一九・五×一四・三糎」一卷四三丁二卷五三丁三卷二五丁四卷五七丁五卷六二丁。〕尾陽東壁堂藏目錄之内歌書之部「一丁」

## 美濃乃家都登折添三卷

本居宣長著

尾張名古屋 東壁堂永樂屋東四郎 〔江戸後期刊〕後印 外寸「二六・七×一八・三糎」印記「前田氏尊經閣圖書記」〔尊經閣文庫〕〔題簽「美濃家裏折添」單邊。無界。一〇行。白口。無魚尾。内匡郭「一九・四×一四・三糎」上四二丁中三七丁下三六丁。〕尾陽東壁堂藏目錄之内歌書之部「一丁」

A五五  
四冊

A五六  
四冊

A五七  
一冊

A五八  
五冊

A五九  
三冊

美濃乃家都登折添三卷

本居宣長著

尾州名古屋 東壁堂永樂屋東四郎〔江戸後期刊〕後印 外寸「二六・一×一八・二糎」〔題簽「美濃家裏折添」〕單邊。無界。一〇行。白口。無魚尾。内匡郭「一九・四×一四・三糎」 上四二丁中三七丁下三六丁。「尾陽東壁堂製本畧目録」五丁半、上卷中卷末にも書物公告有。與A五九番と同版。但し更なる後印。目録末尾に「東都書物問屋」尾州名古屋に續け江戸日本橋及び濃州大垣本町の出店を擧げる。上卷見返に山岸氏識語あり

尾張廻家苞五卷

石原正名著

尾州名古屋 東壁堂永樂屋東四郎等〔文政二年（一八一九）序刊〕後印 外寸「二六×一八糎」 印記「家杜竹岐之間」〔題簽「尾張家苞」〕無匡郭。一〇行。一卷三二丁一之下三五丁二卷三二丁二之下四八丁三卷三五丁四卷三二丁四之下三二丁五卷四二丁五之下四七丁。出版目録「尾州名古屋本町通七丁目 永樂屋東四郎二〇丁半」

續後撰和歌集二十卷

藤原爲家撰

〔江戸後期〕刊 外寸「一九・七×一三・六糎」〔單邊。無界。一二行。白口。無魚尾。内匡郭「一一・六×八・九糎」〕

後撰和歌集標注二十卷

釋契沖注 賀茂真淵後按 萩原宗固考異 平由豆流増注

江戸本石町 萬笈堂英大助〔文化十三年（一八一六）七月序刊〕後印 外寸「二六・五×一八糎」〔書名は提要首による。卷頭「後撰和歌集」〕無匡郭。一二行。頭注付。一卷至五卷四七丁六卷至一〇卷四二丁一一卷至一五卷五六丁一六卷至二〇卷四五丁。出版目録「江戸下谷御成道 星雲堂英文藏製」一丁

夫木和歌抄 存卷第六至第八第一五至第二〇

A六〇  
三冊

A六一  
九冊

A六二  
一冊

A六三  
四冊



勝田（藤原）長清撰

〔江戸前期〕刊 外寸「二七・五×一八・一厘」 印記「秋葉義之印」「崎房文庫」「下總崎房秋葉孫兵衛藏書」「秋葉義之（無匡郭。一〇行。六卷三九丁七卷四七丁八卷六二丁一五卷三七丁一六卷三五丁一七卷四六丁一八卷五六丁一九卷四七丁二〇卷一〇〇丁）」

後撰和歌集二十卷

大中臣能宣等撰

〔江戸中期〕刊 關卷第一一至第二〇 外寸「二六・八×一八・三厘」 印記「文鋒堂藏書記」「木村」（木村義則）（無匡郭。一〇行。一卷六丁二卷五丁三卷一丁四卷九丁五卷六丁六卷一〇丁七卷一〇丁八卷六丁九卷一二丁一〇卷一五丁。朱筆識語「右信友本によりて校合す 同書信友自筆奥書に云明治四十二年六月晦了（花押）」 朱筆の書き入れあり）

後撰和歌集新抄十四卷別記一卷

中山美石著

尾州名古屋 東壁堂永樂屋東四郎 〔文化十一年（一八一四）〕刊 關卷第一二至第一四 外寸「二五・七×一八・一厘」 印記「市邨正辭圖書」「松井氏藏書章」「三木氏記」「高等師範大塚文庫之印」（廢棄印あり）（單邊。無界。一一行。内匡郭「一九・四×一四・一厘」 頭注付。卷第九至一一は補配本。「尾陽東壁堂製本畧目錄」五丁半）

謌林拾葉集 存卷第一至第四

小幡正信著

〔天和三年（一六八三）序刊〕後印 外寸「二五×一七・九厘」 印記「稻原文庫」「離式亭」（無匡郭。一一行。一卷一八丁二卷三三丁三卷二八丁四卷二七丁）

謌林拾葉集十二卷

小幡正信著

〔天和三年（一六八三）荻野八郎兵衛・上田兵左衛門刊〕 外寸「二五・五×一八・一厘」 （題簽「夫木和歌拾遺抄」 無

A 六四

九册

A 六五

一册

A 六六

一二册

A 六七

二册（合綴一册）

A 六八

六册

匡郭。一一行。傍訓付。一卷一八丁二卷三三丁三卷二八丁四卷二七丁五卷二七丁六卷二七丁七卷二四丁八卷二八丁九卷二四丁一〇卷二七丁一卷三三丁二卷三三丁。與A六七番卷第一至第四同版)

## 新古今和歌集 存卷第一

源通具等撰

〔江戸後期〕刊 外寸「二・四×一六・三糎」〔嶽南松岡佐野三鱗〕〔朱書〕〔題簽「系圖繪入古今和歌集」〕單邊。無界。一四行。白口。無魚尾。内匡郭「一八・八×一三・五糎」繪入。四五丁)

## 勅撰集外歌仙

後水尾院敕撰

〔江戸後期〕寫 外寸「二・四・九×一六・二糎」〔書外題「後水尾帝敕撰歌仙」〕一〇行。六丁。奥書「右歌仙者依東福門院之御懇望爲御慰表染御宸筆者也 寛文五年二月交野内匠頭寫之」

## 新勅撰和歌集抄二十卷

弄花軒祖能撰

東都下谷 須原屋伊八等 寛政十一年(一七九九)三月刊 外寸「二・六・七×一八・五糎」印記「弄花軒」〔單邊。無界。一〇行。内匡郭「二・七×一四・八糎」〕

## 新勅撰和歌集二十卷

藤原定家撰

〔江戸後期〕寫 關卷第十一至二十 外寸「二・四・八×一七・八糎」(一〇行。一卷一五丁半二卷一三丁三卷一三丁四卷一七丁半五卷一六丁半六卷一六丁七卷二二丁八卷一七丁九卷七丁半一〇卷一一丁半)

## 新勅撰和歌集二十卷

藤原定家撰

A六九

一册

A七〇

一册

A七一

八册

A七二

一册

A七三

〔江戸後期〕刊 外寸「二六・五×一七・八糎」 （無匡郭。一〇行。一卷至一〇卷八四丁一一卷至二〇卷九八丁）

## 新勅撰和歌集二十卷

藤原定家撰

寶永五年（一七〇八）刊 外寸「二七・四×一八・九糎」 印記「稜威廼舍藏書」（倉澤清也）「澤邊藏書」（無匡郭。一〇行。一卷至五卷四〇丁。五卷至一〇卷四八丁。一一卷至一五卷四七丁。一六卷至二〇卷五一丁。山岸氏識語「二十一  
代集之板本ニヨルモノナリ」）

## 古今和歌集二十卷

北村季吟著

〔江戸中期〕刊 外寸「三・七×一六・一糎」 印記「蜂須賀」（題簽「八代集抄 古今和歌集」 單邊。無界。一五行。  
内匡郭「一八・二×一二・七糎」 朱筆の書き入れあり）

## 萬代和歌集二十卷

〔衣笠家良編〕

〔江戸前期〕寫 外寸「三・六×一六・四糎」 印記「郁子園藏」（長島尉信）「片岡寛光（神代文字）」（二〇行。一卷二八  
丁二卷三三丁三卷三五丁四卷二六丁半五卷三三丁六卷三二丁七卷一四丁八卷一三丁半九卷二二丁一〇卷二四丁一  
卷二六丁一二卷二四丁一三卷二四丁一四卷二八丁半一五卷一九丁一六卷二四丁一七卷二〇丁半一八卷一七丁一九卷  
二〇丁二〇卷一〇丁。奥書「右萬代和歌集全部六册者寛文十一年亥三月中旬筆取同五月十日令書寫後日校合畢」）

## 二四代集二十卷

藤原定家撰

〔江戸後期〕寫 外寸「二七・七×一九・七糎」 印記「金花堂記」（二六行。一卷七丁二卷八丁三卷五丁四卷七丁五卷  
九丁六卷七丁七卷六丁八卷九丁九卷三丁一〇卷五丁一一卷七丁一二卷七丁一三卷七丁一四卷九丁一五卷九丁一六卷  
九丁一七卷四丁一八卷八丁一九卷二丁二〇卷六丁。奥書「文祿元年臘月中旬借數人之手書寫 也足子判」 識語「萬

四册（合綴二册）

A七七

四册

A七五

八册

A七六

六册

A七七

二册

治四歳仲春下旬終書寫之切端て書之 所々借他筆右中院亞相公本也不可有他見者也」 上巻見返に「或云八代集抄定家撰」とある)

## 二四代集二十卷

藤原定家撰

〔江戸中期〕寫 外寸「二七・九×一二・六糎」 (二行。一卷八丁二卷九丁三卷六丁四卷九丁五卷九丁六卷九丁七卷五丁八卷一〇丁九卷四丁一〇卷五丁一一卷九丁一二卷九丁一三卷一〇丁一四卷一二丁一五卷一二丁一六卷一二丁一七卷六丁一八卷九丁一九卷三丁二〇卷五丁。識語「此本者六牕軒幸隆手書之藏本令懇望繕寫之訖 寶永元甲申季冬念日明珠庵鈞月」)

A七八  
一册

## 二十一代和哥集後談二卷

觀阿撰

〔江戸後期〕寫 外寸「二六・五×一八・一糎」 印記「漆輕藏書」「遠加文庫」「紅梅文庫」(前田善子) (書外題「廿一代集撰者和哥」 一〇行。天五二丁地四〇丁)

A七九  
二册

## 廿一代撰集紀

〔江戸後期〕寫 外寸「二三・六×一七・一糎」 (書名は書外題による。一二至一三行。一一丁。朱筆の書き入れあり)

A八〇  
一册

## 八代集

〔江戸中期〕寫 外寸「二七・一×二一・六糎」 印記「英王堂藏書」(チェンバレン) (列帖装。一〇行。古今和歌集二十卷一四六丁後撰和歌集二十卷一八二丁拾遺和歌集二十卷一六五丁後拾遺和歌集抄二十卷二〇五丁金葉和歌集十卷一〇三丁詞花和歌集十卷一九八丁千載和歌集二十卷七二丁新古今和歌集二十卷二四九丁。表紙に「嘉禎本」とある。第一册末貼紙に山岸氏識語「八代集八册上田萬年先生藏本云云」 朱筆の書き入れあり)

A八一  
八册

詠格部類

餘裕齋編

京寺町 中井平次郎 明和二年（一七六五）刊 外寸「二六×九・九糎」 印記「富永」（單邊。無界。六行。内匡郭「二・九×七・二糎」 五一丁）

A 八二

一册

扶桑拾葉集三十卷序目一卷作者系圖一卷

徳川光圀編

〔江戸中期〕寫 外寸「二四・二×一七・二糎」（二一行。朱筆の句點あり）

A 八三

三五册

扶桑拾葉外集十二卷序目一卷作者系圖一卷

徳川光圀編

〔江戸後期〕寫 外寸「二二・二×一五・八糎」 印記「西莊文庫〔小津桂窓〕（書名は書外題による。卷頭「扶桑拾葉集異本」 一一行。目錄一五丁系圖一五丁一卷二四丁二卷三三丁三卷二二丁四卷二八丁五卷三三丁六卷二二丁七卷二七丁八卷四〇丁九卷三二丁一〇卷三三丁一一卷三三丁一二卷二四丁。貼紙による山岸氏識語「扶桑拾葉集外集 一三册拾葉集稿本欵云々」

A 八四

一三册

千載和歌集二十卷

藤原俊成撰

〔江戸初〕寫 外寸「二二・三×一五・八糎」（列帖裝・裂表紙。一〇行。一卷一〇枚半二卷九枚三卷一三枚四卷一二枚五卷一一枚半六卷一一枚七卷四枚八卷七枚九卷一一枚一〇卷四枚一一卷八枚一二卷一〇枚一三卷八枚半一四卷九枚一五卷七枚一六卷一五枚半一七卷一七枚一八卷九枚半一九卷九枚二〇卷六枚半。奥書「千載集上之部 藤原基俊朝臣」識語「千載集下之部 藤原俊成卿筆」塗箱入）

A 八五

二册

金葉和詞集十卷附錄一卷

源俊頼編

天保九年（一八三八）十月刊 藤園塾藏 外寸「二六・二×一八・五糎」 印記「秋葉義之印」「崎房文庫」「下總崎房秋葉孫兵衛藏書」「秋葉義之」（無匡郭。一一行。一卷至六卷六三丁七卷至一〇卷六四至一二六丁）「三奏金葉集附録」（四丁）

訶林拾葉集十二卷

小幡正信著

〔京都〕荻野八郎兵衛・上田兵左衛門 天和三年（一六八三）刊 外寸「二七×一八・八糎」 （無匡郭。一一行。傍訓付。一卷一八丁二卷三三丁三卷二八丁四卷二七丁五卷二七丁七卷二四丁八卷二八丁九卷二四丁一〇卷二七丁一一卷三三丁一二卷三三丁。與A六八番同版）

和歌秋風抄十卷

〔江戸中期〕寫 外寸「二七・四×一九・八糎」 （二〇行。一卷二二丁二卷二四丁三卷一四丁四卷三〇丁五卷三七丁六卷一八丁七卷九丁八卷一五丁九卷八丁一〇卷三二丁）

霞關集作者目録

〔寛政年間〕刊 外寸「二六・八×一八・五糎」 （無匡郭。九行。一九丁。卷末に寫上「辻知篤清書」あり）

霞關集六卷

石野廣通著 佐々木萬彦校

〔江戸後期〕寫 外寸「三・九×一六・五糎」 （九行。一卷二五丁二卷一八丁三卷二六丁四卷一七丁五卷二五丁六卷五一丁。底本「寛政十一年秋蹄溪藏版本」）

關白家會始賀歌・光顯卿八十賀詩歌外

〔江戸中期〕寫 外寸「三・二×一六・四糎」 （書名は書外題による。一〇行。七四丁。〔享保十九年二月廿八日關白

A 八六

三冊

A 八七

六冊

A 八八

二冊

A 八九

一冊

A 九〇

二冊

A 九一

家會始」から「寛保二年九月老中松平伊豆守信祝朝臣六十賀」まで全十二種の賀歌を寫す。山岸氏識語あり

## 以呂波國分名所歌集

〔江戸後期〕寫 外寸「三・八×一六・八糎」 （書名は書外題による。 一一行。 五九丁）

## 星拱和歌集 存卷第五第七

〔江戸後期〕寫 外寸「二七・五×一九・六糎」 （書名は書外題による。 八行。 五卷六一丁七卷三丁。 見返に山岸氏識語「自延寶六年正月至全九年十月星拱和歌集卷五卷七二册他卷缺之者也。 年中御會和歌集之類也云云」）

## 貞治六年三月中殿御會

元祿十三年（一七〇〇）寫 外寸「二〇・九×一五糎」 印記「伊達伯觀瀾閣圖書印」（仙台伊達藩）（八行。 七丁）

## 水無瀬殿御法樂

〔江戸前期〕寫 外寸「二七・一×一九・六糎」 印記「阿波國文庫」（徳島藩蜂須賀家）（二二行。 一三三丁。 卷末に「明應八年五月廿二日」とある。 山岸氏識語「御製 後土御門帝ナリ」）

## 繁華集四卷

〔江戸後期〕寫 外寸「二四・八×一七・五糎」 （九行。 一卷五七丁二卷七一丁三卷七二丁四卷六七丁。 山岸氏識語「觀瀾閣伊達家舊藏本也」）

## 和歌七代集名歌抄二卷

藤原俊成撰

〔京都〕 澁川清右衛門 元祿三年（一六九〇）十二月刊 外寸「二六・五×一七・六糎」 「持田芳二」（墨書）（無匡郭）。

一册

A 九二  
一册

A 九三  
二册

二册

A 九四  
一册

一册

A 九五  
一册

一册

A 九六  
四册

四册

A 九七  
二册

二册

一一行。上六三丁下五五丁)

釋教卅六人謠仙

釋榮海撰

〔京都〕 林和泉掾 寛文九年(一六六九)九月刊 外寸「二三×一五・三糎」 印記「山崎文庫」「山崎景福」(墨書)  
(單邊。無界。七至八行。白口。無魚尾。内匡郭「二七・一×一一・六糎」 繪入。二二丁)

A 九八

一册

歌仙家集補三卷

富士谷成章著

〔江戸末〕寫 外寸「二七・八×一八・六糎」 (書名は書外題による。一一行。上五八丁中七九丁下四九丁。山岸氏識語「學習院圖書館藏三十六人集補与此本全同」)

A 九九  
三册

六々歌人贊

釋契沖詠

京錦小路通 恵比須屋市右衛門 寛政十二年(一八〇〇)九月刊 外寸「二七・五×一八・九糎」 (無匡郭。一一行。一八丁)

A 一〇〇  
一册

卅六人集

〔江戸末〕刊 外寸「二六・一×一八糎」 印記「寧樂文庫」「鵬北菴記」(稅所篤) (群書類從第二百四十七。書名は題簽による。無匡郭。一〇行。第三册末に山岸氏朱筆識語あり)

A 一〇一

一一册

哥仙家集十五卷

藤原公任編

京都 中野道也 正保四年(一六四七)八月刊 外寸「二六・六×一八・九糎」 印記「古今圖書木村藏」 (書名は題簽による。單邊。無界。一一行。内匡郭「二・六×一六糎」 朱筆の書き入れあり)

A 一〇二  
一五册



三十六人歌仙家集解難鈔三卷

細川幽齋(藤孝・玄巨)撰

大坂 瀬戸物屋傳兵衛等 元文四年(一七三九)六月刊 外寸「二七・三×一八・五糎」(單邊。無界。一一行。内匡郭「二一・二×一五・一糎」 上二六丁中二七至五一丁下五二至七四丁)

歌仙中古三十六人傳

明和九年(一七七二)一月多賀常政寫 外寸「二六・五×二〇・五糎」 印記「川田氏藏書」(川田甕江) (書名は目次首による。題簽「中古三十六歌仙傳」 一六行。一四丁。識語「右中古歌仙傳者希有之古記也可賞翫其一也幸見之依懇望乞需之以宮川氏直之藏本寫之 維時明和九年壬辰年春正月多賀氏常政誌」)

集外三十六歌仙

安田貞雄編 綠毛齋榮保畫

〔江戸後期〕寫 外寸「二四・五×一九糎」 印記「白勢氏杏泉亭藏書印」 (書名は題簽による。六行。筆彩繪入。二四丁。底本「寛政九年正月東都山下町萬屋太治右衛門刊本」)

三十六人撰歌埒年中行事抄

〔江戸後期〕寫 外寸「二五・八×一八・四糎」 印記「會田家藏書」(會田芳園)「渡邊千秋藏印」「渡邊千秋清觀」 (二三行。繪入。一四丁附二四丁)

六家集十八卷

細川幽齋(藤孝・玄巨)校

〔江戸前期〕刊 闕卷山家集二卷 外寸「二七・四×一九・三糎」 印記「中尾藏書」 (書名は題簽による。無匡郭。二二行。拾遺愚草三卷拾遺愚草員外二卷壬二集三卷長秋詠藻三卷式部史生秋篠月清集四卷拾玉集七卷。朱筆の書き入れあり)

山家和歌集二卷

A 一〇三

三册

A 一〇四

一册

A 一〇五

一册

A 一〇六

一册

A 一〇七

一六册

釋西行著

〔江戸前期〕刊 外寸「二七・四×一九・六糎」 (六家集の一。無匡郭。一二行。上四二丁下七二丁)

古今類句二十四卷

山本春正編

〔寛文六年(一六六六)五月京都兩替町通升屋彦右衛門刊〕後印 外寸「二七・二×一九・三糎」 印記「秋葉義之印」〔崎房文庫〕「下總崎房秋葉孫兵衛藏書」〔秋葉義之〕 (書名は目次首による。單邊。無界。一八行。白口。無魚尾。内匡郭「三二×一六・二糎」)

古今和歌集二十卷

紀友則等撰

〔江戸前期〕寫 外寸「三・二×一六糎」 (列帖裝・裂表紙。一〇行。一卷九丁二卷九丁三卷五丁四卷九丁五卷九丁六卷四丁七卷四丁八卷六丁九卷五丁一〇卷六丁一一卷六丁一二卷七丁一三卷七丁一四卷七丁一五卷九丁一六卷七丁一七卷九丁一八卷一〇丁一九卷一二丁二〇卷六丁)

古今和歌集二十卷

紀友則等撰

〔江戸中期〕寫 外寸「二六・三×一八糎」 (一二行。一卷一二丁二卷一二丁三卷六丁四卷一四丁五卷一二丁六卷五丁七卷四丁八卷九丁九卷六丁一〇卷八丁一一卷一二丁一二卷一〇丁一三卷一〇丁一四卷一二丁一五卷一三丁一六卷八丁一七卷一六丁一八卷一五丁一九卷一六丁二〇卷一〇丁。第一册見返に「八代集抄寫ナリ」と墨書あり)

三賢祕史

藤原爲家作

〔江戸後期〕寫 外寸「二七・二×一一・八糎」 印記「西莊文庫」〔小津桂窓〕 (假綴。一〇行。一二丁。奥書「于時正長貳年二月中旬之候爲初學稽古常院殿以御本書寫之畢惡筆可恥之 右筆春能」 識語「三賢祕決一册八雲口傳也」)

A 一〇八

二册

A 一〇九

二四册

A 一一〇

一册

A 一一一

四册

A 一二二

一册

大和詞祕注 存卷第三第四

坂内直(山雲子)著

〔元文三年(一七三八)刊 外寸「一五・五×一一・三糎」(單邊。無界。一二行。内匡郭「一二・八×九・二糎」繪入。三卷三三至四七丁四卷四八至六二丁)〕

A 一一三  
一册

大和歌詞一卷世話字撰集一卷

江戸馬喰町 西村屋與八〔江戸前期西村源六刊寛政四年(一七九二)六月重刊 外寸「一五・八×一一・三糎」(單邊。無界。一二行。内匡郭「一一・九×九・三糎」繪入。大和四九丁半世話字四九丁裏至五三丁)〕

A 一一四  
一册

和歌問答二卷

石塚寂翁問 日野資枝答

〔江戸後期〕寫 外寸「一九・四×一四・六糎」 印記「岩間榮介」(八行。上八二丁下八六丁。識語「明治廿二年己丑九月上旬改ム：榮介」)

A 一一五  
二册

越部禪尼消息

藤原俊成女(越部禪尼)著

〔江戸中期〕寫 外寸「二〇・三×一五・二糎」(綴葉裝。六行。九丁。山岸氏識語あり)

A 一一六  
一册

和歌式聞書

松井幸隆問 中院通茂答

〔江戸後期〕寫 外寸「二三・三×一六・四糎」 印記「白檮書院藏」「青谿書屋」(大島雅太郎)「蓼溪書屋」「當寄」「不求是解」「經春」(墨書)(書名は封面による。一〇行。八八丁)

A 一一七  
一册

和歌十牀

〔江戸後期〕寫 外寸「二三・五×一七・一糎」 印記「竹内圖書」(二〇行。二六丁。卷頭に「定家卿撰之」とある。山

A 一一八

岸氏識語「和歌十脉作者未詳假託于定家者歟」

二條家和歌傳書

〔江戸中期〕寫 外寸「二・四・六×一七・一」 印記「□學堂藏書」 （書名は書外題による。一二行。三二丁。奥書「元祿七甲戌年極月廿八日書之畢 飛鳥井家門人權律師乘順判」）

祕藏抄三卷新撰髓腦一卷莫傳抄一卷和歌肝要一卷

凡河内躬恆撰

〔江戸中期〕寫 外寸「二・三・三×一六・四」 （二一行。祕傳上一二丁中九丁下五丁。新撰三丁莫傳抄一三丁和歌六丁）

古今祕傳曲文

〔江戸後期〕寫 外寸「二・八×一六・三」 印記「後樂氏」「貴之」 （一〇行。四〇丁。卷末に「享保四季己亥首夏下浣」とある）

和歌童翫抄

通危子著

〔江戸後期〕寫 外寸「二・三・四×一六・四」 （八至一〇行。二五丁）

闇夜磔一名古今集序存疑

鹿持雅澄著

〔昭和八年（一九三三）頃〕 西尾町石川俊雄寫 外寸「二・三・七×一六・四」 （一五行。漢字片假名。一九丁。山岸氏識語「愛知縣西尾町八面山房主人石川俊雄氏岩瀬文庫本より謄寫して贈らる 昭和九年一月十二日」）

烏丸前大納言光榮卿御口授

惠谷秀貞著

一册

A 一一九  
一册

A 一二〇  
一册

A 一二一  
一册

A 一二二  
一册

A 一二三  
一册

A 一二四

明和七年（一七七〇）十二月寫 外寸「三・五×一七糎」（一〇行。四〇丁。識語「明和元甲申年仲呂初六日 藤種辰寫 明和七宣年冬十二月二日三徑舍古稀翁書」）

細川幽齊和哥祕事無名集二卷

細川幽齊著

安永六年（一七七七）八月安明矩寫 外寸「三・九×一七糎」（二四行。上三三丁下一六丁）

ふりわけ髪

小澤蘆庵（玄中）著

〔江戸後期〕寫 外寸「四・三×一六・一糎」 印記「中尾藏書」（書名は書外題による。八行。三六丁。底本「寛政八年三月京都吉田四郎右衛門刊本」）

自讃歌十七首祕傳抄

〔冷泉中納言〕著

安政三年（一八五〇）寫 外寸「二・六・七×一九・二糎」（書名は序文首による。書外題「和歌十七首祕傳」 一二行。一六丁。識語「于時安政三丙辰孟春暮之七十八癡老増尾魯菴」）

明月記

藤原定家著

〔江戸後期〕寫 外寸「二・六・六×一九・二糎」（副題「歌道事」 八行。七一丁。識語「右明月記中院中納言通勝卿法名也足軒筆」）

俳諧歌論前編二卷

高田與清著

〔江戸〕 千鐘房須原屋茂兵衛 文化九年（一八一二）刊 外寸「二・五・九×一八・二糎」 印記「油田政与」（單邊。無

一册

A 一二五

一册

A 一二六

一册

A 一二七

一册

A 一二八

一册

A 一二九

二册

界。七行。内匡郭「一九・三×一四・六糎」 句點傍訓付。一卷四三丁二卷三四丁。朱筆の貼紙書き入れあり

## 詠歌一駄

藤原爲家著

〔江戸後期〕寫 外寸「二四・八×一八・五糎」 (九行。一五丁。朱筆の書き入れあり)

## 詠歌一駄

藤原爲家著

明和五年(一七六八)寫 外寸「二八・四×一九・二糎」 (書名は書外題による。一行。二〇丁。識語「右一帖以信章所持本寫訖 明和五年初冬仲旬從四位下源定靜」)

## 四條大納言新撰髓腦一卷今代秀歌一卷和哥九品一卷八代秀歌一卷和歌十駄一卷 毎月抄一卷金玉集一卷海人手子良集一卷堀河院艶書合一卷

〔江戸後期〕寫 外寸「二五・七×一九・八糎」 印記「明倫館印」 (九行。四條四丁今代七丁和哥二丁八代七丁十駄八丁毎月二三丁金玉一〇丁海人一丁堀河一〇丁。八代集末に識語「此一帖河野黃門以四條本寫所也」、海人手子良集末に識語「右一册以て定家卿自筆寫之本…天明二年壬寅秋九月以江田氏本令再校畢」あり。山岸氏識語「新撰髓腦以下九部抄爾云」 朱筆の校訂あり)

## 詠歌大概

藤原定家著

〔江戸中期〕寫 外寸「二六・六×一九・二糎」 印記「里見文庫」 (一〇行。三三丁。頭注付)

## 詠歌大概講談師說密註三卷

平間長雅著

〔江戸中期〕寫 外寸「二九×一九・九糎」 (二一行。頭注付。一卷二〇丁二卷二九丁三卷一九丁。末に識語「安永七

A 一三〇

一册

A 一三一

一册

A 一三二

一册

A 一三三

一册

A 一三四

一册

後文月中浣朝倉唯慈<sup>⑨</sup>臨海陳人」あり。朱筆の校訂及び付箋多数)

## なくさめ草一卷麓のちり一卷

正徹著

〔江戸後期〕寫 外寸「二七×二〇糎」(一二行。なくさめ一五丁麓一三丁。表紙肩に「九條家本」とある)

## 右衛門督家歌合一卷太皇太后宮大進清輔朝臣家哥合一卷住吉社謠合一卷

〔江戸後期〕寫 外寸「二六・七×一九・八糎」(書外題「哥合」一二行。右衛門一五丁太皇太后一二丁住吉社三九丁)

## 詠歌之大概

〔江戸後期〕寫 外寸「二八・八×二二・四糎」印記「難波藏書」(大和綴。六行。一八丁)

## 八代集秀逸

藤原定家撰

〔江戸後期〕寫 外寸「二七・八×二〇・七糎」印記「三條西」(三條西家)(一三行。四丁。ほかに「俊成卿九十賀記」一七丁「三鉢和歌」二丁「通光卿歌論議」一五丁「四條大納言新撰髓腦」四丁「俊成卿九十賀記」二二丁「自贊歌」二二丁。「通光卿歌論議」の末に山岸氏識語「本卷他無所見今假稱通光卿歌論議云云」)

## 五家讀方集

〔江戸後期〕寫 外寸「二三・五×一六・五糎」(二一行。三四丁。「新撰髓腦」四條公任著、四丁「毎月抄」藤原定家著、一三丁「和歌の祕傳書」阿佛著、九丁「瑩玉集」鴨長明著、五丁半「桂明抄」堯孝著、二丁半)

## 和哥選引并水野防州贈答文

A 一三五

一册

A 一三六

一册

A 一三七

一册

A 一三八

一册

A 一三九

一册

伊藤維貞(仁齋)著

〔江戸中期〕寫 外寸「二七・二×一九・四糎」(書名は書外題による。一二行。八丁)

和歌読方詞心傳集一卷 附詠歌一牀

寛政六年(二七九四)寫 外寸「二五・九×二〇・三糎」(二一行。三五丁附八丁。識語「右之書於泉涌方丈記錄書寛政六寅仲春初七日寫者也湛然書之 沙門大僧正遊枝」)

A一四一  
一册

和歌祕書一卷古今習伊勢物語之口傳一卷ゆるし色の事一卷

天保十三年至十四年(一八四三)寫 外寸「一八・三×一三・二糎」(九行。和歌九丁古今二八丁ゆるし三丁。識語「和歌祕書 明和六曆巳丑臘月原田元陣祐仙院殿御寫置を寫し置もの也 天保十三年壬寅神無月日厚子謹書」古今習伊勢物語之口傳 享保三戌年霜月上旬馬場氏信完 天保十四癸卯歲八月二日厚子書)

A一四二  
一册

和歌祕傳書

〔江戸後期〕寫 外寸「二三・二×一六・九糎」 印記「槻之屋」 「宗定」 「槻廼屋弓楨」(墨書) (書名は書外題による。一二行。七七丁。奥書「久保吉右衛門傳之置」)

A一四三  
一册

人麿赤人傳

兼明親王著

〔江戸後期〕寫 外寸「三三・九×一六・三糎」 (書外題「二聖極祕傳」 八行。六丁。山岸氏による朱筆の書き入れあり)

A一四四  
一册

偏格詠例

釋大愚著

文政十三年(一八三〇)藤田輔長寫 外寸「二五・四×一七・六糎」 印記「藤田氏圖書記」 (書名は書外題による。一二行。五八丁)

A一四五  
一册



## 毎月抄一卷和歌十鉢一卷

藤原定家著

〔江戸末〕寫 外寸「二五・六×一九・八糎」(二一行。毎月八丁半和歌一二丁半)

## 悦目抄

傳藤原基俊著

元文二年(一七三七)十月惠山寫 外寸「二七・三×一九・五糎」(書名は下巻卷尾による。卷頭「悦目」 九行。上三二丁下三九丁)

## 和歌古語深祕抄

惠藤一雄編

京都 出雲寺和泉掾 元祿十五年(一七〇二)刊 外寸「三二×一五・七糎」 印記「柳原」(書名は目次首による。無匡郭。一〇行。祕藏抄三卷、新撰髓腦、莫傳抄、和歌肝要、後鳥羽院口傳、和歌式、正風體抄、家隆和歌口傳、近來風體抄、瑩玉集、簸河上、八雲口傳、夜の鶴、耕雲口傳、桂月抄、八雲一言記、和歌二言集、和歌用意條々)

## 作者部類六卷續作者部類二卷

〔江戸後期〕寫 外寸「二六・五×一九糎」(書名は書外題による。八行。一卷三九丁二卷二九丁三卷三九丁四卷三五丁五卷五二丁六卷二八丁。續一卷四〇丁二卷二六丁。續作者部類卷二末に「正保三年仲秋 中大夫源考功郎中」とある)

## 哥乃口傳

藤原定家著

〔江戸中期〕寫 外寸「三二・五×一六糎」 印記「无擬菴」(今泉雄作) (八行。一一丁。奥書「弘長二年九月老後更書寫之訖 三代撰者桑門融覺判」)

A一四六

一册

A一四七

一册

A一四八

一〇册

A一四九

八册

A一五〇

一册

倭哥祕藏録

光淳著

〔江戸中期〕寫 外寸「二三・七×一七・二」〔一行。一九丁。奥書「享保十九寅仲秋十八日 稀齡叟光淳自書」山岸氏識語「天仁遠波祕傳抄即姉小路式也。倭歌祕藏祿卜姉小路式大同而聊有出入」〕

歌道傳授

〔江戸中期〕寫 外寸「二六・七×一八・六」〔（書名は書外題による。一一行。四六丁）〕

手尔於葉抄

〔江戸後期〕寫 外寸「二七・三×一八・四」〔（書名は書外題による。九行。二三丁。表紙に山岸氏識語「姉小路式の抄本也」あり）〕

天仁遠波抄 一卷古今三鳥傳 一卷古今三木之傳 一卷連歌新式追加并新式今案等一卷

寶曆十三年（一七六三）寫 外寸「二六・六×一九・五」〔（書外題「古今三鳥并天仁遠波祕傳抄」 一二行。天仁一六丁三鳥傳二丁三木傳一丁連歌一五丁。「三木之傳」末に識語「寶曆十三癸未歲菊月廿五日於濱陌觀瀾亭下古今庵書藤蘭子英延判」あり）〕

中院内府通茂公口傳

中院内府通茂述 松井幸隆記

明和四年（一七六七）十二月山田榮澄寫 外寸「二二×一三・八」〔印記「渡邊千秋藏書」「渡邊千秋清觀」「深井館藏」（墨書）（一一行。四九丁）〕

傳聞和歌口決 一卷三光院殿添削和歌 一卷

A一五一

一册

A一五二

一册

A一五三

一册

A一五四

一册

A一五五

一册

享保十六年（一七三二）時中菴元啓寫 外寸「横本一三・七×一九・五糎」（一五行。傳聞三二丁三光院六一丁）

## 西行上人談抄

釋蓮阿（尾崎次郎滿良）著

京都 林前和泉掾時元〔江戸前期〕刊 外寸「二二・七×一六・一糎」 「大村新田松永善右衛門」（墨書）〔題簽「西公談抄」單邊。無界。八行。白口。無魚尾。内匡郭「一六・七×一一・七糎」二六丁〕

## 西公談抄

釋蓮阿（尾崎次郎滿良）著

〔江戸後期〕寫 外寸「三三・二×一六・四糎」（二二行。一三丁）

## 袖中抄二十卷

顯昭著

寛政十年（一七九八）金井長懿寫 外寸「三五・三×一七・七糎」 印記「子孫寶土」「正徳」（一六行。一卷二三丁二卷  
一一丁三卷一〇丁四卷一二丁五卷一四丁六卷一二丁七卷一二丁八卷一一丁九卷一四丁一〇卷一二丁一一卷一〇丁  
一二卷一二丁一三卷一五丁一四卷一二丁一五卷一二丁一六卷一五丁一七卷一二丁一八卷一二丁一九卷一二丁二〇卷  
一四丁。金井氏識語「右袖中抄午五月下旬寫始同十月上旬寫終 寛政十午歲十月五日金井長懿七拾四歲書」

## 愚祕抄

〔江戸中期〕寫 外寸「二三・七×一六・九糎」 印記「風□之藏書」（一〇行。四三丁。識語「右之一帖雖不知真偽不慮  
見當之買求之畢 畠山人」）

## 近來風躰

二條良基著

A一五六

一册

A一五七

一册

A一五八

一册

A一五九

五册

A一六〇

一册

A一六一

〔江戸中期〕寫 外寸「二六×一七・四糎」 (八行。二八丁)

## 定家卿讀方集

〔江戸中期〕寫 外寸「二五・八×一八・二糎」 (假綴一〇行。一三丁)

## 野守鏡二卷

〔江戸後期〕寫 外寸「二六・九×一八・九糎」 (二二行。上三三丁下三三丁。山岸氏識語「野守鏡一卷九條家旧藏本也」)

## 萬葉集長哥載短歌字之由事

藤原定家著

〔江戸中期〕寫 外寸「二七・三×二〇・七糎」 (書外題「長哥短調古今相違事」 八行。三四丁。ほかに「宇治山僧撰喜式」三丁「孫姫式」九丁「古今序」三丁あり。奥書「長歌短歌相違之事…寛文四年臘月廿五日」)

## 〔逸題草稿〕

〔江戸中期〕寫 外寸「一九・二×一三・五糎」 (九行。二五丁。識語「元文二年巳九月頓書寫之訖 耄叟光淳」)

## 和哥灌頂抄

〔江戸中期〕寫 外寸「横本一四・六×二二・八糎」 印記「巖松堂古典部波多桮扱斯書」(波多野重太郎) (二一行。二二丁。奥書「右勝房卿以寫本寫之者也 貞享二年四月廿八日宗爲」)

## 古今切紙次第廿三ヶ條

〔江戸後期〕寫 外寸「二〇・一×一三・二糎」 (二二行。一八丁。奥書「天文十年十月十一日 慶永」)

一册

A一六二  
一册

A一六三  
一册

A一六四  
一册

A一六五  
一册

A一六六  
一册

A一六七

和歌眞祕抄一卷倭歌祕藏錄一卷

和內山靜山著 倭坂下淳著

文化六年（一八〇九）一 阿齋寛知寫 外寸「二七・五×一九・二釐」（二〇行。眞祕一八丁祕藏三二丁。識語「于時文化六己已蒼天彌生十有一日 東洞菴一阿齋寛知書ス」附錄「格表現の考察」中西宇一著「姉小路式傳流の諸相」根來司著、五枚（油印）

歌道祕藏錄

享和二年（一八〇二）五月寫 外寸「二四・四×一七・二釐」 印記「无礙菴」（今泉雄作）（假綴。八行。二八丁）

當流會席作法

享保十五年（一七三〇）五月永田信道寫 外寸「二六・五×一八・六釐」 印記「岡田民印」（二〇行。漢字片假名。九丁。貼紙による書き入れあり）

切紙口傳廿三ヶ條

〔江戸後期〕寫 外寸「二〇・九×一四・三釐」（書名は書外題による。七行。二五丁）

和哥諸傳拾誌

〔江戸中期〕寫 外寸「二二・八×一六・二釐」 印記「雲里神寛鑒氏圖書」（書名は書外題による。九行。三二丁。朱點あり）

和歌祕傳抄

一册

A一六八

一册

A一六九

一册

A一七〇

一册

A一七一

一册

A一七二

一册

享保十九年（一七三四）光淳寫 外寸「二七・五×二〇糎」（書名は書外題による。一二行。八丁。識語「右一冊之問答於家最深所祕也」享保十九曆寅孟冬日靜山光淳「山岸氏識語」脱書名故云和歌祕傳抄）

A一七三  
一冊

## 古今序註

寛文十年（一六七〇）四月寫 外寸「二六×一九・四糎」（書名は封面による。九行。一〇丁。朱筆の書き入れあり）

A一七四  
一冊

## 哥道之六義一卷古今和歌集灌頂二卷

〔江戸後期〕寫 外寸「二六・七×二〇・二糎」 印記「思成堂藏書」「調神」「徳重元隆」（墨書）（二〇行。哥道一四丁古今上二二丁下二五丁）

A一七五  
一冊

## 古今御傳受竟宴和哥御會

〔江戸後期〕寫 外寸「二七・五×二〇糎」 印記「正親町藏」（正親町家）（書名は書外題による。假綴。一〇行。三一丁。延享元年五月から寛政九年九月まで入集）

A一七六  
一冊

## 古今切紙次第廿三ヶ條

元祿十二年（一六九九）四月寫 外寸「二一・三×一四・三糎」 〔尾立維孝〕（墨書）（一五行。一四丁）

A一七七  
一冊

## 超大極祕古今内傳授切紙口訣條々

東常縁著 風觀齋平間長雅編

〔江戸中期〕寫 外寸「二三・二×一六・五糎」 印記「桃田國松」（九行。一七丁。奥書「右十八通之切紙如明鏡」延寶九辛酉曆二月十八日風觀齋長雅）

A一七八  
一冊

## 古今傳授

享保十七年（一七三二）寫 外寸「三・二×一九糎」（七行。六九丁。識語「右此祕書高久村八幡宮之神主黒澤佐渡守方より享保十七年壬子三月寫之 此持主村田彦六郎」）

### 古今三ヶ大事一卷和歌灌頂之内大方次第祕密抄一卷

享保十年（一七二五）寫 外寸「三・四×一七・一糎」（九行。古今八丁和歌三七丁。識語「岢享保十年初春上旬書寫畢 源英積」）

### 古今傳受祕歌之註二卷

〔江戸後期〕寫 外寸「三・四×一七糎」 印記「水戸那珂湊富太」（書名は目次首による。八行。上五八丁下四九丁）

### 三木三艸傳

〔江戸中期〕寫 外寸「三・九×一八・三糎」（書名は書外題による。六行。九丁）

### 切帛口傳條々一卷古今集乃内聞書一卷

〔江戸後期〕寫 外寸「四・一×一七糎」 印記「日新堂穂積氏藏書印」（二〇行。切帛三丁半古今一三丁半）

### 古今和謌集相傳抄除祕密勘

〔江戸前期〕寫 外寸「五・九×一八・三糎」 印記「精勤堂」（書外題「古今和歌集相傳抄」 列帖裝。九行。四二枚。朱筆の書き入れあり）

### 和歌三神傳

〔跡部光海〕著

A 一七九  
一冊

A 一八〇  
一冊

A 一八一  
一冊

A 一八二  
一冊

A 一八三  
一冊

A 一八四  
一冊

A 一八五

寛政三年（一七九二）河野氏寫 外寸「二八×一九・四糎」（書外題「古今重書祕傳」假綴。一〇行。二七丁）

和歌七部之抄

承應元年（一六五二）刊 外寸「二六・二×一八・五糎」 印記「水戸征方學校之印」「征方學校之印」「方波見善三義抽」（墨書）（無匡郭。一〇行。詠歌大概、秀歌之體大畧二卷、未來記、雨中吟、三體和歌、小倉山庄色紙和歌抄二卷、結題百首）

A 一八六

八册

井蛙抄六卷

頓阿著  
〔江戸後期〕寫 外寸「二三・七×一六・五糎」 印記「楓菴」「山下藏書」（一二行。一卷一二丁二卷一三丁三卷一二丁四卷二〇丁五卷三丁六卷一八丁。奥書「享祿三季三月十二日：右筆住賢」山岸氏識語「右一卷ハ慶安元年下秋吉日ノ刊本ノ寫本也」）

A 一八七  
一册

井蛙抄六卷

頓阿著  
慶安元年（一六四八）刊 外寸「二七・二×一七糎」 印記「郡内小沼植田」（單邊。無界。九行。白口。無魚尾。内匡郭「二・三×一四・二糎」一卷一九丁二卷一九丁三卷一九丁四卷二三丁五卷五丁（以下闕）六卷三一二丁。末に奥書「享祿三季三月十二日：右筆何賢」とある。卷五末に五丁分、卷六末に一二丁分の補鈔あり。補鈔の識語「安永十年辛丑正月以梅井先生書寫之畢二月四日終業榊原石叟居士」）

A 一八八  
五册

袋草紙四卷

藤原清輔著  
貞享二年（一六八五）刊 外寸「二七・二×一七・五糎」 印記「楠田氏」（單邊。無界。九行。白口。雙線魚尾。内匡郭「一九・五×一四糎」一卷三五丁二卷四四丁三卷五三丁四卷三九丁）

A 一八九  
四册



和歌色葉集三卷

釋上覺著

〔江戸前期〕刊 外寸「二八・七×一八・四糎」 印記「石塚氏藏」 （單邊。無界。一〇行。白口。無魚尾。内匡郭「二八・六×一四糎」 上①三〇丁上②三四丁上③二五丁。中①三二丁中②三一丁中③三六丁。下①三六丁下②四七丁下③三九丁）

奥儀抄三卷

藤原清輔著

京都 上村次郎右衛門 慶安五年（一六五二）五月刊 外寸「二七・七×九・五糎」 （題簽「清輔奥儀抄」 無匡郭。一〇行。上式四〇丁上末二九丁。中二五丁中之中二三丁中之下四三丁。下三五丁下之中二五丁下之下三六丁）

三部抄増註十卷

加藤磐齋著

攝津國山田 田中氏 寛文九年（一六六九）九月刊 關卷第六第七第九 外寸「二七・四×一八・五糎」 印記「本間文庫」 （單邊。無界。一二行。白口。無魚尾。内匡郭「二〇・八×一六糎」 一卷二三丁二卷二八丁三卷二六丁四卷三二丁五卷三二丁八卷四三丁一〇卷三五丁）

八雲抄六卷

順德天皇著

〔江戸前期〕刊 外寸「二七・三×一九・三糎」 印記「納戸藏本」（久留米藩有馬家） （題簽「八雲御抄」 無匡郭。一一行。一卷四五丁二卷四〇丁。三卷上四二丁三卷下四九丁。四卷三八丁五卷四三丁六卷三三丁。表紙に「御國殘」「御納戸」と朱書あり）

八雲抄六卷

A一九〇  
九册

A一九一  
八册

A一九二  
七册

A一九三  
三册

〔江戸前期刊〕後印 外寸「二六・一×一八・三糎」〔無匡郭。一一行。一卷四五丁二卷四〇丁。三卷上四二丁三卷下四九丁。四卷三八丁五卷四三丁六卷三三丁。與A一九三番同版。卷五末に書き入れ「此八雲御抄之内依紛失：延寶五季十月日參議藤原基時」、卷六末に「文永五年秋八月戊辰書写之則：桑門融覺」と墨書あり。山岸氏識語「大正十二年應鍾五妹一週日之夜」

## 八雲口傳

藤原爲家著

〔江戸中期〕寫 外寸「二八・七×二〇・五糎」〔一〇行。二四丁。卷末に「是ヨリ奥略也一牀和歌詞同也」とある。見返に識語「詠歌一體又名八雲口傳」

## 和哥極祕傳抄

〔江戸後期〕寫 外寸「二・八×一六・八糎」〔書名は目次首による。一四行。二四丁半〕

## 和哥八重垣七卷

有賀長伯著

東京 丁子屋忠七等 〔元祿十三年（一七〇〇）序刊〕明治期後印 外寸「一五・六×一〇・八糎」〔單邊。無界。九行。白口。無魚尾。内匡郭「二・七×八・七糎」 一卷四一丁二卷四三丁三卷三六丁四卷二九丁五卷四八丁六卷三六丁七卷三五丁〕

## はしかきふり

建部綾足編

〔江戸〕 本芝二丁目 三河屋半兵衛・室町二丁目 須原屋市兵衛 明和三年（一七六六）七月刊 吸露庵藏板 外寸「一六×一一・五糎」 印記「商號根庵」「記戊」「友山水」〔四周雙邊。無界。七行。内匡郭「二・四×九・一糎」 三九丁〕

A一九四

七册

A一九五

一册

A一九六

一册

A一九七

七册

A一九八

一册

新歌林良材集二卷 原名續歌林良材集

下河邊長流著

浪華 奈良屋長兵衛等 文政元年（一八一八）七月刊 外寸「二八×一二・二糎」 印記「萬部璣印」（單邊。無界。一行。内匡郭「二四・二×九・四糎」 上三五丁下四五丁）

心のたね二卷

萩原廣道（葭沼）著

大坂心齋橋 中川勘助等 「嘉永元年（一八四八）刊」明治期後印 嵩山堂藏 外寸「一八・一×一二・三糎」（見返「詠歌心の種」 單邊。無界。一行。内匡郭「一三・六×九・四糎」 上七七丁下六二丁）

歌辭要解

伴資規（直樹）刪補

東都 須原屋平助等 文化三年（一八〇六）八月刊 外寸「一八・四×一二・三糎」 印記「長澤之印」「上土桐生佐羽文庫」（單邊。無界。八行。内匡郭「一二・七×八・九糎」 上五二丁下五三至九七丁）

能因哥枕

能因著

〔江戸〕 宮城四郎右衛門・植村藤右衛門 元祿九年（一六九六）八月刊 外寸「一六×一一・一糎」 「山中保信所持」（墨書）（無匡郭。八行。六八丁。跋「右此能因哥枕ハ冷泉爲相卿乃以眞筆令書寫畢」）

和歌枕詞補註二卷

尾崎雅嘉著

大阪 青木恆三郎 「〔江戸後期刊〕明治期後印 外寸「一八・二×一二・三糎」（單邊。無界。一二行。内匡郭「二三・九×九・五糎」 上九二丁下九三至一八五丁）

A 一九九

二册

A 二〇〇

二册

A 二〇一

二册

A 二〇二

一册

A 二〇三

二册

## 實踐和歌集五卷

加藤景範〔竹里〕編

浪華 加藤清右衛門等 寛政七年（一七九五）七月刊 外寸「二六×一七・四糎」（題簽「和歌實踐集」）單邊。無界。  
一二行。内匡郭「二〇・一×一三・九糎」 繪入。一卷五二丁二卷五〇丁三卷五四丁四卷二六丁五卷四二丁

## 宇以麻奈備三卷

賀茂眞淵著

京都寺町 梅村三郎兵衛・江戸室町 須原屋市兵衛 天明元年（一七八一）刊 外寸「二七×一八糎」 印記「備慶牀書」「備慶龍籍」「三多」「三田葆光」「玉壺堂藏書印」（單邊。無界。一一行。内匡郭「二・八×一五・四糎」）頭注句點付。上六三丁中五八丁下四三丁

## 歌林良材集二卷

一條兼良著

〔京都〕寺町通圓福寺町 秋田屋平左衛門 〔慶安四年（一六五一）八月刊〕後印 外寸「二七・五×一八・八糎」（單邊。無界。一〇行。内匡郭「三・五×一七・二糎」）上三六丁下四七丁

## 連集良材

〔寛永八年（一六三一）刊〕後印 外寸「二七・八×一八・九糎」（四周雙邊。無界。一二行。上下中黒口。雙魚尾。内匡郭「二一×一六・六糎」）漢字片假名句點付。四四丁

## 歌林雜話集二卷

松永貞徳著

群玉堂 元祿十五年（一七〇二）一月刊 外寸「二五・五×一八・二糎」 印記「成澤氏收藏記」「關場文庫」「忠孝吾家之寶經史吾家之寶關場氏所藏」「耕雨珍藏」（關場忠武）（見返「戴恩記四卷一名歌林雜話集」）單邊。無界。九行。白口。

A二〇四

五册

A二〇五

五册

A二〇六

二册

A二〇七

一册

A二〇八

四册

無魚尾。内匡郭「二〇・四×一五・一糎」句點付。上四八丁下五五丁・

## 古來風躰抄五卷

藤原俊成撰

洛下 田中市左衛門・小崎七左衛門 元祿三年（一六九〇）十二月刊 闕卷第三第四 外寸「二七・一×一八・一糎」  
（無匡郭。一一行。一卷二四丁二卷三三丁五卷三三丁）

A二〇九  
三册

## 歌詞考

小山田與清著 香取菰麿（明之）・阿部正名同校 藤原善一圖

文政九年（一八二六）七月跋刊 外寸「二六・四×一八糎」印記「早川家印」「不求是解」（題簽「松屋叢考歌詞考」單  
邊。無界。七行。内匡郭「一九・八×一四・四糎」二七丁圖五丁）

A二一〇  
一册

## 和歌爲隣抄二卷

釋澄月著

京寺町二条 野田治兵衛等 寛政九年（一七九七）九月刊 垂雲軒藏 外寸「二七・九×一九・三糎」（無匡郭。一〇  
行。上四二丁下三七丁）

A二一一  
二册

## 歌廻大意二卷

長野義言著 堀内廣城校

弘化三年（一八四六）序刊 桃廻舍藏板 外寸「二六・六×一八・一糎」（單邊。無界。一〇行。内匡郭「一九・九×  
一四・三糎」句點付。上三三丁下二二丁）

A二一二  
二册

## ふりわけかみ

小澤蘆庵（玄中）著

京都二條通 吉田四郎右衛門 寛政八年（一七九六）三月刊 外寸「二五・九×一八・五糎」（單邊。無界。八行。内

A二一三  
一册

匡郭「一九・四×一四。三糎」 句點付。三六丁

鳴羽搔三卷

皇都堺町通 橘屋治兵衛 「元祿四年一月刊」天明元年（一七八二）十一月後印 外寸「三・六×一六糎」 印記「大島氏圖書」（大島雅太郎）（題簽「繪入鳴羽搔」 單邊。無界。一〇行。白口。無魚尾。内匡郭「一六・四×一一・九糎」 繪入。上三二丁中三三至七八丁下七九至一〇八丁）

A二二四  
三册

竹園抄

〔藤原爲顯〕著

〔京都〕二条通松屋町 武村市兵衛 寛永二十一年（一六四四）九月刊 外寸「二六・六×一七・四糎」 （書名は目次首による。無匡郭。九行。三三丁）

A二二五  
一册

鶴のはやし

釋湛然編

安政四年（一八五七）十二月序刊 外寸「二六×一八・二糎」 印記「雲露菴藏書印」 （書名は書外題による。無匡郭。一〇行。繪入。一二丁）

A二二六  
一册

さき草

藤井高尙著

京都 蛭子屋市右衛門・浪華 奈良屋長兵衛・河内屋儀助 文化三年（一八〇六）三月刊 外寸「二五・七×一八・二糎」 （單邊。無界。一〇行。内匡郭「二〇・二×一四・六糎」 三四丁）

A二二七  
一册

筆のまよひ

飛鳥井雅親著

〔江戸中期〕寫 外寸「三・二×一六・五糎」 （書名は書外題による。無匡郭。一一行。一七丁。底本「延寶九年六月

A二二八  
一册

得榮堂二口伊豫刊本

筆のまよひ

飛鳥井雅親著

〔大坂〕 深江屋太郎兵衛 元祿三年（二六九〇）一月刊 外寸「二・六×一五・二」〔單邊。無界。一〇行。白口。無魚尾。内匡郭「一六・五×一一・五」 一二〇丁〕

心の種三卷

橘守部著

江戸芝神明前 岡田屋嘉七等 天保九年（一八三八）刊 外寸「三・三×一六」 印記「宇埜氏藏書」「木風子」「熊本市上通二丁目河嶋書店」（無匡郭。一〇行。句點付。第一册上三一丁第二册中三五丁第三册下三一丁。「池庵北畠守部先生著述畧目錄」三丁）

新學異見辨

業合大枝著

文政十二年（一八二九）十二月刊 外寸「二五・八×一八・二」 印記「石川家藏」（無匡郭。一〇行。四八丁。山岸氏識語「本書不甚流布者也」）

又

外寸「二五・七×一八・二」 印記「依平藏書」「柳園書室」（石川依平）（無匡郭。一〇行。四八丁。與A二二一番同版）

新學異見

香川景樹著

嘉永三年（一八五〇）刊 香川氏東塙塾藏 外寸「二五・五×一八・二」 印記「靜簞舍」（無匡郭。九行。句點付。

A二二九

一册

A二二〇

三册

A二二一

一册

A二二三

一册

A二二三

一册

一七丁。奥付に弘所書林として「江戸須原屋茂兵衛から皇都出雲寺文治郎まで」全四書肆名あり。出版書目「京都三條通堺町 出雲寺松栢堂」(半丁)

詠哥眼目

西田直養編

嘉永元年(一八四八)三月刊 西田氏篠廼舍藏板 外寸「二六・七×一八・七糎」 印記「渡邊千秋清観」「渡邊千秋藏書」(無匡郭。八行。一六丁。奥付に弘所として「大坂心齋橋淡路町 今津屋平七」あり)

御國八言口傳抄

安政三年(一八五六) 江戸玉樹齋源千廣寫 外寸「二四×一六・八糎」 印記「玉樹堂源千廣」「白魚」「水三寸」「東京都京橋金六町之住」「京橋東白魚住(今金六丁)高木更村上歸本性」(墨書) (書外題「大御國八言口傳抄」 一二行。五五丁)

比那能歌語

千家尊孫著

天保九年(一八三八)十一月刊 鶴山社中文庫 外寸「二五×一七・八糎」 印記「小林氏藏書」「葦牙舍文庫内」(單邊。無界。一〇行。内匡郭「二・二×一四・六糎」 六六丁。奥付に弘所として「雲州杵築 和泉屋助右衛門・同松江 尼崎喜三右衛門・伯州米子 佐々木屋平八」の三書肆名及び墨格あり)

歌格類選二卷

半井梧庵著

皇都 田中屋治助等 嘉永五年(一八五二)一月刊 外寸「二二・八×一五・八糎」 「安藤藏書」(墨書) (單邊。無界。一〇行。内匡郭「一九×二三・九糎」 上四一丁下四四丁)

耳底記三卷

細川幽齋述 烏丸光廣記

A二二四	一册
A二三五	一册
A二三六	一册
A二二七	二册
A二二八	



〔京都〕 林和泉掾 〔江戸前期〕刊 外寸「二・四×一五・七糎」 印記「越後東方冷泉山長福寺藏書」「冷泉山」「福」  
「東方村井上演暢藏書印」「越後東方邑冷泉山」〔墨書〕（無匡郭。一一行。一卷二二丁二卷二三至五三丁三卷五四至一〇〇丁）

## 徹書記物語二卷

正徹著

〔京都〕 谷岡七左衛門 寛文二年（一六六二）三月刊 外寸「二・七×一五・九糎」 「住貫」〔墨書〕（單邊。無界。  
一〇行。内匡郭「二七・二×一一・五糎」 句點付。上一〇丁下二〇丁）

## 和歌古語深祕抄 存卷下

惠藤一雄編

京都 出雲寺和泉掾 元祿十五年（一七〇二）刊 外寸「二・一×一五・六糎」 「草野涼風」〔墨書〕（書名は書外題によ  
る。無匡郭。一〇行。「八雲二言記」八丁「和調三言集」二二丁「和調用意條々」九丁）

## 鷓鴣抄

〔江戸中期〕寫 外寸「二・六・八×一九・五糎」 印記「聖松軒記」「紅梅文庫」〔前田善子〕（書名は書外題による。一一行。  
「鷓鴣集」二六丁「千五百番歌合九」二丁半「千五百番歌合七」二丁「江州八景」二丁「懷紙披講」二丁「懷紙寸法事」二丁）

## 本末詞解

岩政信比古著

大阪司祭橋通 柏原屋清右衛門等 嘉永三年（一八五〇）三月序刊 外寸「二・六・三×一八・一糎」（單邊。無界。  
一〇行。内匡郭「二〇・四×一五・二糎」 一八丁）

## 和哥雜錄

〔江戸後期〕寫 外寸「二・五×一六・二糎」 印記「館章」（書名は書外題による。一一行。一四丁。識語「本書無題

一册

A 二二九

一册

A 二三〇

一册

A 二三一

一册

A 二三二

一册

A 二二三

号故曰和哥雜錄 秋田之人館氏旧藏本也」

教訓十五箇條一卷詠歌一駄一卷先達加難詞一卷

〔江戸後期〕寫 外寸「横本一四・八×一八・九糎」〔書外題〕哥道教訓十五箇條」 一三行。教訓三丁詠歌二丁半先達六丁半

一册  
A二三四

百首異見五卷

香川景樹著

天保六年（一八三五）刊 香川氏東塙塾藏 外寸「二六×一八・三糎」 印記「大島氏圖書」「大島雅太郎」「篠園」「不求是解」〔單邊。無界。一〇行。内匡郭「二〇・二×一四・六糎」 一卷五〇丁二卷五一丁三卷四五丁四卷五三丁五卷五三丁。〕香川景樹大人著述「半丁。奥付に弘所書林として「江戸須原屋茂兵衛から皇都河南儀兵衛まで」全四書肆名あり

五册  
A二三五

〔愚問賢註〕

〔江戸後期〕寫 外寸「二六・三×一八・六糎」 印記「渡邊藏書」〔書名は書外題（朱書）による。題簽「詠哥見聞書」一〇行。二五丁。朱筆の書き入れあり〕

一册  
A二三六

大ぬさ

中川自休（望南亭）著

皇都 河南儀兵衛等 天保五年（一八三四）刊 外寸「二五・五×一八・一糎」 印記「武田氏藏書」「武田醉霞」「松永謹」〔書名は題簽による。見返「大幣」 無匡郭。九行。句點付。六六丁。〕香川景樹大人著述 皇都書肆河南儀兵衛「半丁

一册  
A二三七

顯昭陳狀

天明三年（一七八三）釋辨成寫 外寸「二六・八×一七・八糎」 印記「繼興藏書」等 （二一行。四九丁。表紙に「類從本同」とある。識語「安永己亥仲夏閱完源元寛 天明癸卯季夏轉寫僧辨成」

一册  
A二三八

愚問賢注六窓鈔五卷

松井幸隆著

洛陽 河南四郎右衛門〔正徳二年（一七二二）月刊〕後印 外寸「二七・五×一八・八糎」 印記「横濱南口西邨文庫」  
「増田文庫」（單邊。無界。一一行。内匡郭「一九・五×一四・三糎」 一卷三〇丁二卷三七丁三卷二六丁四卷二五丁  
五卷二八丁）

A 二三九  
五册

三部抄

寛永十九年（一六四二）八月高如寫 外寸「二六・五×二一・一糎」（書名は書外題による。七至一一行。「詠歌之大概」  
七丁「未來記」柿木貫躬著、三丁「兩中吟十七首」一丁半「百人一首」一〇丁）

A 二四〇  
一册

桐火桶

〔京都〕二条通 仁左衛門 寛永十五年（一六三八）九月刊 外寸「二六・八×一八・八糎」（無匡郭。一〇行。傍訓付。  
四二丁。書き入れあり）

A 二四一  
一册

桐火桶

延寶二年（一六七四）寫 外寸「二七・五×一九・七糎」 印記「紅梅文庫」（前田善子）（九行。三三丁。識語「此本者今  
出川公奥卿以自筆一字不違令書寫所校合也 延寶貳甲寅年卯月上旬書之」）

A 二四二  
一册

詠哥大概三卷秀歌之躰大略三卷

詠藤原定家著 秀壬生忠岑著

〔京都〕 風月庄左衛門尉 寛文八年（一六六八）十月刊 外寸「二五・七×一八・八糎」 印記「三輪文庫」〔東都小日向  
臺遠山瀾閣文庫〕「東豐」（無匡郭。一一行。詠哥一卷一八丁二卷二二丁三卷一八丁。秀歌一卷二二丁二卷一九丁三  
卷二四丁）

A 二四三  
二册

秀歌之躰大略

壬生忠岑著

〔京都〕 風月庄左衛門尉 寛文八年（一六六八）十月刊 外寸「二六・四×一九・一糎」〔西湖月〕（墨書）（無匡郭。一行。與A二四三番秀歌之牀大略同版。山岸氏識語「秀歌之牀大略此本与歌學文庫本有異同」）

A二四四  
一册

石女集髓腦一卷 附和歌八病源帖

〔江戸中期〕寫 外寸「二六・六×一九・一糎」 印記「巖松堂古典部波多埜扱斯書」（波多野重太郎）（二〇行。三七丁 附七丁）

A二四五  
一册

祕哥百首

〔江戸中期〕寫 外寸「二七・二×一九・五糎」 印記「石橋」〔書外題「祕歌別歌」 一〇行。六〇丁）

A二四六  
一册

深祕口傳集二卷

〔江戸中期〕寫 外寸「二七・二×一九糎」 印記「櫻井氏圖書記」〔此主原村鶴田勘三郎如茂〕（墨書）（一〇行。上卷 三六丁下卷四七丁。山岸氏識語「深祕口伝集二册石見女髓腦同書也石見女髓腦坊間希有之言痛髓腦也本書誤附上下 矣」）

A二四七  
二册

和哥深祕抄

堯憲著

〔江戸後期〕寫 外寸「二七・七×二〇・七糎」 印記「林氏之印」等（大和綴。一〇行。一九丁。朱點・書き入れあり）

A二四八  
一册

和歌祕事

〔江戸中期〕寫 外寸「二七・三×二〇・三糎」〔書名は書外題による。九行。漢字片假名。三七丁。朱筆の書き入れあり）

A二四九  
一册

天仁葉祕傳抄一卷八代集てにをは一巻

〔江戸後期〕寫 外寸「二六・八×一九・二」〔二一行。天仁三丁八代一三丁〕

古風三昧考

近藤(田中)芳樹著

天保八年(一八三七)七月刊 外寸「二五・八×一八・二」〔「竹浦樓文庫藏本」(墨書) (單邊。無界。八行。内匡郭「一九・二×一四・二」 訓點句點付。四一丁。奥付に製本所として「大坂西横堀淡路町 長門屋新兵衛」賣弘所として「同心齋橋筋安土町角 河内屋儀助」あり〕

古風三昧考

近藤(田中)芳樹著

〔天保八年(一八三七)刊〕後印 闕丁第一丁 外寸「二七×一九」〔單邊。無界。八行。内匡郭「一九・二×一四・二」 訓點句點付。四一丁。與A二五一番同版。但し小竹散人・穗井田忠の序文闕。朱筆の書き入れあり〕

中院前内府通茂公口傳二卷

中院通茂著

〔江戸中期〕寫 外寸「二四・九×一八・八」〔書外題「中院聞書抄」 一三行。上三丁下三〇丁。奥書「右一冊者六窓軒幸隆依爲中院家門人多年之祕訣記之書也本書之雜說等令省畧寫之畢穴賢 享保二年十月連阿(花押)」〕

清輔集

文化二年(一八〇五)八月藤原演徴寫 外寸「二三・六×一七」 印記「琴松館」等 (一〇行。四五丁。藤原氏識語「此清輔集一冊者入江春房四代之孫入江春朝之以書令書寫焉 文化二乙丑巳南呂日琴案亭演徴印」)

源三位頼政家集二卷

A二五〇  
一冊

A二五一  
一冊

A二五二  
一冊

A二五三  
二冊

A二五四  
一冊

源頼政著

〔江戸中期〕寫 外寸「二・三×一六・四糎」 印記「ほし野長よしの家藏」 （八行。上七一丁下八一丁。見返に朱筆識語「頼政家集」一卷云云）あり。識語「以他本令校合落字謬未書加畢」「文政八年乙酉春三月」 朱筆の書き入れあり

源三位頼政家集二卷

源頼政著

〔京都〕 林和泉掾 寛文元年（一六六二）十二月刊 外寸「二・七×一六糎」 印記「楠田之印」 （單邊。無界。一一行。白口。無魚尾。内匡郭「二・八×一一・五糎」 上三五丁下三九丁）

源三位頼政家集二卷

源頼政著

〔京都〕 林和泉掾 寛文元年（一六六二）刊 外寸「二・五・一×一六・八糎」 （單邊。無界。一一行。白口。無魚尾。内匡郭「二・八×一一・五糎」 與A二五六番同版。但し刷狀態良）

和漢名所詩謡合

九條基家詠

〔江戸前期〕寫 外寸「二・六・四×一九・四糎」 （書名は目次首による。一二行。一五丁。山岸氏識語「和漢名所詩歌合」 一卷九條家舊藏本也囑于松雲堂繕修者也）

廣田社歌合 承安二年十二月八日道岡入道勸進之

藤原公通等詠 藤原俊成判

〔江戸中期〕寫 外寸「二・七・五×一九・五糎」 印記「鳥安」「滋岡庫」 （一二三行。三四丁）

六百番陳狀

顯昭選

A二五五  
一册

A二五六  
二册

A二五七  
二册

A二五八  
一册

A二五九  
一册

A二六〇

昭和三年（一九二八）寫 外寸「一九・八×一四糎」（八行。六六丁。山岸氏識語「昭和龍集戊辰三月下浣以圖書寮本書寫者也」）

## 老若五十首哥合

後鳥羽天皇等詠

〔江戸後期〕寫 外寸「二六・七×一九・四糎」 印記「閑雅文庫」（佐竹義路等）（書名は目次首による。一四行。四五丁）

## 蟲歌合一卷十五番歌合一卷

蟲木下勝俊（長嘯子）著 十判者藪本墓

安政二年（一八五五）源久由寫 外寸「二六・三×一八・八糎」 印記「松門文庫所藏」「江馬藏書」（書外題「長嘯子蟲歌合」一〇行。蟲四丁十五番一〇丁。識語「安政二梅蒙單閑年皐月上詠源久由模寫」）

## 消息合

明治十四年（一八八二）二月根岸松維寫 外寸「二四×一六・四糎」（一〇行。一二丁。四周雙邊有界の印刷野紙使用。朱筆の句點あり）

## 百人一首抄

細川幽齋著

〔江戸後期〕寫 外寸「二七・一×一九・二糎」（八行。上冊一二丁下冊一二丁）

## 百首和歌寄書

三條西實枝點

〔江戸前期〕寫 外寸「二八・一×二二・二糎」 印記「渡邊千秋藏書」「金花堂記」「金花園」（若山滋固等）（八行。二六丁。識語「此一卷金聲玉音忽如登李杜壇劉氏批語頗效顰者乎致仕野叟實澄」）

一冊

A二六一

一冊

A二六二

一冊

A二六三

一冊

A二六四

二冊

A二六五

一冊

## 拾遺愚草抄出聞書

東常縁著

〔江戸後期〕寫 外寸「横本一三・六×一八・六糎」 印記「万里小路睦子」 （書外題「拾遺愚草抄」 一七行。一四一丁。奥書「此一册者以細川玄旨法印自筆之本倩筆舌遂書写校合畢塗可祕函底者也 寛文三天呂上澣法橋牛庵隨世」 末尾に識語あり）

A二六六  
一册

## 長穂詠藻二卷

藤原俊成詠

元祿十年（一六九七）一月吉田光玄寫 外寸「二七・四×一九・三糎」 印記「中尾藏書」 （一〇行。上三六丁半下四五丁。識語「右一帖或好士隆爲祕藏：元祿第十丁丑曆孟春中二時軒吉田光玄（花押）」 書き入れあり）

A二六七  
一册

## 後水尾院御集

後水尾院詠

〔江戸中期〕寫 外寸「二七・六×二一・一糎」 印記「滋岡庫」 （二一行。五十七丁。見返に識語「此寫本至而初心の人のかきたるなるへし正本をえて校合すへきもの也誤と見ゆるも暫其まゝにさしをくもの也」（朱書）あり）

A二六八①  
一册

## 後水尾院法王和歌御集脱漏一卷

後水尾院詠

天明四年（一七八四）寫 外寸「二七・六×一九・七糎」 （二一行。四一丁。識語「右後水尾院帝和哥御集外脱漏□□□世恭借而書寫爾 天明四甲辰年九月下浣達觀齋七十叟」）

A二六八②  
一册

## 詠千首和歌

花山院長親（耕雲）詠

〔江戸前期〕寫 外寸「三三×一八糎」 （書外題「耕雲千首」 二一行。九一丁。山岸氏識語「耕雲千首一卷三條西家舊

A二六九  
一册



藏本也與同家舊藏能因本枕草子同頃書寫坎文祿頃書寫云云」

配所殘筆

山鹿高祐(素行)著

〔江戸初期〕寫 外寸「二六・六×一八・七糎」(書名は書外題による。假綴。八行。三四丁。卷末に「延寶三卯正月十一日山鹿甚五右衛門(花押)」とある)

草庵和歌集類題六卷

蜂谷(二口)又玄編

洛陽二條 武村伊兵衛・武村新兵衛 元祿八年(一六九五)九月刊 外寸「一七・五×一二・二糎」 印記「吉氏」「吉貝氏藏書記」(題簽「元祿版草庵和歌集」 單邊。無界。一二行。白口。無魚尾。内匡郭「一四・三×九・八糎」 春二〇丁夏一二丁秋一八丁冬一四丁戀一七丁雜五七丁)

催馬樂注祕抄

一條兼良著

〔江戸中期〕寫 外寸「三二・七×一六・四糎」 印記「齋藤文庫」(齋藤雀志「役流和明院藏」(一〇行。三一丁。山岸氏識語「催馬樂注祕抄」卷 雪中菴雀志之藏中由 雀志俳人也)

山家集類題二卷

釋西行詠 松本柳齋編

大坂心齋橋通南久寶寺町 伊丹屋善兵衛等 〔文化九年(一八二二)三月序刊〕後印 外寸「二八・一×一二・二糎」 印記「奥瀬芥壽」(單邊。無界。一一行。内匡郭「一五・一×一〇・四糎」 上六八丁下四二丁)

詠百首

中院通茂詠

A二七〇

一册

A二七一

一册

A二七二

一册

A二七三

一册

A二七四

〔江戸後期〕寫 外寸「二六・九×一八・八糎」〔書外題〕給題百首 一〇行。一二丁

新古今七十二首祕歌口訣

平間長雅編

〔江戸後期〕寫 外寸「二七・六×一九・七糎」 印記「笠間文庫」「牧野藏書」〔藏書票〕（一二行。五三丁。識語「右新古今七十二首祕訣口傳一卷者大藏卿二位法印玄旨翁…令附與之詔如誓盟可被珍重之者也 度會常典（花押）朝倉唯慈 丈」）

短歌撰格二卷

橘守部著

東京 橘道守 明治十八年（一八八五）七月刊 外寸「二六・二×一八・三糎」（單邊。無界。一〇行。内匡郭「二〇・八×一五糎」 上卷三三丁下卷三三丁。奥付に發兌書林として「東京須原屋茂兵衛から淺倉屋久兵衛まで」全四書肆名あり。〔椎本文庫藏版書目 橘道守謹白「二丁」）

中院前内府通茂公口傳

〔江戸中期〕寫 外寸「一五・一×一八・三糎」〔書外題〕中院家聞書 一〇行。七〇丁。奥書「右一冊者六窓軒幸隆依爲中院家門人多年之祕訣記之書也本書之雜說等令省略寫之畢穴賢 享保二年十月連阿（花押）」

言塵集七卷

今川了俊著

〔江戸〕 野田弥兵衛 〔承應三年刊〕寛文四年（一六六四）三月後印 外寸「二七・五×一八・八糎」（單邊。無界。一〇行。白口。内匡郭「二〇・一×一四・八糎」 一卷一二丁二卷三八丁三卷二七丁四卷三九丁五卷三八丁六卷一七丁七卷二六丁）

百人一首抄三卷附百人一首作者部類

一冊

A二七五

一冊

A二七六

二冊

A二七七

一冊

A二七八

二冊

細川幽齋注 加藤盤齋增補

〔京都〕 栢屋九郎左衛門 寛文二年（一六六二）刊 外寸「二六・七×一七・三糎」（單邊。無界。一二行。白口。無魚尾。  
内匡郭「二・四×一五・四糎」 句點頭注付。上三七丁中三五丁下二九丁半附二丁半）

## 詠五十首和歌

後鳥羽院天皇等詠

享保元年（一七一六）十一月寫 外寸「二七・五×一八・八糎」 印記「實因之章」「實阪之章」「眞珠廻屋」「美濃山田保之  
之記」「飯田忠國藏」（墨書）（書外題「院句題五十首和歌」 一〇行。二〇丁。奥書「右五十首句題三百五十首和哥  
附春三十一葉…侘日以正本應令校正而已 享保元年十月念一日」）

## 中院御百首

土御門天皇詠 藤原定家・藤原家隆點

寶曆三年（一七五三）寫十月平清慶 外寸「三三・四×一六・七糎」（七行。二〇丁。朱筆の合點あり）

## 曾禰好忠家集

曾禰好忠著 安田躬弦等校

文化十三年（一八一六）序刊 外寸「二七・三×一八・三糎」 印記「靜幽堂」「石田の文庫」（書外題「標注曾丹集校正  
本」單邊。無界。一〇行。内匡郭「二・四×一五・三糎」 頭注付。四二丁。弘化二年の朱筆書き入れあり）

## 歌合三種

寛文五年（一六六五）九月寫 外寸「二六・九×一九・七糎」 印記「高橋藏書」（笠亭仙果）「秋葉義之印」「下總崎房秋葉  
孫兵衛藏書」（秋葉義之）（書名は書外題による。一〇行。「歌合 貞永元年八月十五日夜」「三三丁」「北野宮歌合 元  
久元年一〇月十一日當座」六丁「内裏歌合 建仁三年閏九月十九日」八丁半「俊成卿九十賀記」七丁半。識語「寛文五之  
曆九月廿一日令書寫終…」）

A二七九

一册

A二八〇

一册

A二八一

一册

A二八二

一册

A二八三

一册

井蛙抄六卷

頼阿著

慶安元年（一六四八）刊 外寸「二五・七×一七・三」 〔單邊。無界。九行。白口。無魚尾。内匡郭「二・四×一四・三」 傍訓付。一卷一九丁二卷一九丁三卷一九丁四卷二三丁五卷五丁六卷三〇丁〕

A二八四  
五册

團扇百人一首

大坂 絲屋市兵衛 〔江戸後期〕刊 外寸「三・八×一六・九」 〔「大津岡田安役」〔墨書〕（書名は版心による。單邊。無界。白口。無魚尾。内匡郭「一・八・九×一三・六」 繪入。二五丁）

A二八五  
一册

武家百人一首一卷後撰武家百人一首一卷勅撰集外歌仙一卷

榊原（松平）忠次編

天保六年（一八三五）五月寫 外寸「四×一六・六」 〔九行。武家一九丁後撰二〇丁勅撰四丁。識語「此一册子麻布末廣稻荷社務中村日向光枝貧依被申天保六年五月二日寫置所也 刈谷藩山定基⑩」〕

A二八六  
一册

武家百人撰

榊原（松平）忠次編 菱川師宣畫

〔京都〕 谷岡七左衛門 寛文六年（一六六六）十月刊 外寸「二六・二×一九」 印記「英王堂藏書」（チェンバレン） 〔青谿書屋〕（大島雅太郎） 〔單邊。無界。白口。無魚尾。内匡郭「二・五×一六」 繪入。五〇丁〕

A二八七  
一册

世中百首繪鈔

荒木田守武著 講古堂主人注 川島重信畫

天保六年（一八三五）九月序刊 外寸「二六・二×一七・五」 〔書名は序文首による。單邊。無界。小字一九行。内匡郭「一九・一×一四・四」 頭注付。五一丁〕

A二八八  
一册

嗟峨のしをり 埸古川君純忠之碑

古川松根編 附久米邦武撰

〔明治期〕寫 外寸「三・八×一六糎」 （書名は書外題による。八行。八八丁附三丁。藍筆の書き入れあり）

百人一首師說抄二卷

釋祐海著

〔江戸後期〕寫 外寸「二七・三×一九・二糎」 （書名は書外題による。一〇行。頭注付。上六一丁下五七丁。奥書「延享第三寅夏論法花科注之暇始五月十日書之而終同十五日功訖 沙門道祇（花押）」 朱筆の書き入れあり）

百人一首拾穗抄四卷

北村季吟著

皇都寺町通 勝村治右衛門・江戸 須原屋茂兵衛 寛政六年（一七九四）三月再刻 外寸「二六・四×一八・九糎」  
〔單邊。無界。一二行。内匡郭「三・二×一六・八糎」 句點傍訓付。春三〇丁夏二六丁秋三二丁冬二〇丁）

順徳院百首御製一卷土御門院御製百首一卷

順徳院詠 土土御門院詠

元文四年（一七二九）五月高柳蒼山寫 外寸「二〇・四×一四・八糎」 （書外題「兩院百首御製」 六行。順徳二一丁土御門二〇丁。識語「元文四己未曆五月朔旦 梅林軒高柳蒼山翁」）

寶治百首一卷弘長百首一卷嘉元百首一卷

〔江戸後期〕寫 外寸「横本一六×二三・八糎」 印記「三條西」（書外題「寶治弘長嘉元百首和歌」 寶治二〇丁弘長一九丁嘉元一四丁）

五十首和歌

〔江戸後期〕寫 外寸「二六・五×一九・二糎」 （書名は目次首による。書外題「光臺院五十首」 一一行。五三丁）

A二八九

一册

A二九〇

二册

A二九一

四册

A二九二

一册

A二九三

一册

A二九四

一册

詠五十首和歌 明應八年十一月廿日御製

後土御門院詠 藤原實隆點

〔江戸中期〕寫 外寸「二七・七×二〇・三糎」 印記「渡邊千秋藏書」「金花園」〔若山滋固〕（書外題「後土御門院五十首」 一一行。三〇丁。山岸氏識語「詠五十首和歌實隆點也」）

A二九五  
一册

百人一首一夕話九卷

尾崎雅嘉著 大石眞虎圖

浪華 敦賀屋九兵衛 天保四年（一八三三）刊 外寸「二五・五×一八糎」（書名は目次首による。單邊。無界。一二行。内匡郭「一九・九×一五・三糎」 繪入。一卷五丁二卷五四丁三卷五五丁四卷五四丁五卷五五丁六卷四七丁七卷五三丁八卷五三丁九卷五七丁。奥付に發行書林として「京都勝村治右衛門から藝州米屋兵助まで」全一三書肆名あり）

A二九七  
九册

藤川百首三卷

藤原定家詠

京師三條通竹屋町 出雲寺和泉掾 正徳三年（一七一三）刊 外寸「二・四×一五・五糎」 印記「赤松刊所蓬萊館」〔題簽「定家難題藤河百首鈔」 單邊。無界。一二行。内匡郭「二七・六×一二・七糎」 上卷一九丁中卷二〇至三五丁下卷三六至五六丁〕

A二九八  
三册

上海繁昌記三卷

〔清〕葛元煦著 （日本）藤原堂良駿（蘇亭主人）訓點

東京 稻田佐吉 明治十一年（一八七八）刊 外寸「一八・二×一一・六糎」（四周雙邊。有界。八行一七字。内匡郭「一二・四×八・六糎」 句點訓點圈點付。繪入。一卷二九丁二卷四二丁三卷四〇丁）

A二九九①  
三册

仙洞三十六番調合一卷薩摩守忠度百首一卷爲兼卿於佐渡詠調一卷

藤平忠度詠 爲京極爲兼詠

〔江戸中期〕寫 外寸「二二・九×一六・三糎」 印記「由比氏」「琴松館」「由比演徴」(墨書) (書外題「忠度百首」一〇行。仙洞一六丁薩摩一二丁爲兼二丁)

堀河院類聚百首鈔六卷

藤原公實等詠 釋慈延(大愚・吐屑庵)註  
寛政十二年(一八〇〇)序刊 外寸「二六・五×一八・三糎」 (無匡郭。一〇行。一卷上二八丁一卷下四〇丁二卷上二二丁二卷下二九丁三卷上三六丁三卷下三〇丁四卷上二二丁四卷下三二丁五卷四二丁六卷三八丁)

堀川院百首和哥三卷

藤原公實等撰 一雲堂大居士校  
〔京都〕 出雲寺和泉掾 (慶安三年(一六五〇)四月跋刊)後印 外寸「二七・一×一九糎」 印記「渡邊氏」 (書外題「堀川院太郎百首」 單邊。無界。一〇行。白口。無魚尾。内匡郭「二・二×一五・八糎」 上二六丁中二七丁下二五丁。識語「甲寅年文庫焼亡之後時々如是等書卷收納而已及十餘卷所謂幸甚 本所愚夫桂院」 書き入れあり)

中務親王三百首和歌

宗尊親王撰  
〔江戸中期〕寫 外寸「二七・七×二〇・三糎」 (書外題「宗尊親王三百首」 一二行。一七丁。奥書「此一册以仙洞御本令書寫加校合者也元和元年臘月廿八日李部王」 山岸氏識語「冷泉家舊藏本也」)

詠百首和歌

三條西實隆撰  
〔江戸中期〕寫 外寸「二七・五×二〇・二糎」 (書外題「逍遙院百首句題」 假綴。一二行。九丁)

百首和歌 永久四年十一月廿日

A二九九②

一册

A三〇〇

一〇册

A三〇一

一册

A三〇二

一册

A三〇三

一册

藤原仲實等撰

〔江戸後期〕寫 外寸「三・六×一六・三糎」(書名は目次首による。一〇行。二四丁。山岸氏識語「類聚本百六十八所収次郎百首 昭和廿一年九月卅日」)

A三〇四  
一册

遠嶋百首一卷兩卿哥合五十番一卷

遠後鳥羽院撰 兩藤原定家・藤原家隆撰

〔江戸中期〕寫 外寸「三・九×一八・九糎」(一一行。遠嶋二〇丁兩卿二丁。山岸氏識語「後鳥羽院百首續類聚三八六」)

A三〇五  
一册

讀百首和歌一卷讀三十首和調一卷詠法華經序品和歌一卷崇徳院御影堂同詠二首和歌一卷詠三十首和歌一卷詠三十首和歌兩吟一卷

〔江戸後期〕寫 外寸「二・七・四×二〇・八糎」(書外題「崇徳院法樂百首和歌」一二行。讀百首八丁半讀三十首一〇丁半詠法華經七丁崇徳院二丁半詠三十首七丁半兩吟九丁。奥書「崇徳帝聖忌六百回之秋爲奉納：寶曆十三癸未年夏民部卿藤原爲村上」)

A三〇六  
一册

名所三百首

順徳院・藤原定家・藤原家隆撰

〔江戸後期〕寫 外寸「二・六・九×一八・二糎」(二〇行。二二丁。朱筆の書き入れあり)

A三〇七  
一册

土御門院百首御製

土御門院撰

〔江戸後期〕寫 外寸「二・六・九×一八糎」(七行。一八丁。朱筆の合點あり)

A三〇八  
一册

内裏百首御續哥續百首和歌一卷詠百首和歌一卷僻案愚點四十二首一卷續百首和歌一卷



内後土御門天皇等撰、榮雅編 續親王雅親等撰、堯孝編

〔江戸後期〕寫 外寸「二四・九×一八・四糎」 印記「渡邊千秋清觀」「渡邊千秋藏書」 (書外題「續百首和歌 文安三年」 二三行。内裏八丁詠百首八丁半僻案一三丁續百首九丁)

## 百首

釋澤庵宗彭撰

嘉永六年(一八五三)磯野直榮寫 外寸「二七・四×二〇糎」 (一〇行。二三丁半)

## 貫之集類題二卷

紀貫之撰 鈴木信成編

江戸下谷御成道 英屋文藏 弘化二年(一八四五)刊 外寸「一七・八×一二糎」 印記「大口直昌」「おほくち」 (無匡郭。七行。上四三丁下四四至七九丁。〔東叡山御用御書物所 江戸下谷御成道 星雲堂英文藏製「二丁」

## 赤染衛門集

赤染衛門撰

〔江戸後期〕寫 外寸「二〇・七×一四・八糎」 印記「紅梅文庫」(前田善子) (一〇行。一三三丁)

## 赤染衛門集 存卷二至卷四

赤染衛門撰

武陽 松葉清兵衛 貞享五年(一六八八)九月刊 外寸「二八・五×一六・一糎」 (無匡郭。八行。二卷三九丁三卷四三丁四卷三七丁)

## 式子内親王家集

式子内親王撰

〔元祿六年(一六九三)九月序〕刊 外寸「三二・六×一六・三糎」 (單邊。無界。一二行。白口。線魚尾。内匡郭「一八

A三〇九

一册

A三一〇

一册

A三一

二册

A三二

一册

A三三

三册

A三四

一册

×「三・三・三」 一九丁

小野小町家集二卷

小野小町撰

〔江戸後期〕刊 外寸「三・八×一六・二」 印記「紅梅文庫」〔前田善子〕「連綿」 〔無匡郭。八行。繪入。上二四丁下二三丁〕

藤原隆信朝臣集二卷

藤原隆信著 塙保巳一校

〔江戸末〕刊 外寸「二五・七×一七・七」 印記「物集文庫」〔物集高見〕 〔群書類從卷第二百五十八和歌部百十三家集三十一。無匡郭。一〇行。上六一丁下七一丁〕

式部史生秋篠月清集四卷

藤原良經撰

〔江戸中期〕寫 外寸「一一・二×一三・二」 印記「三澤氏藏書記」〔小林文庫〕 〔二一行。一卷三二丁二卷二七丁三卷二八丁四卷二五丁。朱筆の書き入れあり〕

式部史生秋篠月清集 存卷第一第二

藤原良經撰

〔江戸後期〕寫 外寸「二六・七×一九・七」 印記「少府圖書」 〔二二行。一卷二七丁半二卷三三丁半。識語「此一小冊者後京極殿集也家弟淨桂諱忠佐淨刹專修之晦詠和歌故謄寫之就記之以畢嫡孫」〕

拾遺愚草三卷

藤原定家編

寶永七年（七一〇）寫 關卷中 外寸「二八・七×二〇・五」 〔二二行。上八二丁半下六八丁。上卷末に識語「寶永

A三二五

一冊

A三二六

一冊

A三二七

一冊

A三二八

一冊

A三二九

二冊

七寅十二月寫授合畢)

爲兼集一卷爲兼卿家集補遺一卷

藤原爲兼撰

江戸 萬笈堂英遵藏 「元祿六年(一六九三)刊」後印本 外寸「三・三×一六・一」 印記「滋岡庫」(單邊。無界。一〇行。白口。無魚尾。内匡郭「二・七・八×一・二・三」) 上二七丁下二八至四五丁。附「藤爲兼卿傳」北川眞顔著、一〇丁。「和書部 萬笈堂英遵藏板目錄」一二丁)

A三二〇  
二册

黄葉和歌集五卷

藤原光廣撰

京師寺町通 中井平治郎・二條通 吉田四郎右衛門 寛保三年(一七四三)一月刊 外寸「二・六×一六・二」 印記「環翠」柳島「大エタケン物藏シヨ」(無匡郭。一三行。一卷二六丁二卷二七丁三卷二四丁四卷二〇丁五卷三四丁。附「光廣卿傳」特進資慶著、四丁半)

A三二一  
五册

歌集 承久元至弘長二年一卷爲家集一卷

藤原爲家撰

「江戸末」寫 外寸「二・四・七×一七・八」 印記「鷹司城南館圖書印」(鷹司家「渡邊千秋藏書」金花園)(若山滋固)(書名は書外題による。一一行。歌集七〇丁爲家集二〇丁。歌集の末に識語「禁中以御本書寫校合畢」あり。山岸氏識語あり。朱點あり)

A三二二  
一册

爲家集八卷

藤原爲家撰

京都三條通升屋町 出雲寺和泉掾 元祿七年(一六九四)刊 外寸「二・六×一六・一」 印記「筑前甘木高元」(單邊。無界。一〇行。白口。無魚尾。内匡郭「一・七・六×一・二・六」) 一卷二六丁二卷一五丁三卷三〇丁四卷一五丁五卷二二丁六卷二二丁七卷二九丁八卷三二丁)

A三二三  
八册

済継集 存卷上

姉小路済繼著

〔明治期〕寫 外寸「二八・一×二〇・二糎」(假綴。一一行。五六丁)

沙彌元可家集

藤原公義(藥師寺次郎左衛門)撰

嘉永二年(一八四九)寫 外寸「二七・三×一八・八糎」 印記「松乃之多庵印」「道本」「不許出門縁山西谷聽松庵藏本」  
(藏書票) (一二行。二二丁。識語「藤原彦磨氏筆の本をこひて写させたり ときに嘉永の二年春乃初めつかた 松のした庵」 朱筆の書き入れあり)

平忠盛朝臣集一卷信實朝臣家集一卷

平平忠盛著 信藤原信實詠

〔江戸末〕寫 外寸「二五・九×一八・七糎」(一〇行。忠盛五丁信實二〇丁。朱筆の書き入れあり)

林下集二卷

藤原實定撰

〔江戸後期〕刊 外寸「二五・四×一八糎」(二一行。頭注付。上一八丁下一九至四九丁。山岸氏識語「林下集二册合爲一册徳大寺實定卿家集也」等。朱筆の書き入れあり)

土御門院御百首 定家卿朱點九十二首家隆卿黑點九十八首

土御門院撰

〔江戸後期〕寫 外寸「一九・三×一三・二糎」(九行。一九丁)

後鳥羽院御集

後鳥羽天皇撰

A三二四

一册

A三二五

一册

A三二六

一册

A三二七

二册(合綴一册)

A三二八

一册

A三二九

〔江戸中期〕寫 外寸「二七・七×二一・七糎」 印記「農翠私亭家藏」 （書名は表紙による。一一行。一〇九丁。見返に墨書「正治二年八月御百首人々多詠」あり）

## 清愼公家集

藤原實賴撰

〔江戸後期〕寫 外寸「二七・三×一九糎」 （二一行。一九丁。山岸氏識語「四條大納言公任卿祖父」）

## 曾禰好忠家集

曾禰好忠撰 安田躬弦等校

〔江戸〕 〔萬笈堂英遵〕 文化十二年（一八一五）序刊 外寸「二七・八×一八・七糎」 印記「尾張上田帶刀之記」（上田仲敏）「光風齋月書屋」（單邊。無界。一〇行。内匡郭「二・三×一五・三糎」 頭注付。四二丁。「和書部 萬笈堂英遵藏板目錄」八丁）

## 曾禰好忠家集

曾禰好忠撰

〔江戸後期〕寫 外寸「二五・五×一八・五糎」 印記「紅梅文庫」（前田善子） （二一行。四一丁。書き入れあり）

## 曾禰好忠家集二卷

曾禰好忠撰

浪華 岡野安兵衛 寶永元年（一七〇四）刊 闕卷上 外寸「二六・六×一八・四糎」 印記「荒唐齋」（書名は題簽による。無匡郭。二一行。一九丁）

## 冷泉爲廣集二卷

冷泉爲廣撰

〔江戸後期〕寫 外寸「二七・五×一九・八糎」 印記「渡邊千秋藏書」（九行。上五七丁下六三丁）

一册

A三三〇

一册

A三三二

一册

A三三二

一册

A三三三

一册

A三三四

二册

六條修理大夫顕季集一卷左京大夫顕輔集一卷

六藤原顯季撰 左藤原顯輔撰

〔江戸中期〕寫 外寸「二七・四×一八・二厘」 印記「松濤園藏書」「小諸文庫」「小諸藩牧野家」等（二三行。六條二六丁左京一三丁。朱筆の句點・書き入れあり）

A三三五

一册

大井河行幸和歌考證

井上文雄著

文政三年（八一〇）一月序刊 外寸「二六・五×一八・二厘」 〔内舎人穂積臣採陽廬〕〔墨書〕（單邊。無界。一二行。内匡郭「三・四×一五・二厘」 頭注付。一二丁）

A三三六

一册

兼好法師集

吉田兼好撰

〔江戸後期〕寫 外寸「二九・二×二〇厘」 印記「三條西（三條西家）（一二行。二二六丁。山岸氏識語「三條西家舊藏本也戦後散佚者也」）

A三三七

一册

慕景集一卷花月百首一卷元可集一卷

慕太田持資（道灌）撰 花藤原良經撰 元薬師寺公義撰

嘉永五年（一八五二）九月守川捨魚寫 外寸「二四×一六・四厘」 印記「晚翠樓圖書記」（卷頭「慕京集」 一二行。慕景七丁花月百首五丁元可二五丁。守川氏識語「慕景集花月百首元可集合册主人松平乗通之本借用繕寫誤謬頗多矣重而獲善本可加校讐者乎 嘉永五年壬子九月朔日玉清堂主人守川捨魚」）

A三三八

一册

藤葉和歌集六卷

小倉實教撰

〔江戸中期〕寫 外寸「二七・二×一八・五厘」 印記「金花園（若山滋固）」「渡邊千秋藏書」「奂齋」「烏髯」「燈青」等

A三三九

一册

(一〇行。一卷一二丁半二卷一二丁三卷一五丁四卷一〇丁半五卷一六丁六卷一三丁)

## 藤葉和歌集六卷

小倉實教撰

〔江戸中期〕寫 外寸「二七・八×二〇・三厘」(假綴。一三行。一卷九丁二卷八丁三卷一二丁四卷八丁五卷一二丁六卷一〇丁)

## 文明易然集一卷文明詩歌合一卷爲景詩集一卷

易後柏原天皇等撰 詩後土御門天皇等撰 爲冷泉爲景作

〔江戸前期〕寫 外寸「二七×一九・八厘」 印記「子孫永保雲煙家藏書記」(安西雲煙) (八至一〇行。易然四丁半詩歌八丁爲景一四丁半。奥書「右百篇詩哥去臆親書以奉納寶庫而今再記志趣於卷端：慶安二年己丑二月廿五日從四位上行□近衛權中將藤原朝臣爲景敬白」 山岸氏識語「爲景惺窩先生子息而爲景詩集有焉」 朱筆の書き入れあり

## 新撰和歌集五卷

紀貫之撰

〔江戸後期〕寫 外寸「三・七×一六・一厘」 印記「錦水亭」「堅固艸庵」 (一〇行。一卷一二丁二卷四丁三卷三丁四卷三丁五卷一四丁。鉛筆の書き入れあり)

## 新玉葉和歌集二卷

〔江戸後期〕寫 外寸「二四・四×一七・三厘」 印記「西莊文庫」(小津桂窓) (二一行。上四五丁下八九丁。南紀後學癡頑居士の跋文あり。朱筆の書き入れあり)

詠歌大概一卷秀歌之體大畧一卷百人一首一卷自讃歌一卷和哥三十躰一卷和歌九品一卷三十六人集一卷

A三四〇

一册

A三四一

一册

A三四二

一册

A三四三

二册

詠藤原定家著 秀藤原定家著 九藤原公任撰

〔江戸後期〕寫 外寸「三・一×一七・一糎」〔森嶋祝〕〔墨書〕（表紙に墨書「七部集」）五行。詠歌四丁秀歌一〇丁半百人一〇丁半自讀一二丁三十駄一二丁九品二丁三十六人四丁）

## 後鳥羽院勅點和歌

藤原定家出題 後鳥羽天皇御點

文政元年（一一八八）十一月邦昌寫 外寸「三・四×一六七糎」 印記「下總本佐倉鍛冶屋」（書名は書外題による。九行。六四丁半）

## 和歌色葉集

釋上覺撰

〔江戸後期〕寫 外寸「二七×一九・四糎」 印記「渡邊千秋藏書」「延年益壽」「金花園」（若山滋固）（書名は書外題による。一〇行。一六丁。卷頭に朱筆の書名に続けて「安法」とある。山岸氏識語「安法法師集類從二六七ニアリ」 朱筆の書き入れあり）

## 千題和歌集即榮雅千首集

飛鳥井雅親（榮雅）撰

〔江戸後期〕寫 外寸「二七・四×一八・八糎」 印記「野口氏」「正路」（九行。一卷三三丁二卷一二丁三卷二三丁四卷一二丁五卷二三丁六卷二三丁半。底本「元祿五年雉陽二條晴明町井筒屋六兵衛刊本」 朱筆の書き入れあり）

## 藤谷和哥集

冷泉爲相撰

〔江戸中期〕寫 外寸「二七・八×二〇・三糎」 印記「渡邊千秋藏書」「金花堂記」「金花園」（若山滋固）（二〇行。四二丁）

A三四四

一冊

A三四五

一冊

A三四六

一冊

A三四七

一冊

A三四八

一冊



## 菅家御詠集

菅原道真撰

〔江戸前期〕寫 外寸「横本一八九×二三・三厘」〔列帖裝。一八行。二四枚。奥書「聖廟御詠哥以小野寶成院 明順自筆之本書寫之 長享三年己酉正月初四日古筆慈金六十六才」〕

## 聖廟御詠

菅原道真詠

〔江戸後期〕寫 外寸「二七・一×一九・三厘」 印記「富子女」〔書外題「菅家御集」 一〇行。三七丁。貼紙あり。山岸氏識語「久原家舊藏本也 富子氏ハ久原氏ノ姻戚也」 墨筆朱筆の書き入れあり〕

## 拾玉和歌集 存卷第三

〔慈圓詠 尊圓親王撰〕

〔江戸後期〕寫 外寸「二六・九×一八・六厘」 〔一二行。三六丁。山岸氏識語「拾玉集卷三、一卷以流布六家集本不違一字書寫者也」〕

## 菅原贈太政大臣歌集

菅原道真撰 穂積（鱧）貞治編 清水濱臣・正木千幹同校 谷川雪旦畫

文化十二年（一八一五）七月刊 松楓閣藏板 外寸「一五・九×一一・二厘」 〔單邊。無界。九行。内匡郭「一一・六×八・二厘」 繪入。一二丁〕

## 菅公家集

菅原道真撰

〔江戸後期〕寫 外寸「二四・一×一六・三厘」 〔書名は書外題による。一〇行。四九丁。墨筆朱筆の書き入れあり〕

## 菅贈太政大臣歌集

A三四九

一册

A三五〇

一册

A三五一

一册

A三五二

一册

A三五三

一册

菅原道真撰 仲田顯忠編

〔江戸後期〕刊 東宰府藏梓 外寸「二・八×一五・五糎」 印記「久米」 〔單邊。無界。九行。白口。無魚尾。内匡郭「一七・六×一一・八糎」 六丁。卷末に製本所として「誠格堂」とあり〕

A三五四  
一册

## 天神御百首

菅原道真撰

〔江戸中期〕寫 外寸「二四・二×一七・二糎」 〔明和八年季春菅原貞泰〕〔墨書〕 〔封面〕菅家御百首 一一行。五丁。  
山岸氏識語「此書非瑠璃壺百首無題百首也歟」

A三五五  
一册

## 菅原贈太政大臣歌集

菅原道真撰

〔江戸末〕寫 外寸「二七・三×一九・二糎」 印記「館章」〔諏〕 〔書外題〕道真公譜 一一行。八丁。〔附録〕伴直方著  
四丁。墨筆朱筆の書き入れあり

A三五六  
一册

## 聖廟御詠

菅原道真撰

〔江戸中期〕寫 外寸「二七・八×二〇・二糎」 印記「紅梅文庫」〔前田善子〕 〔一〇行。六四丁〕

A三五七  
一册

## 聖廟御詠集

菅原道真撰

文化三年（一八〇六）九月寫 外寸「二七・六×一九・五糎」 〔一〇行。二四丁。他に「十二時の御詠也御詠廿五首」等  
四丁。奥書「寶永五年秋書之 正徳元年麥冬十一日校合了」 識語「右以爲範卿自筆之本写之畢 文化三年九月廿三日俊長」

A三五八  
一册

## 天神宮御遺書之百詠并祕文五實名

菅原道真撰

〔江戸後期〕寫 外寸「横本二〇・二×二六・八糎」 印記「大杏」 （書外題「天神百詠」 八行。一五丁。山岸氏識語「瑠璃壺百首神宮文庫本之系也」）

## 菅家御集

菅原道真撰

〔江戸中期〕寫 外寸「二七・四×一九・四糎」 （書外題「菅家御詠集」 一二行。一六丁。他に「菅家御詠百首和歌」五丁「他本在之哥」四丁。山岸氏識語「以圖書寮本菅家御集校訂焉与本書全同一也圖書寮本以下無之又無奥書桂宮本也昭和十七年七月一日於研究室校訂了岸廼舍」）

## としなみ艸二十卷

釋似雲（河村金屋吉右衛門）著

〔江戸後期〕寫 外寸「二七・二×一九・六糎」 印記「千種文庫」（平瀬露香） （一二行。一卷三三丁二卷一〇丁三卷五三丁四卷五二丁五卷五六丁六卷三〇丁七卷一六丁八卷二八丁九卷二五丁一〇卷四三丁一一卷四二丁一二卷四〇丁一三卷四六丁一四卷一一丁一五卷四〇丁一六卷五二丁一七卷三三丁一八卷六四丁一九卷一四丁二〇卷一八丁。山岸氏識語「年並草貳拾冊平瀬家旧藏本浅倉屋求之稀本也」 山岸氏書付一枚あり）

## 草菴和歌集十卷續草菴和歌集五卷

釋頓阿著

〔京都〕二條通 武村三良兵衛 （承應二年刊）寛文四年（一六六四）八月後印 外寸「二六・七×一七・八糎」（單邊。無界。一〇行。白口。無魚尾。内匡郭「二・六×一五・三糎」 一卷一二丁二卷一三丁三卷一七丁四卷一三丁五卷一一丁六卷一八丁七卷一五丁八卷一三丁九卷一七丁一〇卷二三丁。續一卷一九丁二卷一八丁三卷二〇丁四卷一二丁五卷一二丁）

## 草庵集難注二卷

A三五九

一冊

A三六〇

一冊

A三六一

二〇冊

A三六二

六冊

櫻井元茂述

京都寺町通 錢屋利兵衛・勢州松阪日野町 柏屋兵助 寛政十一年（一七九九）刊 外寸「三・九×一五・九糎」印記「喜多氏圖書」（單邊。無界。一四行。内匡郭「一・八・六×一三・五糎」 上三八丁下一八丁）

A三六三

二册

續草菴集玉筭三卷

本居宣長解 稻懸棟隆・須賀直見校

津 山形屋傳右衛門等 天明六年（一七八六）刊 外寸「二・六×一八・五糎」（單邊。無界。一二行。内匡郭「二・〇・九×一五・五糎」 句點付。一卷二三丁二卷一八丁三卷一五丁）

A三六四  
一册

草庵和歌集蒙求諺解十五卷續五卷

釋香川宣阿（梅月堂）編 香川景新（梅仙堂）訂正

京都 財間加兵衛・武村新兵衛 享保八年（一七二三）八月刊 外寸「二・五×一五・七糎」印記「松田藏書」（單邊。無界。一三行。内匡郭「一・八・二×一三・二糎」）

A三六五  
二〇册

山家和歌集九卷

釋西行著

〔京都〕 吉田四郎右衛門・風月莊左衛門 寛政七年（一七九五）刊 外寸「三・八×一五・八糎」印記「屯倉氏藏書」〔篠村〕（題簽「山家集抄」 左右雙邊。無界。一七行。内匡郭「一・七・六×一・二・七糎」 一卷三四丁二卷一八丁三卷一四丁四卷一五丁五卷一一丁六卷一四丁七卷一六丁八卷一三丁九卷一三丁）

A三六六  
五册

山家集類題二卷目錄一卷

松本柳齋編

皇都 吉田四郎右衛門・風月庄左衛門 文化十一年（一八一四）三月刊 外寸「二・九×一三・三糎」（單邊。無界。一一行。内匡郭「一・五・三×一・〇・三糎」 目錄二丁上六八丁下四二丁）

A三六七  
一册

## 西行法師家集

釋西行著

〔江戸後期〕寫 外寸「二七・四×一九・二」糹 印記「紅梅文庫」〔前田善子〕（無匡郭。一〇行。七三丁。山岸氏識語「延宝版本系也此本改裝之際脱秋冬戀之部又雜歌在二所矣」）

## 七家和哥集

忠岑・友則等詠

昭和十四年（一九三九）寫 外寸「二七・五×一九・五」糹 （書名は封面による。無匡郭。一〇行。忠岑集一四丁友則六丁遍照八丁公忠七丁清正一一丁鐘輔一五丁西行山家集二三丁。山岸氏識語「七家集一卷佐々木信綱博士藏本也（元久曾神氏藏之）…今茲十月三谷氏借覽之序余轉借而書写一本者也」 書き入れあり）

## 西行法師家集

釋西行著

〔江戸後期〕寫 外寸「二一×一四・七」糹 （八行。春二〇丁夏六丁秋一八丁冬七丁恋八丁雜二六丁。底本「延寶二林鐘跋永田長兵衛刊本」 山岸氏識語「延宝版本四册有之影写合册者也」 墨筆朱筆の書き入れあり）

## 西行法師家集 存卷秋冬戀

釋西行著

〔江戸前期刊〕後印 外寸「二〇・六×一五・二」糹 印記「阿波國文庫」〔徳島藩蜂須賀家〕（單邊。無界。八行。白口。無魚尾。内匡郭「一六・七×一一・三」糹 秋一八丁冬一九至二五丁戀二六至三三丁。與A三七二番秋冬戀卷同版）

## 西行法師家集

釋西行著

〔京都〕 永田長兵衛 延寶二年（一六七四）六月刊 外寸「三三・二×一五・九」糹 （單邊。無界。八行。白口。無魚

A三六八

一册

A三六九

一册

A三七〇

一册

A三七一

一册

A三七二

四册

尾。内匡郭「一六・三×一一・四糎」 春二〇丁夏二二至二六丁秋一八丁冬一九至二五丁戀二六至三三丁雜二四丁四卷  
雜二七丁。書き入れあり

## 日本紀倭歌畧註二卷古事記和歌畧註一卷

釋契沖著

〔江戸後期〕寫 外寸「二七×一九・六糎」 印記「望月」「櫻松莊」「貴重」 （序文首「厚顔鈔」） 八行。日本紀上四九丁下  
四三丁。古事記三九丁半）

A三七三  
三冊

## 東遊風俗歌

〔江戸後期〕寫 外寸「二六・五×一八・八糎」 （書名は書外題による。卷頭「東遊歌圖」） 大字六行。注文雙行。一三三丁）

A三七四  
一冊

## 催馬樂抄

〔江戸後期〕寫 外寸「二九・三×一九・六糎」 印記「西林館藏書」 （一〇行。二六丁。朱筆の書き入れあり）

A三七五  
一冊

## 齊明紀童謠辨

松岡御調述

明治七年（一八七四）刊 高松佐々木氏松陰舍藏 外寸「二六・七×一九・二糎」 （松陰舍叢書之一。題簽「日本書紀齊  
明紀童謠辨」） 單邊。無界。一四丁。内匡郭「一九・九×一五・一糎」 奥付に弘通書肆として「大阪岡田茂兵衛から讀  
岐丸龜町岡田爲助まで」全九書肆名あり）

A三七六  
一冊

## 日本紀竟宴和歌 存卷上

藤原國經等詠

〔江戸後期〕寫 外寸「二六・三×一八・一糎」 印記「阪上文庫」 （八行。頭注付。三六丁。朱筆の書き入れあり）

A三七七  
一冊

日本紀竟宴和歌二卷

藤原國經等著

〔江戸後期〕寫 外寸「二七・四×一九・六糎」 （九行。上四〇丁下三四丁。識語「右以契冲阿闍梨校本書写之一校了」  
山岸氏識語「日本記竟宴和謂版本奥記「元祿十三年二月契冲記之」 此写本元祿十三年以前契冲所持本轉写歟」 朱筆  
の書き入れあり）

俚歌童謠ノ變遷

栗田寛・渡邊眞損述

〔江戸末明治初〕寫 外寸「二六・五×一九・二糎」 （二三行。漢字片假名。三六丁）

文安詩歌合二卷 附 文明短冊

西園寺公名等撰 一條兼良判

武陽城北牛込 燕萑堂 元祿十七年（一七〇四）一月刊 外寸「二三・七×一五・五糎」 印記「千葉文庫」（單邊。無  
界。一〇行。白口。無魚尾。内匡郭「二七・六×一二・七糎」 上一五丁下一二丁附一二至一六丁）

詩歌合 存卷下

西園寺公名等撰 一條兼良判 塙保己一校

〔江戸末〕刊 外寸「二六・二×一七・八糎」 （群書類從卷第二百廿五和歌部八十。書外題「詩合」 無匡郭。一〇行。「文  
安詩歌合」二七丁「文明十四年九月詩歌合」三八丁「文明十五年詩歌合」三九至六六丁）

十二番歌合一卷 附 寶曆六年二月縣居翁家歌會兼題當坐歌

賀茂眞淵判

寛政元年（一七八九）五月跋刊 外寸「二五・七×一七・八糎」 印記「晦養洞河田章」（上雙邊下左右單邊。無界。  
一〇行。内匡郭「一七・六×一五・六糎」 九丁附一二丁。書目「江戸本石町十軒店書林萬茂堂英平吉藏板」半丁）

A三七八

二册

A三七九

一册

A三八〇

一册

A三八一

一册

A三八二

一册

## 眞蹟臨本三種歌合

皇都 瑤芳堂・竹苞樓 享和二年（一八〇二）刊 外寸「二七×一八・九糎」（上下單邊。無界。一〇行。内匡郭「二・八×一五糎」）「範永宅歌合」忠家卿書、三丁。「源順馬名合」俊忠卿書、四丁。「住吉歌合」西行法師書八丁。山岸氏の朱筆識語あり）

A三八三

一册

## 十五番歌合

木下勝俊（長嘯子）撰 藪本墓判  
享保十年（一二二五）木村夢崕寫 外寸「二六・一×一七・八糎」（副書外題「蟲歌合」 一〇行。一一丁。木村氏識語「這一册者若狹之長嘯公御作云々 享保十年乙巳仲夏上浣木村夢崕七十五歲寫之」）

A三八四

一册

## 十五番歌合

細野具祐撰 菅原梅園判  
享保十年（一二二五）木村夢岸寫 外寸「二六・一×一七・八糎」（副書外題「鳥歌合」 一〇行。一二丁。木村氏識語「右之一帖者細野一郎左衛門具祐風士自作云々 享保十年乙巳仲夏上浣木村夢岸七十五歲寫之」）

A三八五

一册

## 詞花懸露集三卷

藤原公實・周防内侍等詠

天保七年（一八三六）片山賢寫 外寸「三・九×一六・二糎」 印記「白雲一片」雜司谷片山賢「十文字文庫」（三村竹清）等（書外題「堀川院艶書合」 九行。一卷一七丁二卷一八至三三三卷三三三至五一丁表。底本「元祿十一年正月江戸日本橋南みすや又右衛門刊本」 片山氏朱筆識語あり。朱筆の書き入れあり）

A三八六

一册

## 十五番歌合

木下勝俊（長嘯子）撰 藪本墓判  
〔江戸後期〕寫 外寸「二四・六×一七糎」（書外題「むし歌合評判」 九行。一〇丁）

A三八七

一册



月卿雲客作歌合 建保二年九月盡順徳院哥合

順徳天皇等撰 藤原家隆判

〔江戸前期〕寫 外寸「二八×一九・六糎」 印記「阿波國文庫」(徳島藩蜂須賀家) (一〇行。一〇丁)

〔太皇太后宮〕清輔朝臣家哥合 永暦元年七月

藤原清輔等撰 源通能判

〔江戸前期〕寫 外寸「二七・七×二〇・四糎」 (書外題「清輔朝臣家歌合」 一三行。一〇丁)

とりのうた合

東京 米山堂 昭和二年(一九二七)九月複製 外寸「二八・四×一九・八糎」 (稀書複製會叢書之一。書名は表紙題による。一一行。二七丁)

六百番歌合

藤原良經等撰 藤原俊成判

大坂心齋筋唐物町 北田清左衛門 承應元年(一六五二)十月刊 外寸「二五・九×一八・二糎」 (書名は題簽による。無匡郭。一〇行。春上二二丁半下三一丁半。夏三三丁半。秋上二二丁半下二九丁半。冬三五丁。戀①三八丁②三五丁③四二丁半④四七丁)

三拾六人歌合

凡河内躬恆等撰 本阿彌光悦書 土佐光茂畫

〔江戸前期〕刊 外寸「三三・四×二四・二糎」 (包背裝。單邊。無界。七行。白口。無魚尾。内匡郭「二八・四×二二・三糎」 繪入。一九丁。山岸氏識語あり)

遠嶋御歌合一卷河合社歌合一卷

後鳥羽天皇等撰 塙保己一校

A三八八

一册

A三八九

一册

A三九〇

一册

A三九一

一〇册

A三九二

一册

A三九三

〔江戸末〕刊 外寸「二五・三×一七・五糎」 印記「博文」「芳榎書屋圖書之記」(伊藤博文) (群書類從卷第百九十九和歌部五十四歌合廿。無匡郭。一〇行。遠嶋三七丁河合三八至五二丁半)

五十四番詩歌合

鷺尾隆職等撰

〔江戸中期〕寫 外寸「二六・七×一九・五糎」 (二二行。一五丁。山岸氏識語「九條家舊藏本也」)

A三九四  
一册

歌合十卷

昭和十八年(一九四三)山岸氏家中寫 關卷第四第五第七第九 外寸「二六・七×一八・八糎」 (二二行。一卷二五丁二卷二六丁三卷二五丁六卷二二丁八卷三四丁一〇卷二七丁。山岸氏識語「歌合六卷四卷缺 以圖書寮本寫畢」)

A三九五  
二册

歌合

〔江戸中期〕寫 外寸「二六・七×一九・八糎」 (二二行。山岸氏識語「九條家藏本也」)

A三九六

第一册 天能歌合、寛平御時菊合調、殿上根合永承六年五月五日、新宮撰歌合建仁元年二月廿九日、八幡若宮歌合、水無瀬殿戀歌合建仁二年九月十三夜、調合建保五年十一月(全九二丁)

一三册

第二册 太皇太后宮亮平經盛朝臣家歌合仁安二年八月日、實國家調合嘉應二年五月廿九日講之、法住寺殿哥合嘉應二年十月十六日、治承二年戊戌三月十五日別雷社廣庭有調合、調合治承二年八月(全二二五丁)

第三册 慈鎮七社十五番(大比叡、小比叡、聖眞字、八王子、客人、十禪師、三宮(四四丁))

第四册 三百六十番哥合五卷(八〇丁)

第五册 右大臣家歌合安元元年十月十日、右大臣家調合治承三年十月十八日、哥合建保五年九月、調合貞永元七

(全八二丁)

第六册 仙洞十人調合正治二年八月、撰歌合建仁元年八月十五夜 (全三三丁)

第七册 内裏歌合建保二年八月十六日、歌合建保四年八月二十二日當座、歌合建保四年八月廿四日當座(全五三丁)

第八册 卿相待臣哥合建永元年七月廿五日、歌合建曆三年閏九月十九日、哥合建曆三年九月十三夜、影供哥合建

仁元年八月三日(全四〇丁)

第九册 老若五十首歌合建仁元年二月(五四丁)

第一〇册 御室撰哥合正治二年三月五日當座、石清水若宮調合寛喜四年三月廿五日、歌合弘長二年九月(全六五丁)

第一一册 御室撰哥合正治二年三月五日當座、石清水若宮調合寛喜四年三月廿五日、歌合弘長二年九月(與第一〇册同内容。全六五丁)

第二二册 新玉津嶋社歌合貞治六年三月廿三日、將軍家歌合文明十四年六月十日、調合文明十五年正月(全七三丁)

第三三册 調合文明十年九月二日、歌合文明十年九月盡、詩哥合文明十四年九月廿八日、内裏御歌合應永十四年十一月廿七日(全五九丁)

## 歌合 存卷第二八至三〇第三二第三五第三六

〔洛陽〕〔西村九良右衛門〕〔貞享二年(一六八五)八月刊〕後印 外寸「二七・四×一九・三糎」 印記「燠風樓圖書記」

〔無匡郭。一〇行。二八卷一二丁二九卷一五丁三〇卷二四丁三二卷四八丁三五卷一二丁三六卷六丁。與A三九八番第二八至第三〇第三二第三五第三六同版〕

## 歌合三六卷目錄一卷

洛陽 西村九良右衛門 貞享二年(一六八五)八月刊 外寸「二六・八×一九・三糎」 印記「其浦浪磨之母多流書印」

〔無匡郭。一〇行〕

## 千五百番歌集二十卷

後鳥羽天皇等撰

〔江戸中期〕刊 外寸「二六×一九・一糎」 〔無匡郭。一二行〕

## 遠嶋御歌合

後鳥羽天皇等撰

江戸通清兩替町 林文藏 〔江戸後期〕刊 外寸「一八×一五・三糎」 〔書名は題簽による。目次首「歌合遠嶋 嘉禎

A三九七  
六册

A三九八  
二四册

A三九九  
一〇册(合綴二册)

A四〇〇  
一册

二年七月」單邊。無界。一〇行。白口。線魚尾。内匡郭「二六・六×一一・五糎」四〇丁)

坂田更級十八公歌合三卷

〔江戸前期〕寫 外寸「二五×一七・六糎」 印記「少山女女」新津」〔荻原氏〕〔墨書〕 (書外題「十八公哥合」 九行。  
一卷一六丁二卷一一丁三卷二五丁)

うすこぼり

香川景樹著

天保三年(一八三二)序刊 香川氏東塲塾藏 外寸「二六・五×一九・三糎」 印記「樞園」「武田氏藏書印」(武田醉霞)  
(見返「薄こぼ李」 一〇行。一八丁)

六十四番歌結

香川景樹判

〔文政十二年京都香川氏東塲塾刊〕天保六年(一八三五)後印 外寸「二五・八×一八・八糎」 印記「西邨」「西村家所藏」  
「西邨家」〔墨書〕 (無匡郭。一〇行。三三丁。弘所書林として「江戸須原屋茂兵衛から皇都河南儀兵衛まで」全四書  
肆名あり)

新名所繪合

大中臣定忠・荒木田尙良等撰 藤原爲世判

文化十三年(一八一六)六月山陰樵夫偏充寫 外寸「二七×一九・五糎」 印記「華族澤田家藏」 (書名は序文首によ  
る。八行。四四丁。識語「右一帖者吾神宮先輩等及沙門會集之詠艸也」文化丙子年六月山陰樵夫偏充)

乾元哥合

〔江戸中期〕寫 外寸「二六・四×一八・七糎」 印記「進木廼舍」(森鷗外) (書名は書外題による。目次首「哥合 乾元  
二年五月四日」 一〇行。一二丁)

A 四〇一  
一册

A 四〇二  
一册

A 四〇三  
一册

A 四〇四  
一册

A 四〇五  
一册

## 年中行事五十番和歌

二條良基等撰 冷泉爲秀判

〔江戸前期刊〕延寶四年（一六七六）二月後印 外寸「二七・七×一九・一糎」 印記「村野氏藏本」 （副題「貞治五年十二月八十番」 單邊。無界。一〇行。白口。無魚尾。内匡郭「二〇・五×一五・三糎」 六七丁）

## 鐵槌四卷

青木宗胡著

〔江戸前期〕刊 外寸「二六・九×一九・六糎」 印記「武井藏書」 （書名は版心による。題簽「新版鐵槌」 單邊。無界。一一行。白口。無魚尾。内匡郭「三・五×一七・一糎」 頭注句點付。一卷四七丁二卷四九丁三卷三七丁四卷四二丁）

## 徒然草抄増補

山岡元隣（而愠齋）著

洛陽錦小路 永田長兵衛 貞享二年（一六八五）二月刊 外寸「二六・八×一九・九糎」 印記「有住文庫」 （書名は目次首による。題簽「増補徒然草鐵槌」 單邊。無界。一一行。白口。無魚尾。内匡郭「二四・三×一七・三糎」 頭注句點付。一卷三八丁二卷三八丁三卷二七丁四卷四四丁五卷五一丁。書き入れ・朱筆の貼紙あり）

## つれづれ草

吉田兼好著

東京 田中忠三郎 昭和八年（一九三三）十一月複製 外寸「一六×一六・九糎」 （包背装。一一行。一五八丁。底本「田中氏藏寫本」）

## 徒然草

吉田兼好著

〔江戸前期〕寫 外寸「二六×一八・一糎」 （包背装。八行。一二三枚。朱點あり）

A 四〇六

一册

A 四〇七

四册

A 四〇八

五册（合綴二册）

A 四〇九

一册

A 四一〇

一册

つれづれ草二巻

吉田兼好著

京寺町通 菊屋喜兵衛 元文二年(一七三七)三月刊 外寸「二六・四×一九糎」(書名は題簽による。單邊。無界。  
一二行。内匡郭「二〇・九×一六・二糎」 句點付。繪入。上六三丁下六〇丁)

A四一  
二册

徒然草直解上五卷下五卷

岡西惟中(一時軒)著

大坂心齋橋 書林平兵衛 貞享三年(一六八六)刊 闕卷下第五 外寸「二七・二×一九・二糎」 印記「千分五社印章」  
(書名は序文首による。單邊。無界。一四行。白口。無魚尾。内匡郭「二一・八×一六・七糎」 頭注傍注付。上一卷  
二八丁二卷三三丁三卷三四丁四卷三三丁五卷二七丁。下一卷二八丁二卷二五丁三卷二五丁四卷二二丁)

A四二  
九册

埜槌上八卷下六卷

林道春(羅山)著

〔江戸前期〕刊 外寸「二八・一×一八・三糎」 印記「讀杜艸堂」(寺田望南) (書名は版心による。題簽「埜槌」 無匡  
郭。一〇行。句點傍訓付。上一卷四九丁二卷五一丁三卷四三丁四卷三七丁五卷四二丁六卷四一丁七卷四五丁八卷  
四九丁。下一卷三八丁二卷三八丁三卷四七丁四卷三八丁五卷三五丁六卷三四丁)

A四三  
一三册

徒然草諸抄大成二十卷

淺香久敬(山井)編

京 田中庄兵衛等 貞享五年(一六八八)五月刊 外寸「二八×一九・四糎」(單邊。無界。一〇行。白口。無魚尾。  
内匡郭「三三・二×一七・二糎」 頭注句點付)

A四四  
一〇册

徒然草文段抄七卷

北村季吟著

A四一五

京都 中川茂兵衛等 享保二年（一七一七）五月刊 外寸「二五・七×一八・七糎」 印記「讀杜艸堂」（寺田望南）（題簽「改正徒然草文段鈔」 單邊。無界。一四行。内匡郭「二・八×一六・九糎」 句點付。一卷五二丁二卷六〇丁三卷六二丁四卷六八丁五卷五四丁六卷五三丁七卷五〇丁。朱筆の書き入れあり）

徒然要草七卷

釋厭求著

京都高辻通 越前屋甚兵衛等 天明三年（一七八三）三月刊 外寸「二五・七×一八糎」 印記「金子書藏」（單邊。無界。一二行。内匡郭「二・四×一五・四糎」 句點付。繪入。一卷三五丁二卷三七丁三卷三六丁四卷三七丁五卷三五丁六卷三六丁七卷三七丁）

徒然草諺解五卷

南部草壽述

京都 中村七兵衛 （延寶五年（一六七七）九月刊）後印 外寸「二六・四×一八・三糎」（單邊。無界。一〇行。白口。無魚尾。内匡郭「二・一×一六・六糎」 頭注句點傍訓付。一卷三五丁二卷三三丁三卷三〇丁四卷三八丁五卷四二丁）

徒然草句解七卷

高階楊順著

京都 風月庄左衛門 寛文五年（一六六五）刊 闕卷第一 外寸「二六・三×一九・一糎」（單邊。無界。一〇行。白口。無魚尾。内匡郭「二・八×一七・一糎」 二卷三六丁三卷三六丁四卷三八丁五卷三六丁六卷四〇丁七卷四〇丁。卷第一に延寶五年刊後印「徒然草諺解卷二」（外寸「二六×一九・一糎」 内匡郭「二・八×一六・九糎」 一二行）を補配し書外題を「徒然草句解卷二」に作る。山岸氏識語「卷一諺解也卷二以下句解也」

つれづれの讃八卷首一卷

各務文考著

京都寺町 柏屋勘右衛門・柏屋勘九郎 寶永八年（一七一）跋刊 外寸「二六・七×一九・二糎」（無匡郭。一三行。

七册

A 四一七

七册

A 四一八

五册

A 四一九

七册

A 四二〇

五册

首二六丁一卷三〇丁二卷三五丁三卷三四丁四卷四五丁五卷四五丁六卷三〇丁七卷二三丁八卷二七丁。〔蕉門俳諧目録 寺町二條下ル 柏屋勘右衛門板行〕二丁〕

なくさ見草 存巻第一

松永貞徳著

〔江戸中期〕刊 外寸二七・二×一八・二〔書名は版心による。無匡郭。九行。頭注句點付。繪入。六九丁〕

枕草紙二卷

清少納言著 塙保己一校

〔江戸末〕刊 外寸二六・四×一七・六〔羣書類類從卷四百七十九雜部三十四。無匡郭。一〇行。上五三丁下五五丁〕

清少納言七卷 卽 枕草子

清少納言著

〔京都〕二條通 澤田庄左衛門 慶安二年（一六四九）四月刊 外寸二六・四×一八・八〔書名は題簽による。無匡郭。一一行。句點付。一卷三九丁二卷四七丁三卷三六丁四卷三〇丁五卷三〇丁六卷四四丁七卷二八丁。朱筆の書き入れあり〕

清少納言七卷 卽 枕草子

清少納言著

〔京都〕二條通 澤田庄左衛門 〔慶安二年（一六四九）四月刊〕後印 外寸二七×一九・五〔印記「楠田氏」岸本家藏書〔岸本由豆流〕「臼井氏」〔墨書〕（書名は題簽による。無匡郭。一一行。一卷三九丁二卷四七丁三卷三六丁四卷三〇丁五卷三〇丁六卷四四丁七卷二八丁。與A四二四番同版。識語「文化四丁卯年暮春仲一日求之」〕

枕草子春曙抄十二卷

A四二一

一冊

A四二三

一冊

A四二四

七冊

A四二五

五冊



北村季吟著

延寶二年（一六七四）七月跋刊 外寸「二六・九×一九・二厘」 印記「澁谷慶哉」「涼煖天垢」「山嵯十茂能藏書」「友之助醒」「越後高關澁谷奚疑園圖書記」（書名は題簽による。内題「春曙抄」 單邊。無界。大字一二行。白口。雙線魚尾。内匡郭「三・四×一七・四厘」 頭注付。一卷「二六丁二卷二八丁三卷三二丁四卷三二丁五卷二八丁六卷二四丁七卷二八丁八卷二六丁九卷三〇丁一〇卷二八丁一一卷二六丁一二卷二四丁。墨筆朱筆の書き入れあり」

## 清少納言七卷卽枕草子

清少納言著

〔慶安二年（一六四九） 京都澤田庄左衛門刊〕後印 關卷第六第七 外寸「二六×一九厘」（書名は題簽による。無匡郭。一一行。句點付。一卷三九丁二卷四七丁三卷三六丁四卷三〇丁五卷三〇丁。與A四二四番卷第二至第五同版）

## 枕草子春曙抄十二卷

北村季吟著

〔江戸前期刊〕後印 外寸「二七・三×一九・二厘」（書名は題簽による。卷頭「春曙抄」 單邊。無界。大字一二行。白口。雙線魚尾。内匡郭「三・四×一七・四厘」 頭注付。一卷二六丁二卷二八丁三卷三二丁四卷三二丁五卷二八丁六卷二四丁七卷二八丁八卷二六丁九卷三〇丁一〇卷二八丁一一卷二六丁一二卷二四丁。與A四二六番同版。但し序文四丁闕）

## 鴨長明海道記二卷

鴨長明著

東都本町三丁目 西村源六・室町三丁目 須原屋市兵衛 〔江戸前期鱗形屋刊〕寛政元年（一七八九）七月後印 外寸「一五・九×一一・四厘」 印記「大須藏」（單邊。無界。一二行。白口。無魚尾。内匡郭「二・八×九・三厘」 句點付。繪入。上三四丁下二三丁）

## 鴨長明海道記二卷

A 四二六

六册

A 四二七

五册

A 四二八

一二册

A 四二九

一册

鴨長明著

寛文四年（一六六四）十一月刊 外寸「二五・五×一五・六糎」 印記「本辰」「八頭簪」「便遊子所藏」（黒書）（單邊。無界。一〇行。白口。無魚尾。内匡郭「二〇・三×一三・八糎」 句點付。上二四丁下三三丁）

A 四三〇

二册

## 鴨長明海道記二卷

鴨長明著

〔寛文四年（一六六四）刊〕後印 外寸「二六・九×一六・九糎」 〔宥雄〕（墨書）（單邊。無界。一〇行。白口。無魚尾。内匡郭「二〇・三×一三・八糎」 句點付。上二四丁下三三丁。與A四三〇番同版）

A 四三一  
二册

## 鴨長明海道記 存卷下

鴨長明著

寛文四年（一六六四）十一月刊 外寸「二五・九×一六・三糎」 （與A四三〇番卷下同版）

A 四三二  
一册

## 四季物語

鴨長明著

〔江戸後期〕寫 外寸「二七・五×一九・七糎」 （書外題「鴨長明四季物語」 九行。六三丁。奥書「長明四季物語十二卷我家之袖玉付加越之者也尤永可傳永孫祕本也 永享十年九月下旬中納言藤原雅世（花押）」）

A 四三三  
一册

## 鴨長明方丈記流水抄二卷

槇嶋昭武著

江戸東叡山池之端 長谷川正右衛門・京二條通清明町 長谷川市郎兵衛 享保四年（一七一九）八月刊 外寸「二七・二×一八・四糎」 印記「十樂慮」「下谷宗源寺什具」「法紹隆室」「門外不出徳風藏書」（藏書票）（單邊。無界。一九行。内匡郭「三二・八×一六・四糎」 頭注訓點句點付。上二六丁下一九丁）

A 四三四  
一册

## 鴨長明方丈記之抄

〔山岡元隣〕著

〔京都〕長谷川市良兵衛 〔明暦四年（一六五八）一月刊〕後印 外寸「二六×一七・七糎」 「五辻通千本東入り 西五辻東町平野屋利兵衛所持」〔墨書〕（書名は序文首による。單邊。無界。一行。白口。無魚尾。内匡郭「二〇・八×一五・六糎」 頭注訓點付。繪入。二五丁）

## 鴨長明方丈記

鴨長明著

〔正保二年（一六四五）刊〕後印 外寸「二四×一七・三糎」 （書名は書外題による。單邊。無界。九行。内匡郭「二〇・四×一六・一糎」 句點付。二五丁。識語「右元板當時絶板元祿本當時假名書和文之龜鑑ト可爲ス珍書也稀成本」山岸氏識語「コノ本正保版ノ無刊記本ナリ珍本也」

## 四季ものかたり

鴨長明著

享保十九年（一七三四）永尾玄起寫 外寸「二六×一八・二糎」 印記「畠田氏圖書印」（書名は封面による。九行。五三丁。永尾玄起識語「此物語ハ鴨長明か筆…享保十九寅神無月乃頃日下部章衛より清寫して…」 墨筆朱筆の書き入れあり。）

## 首書土佐日記纂註二卷

猶崎隆存著

大坂 中野啓藏 明治十六年（一八八三）九月銅版印本 外寸「二・四×九・二糎」 印記「箕形圖書之印」（單邊。有界。一〇行。内匡郭「二〇・五×六・六糎」 漢字片假名頭注付。上五九丁下六九丁）

## 土佐日記舟の直路二卷

橘守部著

天保十三年（一八四二）一月自序刊 外寸「二・五×一五・八糎」 「永井驛笛木連主」〔墨書〕（單邊。無界。九行。

A 四三五

一册

A 四三六

一册

A 四三七

一册

A 四三八

二册

A 四三九

二册

内匡郭「一七・六×一二・六糎」 句點付。上二九丁下三〇至五七丁)

## 土佐日記

紀貫之著 林麿臣訂正

東京日本橋區 柳瀬喜兵衛 明治十八年(一八八五)八月刊 外寸「三・六×一六糎」 印記「近藤藏書」 (單邊。無界。一〇行。内匡郭「一七・六×一二・五糎」 句點付。二九丁)

A四四〇

一册

## 土佐につ記

紀貫之著

〔京都〕寺町通圓福寺前町 秋田屋平左衛門 〔江戸初期刊〕萬治三年(一六六〇)後印 外寸「二六×一六・八糎」 印記「字樣日章宗木」 (書名は題簽による。單邊。無界。一〇行。内匡郭「二・四×一五・七糎」 三〇丁。山岸氏識語「慶安四曆初秋吉辰日ノ刊本アリコノ年次ノミナリ書肆名ナシ…」)

A四四一  
一册

## 土佐日記

紀貫之著

京都 文錦堂林伊兵衛 〔江戸初期刊〕萬治三年(一六六〇)京都秋田屋平左衛門後印〕再後印 外寸「二六・二×一八・二糎」 (書名は題簽による。單邊。無界。一〇行。内匡郭「二・四×一五・七糎」 三〇丁。與A四四一番同版。出版書目「和漢書物所 京都二條通柳馬場東 文錦堂林伊兵衛」半丁。書き入れあり)

A四四二  
一册

## 校註土佐日記

藤原磯足首書

東都淺艸廣小路 淺倉屋久兵衛等 〔文政元年(一八一八)十月序刊〕後印 外寸「二六×一八・二糎」 (書名は序文首による。卷頭「土佐乃に記」題簽「校異首書土佐日記」 單邊。無界。八行。内匡郭「三×一三・九糎」 頭注句點付。三五丁)

A四四三  
一册

## 土佐日記創見二卷附一卷

香川景樹著

〔文政六年二月跋京都香川氏東塙塾刊〕天保六年（一八三五）後印 闕卷上之本 外寸「二五・七×一八・五糎」 印記「古水氏藏卷」「舒嘯堂書畫記」（無匡郭。八行。上之末六四丁。下之本六八丁末六四丁。附四八丁。奥付に弘所書林として「江戸須原屋茂兵衛から皇都河南儀兵衛まで」全四書肆名あり。「香川景樹大人著述 皇都書肆河南儀兵衛」半丁）

A 四四四  
四册

## 土佐日記抄二卷

北村季吟著

〔京都〕 出雲寺和泉掾 〔寛文元年（一六六二）八月刊〕後印 外寸「二六・一×一八・五糎」 「文化むつのとし長月日誰庵藏」〔墨書〕（單邊。無界。一一行。内匡郭「二〇・七×一五・六糎」 上四六丁下四一丁。附箋・朱筆の書き入れあり）

A 四四五  
二册

## 土佐日記抄二卷

北村季吟著又

〔京都〕 出雲寺和泉掾 〔寛文元年（一六六二）八月刊〕後印 外寸「二五・七×一八・五糎」 印記「梶山藏」「天足堂内田氏藏書印」「内鼎文庫」（單邊。無界。一一行。内匡郭「二〇・七×一五・六糎」 上四六丁下四一丁。與A 四四五番同版。但し更なる後印）

A 四四六  
二册

## 土佐日記二卷

紀貫之著

京都 秋田屋五郎兵衛 延寶七年（一六七九）五月刊 外寸「二三・三×一五・九糎」（題簽「首書土佐日記」 單邊。無界。七行。白口。無魚尾。内匡郭「一八・八×一三・三糎」 頭注句點付。上二七丁下三五丁）

A 四四七  
二册

校正首書紫式部日記

紫式部著 鈴木弘恭校訂

東京 青山清吉 明治二十七年(一八九四)十二月刊 外寸「二・五×一五・一糎」(單邊。無界。一三行。内匡郭「二七・四×一二・七糎」 頭注句點付。四五丁)

紫式部日記釋四卷

清水宣昭著

大坂心齋橋通備後町 河内屋徳兵衛等 天保五年(一八三四)十一月刊 外寸「二六・三×一八・六糎」(單邊。無界。一〇行。内匡郭「一九・四×一四・三糎」 句點付。一卷五五丁二卷四七丁三卷六二丁四卷四九丁)

紫式部日記釋四卷

清水宣昭著

〔天保五年大坂河内屋徳兵衛等刊〕嘉永三年(一八五〇)後印 六庫堂合梓 外寸「二五・四×一七・七糎」 印記「大門通小傳馬三丁目中屋幸三郎藏書記」(單邊。無界。一〇行。内匡郭「一九・四×一四・三糎」 句點付。一卷五五丁二卷四七丁三卷六二丁四卷四九丁。與A四四九番同版。但し鈴木服の跋文を卷頭に置き、文政十三年清水宣昭の凡例闕。〔積玉圃藏板目錄〕一丁)

紫式部日記傍注二卷

壺井義知著 谷村光義校

大坂心齋橋通南本町 河内屋儀助 〔享保十四年(一七二九)十二月跋刊〕後印 外寸「二五・八×一八・二糎」 印記「樋口氏藏印」〔幽香亭藏書〕(單邊。無界。一一行。内匡郭「二〇・六×一五・五糎」 頭注句點付。上三六丁下三八丁)

蜻蛉日記三卷

藤原道綱母著

A四四八

一册

A四四九

四册

A四五〇

四册

A四五二

一册

A四五二

大坂心齋橋淡路町角 安井嘉兵衛 〔元祿十年大坂隅谷源右衛門等刊〕寶曆六年（一七五六）十二月後印 外寸「二・六×一五・九糎」印記「山崎氏藏書記」（無匡郭。一行。上三三丁上之下二二丁。中之上二五丁中之中三二丁中之下二二丁。下之上二五丁下之中二九丁下之下三二丁。與A四五三番同版。書き入れあり。識語「以一本校合畢 文政九年丙戌冬山崎知雄」

八册

### 蜻蛉日記三卷

藤原道綱母著

大坂 隅谷源右衛門・京 小嶋市左衛門 元祿十年（一六九七）二月刊 外寸「二・七×一六・四糎」印記「三矢氏藏書之章」（無匡郭。一行。上三三丁上之下二二丁。中之上二五丁中之中三二丁中之下二二丁。下之上二五丁下之中二九丁下之下三二丁。朱筆の書き入れあり）

A四五三  
八册

### 蜻蛉日記三卷

藤原道綱母著

大坂 河内屋源七郎 〔元祿十年大坂隅谷源右衛門・京小嶋市左衛門刊寶曆六年十二月後印〕文政元年（一八一八）九月後印 外寸「二・六×一六・二糎」（無匡郭。一行。上三三丁上之下二二丁。中之上二五丁中之中三二丁中之下二二丁。下之上二五丁下之中二九丁下之下三二丁。與A四五三番同版。奥付に三都發行書肆として「江戸岡田屋嘉七から大坂河内屋源七郎まで」全八書肆名あり）

A四五四  
三册

### 蜻蛉日記三卷

藤原道綱母著

大坂心齋橋淡路町角 安井嘉兵衛 〔元祿十年大坂隅谷源右衛門等刊〕寶曆六年（一七五六）十二月後印 外寸「二・三×一七・九糎」印記「芽垣内藏書」（奥田常雄「問屋」（無匡郭。一行。上三三丁上之下二二丁。中之上二五丁中之中三二丁中之下二二丁。下之上二五丁下之中二九丁下之下三二丁。與A四五二番同版。表紙右肩貼紙に「契沖書入本」とある。識語「天明四辰校之 新井東雄」 山岸氏識語「芽垣内尾張藩士奥田常雄之号也常雄師事植松茂岳

A四五五  
八册

幕末歌人文久二年七月下浣没焉」

## 十六夜日記残月抄三卷

小山田與清著 北條時鄰補

京都三條通 出雲寺文次郎等 文政七年（一八二四）二月刊 外寸「二五・九×一八・三糎」 印記「伊庭氏藏」（書名は例言首による。單邊。無界。一一行。内匡郭「二・九×一六・二糎」 頭注句點付。一卷二五丁二卷二三丁三卷三十一丁。「香川景樹大人著述書目 京都三條通高倉東入 書林松栢堂出雲寺文次郎」半丁）

## 十六夜日記残月抄三卷

小山田與清著 北條時鄰補

京都三條通 出雲寺文次郎等 文政七年（一八二四）二月刊 外寸「二五・九×一八・三糎」（書名は例言首による。單邊。無界。一一行。内匡郭「二・九×一六・二糎」 頭注句點付。一卷二五丁二卷二三丁三卷三十一丁。與A四五六番同版。但し北條時鄰例言第八丁を付す（墨格三箇所）、景樹書目闕）

## いさよひの日記

阿佛尼著

洛陽今出川 林和泉 萬治二年（一六五九）六月刊 外寸「二・三×一五・八糎」（單邊。無界。一〇行。白口。無魚尾。内匡郭「一六・八×一一・六糎」 繪入。四九丁。朱筆の書き入れあり）

## 讃岐典侍日記二卷

藤原長子著 塙保己一校

〔江戸末〕刊 外寸「二五・四×一七・七糎」 印記「島原祕藏」（松平忠房）「物集文庫」（物集高見）（羣書類從卷第三百二十二日記部三。無匡郭。一〇行。上二七丁下二八至六四丁。山岸氏識語「彰考館藏無名物語寫本二卷讃岐典侍日記也 大正十三年南呂」）

A四五六

三册

A四五七

三册

A四五八

一册

A四五九

一册



## 辨内侍日記二卷

藤原信實女著 塙保己一校

〔江戸末〕刊 外寸「二五・七×一七・五糎」 印記「物集文庫」〔物集高見〕（羣書類從卷第三百廿三日記部四。無匡郭。一〇行。上五五丁下四四丁）

## 中務内侍日記

藤原永經女著 塙保己一校

〔江戸末〕刊 外寸「二五・三×一七・五糎」 印記「島原祕藏」〔松平忠房〕「物集文庫」〔物集高見〕（羣書類從卷第三百二十四日記部五。無匡郭。一〇行。六三丁）

## 和泉式部物語

和泉式部著

〔江戸後期〕寫 外寸「二六・九×一九・七糎」（八行。七二丁）

## 更級日記二卷

菅原孝標女著 西門蘭溪校

東都淺草茅町 青藜閣須原屋伊八等 天保九年（一八三八）十月刊 外寸「二五・八×一七・八糎」〔佐川勝麿〕〔墨書〕（無匡郭。一〇行。頭注句點付。上二八丁下二九至五九丁）

## 更級日記講義

大塚彦太郎講述

東京 誠之堂書店 〔明治三十二年十一月活版〕明治四十三年（一九一〇）十月三刷 外寸「三二・二×一四・七糎」〔中等教育和漢文講義之一。一六〇頁〕

## 土佐日記

A 四六〇

一册

A 四六一

一册

A 四六二

一册

A 四六三

二册

A 四六四

一册

紀貫之著 塙保己一校

〔江戸末〕刊 外寸「二五・五×一七・八糎」 印記「永田藏書」「東京府師範學校之印」「東京府尋常師範學校藏書印」  
〔羣書類從卷第三百二十七紀行一。無匡郭。一〇行。三二丁〕

A 四六五

一册

## 校本土佐日記二卷

紀貫之著 加藤宇萬伎注

〔江戸後期〕寫 外寸「二七×一九・五糎」 印記「和歌山縣尋常師範學校」「師範國學所印」 （書名は書外題による。  
一〇行。上五五丁半下三六丁。朱筆の頭注あり）

A 四六六

二册

## 土佐日記

紀貫之著

寛政二年（一七九〇）村松眞舟寫 外寸「二六×一八・八糎」 （書名は書外題による。一〇行。三二丁。卷頭に識語「朱  
にて処々書そへ書改たるハ景樹か土佐日記創見也」〔朱書〕あり）

A 四六七

一册

## 更科日記

菅原孝標女著

安政五年（一八五八）九月跋刊 外寸「二五・八×一七・三糎」 印記「高木家藏」「高木利太」「城戸藏」 （無匡郭。九行。  
七丁半）

A 四六八

一册

## 新製大和眞名百花賦

各務支考（東花坊）著

京寺町二條 橘屋治兵衛 〔享保十二年（一七二七）九月〕刊 外寸「二七・四×一九糎」 （封面「和漢百花賦」版心「文  
操別錄」 單邊。無界。一〇行。白口。無魚尾。内匡郭「二〇・二×一四・六糎」 三三丁。A 四七九番の別録）

A 四六九

一册

## 風俗文選十卷

森川許六(五老井)編

洛下二條下寺町 野田彌兵衛尉 寶永三年(一七〇六)九月跋刊 外寸「二五・九×一八・六糎」(無匡郭。一一行。  
花口魚尾。一卷一五丁二卷一八丁三卷一九至四九丁四卷二二丁五卷二三至四八丁六卷二二丁七卷二三至三六丁八卷  
三七至五一丁九卷二〇丁一〇卷二二至三八丁)

## なほよしかたひの日記写

熊谷直好著

文化二年(一八〇五)菅原吉尚寫 外寸「二八×一九・五糎」 印記「天城藏書」(書名は書外題による。假綴。一四行。  
五丁。菅原氏識語「防州之士熊谷助左衛門直好文 文化二丑歲秋写蒙仰菅原吉尚書」)

## 伊勢ノもふて能記

〔江戸末〕寫 外寸「三・三×一六・五糎」(一二行。二四丁。跋「文化戌とし彌生末旬 雲照顔題」 朱筆の書き入  
れあり)

## 田舎莊子三卷埒一卷

丹羽佚齋(樗山)著

〔江戸〕日本橋通壹町目 出雲寺和泉掾 享保十二年(一七二七)六月刊 外寸「三・五×一六糎」 印記「三洲龍泉寺  
鶴田氏」「三洲額田郷土呂西町駒井屋重吉」(單邊。無界。九行。内匡郭「一八・二×一二・三糎」 句點付。繪入。上  
二四丁中二四丁下一六丁附二〇丁)

## 角筈之記六帖

〔江戸後期〕寫 外寸「三・八×一六糎」 印記「□陰館圖書記」(書名は書外題による。一一行。三〇丁)

## 本朝國語五卷

A 四七〇

九冊

A 四七一

一冊

A 四七二

一冊

A 四七三

四冊

A 四七四

一冊

矢島酉甫著

大坂 吉文字屋市左衛門〔寶曆十二年跋刊〕文化五年（一八〇八）後印 外寸「二一・六×一五・五糎」（單邊。無界。

A四七五  
五册

一〇行。内匡郭「一七・六×一二・九糎」 一卷一六丁二卷一六丁三卷一六丁四卷一六丁五卷一六丁。出版書目「文化  
戊辰新刻 大坂心齋橋東入四丁目 吉文字屋市左衛門板」三丁半

滑稽雜談二十四卷

釋四時堂其諺編錄 早川丈石（宗順・千載堂先生）考補

〔江戸後期〕寫 關卷第一第二 外寸「二七・一×一九・四糎」（二四行。三卷四二丁四卷五四丁五卷三九丁六卷五三

A四七六  
二二册

丁七卷四五丁八卷四六丁九卷三六丁一〇卷四三丁一一卷六六丁一二卷四四丁一三卷三九丁一四卷四八丁一五卷三六  
丁一六卷六九丁一七卷二九丁一八卷六四丁一九卷一八丁二〇卷三三丁二一卷四八丁二二卷二八丁二三卷三一丁二四  
卷一二丁。朱筆の書き入れあり

敵討矢橋乃歸帆十卷

〔江戸中期〕寫 外寸「三×一六・一糎」（八行。一卷一六丁二卷一五丁三卷一四丁四卷一四丁五卷一五丁六卷一四

丁七卷一五丁八卷一四丁九卷一五丁一〇卷一五丁半。紙帙に「文政五壬午年米辰傳兵衛より 上条元安」とあり

A四七七  
一〇册

敵討名鉏實錄十卷

麻布山人撰

〔江戸中期〕寫 關卷第五 外寸「二一・五×一五・六糎」 印記「星運堂」（七行。一卷一九丁二卷一二丁三卷一五丁

A四七八  
九册

四卷一六丁六卷一五丁七卷一五丁八卷一五丁九卷二三丁一〇卷一二丁。紙帙に「文政五壬午年米辰傳兵衛より 上  
条元安」とあり

和漢文操七卷

各務支考（蓮二坊）編

京都 橋屋治兵衛 享保十二年（一七二七）九月刊 外寸「二六・七×一八・八糎」 印記「南家藏書」（單邊。無界。

A四七九  
七册

一二行。内匡郭「二〇・二×一四・九糎」 一卷五〇丁二卷四一丁三卷四三丁四卷二五丁五卷二六丁六卷二四丁七卷五四丁。「俳書目錄俳集目錄 寺町通二條下ル町 書肆橘屋治兵衛板」(一丁)

## 駿臺雜誌五卷

室直清(鳩巢)著

大阪 岡島眞七 「寛延元年(一七四八)序刊」明治中後印 外寸「二四・三×一七・二糎」 印記「濱口」又貸禁制もち主にしき書入無用「帝國書籍株式會社藏書之印」(單邊。無界。一〇行。内匡郭「二〇・二×一四・五糎」 句點付。一卷五八丁二卷五七丁三卷五五丁四卷一三丁五卷五五丁)

## 松かけ日記

正親町町子(柳澤吉保側室)著

〔江戸後期〕寫 外寸「二七・四×一九・九糎」 印記「稻垣大業家藏記」(書名は書外題による。一〇行。春八一丁夏八九丁秋八四丁冬四八丁。第一冊目次卷頭に「博學斎板」と墨書あり)

## 松蔭日記

正親町町子(柳澤吉保側室)著

〔江戸後期〕寫 外寸「二六・八×一八・五糎」(書名は書外題による。一二行。春六三丁夏七三丁秋八〇丁冬四二丁。墨筆朱筆の書き入れあり)

## 松蔭の日記

正親町町子(柳澤吉保側室)著

〔江戸後期〕寫 外寸「二六・八×一八・二糎」 印記「巖松堂古典部波多桮扱斯書」(波多野重太郎)「秋乃屋」(二一行。春八二丁夏八三丁秋八二丁冬四五丁。山岸氏識語あり。書き入れあり)

## 東籬紀行

A 四八〇

五册

A 四八一

四册

A 四八二

四册

A 四八三

四册

大津直定(東籬)著

〔江戸後期〕寫 外寸「横本一七・五×二三・七糎」(書名は書外題による。一七行。一八丁。山岸氏識語「定直之紀行今逸題簽假名東籬紀行者也見蕉翁與細道者須参看也」)

A四八四  
一冊

野奥日記

嘉永六年(一八五三)寫 外寸「二六・三×一八・六糎」(假綴。八行。二六丁。山岸氏識語「野奥日記一卷不知作者嘉永六年六月七月兩月之交也出柏崎飯熊森島崎矣越後西蒲原郡中也有興焉」)

A四八五  
一冊

赤水先生東奥紀行一卷 附 探北越七奇記

長久保赤水(玄珠)著 長久保中行(陽谷)訂正標注

寛政四年(一七九二)十二月刊 水戸長久保氏藏版 外寸「二六・五×一八・五糎」 印記「有不爲齋」(題簽「標注圖書東奥紀行」單邊。無界。一〇行。内匡郭「一七・七×一四・七糎」頭注句點付。書筒付。二三丁附七丁。奥付に發兌書林として「大坂高麗橋淺野彌兵衛・江戸東叡山池之端北澤伊八」あり)

A四八六  
一冊

東行話説

土御門(安倍)泰邦著

安永七年(一七七八)寫 外寸「二四・五×一六・七糎」 印記「水埜氏圖書記」(書名は書外題による。卷頭「寶曆十年庚辰正月東行乃話説」一一行。五九丁。奥書「右土御門殿安倍泰邦東行話説備抄于平賀鳩溪家時安永七年暮春廿三日 南畝書」)

A四八七  
一冊

土御門殿東紀行十卷

土御門(安倍)泰邦著

〔江戸後期〕寫 外寸「二二・三×一六・二糎」 印記「宍戸昌藏書記」(宍戸昌) (八行。一卷一六丁二卷一五丁三卷一六丁四卷一五丁五卷一五丁六卷一五丁七卷一五丁八卷一三丁九卷一五丁一〇卷一二丁。奥書「右東行之說話者則作者以恩借眞蹟而寫之 寶曆十一巳正月巖景雲在判」)

A四八八  
二冊

## 紀行六種

〔文化十四年（一八一七）頃寫 外寸「二三・五×一六・九糎」 印記「莞齋藏」（齋藤幸孝）「括樂庵印」（富兼藏書）「三枝文庫」（武田氏藏書印）（武田醉霞）（書名は書外題による。一〇行。「太田道灌平安紀行」九丁。「西三條實澄公清見寺記」藤原實澄著、一二丁。「駿陽清見寺之記」二丁。「鎌倉紀行」澤庵宗彭作、三七丁。「さらしな日記」菅原孝標女著、一二丁。 識語「文化丁卯四月廿九日一校畢」 朱筆の書き入れあり〕

## 熱海記行

抱景子著

文政四年（一八二二）九月寫 外寸「二六・八×一八・六糎」（一二行。一二丁。 奥書「寛延三庚午季八月抱景子艸」 識語「文政四年巳季九月寫之」

## 筑紫紀行一卷松寫日記三卷

筑土佐守光俊作

〔江戸後期〕寫 外寸「二六・九×一九・七糎」（書名は書外題による。一五行。筑紫六丁松寫五丁。筑紫紀行卷末に 識語「此筑紫の記行ハ營神の御記と世に云傳ふ異本に須磨記とも号す…寛政十年六月下旬頼情」 別冊として松嶋日記奥書二本あり。別冊山岸氏識語「以上以二本奥書書加者也」 朱點・書き入れあり〕

## 道の記

釋忍靜著

〔文政頃〕寫 外寸「二七・一×二〇・三糎」 印記「渡邊千秋藏書」（書名は書外題による。一二行。三四丁。山岸氏 識語「伊勢長島觀量院ノ尼忍靜紀行ナリ」

## 西遊紀行

一齋主人梅柯著

A四八九 一冊	A四九〇 一冊	A四九一 一冊	A四九二 一冊	A四九三
------------	------------	------------	------------	------

〔江戸末〕寫 外寸「二七・三×一九・三糎」(書名は書外題による。卷頭「道の記」 八行。八三丁。跋文末「文化三歲丙寅六月一齋梅柯撰」)

## いつくしま御幸の道の記

土御門通親著

〔江戸末〕寫 外寸「二六・四×一九・五糎」(一〇行。二〇丁)

## 中空の日記

香川景樹著

京都市三條通 出雲寺松栢堂 〔文政二年(一八一九)二月序刊〕明治中後印 外寸「二五・四×一八糎」(書名は題簽による。無匡郭。一一行。四八丁。朱筆の書き入れあり)

## 草満くら

中根淑(香亭)著

明治二十七年(一八九四)寫 外寸「二四・四×二六・五糎」(一〇行。三二丁。山岸氏識語「草枕一卷香亭翁明治廿七年十月紀行也 題簽卷首卷末及插紙一葉翁自筆云云文中架空木村正三郎秋香中村氏也」 墨筆朱筆の書き入れあり)

## 蘆館類聚

天保七年(一八三六)五月蘆館泰綸寫 外寸「二四・三×一七糎」 印記「譽田之藏」(書名は書外題による。一〇行。上六六丁下五五丁。奥書「天保七丙申曆皐月中旬於勉晴閣書寫之蘆館泰綸」 識語「大正七年の彌生中の三日福岡に於いて 萬澤格」 「須磨の巻」に朱筆の書き入れあり)  
 上冊…猿丸大夫家集、忠岑集、毎月集 曾根好忠著、須磨の巻(菅家紀行)、松嶋日記 清少納言著、爲家卿千首 貞應二年八月  
 下冊…住吉紀行 三條西實隆著、播州紀行 冷泉正爲著、高野記行 釋頓阿著、熊野紀行 釋増基著、宗祇終焉記 宗長著、日光紀行 藤原正義著

一冊

A四九四

一冊

A四九五

一冊

A四九六

一冊

A四九七

二冊



## 富士御覽日記一卷富士記行一卷

御足利義教著 記飛鳥井雅世著

〔江戸後期〕寫 外寸「三・五×一六・七糎」 印記「雲月磐之文庫」 （書外題「將軍義教公富士御覽日記・飛鳥井雅世卿富士記行」 假綴。一〇行。御覽七丁記行一六丁。見返に貞丈識語「永享四年九月將軍義教公富士御遊覽日記一冊飛鳥井雅世卿富士記行一冊右兩冊同時乃筆なる故合て一帖トなし畢 貞丈」あり。朱筆の書き入れあり）

A四九八  
一冊

## 和歌覺書

〔江戸後期〕寫 外寸「三・一×一七糎」 印記「平出氏書室記」（平出鏗二郎） （書名は書外題による。一〇行。「春日社奉納百首和歌」烏丸光榮撰、六丁「寛保四年正月和歌御會始」一〇丁「延享二年正月公宴御會始」二丁半「延享三年寅正月廿四日公宴和哥御會始」七丁「烏丸光榮卿紀行」二七丁半。山岸氏識語「光榮紀行一卷扶桑殘玉集卷四所收与字ち出乃濱 烏丸光榮同本也」）

A四九九  
一冊

## 細川幽齋道の記

細川幽齋（藤孝）著

文化七年（一八一〇）十月寫 外寸「二・九×一五・二糎」 （見返「細川幽齋紀行」 一〇行。一四丁。印刷野紙使用。山岸氏識語「幽齋道の記の歌を抄出したるもの也」）

A五〇〇  
一冊

## 庚子道の記

武女著 清水濱臣注

江戸本石町 萬笈堂英平吉 〔江戸後期〕刊 外寸「二・五・七×一八・一糎」 （無匡郭。一〇行。頭注句點付。一八丁。出版書目「江戸本石町十軒店 書林萬笈堂英平吉藏板」半丁）

A五〇一  
一冊

## 庚子道之記

武女著

A五〇二

〔江戸末〕写 外寸「二六・八×一九糎」 印記「邨岡氏印」〔村岡櫟齋〕（無匡郭。一八丁。山岸氏識語「庚子道之記」一册写本萬笈堂板本影寫也 徳川侯本武女自筆稿本而優於版本者也）

須磨日記

香川景周等著

弘化四年（一八四七）十月跋刊 外寸「二五・六×一八糎」 （書名は題簽による。無匡郭。一〇行。一一丁）

管笠日記二卷

本居宣長著

〔江戸後期〕寫 外寸「二五・八×一八・四糎」 印記「竹廼屋印」「米村」（一〇行。上四一丁下三九丁。朱點あり）

平安紀行一卷慕景集一卷寄題江戸城靜勝軒詩序一卷靜勝軒詩序并銘一卷附太田道灌家集慕景集一卷

慕太田持資（道灌）著 寄蕭庵龍統著 靜釋萬里著

〔江戸後期〕寫 外寸「二五・二×一七・二糎」 印記「巖松堂古典部波多桊扱斯書」（波多野重太郎）（假綴。一〇行。

平安六丁慕景七丁寄題六丁靜勝三丁附一六丁。〔靜勝軒詩序〕は欣永堂製罫紙使用）

越路乃日記

鈴木重嶺著

明治十七年（一八八四）九月序刊 外寸「二三・九×一六・一糎」 （無匡郭。一〇行。三四丁）

北窓瑣談前篇四卷後篇四卷

橘春暉（甫谿）著

〔文政八年（一八二五）序刊〕江戸末後印 外寸「二五・六×一七・八糎」 印記「五古園書庫圖書之記」（無匡郭。一〇行。繪入。前篇一卷二七丁二卷二八丁三卷二七丁四卷二八丁。後篇一卷二九丁二卷三二丁三卷三三丁四卷二〇丁。

一册

A五〇三

一册

A五〇四

二册

A五〇五

二册

A五〇六

一册

A五〇七

八册

書目「皇都書林三條通東洞院東入町 小笹得五郎藏板」(半丁)

## 河社五卷

釋契沖著

京都 吉田四郎右衛門等 寛政九年(一七九七)五月刊 外寸「二六・五×一八・八糎」印記「明窩藏」甕屋「田口かう女藏本」(墨書) (單邊。無界。一〇行。内匡郭「二〇・四×一五・五糎」 頭注句點付。一卷三九丁二卷四九丁三卷四六丁四卷五八丁五卷四四丁)

## 太田道灌隨筆

太田持資(道灌)著

〔江戸後期〕寫 外寸「二六・六×一九・二糎」 (二二行。一九丁)

## 海人のくくつ

中島廣足(樫園)著

大坂 秋田屋太右衛門・江戸 英大助 〔嘉永三年(一八五〇)序刊〕後印 外寸「二五・四×一八・二糎」印記「素長之印」弘雅堂文庫乃志るし」等 (單邊。無界。一一行。内匡郭「一九・八×一五・三糎」 三七丁。「樫園大人著述目錄 江戸通十軒店英大助・大坂心齋橋通秋田屋太右衛門」二丁半。識語「安政四年十一月吉永秀和道にあたへぬ簞素長」)

## 折たく柴の記三卷

新井君美(白石)著

〔江戸後期〕寫 外寸「二七・三×一九・四糎」 印記「江連氏藏書」「江連喜則」 (一〇行。上六六丁中八一丁下九三丁)

## 閑居友二卷

〔江戸前期〕刊 外寸「二五・九×二〇・一糎」 (單邊。無界。一一行。白口。無魚尾。内匡郭「二一・二×一六・六糎」)

A五〇八

五册

A五〇九

一册

A五一〇

一册

A五一一

三册

A五一二

上五〇丁下三六丁。山岸氏識語「朱點及朱書入等皆村岡氏筆也氏本年三月他界云云 昭和廿二年八月十六日於琳瑯閣求之村岡典嗣氏藏本中之一也」

閑居友二卷

〔京都〕 中野小左衛門 寛文二年（一六六二）四月刊 外寸「二七・三×一八・四糎」 「慈鎮和尚」（墨書）（單邊。無界。一一行。白口。無魚尾。内匡郭「二・三×一六・四糎」 句點付。上五〇丁下三六丁。山岸氏識語の貼紙あり）

磯足蜘蛛の歌六十五首 一卷 回文錦字之詩 附寶滔之詩解 一卷 本宮山石御門祝詞 一卷 鋪疊起原之事 一卷 太々御神樂之起原 一卷 雪花圖說前後 一卷

磯加藤磯足著 回蘇若蘭著 太源純孝著 雪土井利位著

天保十五年（一八四四）五月石川純孝寫 外寸「二四・四×一七糎」（一〇行。磯足四丁回文一二丁本宮八丁鋪疊四丁太々四丁雪花一〇丁。印刷罫紙使用）

閑居友 存卷下

〔江戸前期〕刊 外寸「二七・一×一八・三糎」 「然蓮者良湛順翁」（墨書）（單邊。無界。一一行。白口。無魚尾。内匡郭「二・三×一六・四糎」 句點付。三六丁。與A五二二番下卷同版。山岸氏識語「閑居友無刊記本也」

志里うごと三卷

川崎重恭（小説家大人）著 三國眞竝・穴栗田恆校

天保三年（一八三二）序刊 外寸「二二・一×一五糎」 印記「靱屋文庫」「黒木圖の影ふみの處」「中野氏印」（角書「皇朝學者妙二奇談」 單邊。無界。九行。内匡郭「一七・一×一二・四糎」 句點付。繪入。上一六丁中一八丁下一七丁）

河伯井蛙文談三卷

丹羽佚齋（樗山）著

江都 西村源六・京都 西村市良右衛門 享保十三年（一七二八）刊 外寸「二三・一×一六・二糎」（卷頭副題「田舎

二册

A五二三

四册

A五一四

一册

A五一五

一册

A五一六

三册

A五一七

三册

莊子外篇附錄」單邊。無界。九行。内匡郭「二七・五×一三・八糎」繪入。上一六丁中二六丁下一八丁。附「田舎莊子傳寫正誤」三丁。「文刻堂壽梓目錄 享保十二丁未歲仲夏吉日 江府書林通本町三丁目 西村源六藏板」半丁)

## 賣卜先生安樂傳授三卷

脇坂義堂著

〔寛政八年(一七九六)刊 外寸「二・六×一五・六糎」(單邊。無界。八行。内匡郭「一八・四×一三・一糎」 句點付。繪入。上一八丁中一六丁下二二丁)

## 賣卜先生糠俵後篇二卷

鎌田一窓(虛白齋)著

安永七年(一七七八)一月刊 滄浪舎藏板 外寸「三・八×一六・二糎」(單邊。無界。一〇行。内匡郭「一九・二×一三・五糎」 句點付。繪入。上一八丁下二七丁。奥付に弘所京都書林として二條通山本長兵衛から西堀川通唐本屋吉右衛門まで」全四書肆名あり)

## 可笑記五卷

齋藤親盛(如儡子)著

〔江戸前期〕刊 關卷第五 外寸「二五・四×一八・三糎」 印記「紫香藏」(大久保紫香) (單邊。無界。一二行。白口。無魚尾。内匡郭「二〇・八×一五・八糎」 句點付。一卷四二丁二卷四四丁三卷三九丁四卷四三丁。卷第五補複寫(六三三丁)。山岸氏識語「可笑記卷五以長澤規矩也氏藏本複寫者也」)

## 教訓雜長持五卷

伊藤單朴(青柳散人)著

江都淺草田原町 辻村勘七 寶曆二年(一七五二)刊 外寸「二二・四×一五・六糎」 「寶曆十一辛巳九月柴山氏」(墨書) (單邊。無界。七行。内匡郭「一八×一二・七糎」 句點付。繪入。一卷一八丁二卷一九丁三卷二七丁四卷一八丁五卷二二丁)

A五一八

一册

A五一九

二册

A五二〇

五册

A五二一

五册

譏草十卷

常闇齋若夢編

享和元年（一八〇二）九月寫 外寸「二五×一六糎」 「岩手縣種市水澤菊地養藏」（墨書） （七行。一卷二八丁二卷三九丁三卷三七丁四卷三一丁五卷三九丁六卷三九丁七卷一九丁八卷三四丁九卷三六丁一〇卷一三丁）

禪門徒然草二卷

正徳二年（一七二二）七月寫 外寸「二八・一×二〇糎」 印記「澤口氏文庫」（九行。漢字片假名。全四四丁）

盲安杖

鈴木正三著 手島堵庵注

安永七年（一七七八）序刊 外寸「二五・七×一八・八糎」 （書名は序文首による。單邊。無界。一一行。内匡郭「二・二×一六・一糎」 頭注付。二二丁。奥付に弘所京都書林として「二條通 山本長兵衛・脇坂仙治郎・烏丸通 すみ屋勘兵衛」の三書肆名あり）

二川隨筆三卷

細川季明（宗春）著 山川信意（素石）増補

寶曆十三年（一七六三）三月寫 外寸「二六・四×一八・六糎」 印記「丁丑進士」「風齋」（一〇行。一卷二五丁二卷二〇丁半三卷二四丁半）

雜和集三卷

〔寛永十八年（一六四二）七月京都刊〕後印 外寸「二六・五×一八・八糎」 印記「夕稠」「さぬきたかまつ有岡印」「宣照」（書名は目次首による。無匡郭。一一行。上四七丁中四四丁下三六丁。與A五二七番同版。但し中卷末の刊記を削去）

雜和集三卷

A五二三  
一〇冊

A五二三  
一冊

A五二四  
一冊

A五二五  
一冊

A五二六  
三冊

京寺町四條上町 寛永十八年（一六四二）七月刊 外寸「二六・五×一八・八糎」 印記「安井藏書」（無匡郭。一行。上四七丁中四四丁下三六丁）

## 麓草分二卷

鈴木正三著 守永彌六校正

東京 守永彌六 明治二十三年（一八九〇）三月刊 外寸「二五・八×一八・八糎」 （書名は目次首による。題簽「校正新刻麓草分」 單邊。無界。一〇行。内匡郭「二〇・六×一六・五糎」 句點付。上二六丁下二丁。奥付に發兌所として「東京 須原屋茂兵衛」あり）

## 破吉利支丹

鈴木正三著 守永彌六校

東京 守永彌六 明治二十二年（一八八九）刊 外寸「二五・五×一八・五糎」 （題簽「校正新刻破鬼理死端」 單邊。無界。九行。内匡郭「二〇・六×一五・九糎」 句點付。一七丁。奥付に發賣所として「東京 須原屋北畠書店」あり）

## 萬民徳用

鈴木正三著

〔明治中〕刊 外寸「二五・五×一七・九糎」 （書名は題簽による。單邊。無界。一〇行。内匡郭「二一・三×一五・五糎」 二二丁。忍阿の跋文あり）

## 或問珎六卷

兒嶋正長（不求齋）著

〔寶永七年（一七一〇）序刊〕江戸後期後印 外寸「三・七×一五・六糎」 （序文首「秉燭或問珎」 單邊。無界。八行。内匡郭「一八・五×一一・四糎」 一卷一八丁二卷一八丁三卷一六丁四卷一九丁五卷一六丁六卷二二丁。卷末に貝原益軒作鳥飼洞齋校正「月令博物筌」の廣告あり）

A五二七

三冊

A五二八

二冊

A五二九

一冊

A五三〇

一冊

A五三一

二冊

佐野のわたり

宗碩著

江戸 須原屋茂兵衛・京都 勝村治右衛門・大坂 秋田屋太右衛門 文政七年（一八二四）十二月刊 外寸「二六・五  
×一八・五糎」〔單邊。無界。一〇行。内匡郭「一三×一四糎」 頭注句點付。一二丁。「高田清年子校本目録」一二丁〕

A五三二  
一册

後篇古實今物語五卷

清涼井蘇來著

〔江戸後期〕寫 外寸「三三・八×一六・七糎」〔井口藏〕〔墨書〕（九行。一卷一二丁二卷一四丁三卷一三丁四卷一二  
丁五卷一二丁）

A五三三  
一册

絲のしらべ

〔江戸後期〕寫 外寸「二五×一七・八糎」〔書名は書外題による。七行。五五丁）

A五三四  
一册

染物口傳書

天保十三年（一八四二）五月寫 外寸「二四×一六・七糎」〔積善庵〕〔墨書〕（書名は封面による。一一行。四丁）

A五三五  
一册

和漢故事文選八卷

部遊燕編

攝陽心齋橋筋上人町 雁金屋庄兵衛・武州 萬屋清兵衛 正徳五年（一七一五）五月刊 外寸「二五・八×一七・六糎」  
〔單邊。無界。九行。内匡郭「一八・一×一四糎」 漢字片假名。一卷一二丁・二〇至二四丁二卷一五丁三卷一二丁・  
二〇至二三丁四卷一九丁五卷二〇丁六卷二二丁七卷一七丁八卷一一丁）

A五三六  
八册

弇園摘芳三卷



釋玉宣珠鍊編

江戸日本橋南一丁目 須原茂兵衛 寛保二年（一七四二）六月刊 外寸「二六・九×一七・九糎」（左右雙邊。無界。  
九行一八字。内匡郭「一八・三×一三・三糎」 漢字頭注句點訓點付。上二〇丁中二丁下一九丁）

近代正說碎玉話 存卷第五至第八

熊澤淡庵（正興）編

〔江戸中期〕刊 外寸「二四・七×一七・八糎」（題簽副題「武將感狀記」 單邊。無界。一一行。内匡郭「二〇・五×  
一五・七糎」 漢字片假名。五卷三二丁六卷三三丁七卷一七丁八卷四〇丁）

大山道中膝栗毛初編二卷二編二卷三編二卷

瀧亭鯉丈作 歌川國直畫

江戸 涌泉堂美濃屋甚三郎・丁子屋平兵衛 天保三年至天保四年（一八三三）刊 外寸「一八・二×一二糎」 印記「蕭  
碧堂記」「皓月堂」「柘植藏書」「文教堂」（單邊。無界。八行。内匡郭「一一・四×九・九糎」 繪入。初編上二六丁下  
二七至五五丁。二編上二二丁下二七丁。三編上二六丁下三三至五九丁）

花暦八笑人一編二卷二編二卷三編二卷三編追加二卷四編二卷四編追加二卷

瀧亭鯉丈作 溪齋英泉・歌川國直畫

江戸 文永堂大嶋屋傳右衛門等 文政七年至天保五年（一八三四）刊 外寸「一八・二×一一・九糎」 印記「柘植藏書」  
「赤坂廣藤」（單邊。無界。八行。内匡郭「一四・七×一〇・一糎」 句點付。繪入。一編一卷二〇丁二卷二二至五〇丁半。  
二編上二六丁下二九丁。三編上三〇丁下二六丁。三編追加上三三丁下二四丁半。四編上三四丁下二三丁。四編追加  
上二〇丁半下二二丁）

道中膝栗毛發端一卷初篇一卷後篇二卷三篇二卷四篇二卷五篇二卷

十返舎一九作・畫

江都馬喰町 西村屋與八・通油町 村田屋治郎兵衛等 享和二年至文化十一年（一八一四）刊 外寸「一八・七×

A五三七

一冊

A五三八

四冊

A五三九

三冊

A五四〇

六冊

A五四一

一〇冊

一二・五糎」〔廣瀬信太郎〕〔墨書〕（單邊。無界。内匡郭「一六・一×一〇・四糎」 句點付。繪入。發端三一丁初篇三八丁。後篇乾三四丁坤三五至六七丁。三篇上一九丁下三〇至六二丁。四篇上三二丁下三二丁。五篇上三〇丁下三二至七〇丁）

松月露譚玉川日記 存卷卷一

南仙笑楚滿人著

文政八年（一八二五）序刊 外寸「一八・六×一二・五糎」 印記「近嘉」（單邊。無界。八行。内匡郭「一四・七×一〇糎」 句點付。繪入。二〇丁）

奥羽一覽道中膝栗毛 初編三卷

十返舎一九（二世）作 歌川國芳・逸見一信畫

江戸淺草福井町 山崎清七・本所相生町 紙屋利助 弘化五年（一八四八）一月刊 外寸「一八×一二・三糎」 印記「渡」（書名は序文首による。題簽「奥羽道中膝栗毛」 單邊。無界。八行。内匡郭「一四・七×一〇・三糎」 句點付。繪入。上二〇丁中二五丁下二三丁）

奥羽一覽道中膝栗毛 存卷二篇上

十返舎一九（二世）作 歌川國芳・逸見一信畫

弘化五年（一八四八）序刊 外寸「一八×一二・三糎」 印記「濱」「衣笠」（題簽「奥羽道中膝栗毛」 單邊。無界。内匡郭「一四×一〇・一糎」 句點傍訓付。繪入。二三丁）

東海道中膝栗毛 存卷五篇二卷

十返舎一九作・畫

東都芝神明前 甘泉堂和泉屋市兵衛 〔文化三年（一八〇六）刊〕後印 外寸「一八・一×一二糎」 （單邊。無界。八行。内匡郭「一五・六×一〇・四糎」 句點付。繪入。上二〇丁下四〇丁）

東海道中膝栗毛 存卷四篇下五篇下

A五四二

一册

A五四三

三册

A五四四

一册

A五四五

二册

十返舎一九作・畫

〔文化二年至三年（一八〇六）刊〕後印 外寸「一八・六×二二・八糎」（單邊。無界。八行。内匡郭「一五・三×一〇・四糎」 句點付。繪入。四篇下三〇丁五篇下三一至七〇丁。五篇下を前に四篇下を後に合綴）

松竹梅女水滸傳 存卷前編三卷

式亭三馬作 五渡亭（歌川）國貞畫

江戸芳町 榮久堂山本平吉 文政三年（一八二〇）刊 外寸「二七・六×二二・一糎」（單邊。無界。内匡郭「一六・九×一〇・六糎」 繪入。上一〇丁中八丁下一〇丁）

繪本實錄菅公御一代記

網島龜吉編

東京 網島龜吉 明治十九年（一八八六）九月銅版印 外寸「二一・九×八・七糎」（四周雙邊。無界。一四行。内匡郭「九・八×六・九糎」 繪入。二三丁半）

清談若綠十二卷

曲山人著 一鵬齋（歌川）芳藤畫

〔江戸末〕刊 闕卷第七至第九 外寸「二七・九×二一・九糎」（單邊。無界。八行。内匡郭「二四・八×九・九糎」 句點付。繪入。初編上一八丁中一八丁下一八丁。四卷一八丁五卷一八丁六卷一八丁一〇卷一八丁一二卷一八丁一二卷一八丁）

辰巳婦言

式亭三馬作 喜多川歌麿（初世）畫

寛政十年（一七九八）自序刊 外寸「一八・三×二二・一糎」（角書「石場妓談」 單邊。無界。八行。内匡郭「一三・一×九・二糎」 繪入。二〇丁）

江戸櫻清水清玄三編十二卷

A五四六

二册（合綴一册）

A五四七

一册

A五四八

一册

A五四九

三册

A五五〇

一册

柳水亭種清作 梅蝶樓(歌川)國貞畫

〔江戸〕紅英堂〔江戸末〕刊 外寸「一七・三×一一・五糎」(書名は後編序文首による。單邊。無界。三〇行。内匡郭「一五・五×一〇・三糎」繪入。初編二〇丁中編二〇丁後編二〇丁)

A五五一

三册(合綴一册)

水錦隅田曙初編三卷

伊東專三作 前島和橋補 梅堂國政畫

東京 金松堂辻岡文助 明治十二年(一八七九)五月刊 外寸「一七・二×一一・四糎」(單邊。無界。一三行。内匡郭「一四・四×九・八糎」繪入。上九丁中九丁下九丁。黑色表紙を前後に付けて合綴)

A五五二

三册(合綴一册)

古今奇談繁野話五卷

都賀庭鐘(近路行者)著

大坂心齋橋通 山口屋又一郎・心齋橋筋順慶町 梅原清右衛門・江戸通本町 西村源六 明和三年(一七六六)一月刊 外寸「二二×一五・三糎」印記「忍耐堂山田氏藏書章」「紀伊國屋」「赤堀」(單邊。無界。一二行。内匡郭「二八・八×一三・七糎」句點付。一卷一四丁二卷一七丁三卷二〇丁四卷一七丁。五卷上一二丁下一八丁)

A五五三

一册

黃金水大盡盃 存卷四編二卷五編二卷六編二卷

爲永春水(二世)作 一壽齋(歌川)國貞等畫

〔江戸〕芝神明前 甘泉堂和泉屋市兵衛 安政四年(一八五七)刊 外寸「一七・七×一一・八糎」(單邊。無界。三〇行。内匡郭「一五・八×一〇・二糎」繪入。四編上一〇丁下一一至二〇丁。五編上一〇丁下一一至二〇丁。六編上一〇丁下一一至二〇丁)

A五五四

六册

英皎うとふ一諷三編十二卷

柳水亭種清作 梅蝶樓(歌川)國貞畫

東都南傳馬町 萬屋吉藏 安政七年(一八六〇)刊 外寸「一七・八×一一・七糎」(單邊。無界。三〇行。内匡郭「一五・四×一〇・五糎」繪入。一編二〇丁二編二〇丁三編二〇丁)

A五五五

三册

宇治拾遺煎茶友 存卷上

墨川亭雪麿作 青蔦亭(貞齋)泉晁畫

〔江戸〕 佐野屋 天保五年(一八三四)刊 外寸「一八×一二糎」(書名は見返による。表紙「うち志ういせんちやのとも」 單邊。無界。二八行。内匡郭「一五・八×一〇・二糎」 繪入。一〇丁)

忠臣再講釋 存卷上

戀川春町(二世)作 五雲亭(歌川)貞秀畫

江戸 錦耕堂山口屋藤兵衛 天保三年(一八三二)二月刊 第一五丁以下闕丁 外寸「一五・二×一〇・一糎」(書名は見返による。表紙「忠臣」 單邊。無界。二七行。内匡郭「一五×一〇糎」 繪入。一四丁)

甲越軍談

孟齋芳虎畫

〔江戸〕 本所龜澤町 本屋伊助 〔江戸末〕刊 闕丁第一至一〇丁 外寸「二七・九×一一・六糎」〔原直三郎〕(墨書)(書名は表紙による。單邊。無界。一四行。内匡郭「一四・八×一〇・一糎」 繪入。二〇丁)

笹色猪口曆手前編三卷後編三卷

柳亭種彦作 歌川豊國・歌川豊國(二世)畫

〔江戸〕馬喰町 西村屋與八 文政九年(一八二六)刊 外寸「一七・八×一一・八糎」(書名は見返による。單邊。無界。二八行。内匡郭「一五・七×一〇・六糎」 繪入。前編一五丁後編一六至二九丁)

小稻半兵衛花筏月浮船二卷

式亭小三馬作 五雲亭歌川貞秀畫

江戸京橋南傳馬町 紅英堂蔦屋吉藏 天保八年(一八三七)刊 外寸「一七・八×一二糎」(書名は見返による。單邊。無界。二八行。内匡郭「一五・六×一〇・二糎」 繪入。上一〇丁下一一至二〇丁)

A五五六

一册

A五五七

一册

A五五八

一册

A五五九

二册(合綴一册)

A五六〇

二册

黄金の花猫目かつら 存卷六編下

假名垣魯文作 孟齋(歌川)芳虎畫

江戸通油町 松林堂藤岡屋 明治元年(一八六八)刊 外寸「二七・八×一一・五厘」(書名は封面による。單邊。無界。二六行。内匡郭「一五・三×一〇・二厘」繪入。一二至二〇丁)

温泉土産箱根艸 存卷初篇中

瀧亭鯉丈作 溪齋英泉畫

江戸京橋彌左エ門町 文永堂大嶋屋傳右衛門 (弘化元年(一八四四)刊 外寸「二七・八×一一・八厘」(單邊。無界。八行。内匡郭「二四・六×九・八厘」繪入。一六丁)

大石十八ヶ條

〔江戸末〕刊 外寸「二七・一×一一・二厘」(單邊。無界。一〇行。内匡郭「一五・五×一〇・一厘」繪入。三〇丁)

鼠祠通夜譚 存卷初篇二卷二篇二卷

柳亭種彦(二世)作 梅蝶樓歌川國貞(二世)畫

東京 紅英堂蔦屋吉藏 (慶應三年刊)明治二年(一八六九)頃印 外寸「二七・五×一一・七厘」(書名は封面による。單邊。無界。二九行。内匡郭「一五・四×一〇・五厘」繪入。初篇上一〇丁下一一至二〇丁。二篇上一〇丁下一一至二〇丁。〔明治二年庚午陽春開板標目 南傳馬町壹丁目 蔦屋吉藏板〕半丁)

北雪美談時代鏡 存卷第五篇上

爲永春水(二世)作 一壽齋(歌川)國貞(二世)畫

安政三年(一八五六)序刊 外寸「二七・五×一一・七厘」(書名は見返による。單邊。無界。三〇行。内匡郭「二五・七×一一・一厘」繪入。一〇丁)

A五六一

一册

A五六二

一册

A五六三

一册

A五六四

三册

A五六五

一册

## 北雪美談時代鏡 存卷第三十五篇上

爲永春水（二世）作 一壽齋（歌川）國貞（二世）畫

元治二年（一八六五）序刊 外寸「二七・七×二一・七糎」（書名は見返による。單邊。無界。二九行。内匡郭「二五・二×一〇・六糎」 繪入。一〇丁）

## 敎訓郭里の東雲三卷

爲永春水（二世・楚滿人）作 松亭金水稿

天保十一年（一八四〇）十月序刊 外寸「二八・一×二二・一糎」（題簽「浦里時次郎明烏後の正夢・發端」 單邊。無界。八行。内匡郭「二四・一×九・八糎」 句點付。繪入。上三丁中三丁下三丁）

## 淀屋辰五郎之傳 存卷前篇

三品長三郎編

東京 三品長三郎 明治十六年（一八八三）一月活版 外寸「二七・六×二一・六糎」（二七丁。奥付に發賣元として「東京滑稽堂」あり）

## ときまさ

五柳亭徳舛作

〔江戸末〕刊 外寸「二七・九×二一・九糎」（書名は版心による。單邊。無界。二九行。内匡郭「二五・二×一〇・一糎」 繪入。一〇丁）

## 花封じつぼみのたまつさ 存卷三篇下

三亭春馬・柳亭種彦作 梅蝶樓（歌川）國貞畫

〔江戸末〕刊 外寸「二七・八×二一・七糎」（書名は見返による。單邊。無界。三〇行。内匡郭「二五・三×一〇・三糎」 繪入。一一至二〇丁。「安政七年庚申陽春開板標目 東都南傳馬町一丁目 葛屋吉藏板」半丁）

A五六六

一册

A五六七

一册

A五六八

一册

A五六九

一册

A五七〇

一册

うすおもかげまぼろし日記 存卷十二篇上

爲永春水(二世)作 梅蝶樓(歌川)國貞(二世)畫

〔江戸末〕刊 外寸「一七・七×一一・七糎」(書名は表紙による。單邊。無界。二九行。内匡郭「一五×一〇・三糎」繪入。六、七、一一至二〇丁)

しん板げいしゃどどいつ

〔江戸末〕刊 外寸「一七×一一・一糎」(單邊。無界。六行。内匡郭「一四・一×九・四糎」 九至一六丁)

古今奇談莠句册五卷

近路行者著

大坂心齋橋通一丁目 秋田屋太右衛門等 (天明六年(一七八六)一月浪華河内屋八兵衛等刊)後印 外寸「三・二×一五・七糎」(見返「古今奇談續編莠句册」 單邊。無界。一二行。内匡郭「一八・二×一三・六糎」 句點付。繪入。一卷一四丁二卷二二三卷二〇丁四卷二三丁五卷一九丁)

奇說排門録十一卷

(清)孫洙著 (日本)石川雅望(六樹園)譯 (日本)溪齋英泉畫

大坂心齋橋筋博勢町 河内屋茂兵衛等 (文政十一年至十二年(一二二九)刊)後印 外寸「二・六×一五糎」 印記「松井氏藏書章」(松井簡治)「沼徳」高等師範大塚文庫印 (書名は目次首による。題簽「奇說排悶録」 單邊。無界。一〇行。内匡郭「二八・一×二二・七糎」 句點付。繪入。一卷一四丁二卷一九丁三卷一八丁四卷二二丁五卷二〇丁六卷一七丁。七卷上一六丁半下一六丁。八卷三〇丁九卷一六丁一〇卷二四丁二一卷一七丁。卷七見返に「奇說排門録後集總目次」とある)

奇怪筑陽談十卷

森龍池軒編

A五七一

一册

A五七二

一册

A五七三

五册

A五七四

一二册

A五七五



〔江戸末〕寫 外寸「二・二×一六・一糎」(九行。一卷九丁二卷一三丁三卷一三丁四卷一三丁五卷一五丁六卷一三丁七卷一丁八卷一二丁九卷一二丁一〇卷一〇丁。序文末に「森龍池軒天明貳壬寅季秋月」とあり)

## ゆめ物かたり

〔江戸後期〕寫 外寸「二・四・九×一七・七糎」(書名は書外題による。假綴。九行。一二丁。山岸氏識語「夢物語二冊法語類也」)

## 女敵討いく代餅

釋花喜鳥亭編

弘化四年(一八四七)一月釋園喜鳥亭寫 外寸「二七・一×一八・六糎」(書外題「敵討以久代餅」 一一行。四七丁。識語「于時弘化四未年正月下旬釋花喜鳥亭探毫 釋園喜鳥山人五五ノ年寫之㊦」)

## 貪着物語五卷

三條茂佐彦(長山孔寅)作 松山半三・長山孔順畫

大坂心齋橋通堂安町 秋田屋太右衛門等 (嘉永五年(一八五二)一月江戸山崎屋清七等刊)後印 外寸「二五・四×一七・六糎」 印記「増田文庫」 「廣奇藏書(墨書) (單邊。無界。九行。内匡郭「一八・六×一三糎」 繪入。一卷二二丁二卷二三丁三卷二三丁四卷一六丁五卷二二丁)

## 石清水物語二卷

昭和三年(一九一八)十月山岸氏家中寫 外寸「二七・四×一九・九糎」(一四行。上五四丁下五六丁。山岸氏識語「石清水物語内閣文庫藏本也 昭和三歲次戊辰十月中浣家中女子書寫于簪帶之間焉」)

## 正三位物語二卷

〔江戸末〕寫 外寸「二七・八×一九・五糎」(書名は書外題による。一二行。上七四丁下六二丁。識語「正三位物語此本は二冊にとちられたれと本居翁の奥書ある本は四冊にとちたり文章の増減あるにあらず云云」)

一冊

A五七六  
一冊

A五七七  
一冊

A五七八  
一冊

A五七九  
二冊

A五八〇  
二冊

## 正三位物語四卷

〔江戸末〕寫 外寸「二五・八×一九・三糎」 印記「新保氏藏」「新保磐次」「一」邨等 (書名は書外題による。一〇行。春五四丁夏五七丁秋五五丁冬五四丁。山岸氏識語)「正三位物語四卷新保一村翁藏本也一村翁之先考於江戸購求焉爾来在曾根者也予大正十一年冬借覽今茲一村翁歿遂為遺品而為所贈与矣」

## 義經勳功圖會 存卷前編卷五

好花堂野亭作 西村申和畫

〔文政八年(一八二五)〕刊 外寸「二四・八×一八糎」 「大分縣豊後国大分郡鶴崎町字三軒町大友正孝」(墨書) (單邊。無界。一二行。内匡郭「一九・二×一四・七糎」 句點付。繪入。三〇丁。山岸氏識語)「義經勳功圖會前編五册大正八年二月盡岩田九郎君寄贈」

## しみのすみか物語二卷

石川雅望著 朝田保清校

尾府玉屋町 永樂屋東四郎・大坂唐物町 河内屋太助・江戸山下町 萬屋太次右衛門 文化二年(一八〇五)刊 外寸「三一・七×一五・七糎」 印記「甲斐野牛嶋三枝七内」駒 (單邊。無界。一〇行。内匡郭「一六・三×一一・三糎」 句點付。繪入。上三三丁下三三丁。尾陽東壁堂製本畧目錄 尾州名古屋本町通七丁目 永樂屋東四郎「六丁」)

## 志ミのすみか物語

石川雅望著

〔江戸末〕寫 外寸「二四・八×一七・七糎」 印記「多計廼舍所藏」「本英」 (書名は序文首による。一〇行。七〇丁)

## 一休可笑記六卷

大坂本町壹丁目 松壽堂彦太郎 寶永二年(一七〇五)月刊 關卷第四 外寸「二五・八×一八・八糎」 「武田豊門」(墨書) (題簽「座敷講談一休可笑記」 單邊。無界。一三行。内匡郭「二・二×一六・二糎」 句點付。一卷二〇丁)

A五八一	四册
A五八二	一册
A五八三	二册
A五八四	一册
A五八五	五册

二卷一九丁三卷一九丁五卷一六丁六卷二二丁)

## 當流雲のかけ橋五卷

柳心著

大坂順慶町心齋橋筋 柏原屋与市 [享保頃刊]後印 外寸「二五・四×一八・二厘」印記「林忠正印」(林忠正)「白善」  
「朝倉」(單邊。無界。一二行。白口。無魚尾。内匡郭「二〇・四×一五・三厘」繪入。一卷二〇丁二卷一九丁三卷二〇丁四卷二〇丁五卷二二丁)

## 老子形氣六卷

新井祐登(白蛾)著 林仙齋畫

寶曆三年(一七五三)二月跋刊 闕卷第六 外寸「二一・九×一六・八厘」印記「長谷銀」樂書」(單邊。無界。一〇行。内匡郭「一八・一×一三・二厘」繪入。一卷一七丁二卷一七丁三卷一七丁四卷一七丁五卷二〇丁)

## 世間母親容氣五卷

多田南嶺(南圭梅嶺)著

嘉永五年(一八五二)浪速關谷氏寫 外寸「二六・六×一九・七厘」(一二行。繪入。一卷一五丁二卷一六丁三卷一五丁四卷一四丁五卷一五丁。底本「寶曆二年南圭梅嶺序刊本」)

## 二人比丘尼

鈴木正三著

〔江戸後期刊〕後印 外寸「二五・九×一七・九厘」印記「口美庵藏書」尾島氏圖書記」(單邊。無界。一二行。白口。無魚尾。内匡郭「二〇・一×一四・八厘」句點付。繪入。二九丁。書目「江戸淺草新南町 和泉屋庄次郎」半丁)

## 薄雪物語

〔江戸後期〕寫 外寸「二四・四×一七・二厘」(書名は封面による。一〇行。六二丁)

A五八六

五册

A五八七

五册

A五八八

一册

A五八九

一册

A五九〇

竈將軍勘略之卷

葛飾北齋(時太郎・可候)作・畫

江戸 蔦屋重三郎〔寛政十二年(一八〇〇)刊 外寸「一八×二・三・三厘」(書名は題簽による。單邊。無界。二七行。内匡郭「一四・七×一・一・三厘」 繪入。一五丁)

A五九一①

二册

小野篁地獄往來

山東京傳作 北尾政演畫

〔江戸後期〕刊 外寸「一八×二・三・三厘」(單邊。無界。三三行。内匡郭「一四・七×一・一・二厘」 繪入。一五丁)

A五九一②

二册

冠辭續貂七卷

上田秋成著

〔享和元年(一八〇一)刊 闕卷第七 外寸「二四・八×一七・五厘」 印記「高橋全良藏書」(書名は目次首による。單邊。無界。一〇行。内匡郭「二・二×一五・六厘」 頭注句點付。一卷三一丁二卷三五丁三卷三一丁四卷二六丁五卷三一丁六卷三四丁)

A五九二

六册

冠辭考十卷

上田秋成著

大坂 秋田屋太右衛門等 寛政七年(一七九五)九月重刊 闕卷第一 外寸「二五・三×一八・二厘」 印記「高橋全良藏書」嘉苦樓文庫「雅延」(單邊。無界。一〇行。内匡郭「二・五×一五・七厘」 頭注付。二卷四〇丁三卷二五丁四卷三八丁五卷二七丁六卷二四丁七卷一九丁八卷二二丁九卷三八丁一〇卷三二丁。與A五九四番同版。但し版元全五書肆の中央を「本屋又兵衛」とし書目闕)

A五九三

九册

冠辭考十卷

上田秋成著

大坂 秋田屋太右衛門等 寛政七年（一七九五）九月重刊 闕卷第五 外寸「二五・九×一八・三糎」 印記「村上氏藏書」（單邊。無界。一〇行。内匡郭「二・五×一五・七糎」 一卷三九丁二卷四〇丁三卷二五丁四卷三八丁六卷二四丁七卷一九丁八卷二二丁九卷三八丁一〇卷三二丁。版元全五書肆の中央を「河内屋儀助」とする。「浪速書鋪田中宋榮堂藏版目錄 大坂心齋橋通安堂寺町南江入 秋田屋太右衛門」六丁）

## 冠辭考拔纓一卷冠辭考續貂拔纓一卷

〔餘齋〕著

〔江戸後期〕寫 外寸「三・八×一六・六糎」 印記「吉祐之印」「杉田氏」（九行。冠辭考一〇〇丁續貂八二丁。「續貂拔纓」の凡例末に「寛政八年秋九月粟田山の麓の屋とりにて餘齋しるす」と墨書あり）

## 同文通考 存卷第三第四

新井君美（白石）著 新井祐登（白蛾）補校

〔江戸後期〕寫 外寸「二六・七×一八・八糎」 印記「大江鑒印」（九行。漢字片假名。三卷三四丁四卷二九丁）

## 假字考二卷

岡田眞澄著

東京 松山堂藤井利八 〔文政五年（一八二二）序刊〕明治期後印 外寸「二六×一八糎」（單邊。無界。八行。内匡郭「二・六×一四・四糎」 上四六丁下四〇丁）

## 假字類纂

關根爲寶（江山）著

東京 早矢仕民治 〔嘉永七年江戸英文藏刊〕明治三十年（一八九七）六月後印 外寸「二五・九×一八・五糎」 印記「星野藏書之章」（四周雙邊。無界。四行。内匡郭「二〇・二×一三・二糎」 二八丁）

A五九四

九册

A五九五

二册

A五九六

一册

A五九七

二册

A五九八

一册

伊呂波問辨

釋諦忍妙龍著

〔江戸後期〕寫 外寸「二七・五×一九・八糎」 印記「笠原氏藏書」「七寶山徳專寺」〔墨書〕（一二行。漢字片假名頭注付。三四丁。跋文の末に「寶曆十四年甲申正月元日」とある）

A五九九  
一冊

片假字

〔江戸末〕寫 外寸「二七・八×一九糎」 印記「大高家藏」（大高家（水戸））（二〇行。三二丁。山岸氏識語「同文通考卷三ノ大部分抄記也延光ノ著ニアラズ」）

A六〇〇  
一冊

假名字抄

齋藤彦磨著 江邨文雄書

〔嘉永元年（一八四八）序〕刊 翠雲館藏 外寸「二七×一三・五糎」（無匡郭。大字六行。一四丁）

A六〇一  
一冊

和字解

貝原益軒（篤信）著

攝陽 松檜堂村井喜太郎 延享五年（一七四八）月刊 外寸「一五・八×一一・二糎」（見返「改正増補和字解」單邊。無界。八行。内匡郭「一三・六×九・五糎」 三二丁）

A六〇二  
一冊

雅言假字格一卷雅言假字格拾遺一卷

市岡孟彦補訂

尾張 〔文化十一年刊〕文化十三年（一八一六）八月修印 榊園社中藏板 外寸「一六・一×一一・三糎」（單邊。有界。八行。内匡郭「一三×八糎」 雅言三四丁拾遺五三丁。刊記に製本所として「名古屋本町二丁目 松屋善兵衛」あり。〔鈴屋門人尾張社中著述目録〕二丁）

A六〇三  
一冊

和字解

貝原益軒(篤信)著

江戸 金幸堂菊屋幸三郎・升屋五郎右衛門 天保十三年(一八四二)一月刊 外寸「一八×二二糎」(見返「文章法則和字解」單邊。無界。八行。内匡郭「一四・五×九・八糎」 三二丁)

## 和字解

貝原益軒(篤信)著

大坂 河内屋庄三郎 「江戸前期浪華村上平樂寺刊」延享元年(一七四四)五月後印 外寸「一八・五×一三糎」 印記「鹿埜葺藏收」「久保本家」(單邊。無界。七行。内匡郭「一三×一〇糎」 四二丁)

## 古今假字遣

橋本稻彦編

大坂心齋橋通傳馬町 文榮堂河内屋嘉七等 文化十年(一八一三)八月刊 外寸「一七・六×一一・九糎」 印記「越曾前定」「越後曾根前田定助」「百露堂」「越後曾根前田屋」「北越曾根山岸狹陀米藏」「岸廼屋知蔭」「前田貞輔」(墨書)(單邊。有界。八行。内匡郭「一四・三×九・三糎」 五五丁半。「書林文榮堂歌書目錄 大阪河内屋嘉七版」二丁)

## 以呂波聲母傳

芝山廣豐口傳 多田義俊記

「江戸後期」寫 外寸「三・二×一六・三糎」(二〇行。漢字片假名。三五丁。奥書「右以呂波聲母傳者菅家芝山宰相廣豐卿極祕之口傳也：因門人小林氏強請不能辭筆授之漫不許他見矣 于時延享三年九月中旬 多田兵部源義俊書」印刷野紙使用)

## 假名考

帆足萬里著

大阪心齋橋筋博勞町角 群玉堂河内屋茂兵衛等 弘化四年(一八四七)序刊 外寸「二・五×一五・三糎」 印記「蓮池文庫」(單邊。有界。九行。内匡郭「一六・六×一一・四糎」 二二丁)

A六〇四

一册

A六〇五

一册

A六〇六

一册

A六〇七

一册

A六〇八

一册

通略延約辨

野之口(大國)隆正著

大坂 藤屋善七等 天保七年(一八三六)刊 佐喜乃屋藏板 外寸「二五・三×一七・六糎」 印記「山川藏書」(單邊、無界。八行。内匡郭「一七・九×一二・三糎」 句點付。二五丁。「野之口隆正大人著述近刻書目」一丁半)

A六〇九  
一册

假名交文典

田中渙乎編述

東京 弓場重光 「明治二十三年六月活版」明治二十四年(一八九二)六月四刷 外寸「一八×一二・三糎」(一九丁。發兌元「東京博文館」)

A六一〇  
一册

假名文字遣

源親行著 行阿補

享保二十年(一七三三)三月寫 外寸「横本一四・三×一九・八糎」(一二行。八一丁。識語「右此御本者吉村賢□之御本也予願之而後寫之 享保廿年三月中旬 村(花押)」)

A六一一  
一册

和字正濫要畧二卷

釋契沖著

〔江戸後期〕寫 外寸「二七・六×一九・二糎」 印記「西園圖書」(書外題「和字要畧」 一一行。乾四三丁坤四七丁。朱筆の頭注・書き入れあり)

A六一二  
二册

和字正濫要畧

釋契沖著

安政四年(一八五七)三月寫 外寸「二六・六×一九・二糎」 印記「福井氏藏書」「瑤光書屋藏書」(福井久藏)(書外題「通妨抄」 一二行。五六丁)

A六一三  
一册



類聚名義抄 佛部三卷法部三卷僧部三卷

菅原是善著

〔江戸後期〕寫 外寸「二六・九×一九・五糎」(八行。佛上四八丁中七二丁下本七〇丁下末三二丁。法上六二丁中七七丁下七四丁。僧上七二丁中七二丁下六七丁)

塵添璫囊鈔二十卷

〔江戸前期〕刊 外寸「二七・二×一九・二糎」印記「吉澤文庫」(吉澤義則) (題簽「新板塵添璫囊鈔」 四周雙邊。無界。一一行。上下中黑口。雙花口魚尾。内匡郭「二・三×一五・六糎」 漢字片假名句點付)

桑家漢語抄十卷名目鈔一卷

桑楊梅顯直撰 名洞家實熙撰

〔大正六年三月洞露老人〕寫 外寸「三五・八×一九・二糎」(一一行。桑家一卷四丁二卷二丁半三卷二丁四卷二丁五卷二丁六卷二丁半七卷二丁半八卷二丁九卷二丁一〇卷二丁。名目二四丁。底本「木村兼葭堂旧藏本」)

異名分類鈔四卷

入江昌喜(蘆父)著

大坂 名倉又兵衛等 寛政六年(一七九四)一月刊 外寸「一九・七×一三・二糎」印記「秋葉義之印」「崎房文庫」(秋葉義之) (無匡郭。一一行。一卷二五丁二卷四一丁三卷四二丁四卷五四丁)

禁厭詞辨釋

片岡正占著

大坂 片岡正占 明治十九年(一八八六)七月刊 朱櫻園藏板 外寸「二二・八×一四・七糎」(單邊。無界。一〇行。内匡郭「一七・九×一二・二糎」句點付。四四丁。奥付に發賣書肆として「大阪府南區 松村九兵衛・岡山縣備前國朝陽堂店」あり。「片岡正占先生著書目錄 朱櫻園塾」(一丁)

A六一四  
一〇册

A六一五  
二〇册

A六一六  
一册

A六一七  
四册

A六一八  
一册

和漢名數二卷

貝原益軒(篤信)編

〔元祿五年刊明和二年(一七六五)一月後印〕重印 外寸「二三・五×一五・五糎」 印記「西村藏」(題簽「新編増補和漢名數再板」 單邊。無界。九行。内匡郭「二七×一二・九糎」 上三三丁下三三至九〇丁。奥付の平安書肆名を削去)

A六一九  
二册

法華經音義

釋快倫著 釋道可再編

〔京都〕 山屋治右衛門 承應二年(一六五三)刊 外寸「二七・七×一九糎」(四周雙邊。有界。九行。上下大黒口。雙花口魚尾。内匡郭「一九・五×一五・八糎」 三九丁)

A六二〇  
一册

奈萬之奈三卷

釋東條義門著

〔天保十三年(一八四二)序皇都聖華房山田茂助刊〕明治期後印 外寸「三五・五×一八・一糎」(書名は見返による。版心「男信」 單邊。無界。九行。内匡郭「一九×一四・四糎」 漢字片假名。上三五丁中二四丁下四八丁。奥付に貼紙「專賣店 京都白洲堂書店」あり。與A六二二番同版)

A六二一  
三册

奈萬之奈三卷

釋東條義門著

天保十三年(一八四二)三月刊 白雲城下白霞樓藏板 外寸「二五・七×一八・一糎」 印記「本間文庫」(書名は見返による。版心「男信」 單邊。無界。九行。内匡郭「一九×一四・四糎」 漢字片假名。上三五丁中二四丁下四八丁。奥付に製本所として「皇都寺町 戎屋市右衛門・江戸芝神明前 岡田屋喜七・大坂心齋橋安土町 河内屋儀助」の三書肆名あり)

A六二二  
三册

傭字例一卷附一卷

關政方著

天保十二年（一八四二）跋刊 外寸「二四×二七・六糎」 印記「西備古府有馬氏藏書印」（單邊。無界。九行。内匡郭「一八・三×一三・一糎」 頭注句點付。二五丁附錄一五丁）

A六二三

一册

## 應氏六帖

伊藤東涯（長胤）著

〔江戸後期〕寫 外寸「二七・八×一九・八糎」 印記「香梅園圖書記」（書外題「六帖名例」 一〇行。五九丁。墨筆朱筆の頭注・書き入れあり）

A六二四

一册

## 古言本音考

石金音主著

紀州 総田屋平右衛門 文政十一年（一八二八）十二月刊 石金佐治兵衛藏板 外寸「二六×一八・六糎」（單邊。無界。一〇行。内匡郭「一九・二×一四・二糎」 三三丁。奥付に弘所書林として「江戸須原屋茂兵衛から紀州総田屋平右衛門まで」全五書肆名あり）

A六二五

一册

## 字音假字用格

本居宣長著

大坂 菱屋孫兵衛等 〔安永五年（一七七六）京都錢屋利兵衛等刊〕後印 外寸「二六・一×一八・二糎」（單邊。無界。九行。内匡郭「二・二×一五糎」 五四丁）

A六二六

一册

## 假名文字遣

源親行著 釋行阿補

〔寛永頃〕刊 外寸「二七・四×一九・九糎」（書名は序文首による。無匡郭。一〇行。五二丁。山岸氏識語「此一册寛永版歟」）

A六二七

一册

假名文字遣

源親行著 釋行阿補

東都本石町十軒店 英平吉 寛政三年（一七九二）九月刊 外寸「一七・六×一二・二糎」 印記「蓮池文庫」（題簽「定家かなつかひ」 無匡郭。八行。六三丁）

假名文字遣

源親行著 行阿補

〔江戸前期〕刊 外寸「二三・五×一六・七糎」 印記「清方」（題簽「増補定家假名遣」 無匡郭。一一行。三〇丁）

雅言解四卷

鈴木重嶺編

東京 渡部温 明治十二年（一八七九）四月刊 外寸「二二・八×一五・三糎」 印記「杉本藏書」（四周雙邊。無界。一一行。内匡郭「一八・三×一一・三糎」 頭注付。一卷三五丁二卷四三丁三卷三七丁四卷四五丁。奥付に發兌書肆として「東京日本橋區日本橋通 稲田佐兵衛」あり。出版書目一丁）

雅言童諭

河崎清厚（惣太夫）編

江戸 岡田屋嘉七・京都 風月莊左衛門・伊勢津 雲出屋伊十郎 天保十五年（一八四四）六月刊 外寸「二三・二×一五・九糎」 印記「小山田文庫記」（單邊。有界。一〇行。内匡郭「一七・七×一二・一糎」 八六丁）

國辭解 存卷下

大村光枝（行藏）著

〔寛政六年（一七九四）跋〕刊 外寸「二七・一×一九・五糎」（無匡郭。一一行。三〇丁。山岸氏識語「大村光枝大人著松代藩眞田氏ニ寓シタル時ノモノナリ」）

A 六二八

一册

A 六二九

一册

A 六三〇

四册

A 六三一

一册

A 六三二

一册

## 據字造語抄

清水濱臣編

慶應三年（一八六七）五月林穆叟寫 外寸「一六・八×一九・三糎」 印記「杉園藏」「遠加文庫」「樂只園」（岡不崩）  
（二一行。五〇丁。識語「大正二五年十二月一讀了樂只園主人不崩畫史 同年同月以屋代本校合一本とあるハ屋代本  
也其他引用書二つき校訂」 墨筆藍筆の書き入れ・貼紙あり）

## 古調梯

鶴峯戊申著

大坂 奈良屋長兵衛等 文政六年（一八二三）七月刊 外寸「七・四×一六・七糎」 印記「華堂小史」（單邊。無界。  
二八行。内匡郭「横本五・九×一四・五糎」 六一丁）

## 國辭解二卷

大村光枝（行藏）著

〔江戸末〕寫 外寸「二七・三×一九・四糎」 印記「月明莊」（反町茂雄）等 （二一行。上四〇丁下三七丁。小林氏識語「…  
寛政六年信濃國旅舎にありて大村光枝の書き記せるもの、本書処々文字を訂正したるは恐らく刊行以前の草稿自筆  
本なるべし 於伊丹圖書館小林丹城識」）

## 虚詞考二卷

加藤景範著

大坂追手筋錦町 小川屋六藏等 寛政元年（一七八九）一月刊 外寸「三・八×一六糎」 印記「細田一德藏書」（題  
簽「和歌虚詞考」 單邊。無界。九行。内匡郭「一七・五×一三・一糎」 句點付。上三三丁下三三至七〇丁）

## 園圃のぬき菜二卷

平右衛門著

A 六三三	一册
A 六三四	一册
A 六三五	二册
A 六三六	二册
A 六三七	

東都本石町十軒店 萬笈堂英大助 弘化二年(一八四五)一月刊 外寸「三・八×一五・四糎」 印記「三日市場土屋郷平」「土屋敬之之印」「駿陽嶽南土屋家藏」(單邊。無界。九行。内匡郭「一八・四×二三糎」 上五〇丁下四四丁)

## さし出の磯一卷磯乃洲崎一卷

釋東條義門著

天保十四年(一八四三)八月刊 白雲城下白雪樓藏板 外寸「二五・七×一八・三糎」 印記「本問文庫」(單邊。無界。九行。内匡郭「一九・七×一四・四糎」 頭注付。さし出一九丁磯乃一六丁。奥付に製本弘所として「若州小濱松本屋利兵衛から大坂河内屋儀助まで」全四書肆名あり)

## 玉霰窓の小篠前編三卷後編二卷

中嶋廣足著

東京 中島惟一 明治二十一年(一八八八)二月活版 外寸「二三×一五・四糎」(前編上四三丁中四〇丁下三八丁。後編上三三丁下三四丁。發賣人「東京吉川半七」)

## 玉あられ

本居宣長著

京都寺町通 華箋堂錢屋利兵衛・勢州松坂日野町 文海堂柏屋兵助・京都二條通 林伊兵衛 寛政四年(一七九二)刊 外寸「二五・五×一八糎」(單邊。無界。一一行。内匡郭「一九・八×一四・三糎」 句點付。五一丁。本書末に弘所として「江戸 須原屋茂兵衛・京都 錢屋利兵衛・伊勢松坂 柏屋兵助」の三書肆名あり)

## 玉あられ

本居宣長著

勢州松坂日野町 柏屋兵助・京都三條通柳馬場 錢屋利兵衛(寛政四年京都華箋堂錢屋利兵衛等刊)寛政十一年(一七九九)七月後印 外寸「二五・五×一八・一糎」(單邊。無界。一一行。内匡郭「一九・八×一四・三糎」 句點付。五一丁。與A六四〇番同版。目録「本居先生著述書」半丁。墨筆朱筆の書き入れあり)

二册

A六三八

一册

A六三九

五册

A六四〇

一册

A六四一

一册

## 玉あられ

本居宣長著

京都三條通柳馬場 錢屋利兵衛・勢州松坂日野町 柏屋兵助〔寛政四年京都華箋堂錢屋利兵衛等刊〕寛政十一年（一七九九）七月後印 外寸「二五・五×一七・八糎」（單邊。無界。一一行。内匡郭「一九・八×一四・三糎」 句點付。五一丁。與A六四一番同版。但し更なる後印。墨筆朱筆の書き入れあり）

## 玉あられ

本居宣長著

京都寺町通 華箋堂錢屋利兵衛・勢州松坂日野町 文海堂柏屋兵助・京都二條通 林伊兵衛〔寛政四年（一七九二）刊〕後印 外寸「二五・六×一七・八糎」（單邊。無界。一一行。内匡郭「一九・八×一四・三糎」 句點付。五一丁。本書末に弘所として「江戸 須原屋茂兵衛・京都 錢屋利兵衛・伊勢松坂 柏屋兵助」の三書肆名あり。與A六四〇番同版）

## 玉あられ論辨一卷玉霰附論一卷辨玉霰二論一卷

論加藤千蔭（優婆塞竺愷）著 附村田晴海著

尾州名古屋 松屋善兵衛・京三條通柳馬場 錢屋利兵衛・勢州松坂日野本町 柏屋兵助 文化十二年（一八一五）刊 外寸「二六×一八・三糎」 印記「笨齋長田守文藏書」「鳴島園藏書」「有來文庫」（玉あられ論辨の書名は版心による。單邊。無界。一〇行。句點付。内匡郭「一九・四×一四・二糎」 論辨五丁附論六至二三丁二論三〇丁。「鈴屋門人尾張社中著述目錄」二丁）

## 玉あられ論辨一卷玉霰附論一卷

論加藤千蔭（優婆塞竺愷）著 附村田晴海著

文化十二年（一八一五）刊 松下園藏板 外寸「二五×一八・五糎」（玉あられ論辨の書名は版心による。單邊。無界。一〇行。内匡郭「一九・四×一四・二糎」 論辨五丁附論六至二三丁。奥付に製本所として「尾張名古屋 松屋善兵衛」

A六四二

一冊

A六四三①

二冊

A六四三②

二冊

A六四四

一冊

あり。與 A 六四三番②論辨・附論同版)

玉霰乃論呂比

加藤千蔭(優婆塞忉怛)著

〔江戸後期〕寫 外寸「二五・七×一八・三糎」 印記「氷室圖書」(書名は書外題による。一〇行。二二三丁)

詞捷徑三卷

鈴木重胤著 佐々木春夫校

〔江戸末刊〕明治中後印 鹿田松雲堂藏 外寸「二五・五×一八・三糎」 印記「山嵯十茂能藏書」(見返「皇國語學捷經」 單邊。無界。一〇行。内匡郭「一九×一四・三糎」 句點付。上七四丁中七六丁下四九丁。奥付に「古川家藏版」、製本所として「阪府下心齋橋通 赤志忠七・鹿田清七」あり)

和字正濫鈔五卷

釋契沖著

〔江戸中期〕刊 外寸「二三×一六・八糎」(單邊。無界。八行。下大黒口。無魚尾。内匡郭「二〇・四×一三・五糎」 句點付。一卷三二丁二卷四一丁三卷四一丁四卷五八丁五卷四八丁)

和字正濫鈔五卷

釋契沖著

〔江戸後期〕寫 外寸「二三・七×一六・八糎」(二二行。一卷一六丁二卷八丁三卷八丁四卷一三丁半五卷一八丁)

古言梯

楫取魚彦著

大坂長堀心齋橋北詰 泉原卯兵衛 (明和二年(一七六五)四月刊)後印 外寸「二五・五×一八糎」(單邊。有界。八行。内匡郭「一八・五×一三・二糎」 頭注付。七五丁)

A 六四五

一册

A 六四六

三册

A 六四七

五册

A 六四八

一册

A 六四九

一册



古言梯

楫取魚彦著

大坂長堀心齋橋北詰 泉原卯兵衛〔明和二年（一七六五）四月刊〕後印 外寸「二五・五×一八糎」 印記「義崇」（單邊。有界。八行。内匡郭「一八・五×一三・一糎」 頭注付。七五丁。與A六四九番同版。表紙に貼紙「寛政七年四月平春海書きしるす」とある。朱筆の書き入れあり）

言元梯

大石千引著

天保五年（一八三四）十二月刊 外寸「二五・六×一八糎」（無匡郭。一〇行。片假名傍訓付。六三丁）

皇國之言靈

林國雄（常葉居）著

〔文政十一年（一八二八）序〕刊 路岐居藏版 外寸「二六・二×一八・一糎」（單邊。無界。一〇行。内匡郭「一九・五×一四・一糎」 三七丁。〔常葉居先生著述目錄〕半丁）

増補古言梯標註

楫取魚彦著 村田春海・清水濱臣増注

江戸下谷御成道 青雲堂英文藏 弘化四年（一八四七）刊 外寸「二三×一六・一糎」（單邊。有界。八行。内匡郭「一七・三×一一・九糎」 頭注付。六六丁）

三國音訓通辨鈔

釋達音著

文久三年（一八六三）序刊 外寸「二二・六×一六・一糎」（見返「和漢梵三國音訓通辨鈔」 單邊。無界。八行。内匡郭「二〇×一三・六糎」 漢字片假名。一三三丁。奥付に社中密傳不許買買として「京室町海老屋店から作州津山日出屋

A六五〇

一册

A六五一

一册

A六五二

一册

A六五三

一册

A六五四

一册

初五郎まで」五者の名あり)

音訓國字格二卷

高井伴寛(蘭山)著

東都 星運堂花屋久次郎 [寛政十一年(一七九九)刊 闕丁坤卷第一八丁 外寸「二・三×一五・五糎」(四周雙邊。有界。一一行。内匡郭「二七・二×二二・九糎」 漢字片假名。乾「三三丁坤一七丁」)

A六五五  
一册

音訓國字格二卷

高井伴寛(蘭山)著

江戸日本橋通 山城屋佐兵衛等 [寛政十一年(一七九九)刊]後印 外寸「三・九×一五・四糎」 印記「金子藏所」等(四周雙邊。有界。一一行。内匡郭「一七・二×二二・九糎」 漢字片假名。乾「三三丁坤一八丁。與A六五五番同版。但し自跋二丁を卷頭に置く。「東都書林 山城屋佐兵衛藏板畧目録」五丁)

A六五六  
一册

音訓國字格二卷

高井伴寛(蘭山)著

[寛政十一年(一七九九)刊]後印 外寸「三・四×一六・三糎」 印記「久居藩下山藏」等 (四周雙邊。有界。一一行。内匡郭「二七・二×二二・九糎」 漢字片假名。乾「三三丁坤一八丁。與A六五六番同版。見返に魁星印あり)

A六五七  
一册

雅語音聲考一卷希雅一卷

雅鈴木朗(離屋)著 希鈴木胤編并自注

尾張 永樂屋東四郎 [文化十三年(一八一六)刊 外寸「三・一×一六・二糎」(單邊。無界。八行。内匡郭「二八・六×一三・三糎」 句點付。雅語一二丁希雅二七丁。希雅の末に墨格あり。「離屋鈴木先生著述書目 尾陽書肆永樂屋東四郎」二丁)

A六五八  
一册

發音捷徑

川合隣山著 鈴木正・川合理同校

江都 嵩山房小林新兵衛 明和三年（一七六六）十月刊 外寸「三・七×一六糎」（左右雙邊。有界。七行。内匡郭「一七・九×一三・四糎」 三九丁）

A 六五九

一册

## 漢字三音考

本居宣長著

京都 錢屋利兵衛等 天明五年（一七八五）二月刊 外寸「二六・一×一八・一糎」 印記「武居家書記」「柳井氏祕笈」（單邊。無界。九行。内匡郭「二〇・九×一五・一糎」 漢字片假名句點付。五七丁。奥付後に弘所として「江戸 須原屋茂兵衛・京都 錢屋利兵衛・伊勢松坂 柏屋兵助」の三書肆名あり）

A 六六〇

一册

## 音韻假字格

關根爲寶編

東京 嶋屋平七等 〔安政六年（一八五九）關根氏國字舍刊〕明治中後印 外寸「三・七×一六糎」 印記「靖齋圖書」（谷森善臣）（單邊。有界。一一行。内匡郭「一八・五×一三・二糎」 二二三丁半）

A 六六一

一册

## 古音複字五卷

（明）楊慎撰 （清）李調元校

皇都 聖華房山田茂助 〔文久二年（一八六二）刊〕後印 外寸「三・五×一五・八糎」（四周雙邊。無界。八行。内匡郭「一四×八・九糎」 返點付。一卷六丁二卷七丁三卷六丁四卷六丁五卷八丁。書目「皇都寺町通六角南式部町 書林聖華房山田茂助藏」半丁）

A 六六一

一册

## 授幼難字訓三卷

井澤長秀（蟠龍子）編

江戸日本橋 小川彦九郎 〔享保十二年（一七二七）一月京都柳枝軒茨城多左衛門刊〕後印 外寸「二・九×一五・九糎」 印記「穠翠亭家藏」「元樂平生眞賞」「聊召自娛」等（單邊。無界。七行。内匡郭「一八・六×一二・五糎」 傍訓付。

A 六六三

三册

上一九丁中二五丁下一八丁)

古言清濁考三卷

石塚龍磨著

享和元年(一八〇二)刊 石塚藏板 外寸「二七・二×一八・七糎」 印記「越後國頸城郡高田室直助平千壽所藏」 膠舎藏書之記「藤廼屋藏(貼紙) (單邊。有界。一〇行。内匡郭「二〇・四×一五・三糎」 一卷五〇丁二卷五〇丁三卷七二丁。奥付に製本弘所書林として「勢州松坂柏屋兵助から京都菱屋孫兵衛まで」全四書肆名あり)

A 六六四  
三册

童子通

山本蕉逸(庄一)著

天保十年(一八三九)序刊 外寸「一八×一二・五糎」 (單邊。無界。一〇行。内匡郭「一四・七×一〇・二糎」 漢字片假名句點付。四七丁)

A 六六五  
一册

雜字類編七卷

柴野栗山著 柴野貞穀重修 辻言恭校

京都 錢屋宗四郎等 天明六年(一七八六)六月刊 汎愛堂藏板 闕卷第一至第三 外寸「二・四×一五・八糎」 (左右雙邊。有界。九行。内匡郭「一八・六×一三・五糎」 四卷二〇丁五卷二五丁六卷四二丁七卷一八丁)

A 六六六  
一册

九弄圖解

〔江戸後期〕寫 外寸「二七・七×二〇・六糎」 印記「白洲尙古堂藏書」「白洲氏藏書(墨書) (書名は書外題による。卷頭「神供九弄圖」 一一行。一〇丁。別紙識語「コノ九弄圖解ハ有朔ノ韻鏡開奩ヲ承ケタル説ヲ載ス：昭和十八年十一月三日甚一識)」

A 六六八  
一册

九弄辨

釋無相文雄著

A 六六九

浪華心齋橋順慶町 柏原清右衛門〔寛延三年刊〕天明八年（一七八八）十一月後印 外寸「二五・六×一八・三糎」印記「橋村氏圖書記」（單邊。無界。一〇行。内匡郭「二・六×一四・七糎」 二九丁。與A六七〇番同版）

## 九弄辨

釋無相文雄著

大坂心齋橋筋久寶寺町 丹波屋理兵衛・京都二條通寺町 金屋三郎兵衛 寛延三年（一七五〇）五月刊 外寸「二七・八×一八・八糎」印記「靜齋」（單邊。無界。一〇行。内匡郭「二・六×一四・七糎」 二九丁）

## 韻鏡諸鈔大成七卷

馬場信武著

京師 小倉八郎兵衛・漕渚權兵衛・山岡勘右衛門 寶永二年（一七〇五）五月刊 外寸「二五・八×一七・七糎」（單邊。無界。十二行。内匡郭「二・四×一五・一糎」 漢字片假名句點付。一卷三七丁二卷四五丁。三卷本二八丁末三五丁。四卷二七丁五卷二八丁六卷三〇丁七卷三〇丁。卷一二には補配本）

## 韻鏡集解揀乳三卷

釋照天著

〔江戸後期〕寫 外寸「二三・九×一六・九糎」（八行。上二九丁中二五丁下四三丁半。中卷末の識語「右二冊梅翁先生本書受写之者也 弘海延澄之」）

## 韻鏡字子三卷

太田 嘉方（子規）著

〔京都〕 長尾平兵衛 寛文三年（一六六三）六月刊 外寸「二五・八×一八・五糎」（單邊。無界。九行。白口。三魚尾。内匡郭「二・三×一六・三糎」 上二二丁中二八丁下二四丁半。識語「嘉永二己酉歲閏四月十八日北青山御祖父様二部御有合二付頂戴之仕候 勝算」）

一冊

A六七〇

一冊

A六七一

八冊

A六七二

一冊

A六七三

一冊

韻鑑古義標註二卷

釋叡龍（河野通清）著

洛陽 文臺屋次郎兵衛・秋田屋平左衛門 享保十一年（一七二六）十一月刊 外寸「二八・三×一九・五糎」 印記「普光堂」（單邊。無界。七行一字。内匡郭「三×一六・五糎」 漢字龜頭訓點付。上二七丁下四四丁）

A六七四  
二册

韻鏡問答一卷 韻鏡問答鈔一卷

湯淺重慶著

大坂心齋橋筋淡路町角 安井嘉兵衛・江戸通本石町十軒店 中村屋進七 （貞享四年（一六八七）刊）後印 外寸「二六・七×一九糎」 印記「市河合」熊本陸軍地方幼年學校所藏」（韻鏡問答の書名は版心による。單邊。無界。一三行。白口。單魚尾。内匡郭「二〇・七×一五・一糎」 漢字片假名。問答三四丁問答鈔四二丁）

A六七五  
一册

韻鏡求源鈔二卷

湯淺重慶著

貞享二年（一六八五）九月序刊 外寸「二七・三×一九・二糎」（書名は序文首による。單邊。無界。七行。白口。雙魚尾。内匡郭「二・七×一六・三糎」 訓點頭注付。乾三六丁坤一八丁）

A六七六  
一册

磨光韻鏡後篇二卷

釋無相文雄著

皇都 山本長兵衛 安永二年（一七七三）二月刊 外寸「二七・三×一八・八糎」 印記「篠崎氏圖書印」（書名は序文首による。單邊。有界。一〇行。内匡郭「二・二×一五・三糎」 漢字片假名。韻鏡指要錄四四丁翻切伐柯篇三〇丁）

A六七七  
二册

磨光韻鏡二卷

釋無相文雄著

〔大坂〕心齋橋順慶町 柏原屋清右衛門 〔延享元年八月刊〕天明七年（一七八七）五月重刊 外寸「二六・三×一九糎」

A六七八  
二册

〔單邊。有界。一〇行。内匡郭「二・二×一五・九糎」訓點付。上四七丁下二九丁〕

## 韻鏡祕事諸相傳頓悟集

牧野重長（意林庵子鵬）著

〔江戸中期〕寫 外寸「三・五×一七糎」印記「己東軒」（六行。一九丁。奥書「右韻鏡諸祕注解数件之諸相傳詳令書寫而：皆元祿十六年龍次癸未春吉祥之日 意林庵己東軒讎書齋和流子鵬印」）

## 韻鏡奧理祕事頓悟集

牧野重長（意林庵子鵬）著

〔江戸中期〕寫 外寸「三・五×一七糎」（一〇行。二二丁。奥書「右韻鏡奧理祕事諸傳授漢玉五音反切九弄羅文名乘起卦等之諸相傳頓悟集任御懇望令書寫畢：皆元祿十六年龍在癸未秋吉祥之日洛下隱士己東軒藤光晶印」）朱筆の書き入れあり

## 聲字實相義開祕鈔 存卷上

〔江戸前期〕刊 外寸「二七×一八・二糎」印記「素友「眞海宥戒所持」（題簽「聲字義聞祕抄」）單邊。無界。大字六行一六字。上下中黑口。雙花口魚尾。内匡郭「三・三×一五・一糎」漢字訓點付。四六丁

## 頭書增補聚分韻畧五卷

釋師鍊（虎關）著 熊谷立閑（荔齋）補

〔京都〕八尾友春 元祿十年（一六九七）序刊 闕下去聲 外寸「二・五×一五・八糎」〔長養院〕（墨書）（書名は見返による。單邊。無界。大字二二行。白口。無魚尾。内匡郭「一九・三×一三糎」訓點頭注付。上平聲二四〇丁下平聲二一九丁。上去聲二六九丁。入聲二〇二丁）

## 海藏韻略十六卷 附爛葛藤

釋師鍊（虎關）著

A 六七九

一册

A 六八〇

一册

A 六八一

一册

A 六八二

四册

A 六八三

〔江戸前期〕刊 外寸「二四・三×一八・七糎」 印記「祥雲菴常住」「宍戸昌藏書記」「宍戸昌」 （單邊。無界。大字九行。上下中黒口。雙花口魚尾。内匡郭「一六×一二・二糎」）

頭書聚分韻略二卷 増聚分韻畧兩韻註解

釋師鍊（虎關）著

〔京都〕 八尾勘兵衛 延寶四年（一六七六）跋刊 八尾友春藏板 外寸「二一・五×一六・一糎」 印記「翠風軒印」「大友藏書」（書名は見返による。單邊。無界。一三行。白口。無魚尾。内匡郭「一九・五×一三・三糎」 訓點頭注付。乾一七七丁坤一九八丁附一九九至二〇七丁）

疊辭訓解三卷

田中犀（白雲居士）著

〔江戸前期〕刊 外寸「二〇・七×一三・五糎」 印記「錦所藏書」（單邊。無界。大字六行。白口。無魚尾。内匡郭「一五・九×一一・二糎」 漢字片假名。上三〇丁中二九丁下三四丁。山岸氏識語「末葉三落丁歟」）

干祿字書

〔唐〕顏玄孫撰

〔江戸〕 出雲寺萬次郎 〔文化十四年江戸昌平坂學問所刊〕嘉永五年（一八五二）後印 官版 外寸「二五・九×一八・三糎」 印記「雲厓山房」（左右雙邊。無界。四行。内匡郭「一九・三×一二・八糎」 五〇丁。七丁裏二四丁表二七丁裏に墨格あり）

訓蒙用字格二卷

伊藤長胤（東涯）編

〔正徳元年（一七一二）六月刊〕後印 外寸「二二・六×一五・七糎」 （單邊。無界。一二行。内匡郭「一八・八×一三糎」 漢字訓點送假名付。上三二丁下三四丁）

二册

A六八四

二册

A六八五

一册

A六八六

一册

A六八七

一册



## 倭名類聚鈔二十卷

源順著

〔寛文七年（一六六七）京都村上勘兵衛刊〕後印 外寸「二四・八×一七・五糎」 印記「龜齡堂藏書記」（四周雙邊。無界。一〇行。上下中黑口。三魚尾。内匡郭「一九・九×一四・六糎」）

A 六八八  
一〇册

## 倭名類聚鈔二十卷

源順著

〔江戸中期〕刊 關卷第十七至第二十 外寸「二六・四×一九・五糎」 印記「我爲我書堂記」「石川直幹」（單邊。無界。一三行。上下中黑口。雙魚尾。内匡郭「三・一×一七・四糎」）

A 六八九  
四册

## 新撰字鏡

釋昌住著

〔江戸中期〕寫 外寸「二七・七×一八・九糎」 印記「久保田氏家藏書記」「松門文庫所藏」（八行。一册三三丁二册五〇丁）

A 六九〇  
二册

## 倭玉篇三卷

豐興堂 〔江戸初期刊〕正保三年（一六四六）八月後印 外寸「二七・九×一八・五糎」（四周雙邊。有界。九行。上下中黑口。雙線魚尾。内匡郭「二・四×一五・二糎」 上四一丁中四三丁下四〇丁）

A 六九一

三册

## 增補下學集二卷

山脇道圓（重顯）著

〔京都〕長尾平兵衛 〔江戸前期刊〕寛文九年（一六六九）六月後印 關卷下之一 外寸「二七×一七・五糎」 印記「權祝之印」（四周雙邊。無界。八行。上下中黑口。上雙花口下線魚尾。内匡郭「二〇・四×一五・五糎」 訓點付。上①四五丁上②五八丁。下①三一丁下②三六丁）

A 六九二  
四册

下學集二卷 附 點畫少異字

寛永二十年（一六四三）四月刊 外寸「二七・八×一八・七糎」〔四周雙邊。無界。大字八行。白口。雙花口魚尾。内匡郭「二・七×一五・九糎」 漢字訓點付。上二七丁下四〇丁半附四〇丁裏至四三丁〕

下學集二卷 附 點畫少異字

元和三年（一六一七）四月刊 外寸「二七・七×二〇・二糎」〔單邊。無界。大字七行。上下中黒口。雙花口魚尾。内匡郭「三・一×一六・九糎」 上三二丁下四五丁附四六至四九丁〕

和訓押韻 附 和漢篇

〔京都〕 杉田勘兵衛尉 〔江戸初期刊〕正保二年（一六四五）十一月後印 外寸「一四×一〇・四糎」〔書名は書外題による。單邊。無界。大字六行。上下中黒口。雙魚尾。内匡郭「一・七×九・二糎」 九六丁附九七至一〇二丁表〕

冠辭例二卷

松山貞主著

江戸 須原屋茂兵衛等 〔享和二年跋刊〕天保五年（一八三四）五月増補刊 外寸「横本六・九×一六・七糎」〔單邊。無界。二二行。内匡郭「五・八×一四・八糎」 上三二丁下三二丁〕

小夜しくれ

萩原廣道〔霞沼〕著

大坂心齋橋筋安堂寺町 秋田屋太右衛門 〔嘉永元年（一八四八）跋刊〕後印 外寸「二五・五×一八糎」〔單邊。無界。一行。内匡郭「一・九・八×一四・三糎」 四五丁。〕萩原霞沼先生著述脱稿之部目録 大坂心齋橋筋安堂寺町 秋田屋太右衛門〔半丁〕

和訓考二卷

釋如是觀著

A 六九三	二册（合綴一册）
A 六九四	二册
A 六九五	一册
A 六九六	一册
A 六九七	一册
A 六九八	

文政九年（一八二六）十二月序刊 三省堂藏 外寸「二六・二×一七・九糎」（書名は版心による。無匡郭。九行。上一六丁下二四丁。奥付に製本所として「江戸上槇町 松田正助」あり。「如是觀道人著述目錄」半丁）

かたはみ草

殿村常久著

文政十三年（一八三〇）一月刊 伊勢松坂殿村氏崑軒藏板 外寸「一八・九×六・一糎」（無匡郭。八行。一三折）

語彙別記二卷

東京 開成堂柳河田鶴 [明治四年十一月編輯寮刊]明治十七年（一八八四）二月翻刻 外寸「三・四×一六糎」印記「太田」（四周雙邊。有界。一〇行。内匡郭「一九九×一四・一糎」上一六丁下一〇丁）

蘿髮二卷

堀秀成著

〔江戸末〕寫 外寸「二六・五×一八・六糎」 印記「篠塚藏書」「昔園藏」（墨書）（二〇行。上六五丁下五八丁。書き入れあり）

言葉の緒環二卷

林國雄著

江戸今川橋南本銀町 永樂屋東四郎等 天保九年（一八三八）刊 外寸「二六・一×一八・四糎」 印記「山川藏書」「六花園」「六花園紀鷹」「廣辻氏藏書記」（廣辻家）（單邊。無界。一〇行。内匡郭「二〇・三×一五糎」句點付。上五五丁下四七丁。「常葉居先生著述書目 門人松村春雄記」八丁）

詞の玉の緒よりつき三卷

八木靜修（立禮）著

嘉永四年（一八五二）十二月自序寫 外寸「二七×一九・三糎」 印記「た比らのちかひ」（序文首「詞之玉の緒縁接」

二册

A六九九  
折本一帖

A七〇〇  
一册

A七〇一  
二册

A七〇二  
二册

A七〇三  
一册

九行。上二四丁中一二丁下二九丁

玉緒繰分四巻序目一卷

東條義門著

大坂心齋橋博勞町 河内屋茂兵衛等 「天保十二年六月跋刊」嘉永四年（一八五二）後印 外寸「二五・五×一七・八糎」  
印記「稻重」「重」「林徳松」（單邊。無界。一〇行。内匡郭「一九・七×一四・三糎」 序目二七丁氏卷五六丁尔卷四〇  
丁平卷四二丁波卷六二丁。「義門大徳著述目録」半丁）

A七〇四

五册

活語指南二巻

東條義門著 平井重民補

東京日本橋區 丸屋善七 「天保十二年三月跋刊」明治十六年（一八八三）十二月後印 外寸「二五・六×一七・五糎」  
印記「田中藏書」（單邊。無界。一〇行。内匡郭「一九・七×一四・三糎」 初卷四四丁後卷四二丁）

A七〇五

二册

詞の玉の緒よりつき三巻

八木靜修（立禮）著

明治二十五年（一八九二）三月吉田利右衛門寫 外寸「二三・三×一六・三糎」（一〇行。上二二丁中一一丁下二六丁。  
吉田氏識語「明治廿五年辰三月廿一日書寫畢 大阪市東區道修町吉田利右エ門業忠行年六十六才寫」）

A七〇六

一册

詞玉緒延約六巻

釋幻裡庵日善述 宇津忠重・渥美徳隣・御倉宜隆記

〔江戸後期〕刊 明善館藏版 外寸「二五・七×一七・六糎」 印記「越國文庫」「圖書寮」（福井藩松平家）（題簽「玉緒延  
約」 無匡郭。一一行。一卷一九丁二卷一九丁三卷二七丁四卷四一丁五卷三九丁六卷一八丁。山岸氏識語「越前松平  
家藏本云云春嶽侯藏本歟」）

A七〇七

三册

詞玉緒縵添七巻

中村尚輔述

慶應四年（一八六八）二月刊 讃岐高松中村氏鮮舎藏版 外寸「二五・七・六厘」 印記「芳賀藏書」（單邊。無界。  
一〇行。内匡郭「二〇・三・一四・二厘」 一卷至三卷二四丁四五卷三四丁六・七卷三二丁）

## かた絲

中島廣之（樞園）著

長崎 小野左右助等 〔嘉永三年六月序肥前長崎中島氏社中刊〕嘉永六年（一八五三）二月後印 外寸「二五・二・一八  
厘」（單邊。無界。一二行。内匡郭「一九・五・一五厘」 頭注付。一九丁。〔樞園大人著述目錄〕二丁）

## 詞の栞打聽

黒川眞頼著 鈴木弘恭編

東京小石川區 鈴木弘恭 明治二十三年（一八九〇）八月刊 外寸「二五・七・一八・二厘」 〔澁川藏書〕（藏書票）  
〔單邊。無界。一〇行。内匡郭「一八・五・一四・三厘」 句點付。三九丁。奥付に發賣書肆として「日本橋區 中外堂  
柳河梅次郎・神田區 中西屋小柳津邦太・芝區 回文堂岩本三三」の三書肆名あり）

## 又

印記「竹窠処藏」（與A七一〇番同版。但し奥付の發賣書肆は「神田區 敬文堂・同 中西屋小柳津邦太・芝區 回  
文堂岩本三三」とあり）

## 玉の緒末分櫛三卷

長野義言著 堀内廣城校

尾張名古屋 永樂屋東四郎 〔天保十五年二月跋刊〕弘化二年（一八四五）後印 外寸「二六・七・一八・二厘」 印記  
「万里小路睦子」（單邊。無界。一〇行。内匡郭「二三・一四・五厘」 頭注付。上四三丁中六七丁下五七丁）

## 詞の屋ちくさ三卷

A七〇八

三册

A七〇九

一册

A七一〇

一册

A七一一

一册

A七一二

三册

元木網(珠阿彌)作

江戸芝神明前 岡田屋嘉七等 (江戸後期)刊 外寸「二・七×一五・二糎」(書名は目次首による。單邊。無界。二行。内匡郭「一五・五×一〇・六糎」 上四三丁中四四至九四丁下九五至一四三丁)

A七二三

三册

## かさし抄三卷

富士谷成章授 吉川彦富・山口高端記

明和四年(一七六七)序刊 外寸「二・五×一六糎」 印記「華牆」「爲隆」(墨書) (單邊。無界。一行。内匡郭「一八・四×一三・二糎」 上三三丁中二二丁下一九丁)

A七一四

三册

## かさし抄三卷

富士谷成章授 吉川彦富・山口高端記

(明和四年(一七六七)序刊)後印 外寸「二六×一八・四糎」 (單邊。無界。一行。内匡郭「一八・四×一三・二糎」 上三三丁中二二丁下一九丁。與A七一四番同版)

A七一五

一册

## あゆひ抄五卷首一卷

富士谷成章口授 吉川彦富・井上義胤記

〔京都〕〔葛西市郎兵衛・葛西嘉兵衛〕(江戸中期刊)後印 外寸「三・九×一五・八糎」 印記「山嵯十茂能藏書」「友之助醒」(單邊。無界。一行。内匡郭「二八・一×一三・五糎」 首卷一七丁一卷三二丁二卷三〇丁三卷三三丁四卷二四丁五卷二八丁。「北邊大人著書 京寺町五條上ル町 葛西市郎兵衛・葛西嘉兵衛」二丁)

A七一六

六册

## あゆひ抄五卷首一卷

富士谷成章口授 吉川彦富・井上義胤記

〔江戸中期刊)後印 外寸「二六・五×一八・九糎」 (單邊。無界。一行。内匡郭「一八・一×一三・五糎」 首卷一七丁一卷三一丁二卷三〇丁三卷三三丁四卷二四丁五卷二八丁。與A七一六番同版)

A七一七

六册

語彙指掌

東京 水村松五郎〔明治四年十一月編輯寮刊〕明治二十年（一八八七）九月翻刻 外寸「一八・五×一二・八糎」印  
記「山峠十茂能藏書」「友之助醒」（見返「語彙活語指掌」 四周雙邊。有界。一〇行。内匡郭「三・三×九・一糎」  
二二丁）

活語指掌

東京日本橋區 柳河田鶴〔明治四年十一月編輯寮刊〕明治十七年（一八八四）二月翻刻 外寸「三・九×一六・四糎」  
（見返「語彙活語指掌」 四周雙邊。有界。一〇行。内匡郭「九・八×一四・二糎」 一八丁。奥付に發兌として「東京  
日本橋區 開成堂・中外堂」あり）

玉の緒變格辨

黒川眞頼撰 三田葆光編  
東京下谷御徒町 三田葆光 明治十六年（一八八三）十二月刊 外寸「二六・三×一八・三糎」印記「小林氏藏書記」  
「寺尾壽所藏」「寺尾壽「寿消印」（單邊。無界。一〇行。内匡郭「二九・一×一四・二糎」 二三丁。奥付に賈弘書肆  
として「東京日本橋區 中外堂柳河梅次郎」あり）

詞八衢二卷

本居春庭著  
〔文化五年（一八〇八）刊〕後印 外寸「二五・六×一八糎」（單邊。無界。一〇行。内匡郭「二九・九×一四・二糎」 上  
五〇丁下五三丁。與A七二三番同版。但し後印。奥付に製本弘所として「江戸須原屋善五郎から京都菱屋孫兵衛まで」  
全五書肆名あり）

詞八衢二卷

本居春庭著

A七二八  
一册

A七一九  
一册

A七二〇  
一册

A七二二  
二册

A七二三

文化五年（一八〇八）刊 外寸「二五・九×一七・九糎」（單邊。無界。一〇行。内匡郭「一九・九×一四・二糎」上五〇丁下五三丁。奥付に製本弘所として「江戸須原屋善五郎から京都菱屋孫兵衛まで」全五書肆名あり。朱筆の書き入れ・貼紙あり。表紙に「中島広足説書人」と墨書あり）

## 増補標註詞八衢二卷

本居春庭著 清水濱臣増補 岡本保孝標註 加部巖夫校正

東京 清水信・江島伊兵衛 明治十三年（一八八〇）十月刊 外寸「一九・三×一三・一糎」印記「山嵯十茂能藏印」「山岸智之介領」（朱書）（單邊。無界。一〇行。内匡郭「一四・九×一〇・一糎」頭注付。上五〇丁下五三丁）

## 詞八衢二卷

本居春庭著

〔文化五年（一八〇八）刊〕後印 外寸「二四・九×一七・七糎」（單邊。無界。一〇行。内匡郭「一九・九×一四・二糎」上五〇丁下五三丁。與A七二三番同版。但し奥付の「製本弘所」左から二人目を「京都寺町通 勝村治右衛門」とする）

## 詞八衢補遺二卷一名蔭不無路

中島廣足著

大坂 河内屋和助 安政五年（一八五八）五月刊 外寸「二五・四×一九糎」（見返の別書名「蔭踏道」單邊。無界。一〇行。内匡郭「一九×一四・九糎」頭注付。上四一丁下三〇丁）

## 詞八衢補翼二卷

足代弘訓著

〔江戸末明治期〕秋田館忠資寫 外寸「二四×一六・三糎」印記「忠資」「羽後秋田大館謙山館忠資印」「館氏藏書」（書名は封面による。一〇行。上三九丁下五〇丁）

二册

A七二三

二册

A七二四

一册

A七二五

二册

A七二六

二册



八衢補遺 附 玉霰誤歌

中島廣足著

〔江戸末明治期〕寫 外寸「二四・三×一六・三糎」 印記「忠資」「羽後秋田大館謙山館忠資印」「館氏藏書」 （九行。三七丁附三八至四九丁）

詞通路三卷

本居春庭著

文政十一年（一八二八）序刊 伊勢松坂本居氏須受能耶藏板 外寸「二五・八×一八糎」 印記「稜威舍」「松楓書房」 （單邊。無界。一〇行。内匡郭「二〇・一×一四・五糎」 上卷四二丁中卷四一丁下卷四四丁）

又

外寸「二六・五×一八・二糎」 印記「山嵯十茂能圖書」「友之助醒」「星埜文庫」「飯野」 （與A七二八番同版）

活語初乃栞

長野義言著 堀内廣城等校

弘化三年（一八四六）二月跋刊 外寸「二五・五×一八・三糎」 印記「山下藏書」「弘雅堂文庫の志るし」「文久二年霜月山下素長」〔朱書〕（書名は大意首による。序文首「初乃しをり」 單邊。無界。一六行。内匡郭「一九・八×一四・五糎」 頭注付。三九丁。末に廣告「雅言通載抄 新刻 蛸藥師下ル町 城戸市右衛門」〔あり〕

語學新書二卷 一名 西洋假字必讀 附 依語法釈歌文例

中橋鶴峯（鶴峯戊申）著 齊藤春昌校

江戸銀町 永樂屋東四郎出店・淺草 村田屋彌太郎 天保四年（一八三三）序刊 外寸「二五・七×一七・九糎」 （單邊。有界。一〇行。内匡郭「二八・六×一三・四糎」 上四一丁下二五丁附一丁）

A七二七

一册

A七二八

三册

A七二九

三册

A七三〇

一册

A七三一

一册

語學新書二卷 一名 西洋假字必讀 附 依語法釋歌文例

中橋鶴峯(鶴峯戊申)著

〔天保四年江戸永樂屋東四郎出店等序刊〕明治中修印 外寸「二五・九×一八・九」(單邊。有界。一〇行。内匡郭「一八・五×一三・四」 上四一丁下二五丁附一丁。與A七三一 番同版。但し卷頭著者「門人齋藤春昌校」なく版心に書名なし。奥付に三都書肆として「西京出雲寺文治郎から東京萬屋忠藏まで」全一二書肆名あり)

活語捷徑標幟

八木靜修(立禮)著

〔江戸末〕寫 外寸「二六・五×一八・九」(九行。一二丁。書き入れあり)

詞瓊綸七卷

本居宣長著

勢州松坂 柏屋兵助等 〔文政十二年(一八二九)重刊〕後印 外寸「二五・三×一八・九」(單邊。無界。一〇行。内匡郭「二〇・七×一四・四」 句點付。一卷四八丁二卷二六丁三卷三〇丁四卷四七丁五卷四〇丁六卷二八丁七卷四七丁。與A七三五 番同版。但し奥付七書肆のうち「京寺町通 伏見屋半三郎」を「大坂心齋橋通 堺屋新兵衛」とする)

詞瓊綸七卷

本居宣長著

勢州松坂 柏屋兵助等 文政十二年(一八二九)重刊 外寸「二五・七×一八・一」 印記「山嵯十茂能藏書」「友之助醒」(單邊。無界。一〇行。内匡郭「二〇・七×一四・四」 句點付。一卷四八丁二卷二六丁三卷三〇丁四卷四七丁五卷四〇丁六卷二八丁七卷四七丁)

手引乃絲五卷 附 一卷

中島廣足著

A七三二	一册
A七三三	一册
A七三四	七册
A七三五	七册
A七三六	

大坂心齋橋通 秋田屋市兵衛等 安政七年（一八六〇）刊 肥前長崎中島氏社中藏 外寸「二六×一八・五糎」（見返「詞玉緒補遺一名手引絲」單邊。無界。一一行。内匡郭「二〇・三×一五・三糎」頭注付。一卷三五丁二卷二九丁三卷二四丁四卷三二丁五卷三九丁附錄四六丁。「檀園大人著述目錄」一二丁）

六册

月なみふみ合二卷

片岡徳編

大坂心齋橋通 伊丹屋善兵衛等 「文政七年（一八二四）十一月大坂葛城宣英堂奈良屋長兵衛等刊」後印 外寸「二五・七×一八・一糎」印記「鞆屋文庫」「黒木園の歌ふみの印」（無匡郭。一〇行。上四二丁下三八丁。「松乃屋藤井高尙大人著述目錄 大坂本町堺筋 葛城宣英堂奈良屋長兵衛」等一二丁）

A七三七  
二册

消息文例二卷

藤井高尙著

大阪 河内屋儀助・京都 蛭子屋市右衛門・大坂 奈良屋長兵衛 「寛政十二年九月跋松乃屋藏板」文化二年（一八〇五）後印 外寸「二五×一七・七糎」印記「來宜堂藏書」「武州玉川之里稻毛領宿河原關山五郎右衛門」（單邊。無界。一〇行。内匡郭「一八・八×一四糎」句點付。上四八丁下四〇丁）

A七三八  
二册

書札調法記六卷

中村平吾著

磯嶋宇右衛門等 「江戸前期刊」元文五年（一七四〇）五月後印 外寸「三・五×一六糎」印記「雲霞堂記」（書名は凡例首による。題簽「新板書札調法記」單邊。無界。五行。白口。雙魚尾。内匡郭「一八・二×一三・八糎」一卷三八丁二卷二五丁三卷三〇丁四卷三二丁五卷二七丁六卷二三丁。飛丁あり）

A七三九  
三册

消息案分一卷後編二卷

黒澤翁滿著

尾州名古屋本町通 永樂屋東四郎等 天保四年（一八三三）刊 外寸「横本二・五×一八・四糎」印記「武田氏藏書

A七四〇  
三册

印」〔武田醉霞〕（單邊。無界。一四行。内匡郭「九・四×一五・九糎」 句點付。三七丁。後編上四二丁下五五丁。〔尾張名古屋書肆片野東壁堂藏版畧目録〕五丁）

## 消息文乃かけはし

川島茂樹（蓮阿・聽雨庵主人）著

大坂 河内屋喜兵衛等 〔文化十二年（一八一五）九月大坂梅村彦七等刊〕後印 外寸「一七・四×一一・八糎」 印記  
「曲淵文庫」〔武田氏藏書印〕〔武田醉霞〕（序文首「消息文梯」 單邊。無界。九行。内匡郭「一四・一×九・四糎」 句點付。四五丁）

## 修理大成萬寶番匠往來

東里山人著

江戸日本橋通貳丁目 須原屋新兵衛 文政六年（一八二三）一月刊 外寸「二六・八×一七・五糎」（題簽「萬寶柱立番匠往來」 單邊。無界。六行。内匡郭「二一・七×一五糎」 句點付。一五丁圖三丁）

## 江戸往來

京都 福壽軒菱屋源兵衛等 〔弘化年間〕刊 外寸「三・五×一五・七糎」 印記「板垣萬吉」（單邊。無界。六行。内匡郭「一八・六×一三・四糎」 句點付。一九丁）

## 女庭訓往來

松亭主人訂正

江戸松榮堂山城屋平助等 〔天保十三年刊〕安政二年（一八五五）重刊 外寸「三・八×一五・六糎」（單邊。無界。六行。内匡郭「三・八×一二・六糎」 六二丁）

## 萬世古狀揃

江戸馬喰町 永壽堂西村屋與八 文政三年（一八二〇）十一月重刊 外寸「二五・四×一八糎」（單邊。無界。六行。

A 七四一

一册

A 七四二

一册

A 七四三

一册

A 七四四

一册

A 七四五

内匡郭「三・一×一五・六糎」二段本。二九丁。上欄に「早道童子寶・繪抄并字づくし」等）

## 庭訓往來

江戸日本橋通 須原屋茂兵衛・山城屋佐兵衛〔文化八年一月刊〕嘉永七年（一八五四）三月重刊 外寸「二五・五×一七・七糎」（題簽「謬字攻訂嘉永再彫 庭訓往來繪詳解」 單邊。無界。六行。内匡郭「三・四×一五・四糎」二段本。五五丁。上欄に「書器四品之異名」等）

A七四六  
一册

## 庭訓往來具注鈔

郝德風（關牛）著

大坂 河内屋太助等 天保五年（一八三四）十二月刊 外寸「二五・×一八糎」 印記「久保田屋書店」（書名は題言首による。單邊。無界。八行。内匡郭「二〇・一×一五・三糎」 頭注句點付。八七丁）

A七四七  
一册

## 庭訓往來註二卷

〔江戸中期〕刊 外寸「二六・六×一八・四糎」（單邊。無界。一二行。白口。雙花口魚尾。内匡郭「二・八×一六・二糎」 漢字片假名。上四九丁半下五五丁半）

A七四八  
一册

## 尺素往來

塙保己一集

〔江戸末〕刊 外寸「二六・五×一八糎」 印記「乃中分陀利華」（群書類從卷第四百一消息部。無匡郭。返點句點訓點付。一〇行。二四丁）

A七四九  
一册

## 尺素往來二卷

〔寛文八年（一六六八）〕刊 外寸「二七・七×二〇・二糎」（無匡郭。六行。漢字訓點傍訓付。上四三丁下四三丁。書き入れあり）

A七五〇  
一册

明衡消息三卷

藤原明衡著

京都姉小路通 中川彌兵衛・中川茂兵衛 寛永十九年（一六四二）五月刊 闕卷中 外寸「二六×一七・七糎」 印記「中村氏圖書印」「増田文庫」「中村家藏（墨書）」（單邊。無界。六行。白口。雙花口魚尾。内匡郭「二・八×一五糎」 訓點付。上五一丁下五〇丁）

A七五一  
一册

庭訓往來

江戸 川村源左衛門 元文三年（一七三八）一月刊 外寸「二七×一八・五糎」（單邊。有界。六行。内匡郭「二・一×一六糎」 五七丁）

A七五二  
一册

庭訓往來抄三卷

〔京都〕寺町 西村又左衛門 承應二年（一六五三）七月刊 外寸「二五・九×一六・五糎」 印記「中田藏書」（題簽「□板庭訓抄」 四周雙邊。無界。大字七行。白口。雙花口魚尾。内匡郭「二〇・七×一四・九糎」 上五二丁中二七丁下三四丁）

A七五三  
一册

番匠往來

伊奈葉亭順三著

江戸 北嶋順四郎・千鐘房須原屋茂兵衛・須原屋善五郎 文政十二年（一八二九）十月重刊 外寸「二五・三×一七・七糎」（見返「作事註文番匠往來」 單邊。有界。五行。内匡郭「三×一四・六糎」 二段本。一七丁。上欄に「日本國盡・篇冠構盡」等）

A七五四  
一册

庭訓往來註二卷

〔江戸前期〕刊 外寸「二五・四×一八・八糎」（題簽「庭訓鈔」 四周雙邊。無界。大字八行。上下中黑口。雙花口魚尾。内匡郭「二・九×一六・六糎」 漢字訓點付。上三三丁下四二丁）

A七五五  
一册

庭訓往來

東都人形町通 若林喜兵衛等〔元治二年（一八六五）玉養堂重刊〕後印 外寸「二五・七×一七・六糎」〔見返〕改正新刻延壽庭訓往來繪鈔」單邊。無界。六行。内匡郭「二・九×一五・一糎」句點付。二段本。六〇丁〕

## 庭訓往來

東都 西村屋與八・山城屋佐兵衛 天保十四年（一八四三）二月刊 外寸「二五・二×一七・八糎」〔見返〕永壽庭訓往來繪抄解」單邊。無界。六行。内匡郭「二・三×一五・一糎」返點付。二段本。五八丁〕

## 庭訓往來

京都寺町松原上ル町 菊花堂菊屋七郎兵衛 天明五年（一七八五）一月刊 外寸「二五・二×一八・一糎」〔見返〕御家支流庭訓往來」單邊。無界。六行。内匡郭「二・一×一五・一糎」。八〇丁。飛丁あり〕

## 聚分韻畧五卷

釋師鍊（虎關）著

〔江戸中期〕刊 外寸「一五・六×一一・二糎」〔書名は序文首による。題簽「増補三重韻」單邊。有界。六行。下大黒口。無魚尾。内匡郭「一〇・三×八・三糎」全一四五丁附七丁〕

## 古詩韻範五卷首一卷

武元正質（登登庵）著

大坂 河内屋茂兵衛等〔文化九年（一八二二）自序刊〕後印 外寸「二二×一五・三糎」印記「山岨十茂能藏書」（單邊。無界。大字一〇行。内匡郭「一七・四×一一・二糎」訓點付。首一四丁一卷一九丁二卷一八丁三卷一二丁四卷二〇丁五卷一八丁〕

## 〔改正〕大廣益以呂波雜韻一卷附兩韻備考一卷詩作初心鈔一卷

京都 出雲寺和泉掾・古林堂 寶永七年（一七一〇）五月刊 外寸「二二・四×一六・二糎」〔凡例首〕大廣益以呂波平仄畧韻」單邊。有界。七行。内匡郭「一九・九×一三・八糎」鼈頭本。一九九丁附一四丁〕

A 七五六

一册

A 七五七

一册

A 七五八

一册

A 七五九

一册

A 七六〇

三册

A 七六一

一册

## 譯漢字音法

松岡太愿著

明治二十九年（一八九六）一月寫 外寸「二三・八×一六・二糎」 印記「中山氏藏書之記」（中山久四郎）（一三行。漢字片假名。一五丁。版心に「千葉縣尋常師範學校」とある印刷罫紙使用。山岸氏識語「中山久四郎先生舊藏本也松岡太愿何處人歟余未知之他可尋究者也」）

A七六二  
一册

## 悉曇連聲集

釋澄禪著

〔京都〕 經師勝左衛門 延寶九年（一六八二）八月刊 外寸「三一・二×一六・二糎」（單邊。無界。八行。白口。無魚尾。  
内匡郭「一九・八×一三・二糎」 漢字訓點付。一二丁）

A七六三  
一册

又

外寸「二三・四×一六・三糎」（與A七六三番同版。附錄寫本「東寺正傳二種連聲・山門安然四種連聲」等全六丁あり）

A七六四  
一册

## 倭語連聲集

釋盛典著

京都 藤井文政堂山城屋佐兵衛 〔元文二年（一七三七）一月京寺町中野宗左衛門等刊〕後印 外寸「二五・三×一八・二糎」（題簽「悉曇倭語連聲集」 單邊。無界。一〇行。内匡郭「二〇・四×一四・九糎」 漢字片假名句點付。  
三〇丁）

A七六五  
一册

## 悉曇字記

〔唐〕釋智廣撰

〔中華民國中〕影印 外寸「二四・五×一七・二糎」（九行。一七丁。翻刻奥書「悉曇字記一卷唐山陰沙門智廣撰智廣不

A七六六  
一册（漢籍）



見於釋氏傳記：丙辰九月下澣永豐郷人羅振玉書于東山寓舍」 山岸氏識語「昭和八年孟春以吉沢氏本支那之人醵刻者也故句点乎古止点等省略焉」

悉曇字記

〔唐〕釋智廣撰

〔江戸中期〕寫 外寸「二二・四×一七・九糎」 「泉堯」〔祐教〕〔墨書〕 （七行。漢字句點訓點付。二八丁）

八轉聲鈔 卅八轉聲畧頌

鈔釋玄照著 釋高深補 畧頌釋道玄作

京都 文榮堂澤田友五郎 「享保十四年（一七二九）六月京大宮通池田屋新助刊」明治期後印 外寸「二四×一七・五糎」 （題簽「悉曇八轉聲鈔並畧頌」 單邊。有界。九行。内匡郭「一八・八×一三・八糎」 訓點付。一八丁附二〇至二二丁。「皇都書林澤田文榮堂藏版目錄 五條通高倉東エ入 菱屋友五郎」二丁）

てにをは打聽一卷五十連音うち聽一卷

〔江戸末〕寫 外寸「二七・六×一二・三糎」 印記「三上氏祕笈」 （二〇行。てにをは四四丁五十連音一六丁。序「天保六とせ」といとしの葉月半 常葉の園のあるじ吉祥しるす」）

春樹頭祕増抄

細川幽齋著 有賀長伯補

享和三年（一八〇三）源興隆寫 外寸「二〇・五×一三・五糎」 印記「□邑藏」 （二六行。二二丁）

語學摘要 假字用格之部

渡邊弘人編述

大阪 竹中清助・淺井吉兵衛 明治二十二年（一八八八）一月刊 外寸「一八・五×一二・五糎」 印記「八木」（單邊。無界。九行。内匡郭「二四・一×一〇糎」 二二丁）

A 七六七

一册〔漢籍〕

A 七六八

一册

A 七六九

一册

A 七七〇

一册

A 七七一

一册

助辭本義一覽二卷

橘守部述 橘冬照撰

江戸 須原屋佐助等 天保九年（一八三八）二月刊 外寸「二三・五×一六糎」 印記「柳園文章」「俊雄」（無匡郭。一行。句點付。上五三丁下五四至一一〇丁）

A七七二  
二册

弓尔乎波真帆能追風

篤舍一翁述

大阪 松村九兵衛等 「明治中」刊 外寸「二五・三×一七・七糎」 （題簽「てにをは真帆能追風」 單邊。無界。九行。内匡郭「二〇・五×一五糎」 二四丁）

A七七三  
一册

てには網引綱二卷

梅井道敏著

〔大阪〕 「森本文金堂河内屋太助」 〔江戸中期刊〕後印 外寸「二三・五×一五・九糎」 （見返「手尔を波阿引綱」 單邊。無界。一〇行。内匡郭「一八・二×一三・五糎」 上三〇丁下二〇丁。〔大坂書林森本文金堂和書藏板目録 心齋橋通唐物町 河内屋太助〕二丁）

A七七四  
二册

天尔遠波傳書

〔江戸後期〕寫 外寸「二七・五×二〇・二糎」 （九行。一二丁。朱筆の書き入れあり）

A七七五  
一册

辭格考抄本二卷

物集高世著 中野元固等同校

大阪 宋榮堂田中太右衛門 「安政四年（一八五七）七月跋刊」明治中後印 外寸「二五・八×一七糎」 印記「伊藤文庫」（單邊。無界。一〇行。内匡郭「一八・九×一四糎」 上二〇丁下二七丁附二八至三〇丁。〔豊後物集高世先生著

A七七六  
二册

述書目 大坂心齋橋通安堂寺町 宋榮堂秋田屋太右衛門發兌「二丁」

弓尔乎波係辭辨

萩原廣道述

弘化三年（一八四六）二月序刊 出石居藏板 外寸「二五・四×一七・九糎」 印記「大阪府下本町心齋橋筋北へ入伊豫屋奎運堂倉澤柁七之記」（單邊。無界。一〇行。内匡郭「二〇・四×一四・四糎」 句點付。三三丁）

弓尔乎波係辭辨

萩原廣道述

大坂心齋橋筋安堂寺町 宋榮堂秋田屋太右衛門（弘化三年二月序刊）嘉永二年（一八四九）一月後印 外寸「二五・四×一八・二糎」（單邊。無界。一〇行。内匡郭「二〇・四×一四・四糎」 句點付。三三丁）

尺牘語式二卷尺牘寫式一卷

釋大典（顯常）著

皇都三條通御幸町角 津逮堂吉野屋仁兵衛（明和六年（一七六九）二月跋刊）後印 外寸「一七・一×一二・三糎」（見返「尺牘式」單邊。有界。九行。内匡郭「二四・八×一〇・五糎」 語式上三八丁下四四丁。寫式三八丁）

詩文抄本 易然集其他

〔江戸後期〕寫 外寸「一九・四×一二・七糎」（書名は書外題による。一〇行。「誠脩先生同志會示諸生雜說」一九丁。「送眞瀨朴元之武城」維貞作、二丁。「論源賴朝」宗恕作、一六丁。「丁亥元日」宗恕作、七丁。「聚遠亭記」八丁。「易然集」三丁。「清水寺十景序」寛文十二年三月日柳谷散人書、四丁。「寛文十一年五月七日於新院御所詩歌之御會」五丁。「無題」木下順菴他、二四丁。識語「文化七庚午二月…中允脩」 山岸氏識語「詩文抄本也易然集等有之」

文章歐冶

（元）陳繹曾撰（朝鮮）尹春年注（日本）伊藤長胤（東涯）點

A七七七

一册

A七七八

一册

A七七九

三册

A七八〇

一册

A七八一

洛陽 唐本屋又兵衛・永原屋孫兵衛 元祿元年（一六八八）十一月刊 外寸「三・六×一五・八糎」 印記「一竿藏書」等（四周雙邊。無界。一一行。白口。單魚尾。内匡郭「二七×一三・四糎」 訓點付。六九丁。山岸氏識語「文筌改題曰文章歐冶伊藤氏覆刻朝鮮本者也」

文章撰格二卷

橘守部著

東京 橘道守 明治十九年（一八八六）七月刊 外寸「二六・五×一八・七糎」 印記「袋川文庫」（單邊。無界。一一行。内匡郭「二一×一五糎」 句讀點付。上四五丁下四八丁。奥付に發兌書林として「東京須原屋茂兵衛から同淺倉屋久兵衛まで」全五書肆名あり

文意考

賀茂眞淵著

京都錦小路通 惠比須屋市右衛門 「寛政十二年（一八〇〇）十月序刊」後印 外寸「二五・八×一八糎」 印記「廣瀬圖書」（書名は題簽による。卷頭「文のこゝ路のうち」 無匡郭。九行。句點付。一一丁。「明學堂和書目錄 京師錦小路通室町西へ入北側 惠比須屋市右衛門」一丁半）

高等論說記事簡牘文例二卷

今井匡之著

東京 今井匡之・山中孝之助 明治十四年（一八八二）十二月活版 外寸「一八×一二・三糎」（上五八丁下六四丁）

新刻訓點實語教画抄

槐亭賀全著

江戸馬喰町 吉田屋文三郎 「江戸末」刊 外寸「二七・八×一一・七糎」（單邊。無界。大字四行。白口。無魚尾。内匡郭「二四・五×九・九糎」 返點傍訓付。繪入。實語教七丁半童子教八丁裏至二九丁）

一册

A七八二

二册

A七八三

一册

A七八四

二册

A七八五

一册

標註庭のをしへ

佐々木信綱著

新潟縣北蒲原郡 弦卷七十郎 明治二十五年（一八九二）六月刊 外寸「二三×一五・三糎」 印記「相良文庫」（大和綴。四周雙邊。無界。一一行。内匡郭「一八・四×一二・三糎」 頭注句點付。一一丁。奥付に發賣所として「東京京橋區南傳馬町 六合館弦卷書肆」あり）

實語教諺解

釋惠空作 招月亭孤峯編

〔寛文十年（一六七〇）序〕刊 外寸「三五・四×一八・六糎」（單邊。無界。小字一三行。白口。雙花口魚尾。内匡郭「二一・六×一六・五糎」 頭注訓點付。一二丁）

叡明寺殿より子息時宗へ庭訓の書

北條時頼著 新井君美編

文政三年（一八一〇）五月簡井忠英寫 外寸「二四・九×一七・三糎」（七行。三三丁。奥書「右一帖平時頼禪門の庭訓なりといひて世につたふる所也」六十七歳の翁白石道人識） 山岸氏識語「此書ハ墨海山筆第四二冊ノ卷六十中ニ收メタリ。〔叡明寺殿、子息時宗へ教訓のふみ〕新井白石轉写ノ本ナリ」

三省錄三卷三省錄附言二卷

志賀忍（理齋）編 原義胤（德齋）補訂

江戸 青雲堂英文藏・和泉屋金右衛門 天保十四年（一八四三）跋刊 外寸「二五・八×一七・九糎」 印記「孔石山房主人秋田氏圖書記集散任天然永爲四海寶」（三春藩秋田家）「安居院藏」（朱書）（無匡郭。一一行。上三三丁中二四丁下一六丁。附言上二九丁下二八丁。〔青雲堂藏板目錄 江戸下谷御成道 英文藏〕五丁）

文明論之概略六卷

A七八六  
一册

A七八七  
一册

A七八八  
一册

A七八九  
五册

福澤諭吉著

明治八年（一八七五）四月刊 福澤諭吉藏版 外寸「二・七×一五・七糎」（四周雙邊。無界。一〇行。内匡郭「二七・八×一二・四糎」 漢字片假名。一卷八〇丁二卷五五丁三卷五七丁四卷五一丁五卷六八丁六卷五七丁）

學問ノススメ 存卷初編四編五編七至十一編

福澤諭吉著

明治六年四月至明治七年（一八七四）六月刊及活版 外寸「一八×一二・五糎」（單邊。八行。漢字片假名。初編一二丁四編一一丁五編九丁七編一二丁八編一一丁九編九丁一〇編九丁一一編九丁。初編の著者「福澤諭吉・小幡篤次郎同著」とある。初編・十編は刊本）

離屋學訓 附答客問

離鈴木腹（離屋）著 答丹羽最解

文政十一年（一八二八）六月序刊 外寸「二六・四×一八・四糎」 印記「藤浪氏藏」（藤浪剛一）（單邊。無界。一〇行。内匡郭「二〇・七×一五・二糎」 漢字片假名句點付。四〇丁附四一至四八丁）

又

印記「柏木知貞」「春洋」「木全氏圖書記」（與A七九二番同版。識語「己丑夏日名古屋村千春風氏所贈版下盤桓子之筆也盤桓子」）

繪本鷹かがみ初編三卷二編二卷

河鍋洞郁畫

東京 金花堂中村佐太郎（明治中）刊 外寸「二・六×一六・九糎」 印記「澁庵圖書」（書名は見返による。四周雙邊。無界。内匡郭「一八・二×一二・九糎」 繪入。初上一〇丁中一〇丁下一二丁。二編上一〇丁下一〇丁）

鳳笙譜

A 七九〇  
六册

A 七九一  
八册

A 七九二  
一册

A 七九三  
一册

A 七九四  
五册

明治二年（一八六九）十一月高井巢山寫 外寸「橫本一七・九×二・五糎」 印記「高井氏家印」（九行。三二頁二〇丁。  
高井氏識語「明治二己巳年十一月三日從松浦默殿借焉印」 朱點あり）  
一册 A七九五

### 蘿軒變古箋譜

大邨西崖校輯

東京 圖本叢刊會 大正十二年（一九二三）一月刊 外寸「二九・九×一九・五糎」 印記「龍雲閣」（圖本叢刊之一。  
單邊。無界。内匡郭「二・一×一四・五糎」 繪入。套印本。四四丁）  
一册 A七九六

### 箏曲大意抄六卷

山田松黑著

尾張名古屋本町 風月孫助（安永八年跋刊）寛政四年（一七九二）重刊 外寸「二七・四×一八・三糎」（單邊。有界。  
四行。内匡郭「二四・六×一四糎」 一卷四三丁二卷五〇丁三卷六七丁四卷五九丁五卷五九丁六卷四二丁）  
六册 A七九七

### 摺印補正二卷

鳥羽石隱著 細合方明編

大坂高麗橋一丁目 藤屋彌兵衛・心齋橋筋順慶町 柏原屋清右衛門 享和二年（一八〇二）三月刊 外寸「橫本八・三  
×一八・二糎」 印記「南齋畫印」（見返「和漢書畫摺印補正」 單邊。無界。内匡郭「六・九×一五・二糎」 上八六丁  
下八二丁）  
二册 A七九八

### 古今墨蹟鑒定便覽近世儒家之部二卷

川喜多眞一郎編

弘化五年（一八四八）刊 鈴木氏藏板 外寸「橫本八・六×一八・一糎」（見返「古今墨蹟鑒定先哲便覽」 單邊。無界。  
内匡郭「六・八×一四・九糎」 漢字片假名。上七一丁下七六丁）  
二册 A七九九

### 煎茶小述

山本徳潤(都龍軒主人)著

江戸日本橋貳丁目 嵩山房小林新兵衛等 (天保五年十月都龍軒山本氏刊)天保六年(一八三五)一月後印 外寸

「一八・二×一二・四糎」(單邊。無界。七行。内匡郭「四・四×九・八糎」句點付。繪入。二二丁)

古今和漢萬寶全書

大坂順慶町心齋橋筋 柏原屋清右衛門等 享保三年(一七一八)六月刊 外寸「横本一〇・七×一六・一糎」(書名は題簽による。單邊。無界。一六行。内匡郭「九×一四・二糎」)

内容「本朝畫印傳」三卷上五六丁中五七至一〇三丁下一〇四至一五九丁。「唐繪畫印傳」五五丁。「和漢墨蹟印盡」三九丁。「和漢名物茶入」二卷上四四丁下四五至八三丁。「古今和漢諸道具見鈔」六四丁。「和漢古今寶錢圖鑑」二二丁。「古今名盡合類大全」三卷上五三丁中五四至一〇四丁下一〇五至一四五丁。「後藤家彫物彩金抄」三三丁。

茶式湖月抄五篇十卷

湖月老隱著

京都 松栢堂出雲寺文治郎 (嘉永四年十二月京都菱澤重兵衛等刊)明治十六年(一八八三)十月補刊 外寸「一八×一二・四糎」 印記「吉澤文庫」「吉澤義則」「靜香堂」(單邊。無界。七行。内匡郭「一五・一×一〇糎」 初篇上四八丁下六二丁。二篇上三三丁下三八丁。三篇上四二丁下三七丁。四篇上四二丁下四二丁。五篇上三七丁下三六丁)

賣茶翁偈語一卷喫茶養生記二卷茶經詳說序・茶經詳說附言一卷茶經三卷

賈月海元昭著 無住編 梅山校 喫釋榮西錄 詳香海撰 茶經(唐)陸羽撰

安永三年(一七七四)寫 外寸「三・四×一七・八糎」(一〇行。賣茶一六丁。喫茶上四丁下四丁。茶經詳說九丁。茶經上七丁中九丁下一九丁)

御茶物かたり

〔江戸後期〕寫 外寸「二七・二×一九・三糎」(一〇行。一二丁。奥書「寛永七年卯月吉日東洞院通下三本木町有之」)

A八〇〇

一册

A八〇一

一三册

A八〇二

一〇册

A八〇三

一册

A八〇四

一册



## 千蔭翁かな帖

橘千蔭書

江戸 安政堂〔寛政十二年（一七九九）刊 外寸「二六・八×一六・九糎」〕（書名は題簽による。見返「假名帖」無界。七行。内匡郭「二・五×一五糎」陰刻。一三丁）

## 入木祕書

東京 前田家育徳財團 昭和十三年（一九三八）複製 外寸「三・二×一五・五糎」〔尊經閣叢刊之一。九行。二〇丁。底本「前田家藏應安二年寫本」別冊「前田本入木祕書解説」六丁〕

## 草訣辨遊

（明）范文明撰

京都 中野宗左衛門 天和二年（一六八二）後印 外寸「二七・一×一七・三糎」印記「少府圖書」〔無界。大字四行。内匡郭「二・四・八×一三・五糎」陰刻・訓點付。四八丁。底本「明萬曆二十年新都范文明連奎館刻拓本」〕

## ゆきかひふり

橘千蔭書

江都本町筋 葦屋重三郎等 寛政四年（一七九二）九月刊 外寸「二七・八×一八・五糎」印記「響齋文庫」等〔書畫屋武二郎〕（墨書）〔無界。六行。内匡郭「三・八×一五・九糎」陰刻。四二丁）

## 法帖之見方 日本之部

相澤春洋著

東京 雄山閣 昭和九年（一九三四）七月活版 外寸「二六・一×一六・三糎」〔二八頁。圖版三五頁〕

## 法帖之見方 支那之部

藤原楚水著

A 八〇五	一冊
A 八〇六	一冊・別冊解説一冊
A 八〇七	一冊
A 八〇八	一冊
A 八〇九	一冊
A 八一〇	

東京 雄山閣 昭和十年（一九三五）二月活版 外寸「二六×一六・五糎」（陰刻。三五頁）

四體千字文二卷

（陳）釋智永書

京師 玉枝軒植〔村〕道有 寛保元年（一七四二）三月刊 外寸「二六・一×一五糎」（題簽「智永四體千字文」 無界。  
五行一〇字。内匡郭「二・七×一・二・三糎」 陰刻。上二丁下二丁）

一册  
A八一

和漢草字辨

桑原守雌（空洞）著

平安 小川新兵衛・小川多左衛門 〔享保十九年（一七三四）刊〕後印 外寸「二七・三×一八・一糎」 印記「杉山之記」  
〔單邊。有界。六行。内匡郭「一九・八×一四・三糎」 訓點付。二〇丁）

一册  
A八二

近衛定家光悅日月星三卷

〔京都〕 出雲寺和泉掾 元祿十一年（一六九八）刊 外寸「二七・三×一八・五糎」（無匡郭。四行。近衛三三丁定家  
二九丁光悅二七丁）

A八一  
三册（合綴一册）

徵古圖録

長野美波留編

文化八年（一八一）序刊 外寸「二九・一×二二・一糎」 印記「樟陰山房」（岡本經邦）（書名は題簽による。無匡郭。  
繪入。三〇丁）

一册  
A八一

書法正傳十卷

（清）馮武輯 （清）馮守謙等同校

東京都橋區 藤井利八 〔嘉永五年（一八五二）江戸立身屋松吉等刊〕明治中後印 闕卷第六 外寸「二二・八×  
一五・二糎」（左右雙邊。有界。一〇行二〇字。内匡郭「二・八・九×二・二・七糎」 返點圈點句點付。一卷二〇丁二卷

五册  
A八一五

一六丁三卷二三丁四卷一一丁五卷四四丁七卷二九丁八卷二二丁九卷三〇丁一〇卷一二丁)

墨色傳

佐藤止矜著

大坂心齋橋傳馬町 永昌堂柏原屋佐兵衛等 安永四年(一七七五)十一月刊 外寸「二三×一五・九糎」 印記「性連社」(單邊。無界。八行。内匡郭「一九・三×一三・五糎」 一四丁。「永昌堂板行書目拔書 大坂心齋橋北久寶寺町 柏原屋佐兵衛板」二丁)

A 八一六  
一册

投扇興圖式

泉花堂三蝶述 投扇庵好之編

東都元飯田町 遠州屋彌七 (安永三年(一七七四)序刊)後印 外寸「二三・七×一六糎」 印記「宍戸昌藏書記」(宍戸昌) (書名は題簽による。單邊。無界。七行。内匡郭「二七・九×一四糎」 一六丁)

A 八一七  
一册

投扇例 埴擬源氏五十四帖投扇曲圖

投樂山人其扇著

安永二年(一七七三)跋刊附慶應二年(一八六六)宮田敏寫 外寸「二二・五×一六・七糎」 印記「宮田氏藏書印」 「圓陵叢書」(朱書) (無匡郭。九行。訓點付。一二丁附五丁)

A 八一八  
一册

和漢研譜二卷研林一卷

和鳥羽(石)希聰編 林張潮編 孔尙任校

平安 林喜兵衛等 寛政九年(一七九七)四月刊 外寸「二五・八×一八・四糎」 印記「青葱館文庫」「笠原文庫」「新潟圖書館印」 (書名は目次首による。單邊。無界。一〇行。内匡郭「二二×一三・七糎」 圈點句點付。繪入。和漢一卷二四丁二卷五一丁。研林二二丁)

A 八一九  
三册

龍田詣一卷散艸一卷

長雄耕雲書

江戸日本橋通南式町目 鶴本平藏 寶曆六年（一七五六）一月刊 外寸「二八・七×一七・三糎」〔書名は題簽による。無匡郭。四行。龍田九丁散艸一〇至三九丁〕

## 明衡消息四卷

藤原明衡著

〔江戸中期〕刊 外寸「二六・五×一九・二糎」 印記「左氏」「芳隆」等（無匡郭。六行。漢字訓點傍訓付。一卷二八丁二卷一九至五二丁三卷二七丁四卷二七丁）

## 菅丞相御製作十二月往來

龍章堂書

皇都 津逮堂吉野屋仁兵衛 天保四年（一八三三）跋刊 外寸「二六×一八・三糎」〔無匡郭。五行。傍訓付。二七丁。〕  
〔平安龍章堂先生本目録 三條通御幸町西角 吉野屋仁兵衛板〔半丁〕〕

## 富士野往來

朝日置散子書

〔京都〕通油町 本屋三右衛門 延寶七年（一六七九）刊 外寸「二六・三×一八・五糎」〔無匡郭。五行。傍訓付。三二丁〕

## 春樹頭祕增抄二卷

細川幽齋著 有賀長伯補

文政八年（一八二五）二月寫 外寸「二六・五×一九・一糎」 印記「郷氏之記」（二一行。乾一六丁坤二三丁）

## 春樹頭祕抄

細川幽齋著

A 八二〇	一册
A 八二一	三册（合綴一册）
A 八二二	一册
A 八二三	一册
A 八二四	一册
A 八二五	

〔江戸中期〕寫 外寸「二五・五×一七・三厘」 二〇行。二〇丁。奥書「這一冊八大藏卿二位法印玄旨よりの傳也：元  
和八壬戌年八月十三日亞槐烏丸光廣在判 右條々者此道之階梯深祕之大事於歌道末代之明鏡也：相傳代々之奥書如  
斯」

## 神風記五卷

匹田以正著

〔寛文八年（一六六八）自序〕刊 外寸「二六・二×一七・三厘」 印記「神田文庫」「宮地」「宮地家藏本」（墨書）（書名  
は序文首による。無匡郭。一〇行。訓點句點付。一卷「三丁二卷二九丁三卷二二丁四卷一九丁五卷一九丁。山岸氏  
識語「神風記無内閣文庫与圖書寮之目錄中焉稀少本欵」

## めのとのさうし 増長恨歌和文

嘉永五年（一八五二）重道寫 外寸「二四×一七・一厘」 印記「関場文庫」「関場不二彦」「關彦印信」（書外題「乳母艸  
紙」 九行。三七丁附一五丁。識語「右一冊者以作樂戸藏本書寫畢 于時嘉永五壬子首夏中旬重道」 書き入れあり

## 和漢名物茶入肩衝二卷

網干氏編

元祿七年（一六九四）刊 外寸「横本（上）一〇・四×一六・一厘、（下）一一×一六厘」 印記「花木所藏」（書名は目次  
首による。單邊。無界。一六行。白口。線魚尾。内匡郭（上）八・八×一三・七厘、（下）「八・八×一四・一厘」 上「古  
今名物茶具祕藏記」四四丁、下「和漢名物茶入之記」四五至八三丁。上卷は補配本

## 臨池抄

尊圓親王著

天保十年（一八三九）三月村池俊民寫 外寸「二八×二〇・七厘」（書名は目次首による。七行。三四丁。識語「入木  
口伝抄入木祕書臨池抄共同一本也」

一冊

A 八二六

五冊

A 八二七

一冊

A 八二八

二冊

A 八二九

一冊

源氏物語

〔江戸前期〕寫 外寸「二九・九×二二・二糎」 印記「青木印」〔青木信寅〕「松方文庫」〔松方正義〕（二〇行。朱點朱引あり。別紙に「傳三條西公條筆本」と墨書あり）

湖月鈔五十四卷

北村季吟著

京都 村上勘左衛門等 〔延寶元年（一六七三）跋刊〕 關卷桐壺至花散里 外寸「二七・四×一九・三糎」 （書名は題簽による。單邊。無界。一二行。白口。無魚尾。内匡郭「三・三×一七・三糎」 句點頭注付。奥付の書林「林和泉・村上勘兵衛・吉田四郎右衛門・村上勘左衛門」 蓬左文庫本・書陵部藏後陽成院本との校合書き入れあり）

湖月抄 存卷御法・早藏至手習

北村季吟著

〔延寶三年（一六七五）序刊〕後印 外寸「二五・四×一九・二糎」 （單邊。無界。一二行。白口。無魚尾。内匡郭「三・六×一七・三糎」 與A八三一 番同版。蓬左文庫本との對校書き入れあり）

源氏物語新釋 増 源氏物語新釋惣考 一卷 源氏物語別記 一卷

賀茂眞淵著

寛政三年（一七九一）寫 外寸「二七・三×一九・三糎」 （九行。漢字片假名）

岷江入楚 存卷賢木初子

〔中院通勝著〕

〔江戸中期〕寫 外寸「三〇・三×二三・六糎」 （二六行。賢木九三丁初子四〇丁。朱點朱注あり。山岸氏識語「岷江入楚缺本九條家旧藏本也 榊初子二冊也」）

源氏物語新釋

A八三〇  
二五冊

A八三一  
四三冊

A八三二  
七冊

A八三三  
五〇冊

A八三四  
二冊

〔賀茂眞淵著〕

〔江戸末〕寫 外寸「二六・三×一八・二糎」(二二行。一册桐壺至花宴迄七五丁、二册帚木至空蟬迄九七丁、三册空蟬至夕かほ迄七二丁、四册若紫至未摘花迄九一丁、五册紅葉賀至花ノ宴迄六六丁、六册初音至螢迄七六丁。識語「佐竹義祇公之姫君憲明院殿(義純公)之異腹ノ妹家壽(ヤス)姫之筆嘉永年間之人」 第一册前表紙右下に「共六欠本」とあり)

## 湖月鈔五十四卷

北村季吟著

京都 村上勘左衛門等 延寶三年(一六七五)序刊 關卷桐壺至夕顔・未摘花至須磨 外寸「二七・二×一九・四糎」(單邊。無界。一二行。白口。無魚尾。内匡郭「三・一×一七・二糎」 頭注句點付。「帚木」補鈔五〇丁あり。奥付の書林「林和泉・村上勘兵衛・八尾甚四郎・村上勘左衛門」 識語「穗久邇文庫本・吉田幸一氏藏本校合了」)

## 湖月鈔五十四卷目錄二卷 湖月鈔發端一卷 源氏物語系圖一卷 雲隱說一卷

北村季吟著

京都 村上勘左衛門等 〔延寶三年(一六七五)序刊〕後印 關卷桐壺至花散里 外寸「二七・三×一九・四糎」(單邊。無界。一二行。白口。無魚尾。内匡郭「三・一×一七・三糎」 頭注句點付。奥付の書林「林和泉・村上勘兵衛・八尾甚四郎・村上勘左衛門」 與 A 八三六番各卷同版。識語「宮内庁書陵部藏後陽成天皇與書宸筆本・書陵部藏三條西實隆自筆本校合了」)

## 湖月鈔 存卷夕霧御法幻雲隱句宮

北村季吟著

〔延寶三年(一六七五)序刊〕後印 外寸「二七・四×一九・三糎」(單邊。無界。一二行。白口。無魚尾。内匡郭「三・九×一七・三糎」 頭注句點付。夕霧七八丁御法「二丁幻二四丁雲隱一〇丁句宮一七丁。與 A 八三六番各卷同版」)

## 源氏物語 早蕨宿木

A 八三五

六册

A 八三六

四六册

A 八三七

四九册

A 八三八

五册

冷泉爲相筆

〔鎌倉後期〕寫 外寸「二四・四×一五・四糎」 印記「月明莊」〔反町茂雄〕〔列帖裝。八行二三至二三字。〕「さわらひ」  
〔二二丁〕「間遊紙」〔一丁〕「やとり木」〔一一六丁〕「遊紙」〔二丁〕。朱點あり。外箱に「河内本源氏物語」と墨筆。内箱に「爲相卿早蕨宿木」金泥筆あり。極札「冷泉殿元祖爲相卿源氏物語宇治十帖内さわらひ やとり木」極札包紙表「冷泉爲相卿改札」包紙裏「紙數百四拾貳枚之内百三十七枚墨付五枚白帋」

源氏物語諸卷年立二卷表白一卷

〔江戸中期〕刊 外寸「二七・五×一九・六糎」 印記「棲威廼舍藏書」〔倉澤清也〕「倉澤」〔單邊。無界。一二行。白口。無魚尾。内匡郭「三・三×一七・二糎」 頭注句點付。年立上二丁下二三至六五丁表白二丁〕

源氏物語

〔室町後期〕寫 外寸「三・一×一四・四糎」 〔列帖裝。八行。耕雲本。奥書「文明十七年八月十三日染筆同十五日終書写」按察使藤原朝臣親長「八月十六日加朱筆了 都護藤原（花押）」（朱書）「右二十七帖甘露寺按察使親長卿手筆也雖爲不備依有由緒從奥州持来永爲貴寺什物所令寄呈也 一覽之時者宜預廻向者也 承應年月日 淺川彦左衛門尉昌純」〕

首書源氏物語五十四卷 附源氏系圖一卷

洛陽西御門前 積徳堂 寛文十三年（一六七三）二月刊 外寸「二七・五×一九・六糎」 印記「中澤藏書」「神保藏書」〔書名は題簽による。序文首「河海抄序」 單邊。無界。白口。無魚尾。一二行。内匡郭「三・八×一七・六糎」 頭注句點傍注付。識語「寶曆十三癸未年五月七日也足軒素然中院通勝卿御朱ヲ以讀合之畢 廣通」右中院家傳來ノ朱点ハ家君の祕藏ヲ傳テ門生辻知篤ヲシテ校合セシム 萬彦〕

〔繪入〕源氏物語五十四卷 附源氏目案三卷源氏系圖一卷源氏引哥一卷

山本春正編  
洛陽寺町通 八尾勘兵衛 〔慶安三年跋〕承應三年（一六五四）八月重刊 闕卷桐壺帚木 外寸「二七・五×一九糎」

A 八三九  
一冊（貴重書庫室）

A 八四〇  
三冊

A 八四一  
五四冊

A 八四二  
五五冊

A 八四三  
五七冊



〔無匡郭。一一行。句點付。繪入。繪合若菜上横笛浮舟早蕨の五卷は補配本〕

## 源氏大繩

大正十年（一九二一）十一月麓園寫 外寸「二四・八×一六・八浬」〔書名は序文首による。假綴。一〇行。一四一丁。識語「此乃書の（源氏大繩）の原本は伊豆修善寺温泉場住三須如電氏の藏にして書中元祿七年とあるに：大正十年霜月上旬麓園（花押）山岸氏識語「源氏大綱一冊小鏡ノ類也」〕

## 萬水一露五十四卷

能登永閑著

〔承應元年（一六五二）十二月跋〕刊 闕卷桐壺帚木上 外寸「二七・五×一九・九浬」 印記「石塚氏藏」〔書名は題簽による。無匡郭。一三行〕

## 繪入源氏小鏡三卷

江戸大傳馬町三丁目 鶴屋喜右衛門 〔延寶三年（一六七五）三月刊〕後印 外寸「二七・二×一八・三浬」 印記「占恒堂圖書」「香川淡海書籍」〔書名は題簽による。無匡郭。一五行。訓點付。繪入。上四〇丁中三六丁下二〇丁。山岸氏識語「本文慶安刊本同焉」〕

## 源氏小鏡三卷

〔京都〕寺町通圓福寺町 秋田屋平左衛門 慶安四年（一六五二）刊 外寸「二七・五×一八・八浬」〔「青風軒」墨書〕（無匡郭。一一行。訓點付。上五八丁中五三丁下三〇丁。朱筆の書き入れあり）

## 源義辨引抄 存卷第一至第四第七第八

一華堂切臨著

天保十年（一八三九）九月露村野史寫 外寸「二八・三×二〇・四浬」（一〇行。一卷一七丁二卷一九丁三卷三四丁四卷三六丁七卷二八丁八卷四五丁。序文末「慶安庚寅孟秋洛陽黃臺山勤息切臨序す」）

A 八四四  
一冊

A 八四五  
六〇冊

A 八四六  
三冊（合綴一冊）

A 八四七  
三冊

A 八四八  
三冊

源義辨引抄二十卷

一華堂切臨著

〔慶安三年（一六五〇）序〕刊 外寸「二八・一×一九・五糎」 印記「高定」「竹谷藏書」（無匡郭。一〇行。山岸氏識語「本書版本写本共稀觀也云云註釈平凡者也」）

湖月抄五十四卷

北村季吟著

京都 村上勘左衛門等 〔延寶三年（一六七五）序刊〕後印 關卷夕霧御法幻勾宮 外寸「二七・二×一九・三糎」（單邊。無界。一二行。白口。無魚尾。内匡郭「三・二×一七・三糎」 頭注句點付。奥付の書林「林和泉・村上勘兵衛・吉田四郎右衛門・村上勘左衛門」）

湖月抄五十四卷

北村季吟著

京都 村上勘左衛門等 〔延寶三年（一六七五）序刊〕後印 關卷桐壺至花散里 外寸「二七・五×一九・三糎」（單邊。無界。一二行。白口。無魚尾。内匡郭「三・三×一七・二糎」 識語「後醍醐天皇宸翰之本以朱書也」（朱書） 山岸氏識語「不忍文庫本松井文庫藏本也 昭和十一年四月下浣借覽之序逐一校畢者也 松井文庫本近日爲靜嘉堂藏者也」 朱筆の書き入れあり）

源氏物語系圖一卷源氏物語諸卷年立二卷

北村季吟著 年一條兼良著

〔江戸前期〕刊 外寸「二七・五×一九・五糎」 印記「越後与板大□□」（單邊。無界。一二行。白口。無魚尾。内匡郭「二・九×一七・三糎」 系圖四六丁。年立上三二丁下三三至六五丁）

源氏物語系圖一卷表白一卷雲隱說一卷源氏物語諸卷年立二卷

A八四九

二〇册

A八五〇

五〇册

A八五一

四三册

A八五二

三册

北村季吟著 年一條兼良著

〔明治期〕寫 外寸「二七・五×一九・五糎」(一二行。内匡郭「三・八×一七・三糎」 糸圖四六丁表白三丁雲隱一〇丁。年立上三一丁下三三至六五丁。底本「江戸前期刊本」)

A八五三

五册

## 湖月鈔發端

北村季吟著

〔江戸前期〕刊 外寸「二七・五×一九・五糎」(書名は目次首による。單邊。無界。一二行。白口。無魚尾。内匡郭「三・三×一七・二糎」 二八丁)

A八五四

一册

## 湖月鈔發端

北村季吟著

〔江戸後期〕寫 外寸「二七・三×一九・一糎」(一二行。二七丁)

A八五五①

一册

## 源氏物語系圖

北村季吟著

〔江戸前期〕刊 外寸「二七・七×一九・四糎」(單邊。無界。一二行。白口。無魚尾。内匡郭「三・一×一七・二糎」 四六丁。與A八五二番糸圖同版)

A八五五②

一册

## 雲隱說一卷表白一卷

北村季吟著

〔江戸前期〕刊 外寸「二七・五×一九・五糎」(單邊。無界。一二行。白口。無魚尾。内匡郭「三・八×一七・二糎」 雲隱一〇丁表白三丁。山岸氏識語「拾珠抄(大原三千院藏)卷二源氏一品經トイフモノアリ澄憲ノ著也源氏表白モコレラニヨレルナルベシ」)

A八五六

二册

## 湖月抄 存卷桐壺總角

北村季吟著

〔江戸前期〕刊 外寸「二七・三×一九・三糎」 印記「磯部文庫」「田藩文庫」「田安府藝堂印」「獻英樓圖書記」(田安家)  
〔單邊。無界。一二行。白口。無魚尾。内匡郭「三三・一×一七・二糎」 頭注句點付。桐壺三二丁總角九五丁〕

浄土眞宗玉林和歌集四卷

釋先啓編

平安 菊屋喜兵衛・著屋勘兵衛 寛政十年(一七九八)刊 外寸「二八・二×二二・五糎」 (釋教和歌題林集之一。單邊。  
無界。一〇行。内匡郭「二四・二×九・八糎」 一卷二二丁二卷三三至三六丁三卷三七至六〇丁四卷六一至七六丁)

つぼすみれ一卷附祝詞

つ源千照著 祝椎本池庵著

〔明治初期〕寫 外寸「二〇・一×二二・五糎」 (假綴。九行。二五丁附三丁。卷頭に「つぼすみれ明治四年辛未詠草同  
八年ニ至ル」と墨書あり)

つぼすみれ長歌一卷文詞一卷

つ源千照著

〔明治初期〕寫 外寸「二〇・二×二二・六糎」 (假綴。九行。つぼ三二丁文詞一〇丁)

浦乃塩貝拾遺八卷

熊谷直好著

明治四年(一八七二)四月蓬山寫 外寸「二〇・七×一三・二糎」 (八行。春六四丁夏三七丁立秋五二丁雜曉一四丁山  
家烟六二丁初冬三六丁初戀二〇丁雜哥七一丁。朱筆の書き入れあり)

うけらがはな七卷

橘(加藤)千蔭著

A八五七

二册

A八五九

一册

A八六〇

一册

A八六一

一册

A八六二

五册

A八六三

江戸 須原屋茂兵衛等 享和二年（一八〇二）十二月刊 外寸「三・五×一五・九糎」 印記「越後國頸城郡高田室直助平千壽所藏」（單邊。無界。一一行。内匡郭「一七・四×二・二糎」 一卷二六丁二卷一八丁三卷二五丁四卷一九丁五卷一八丁六卷四〇丁七卷五三丁）

四册

## 亮々遺稿類題三卷

木下幸文著

〔明治期〕刊 宮内省藏板 外寸「二五・五×一七・七糎」 印記「濱松小書巢内田旭圖書」老松園文庫（内田旭）（無匡郭。一〇行。上六七丁中四五丁下四〇丁。奥付に製本兼發賣人として「東京京橋區 吉川半七」あり）

A 八六四  
三册

## 調鶴集三卷

井上文雄（調鶴）撰

慶應三年（一八六七）刊 外寸「二五・九×一八糎」 印記「晚香」「土生」（無匡郭。一一行。上三七丁中二二丁下四〇丁。山岸氏識語「井上文雄翁家集調鶴号也岸本由豆流門人著書多焉 明治四年没七十二歳慶応三年刊也」）

A 八六五  
三册

又

外寸「二五・三×一七・六糎」 印記「獻英閣」（與 A 八六五番同版）

A 八六六  
三册

## 摘英和歌集六卷

井上文雄（調鶴）編

江戸芝神明前 岡田屋嘉七 安政四年（一八五七）刊 外寸「二六・四×一八・五糎」（無匡郭。一〇行。一卷一二丁二卷九丁三卷一〇丁四卷八丁五卷一〇丁六卷一二丁附言五丁）

A 八六七  
一册

## 七體七百首

富士谷成章著 男富士谷成元（御杖）校

A 八六八

〔江戸末〕寫 外寸「二六・九×一九・六糎」(二六行。二七丁)

夢窓國師御詠

釋夢窓疏石撰

〔元祿十二年(一六九九)九月序刊〕後印 外寸「二三・五×一五・九糎」 印記「不及齋藏」(書名は題簽による。無匡郭。八行。二六丁)

蓮月式部二女和歌集

小田垣蓮月・高島式部撰

明治元年(一八六八)十二月刊 金屏堂藏板 外寸「一七・八×一二・二糎」(書名は封面による。卷首「二女和哥集」單邊。無界。一〇行。内匡郭「二三・六×八・九糎」 一五丁。奥付に弘通書林として「京都 堺屋仁兵衛・綿屋三郎兵衛」あり)

又

外寸「一八・三×一二・二糎」(與A八七〇番同版)

空花和歌集三卷

釋源空撰 釋湛澄註

神京 茨城多左衛門 元祿九年(一六九六)三月刊 外寸「二七・五×一八・八糎」 印記「熊本市上通二丁目河嶋書店」(單邊。無界。九行。白口。無魚尾。内匡郭「二二・七×一二・八糎」 頭注句點付。上卷一五丁中卷一八丁下卷一四丁)

詠百首和歌

伊達吉村撰

〔江戸後期〕寫 外寸「二五・四×一六・三糎」 印記「石井梅窓」「梅窓之印」「石井治良」 「東七番丁梅窓葺」(墨書)

一册

A八六九

一册

A八七〇

一册

A八七一

一册

A八七二

一册

A八七三

一册

〔封面〕吉村公御歌〕一九丁。識語「享保十五年從二月廿八日始同至五月四日讀終」山岸氏識語「伊達吉村著松が浦島之記草のゆかり在扶桑殘玉集卷六 吉村ハ伊達家主而文武達人也」

## 長嘯物語

木下勝俊（長嘯子）著

正保三年（一六四六）九月刊 外寸「二七×一六・七糎」 「山門東塔南谷淨教房真如藏本」（墨書）（書名は書外題による。單邊。無界。一〇行。白口。内匡郭「二〇・六×一五・四糎」 一八丁）

## 梶乃葉三卷

徳山梶子著

〔江戸中期〕寫 外寸「三三・六×一七糎」 （二四行。上五丁中七丁下八丁。序文末「寶永三の秋文月その日武陵游士蛙鳴子」）

## 舉白集十卷

木下勝俊（長嘯子）撰 公軌・景軌・山本春正編

慶安二年（一六四九）三月刊 外寸「二六・五×一七・四糎」 印記「霞園藏書」「輔民西富好樂弓應師天」（無匡郭。一〇行。一卷五四丁二卷五五丁三卷八丁半四卷九丁裏至三二丁五卷三三至四六丁六卷五五丁七卷三〇丁八卷五八丁九卷三八丁一〇卷四三丁）

## すみれの露

源千照著

〔江戸後期〕寫 外寸「二七×一六・二糎」 （一〇行。一九丁。山岸氏識語「葦の露」冊恐完本歟）

## 檜垣嫗家集補註二卷

中島廣足（樞園）著

A 八七四

一冊

A 八七五

一冊

A 八七六

四冊

A 八七七

一冊

A 八七八

天保九年（一八三八）跋刊 外寸「二五・四×一八糎」 印記「杉浦藏書」（單邊。無界。九行。内匡郭「一九・七×一三・八糎」 句點付。上二五丁下四二丁。「樞園大人著述目録 江戸通十軒店 英大助・大坂心齋橋通 秋田屋太右衛門」二丁半。墨筆朱筆の書き入れあり

二册

武者小路准大臣實陰公和歌

武者小路實陰撰

享和元年（一八〇一）七月藤原弘殷寫 外寸「一九・三×一三・五糎」（書外題「實陰公和歌」 一〇行。五四丁）

A 八七九  
一册

多氣部綾足家集拔萃

建部綾足（涼袋）著

文久三年（一八六三）二月松垣内主人寫 外寸「二四・九×一七・六糎」（書外題「吸露菴歌集」 一〇行。五一丁）

A 八八〇  
一册

松山集二卷

埴保己一撰

安政三年（一八五六）三月松村樂山寫 外寸「二四・五×一七糎」（二〇行。上三五丁下二五丁。識語「松山集者埴檢校保己一之所吟詠也同輩若杉氏藏本借得寫焉于時安政三丙辰三月既望 松村樂山」）

A 八八一  
一册

井上文雄翁家集二卷

井上文雄（調鶴）撰

東京 小川三卿 明治十七年（一八八四）四月刊 關卷上 外寸「二五・七×一七・六糎」（無匡郭。一一行。四〇丁。奥付に賣捌人として「東京神田區 別所平七」あり）

A 八八二  
一册

柿園詠草二卷

加納諸平撰

若山 阪本屋大二郎 嘉永六年（一八五三）十一月跋刊 柿園社中藏板 關卷第一 外寸「二六・二×一八・二糎」

A 八八三  
一册



（無匡郭。一二行。五四丁）

## 柿園詠草拾遺

加納諸平撰

東京 飯田年平・足立正聲 明治十八年（一八八五）四月刊 外寸「二六・六×一八・七糎」（單邊。無界。一二行。  
内匡郭「一九・二×一四・四糎」 五〇丁。奥付に製本並發賣人として「東京京橋區 吉川半七」あり）

## 天降言 田安宗武卿家集

田安宗武著

〔江戸後期〕寫 外寸「二六・八×一八・七糎」 印記「十河藏書之印」「養賢堂」「松平春嶽」「礪川文庫」（福井藩松平家）  
〔天山閣眞賞〕（書名は書外題による。九行。三四丁。山岸氏識語「越前侯旧藏本也」）

## 伊布伎廼屋歌集

平田篤胤著

〔江戸末〕寫 外寸「二六・六×一八・五糎」 印記「山田」（書外題「氣憤屋歌集」 一〇行。五二丁。山岸氏識語「伊布  
伎廼屋歌集一卷平田篤胤之集也、小田清雄校訂本」 朱筆の書き入れあり）

## 和歌極祕傳抄

天保十一年（一八四〇）八月寫 外寸「三三・一×一六・一糎」 印記「錦章」（二一行。三三丁。奥書「元祿十四辰宿辛  
巳五月吉日」「文化九壬申年三月九日寫之」「天保十一庚子年八月吉日寫之」）

## 新三玉和歌集類題

靈元天皇・中院通村・烏丸資慶著

大坂 増田源兵衛・葛城長兵衛 寛政八年（一七九六）五月刊 外寸「二七・三×二二・一糎」 印記「辻藏書」「大夫假  
我乙文章」（單邊。無界。一二行。内匡郭「一四・一×九・五糎」 二〇八丁）

A 八八四

一册

A 八八五

一册

A 八八六

一册

A 八八七

一册

A 八八八

一册

東歌六卷

加藤枝直撰 加藤(橘)千蔭編

享和二年(一八〇二)三月刊 芳宜園藏板 外寸「二・六×一五・五糎」 印記「無□菴藏書印」(單邊。無界。二一行。

内匡郭「一七・六×一二・四糎」 一卷一九丁二卷二〇至三二丁三卷三三至五〇丁四卷五一至六三丁五卷六四至七五丁

六卷七六至一〇四丁。奥付に製本所として「江戸大傳馬町二丁目 瑞玉堂大和田安兵衛」あり

かみつよのかたうた

建部綾足(涼袋)編

〔江戸後期〕寫 外寸「二四・二×一七・二糎」 (假綴。卷尾「かたうた集」 七行。一一行)

和漢草

千種有功詠

慶應元年(一八六五)十二月寫 外寸「二四×一七・一糎」 (單邊。有界。一〇行。二四丁。版心に「愛花園藏」とある

印刷野紙使用)

詠経語和詞百首

北村季文著

〔江戸末〕寫 外寸「二四・八×一七・四糎」 (假綴。九行。七丁。山岸氏識語「詠経語百首未見完本末缺者歟」季文北

村氏也歌書綜覽不載本書矣)

安永六年正月廿四日和歌御會始

〔江戸後期〕寫 外寸「二七・四×一九・七糎」 (書外題「公宴御會和歌」 二二行。九四丁)

和歌伊勢之海三卷

A 八八九

三册

A 八九〇

一册

A 八九一

一册

A 八九二

一册

A 八九三

一册

堯眞宣阿（梅月堂主人）編

京都三條通升屋町 和泉掾出雲寺元丘 享保五年（一七二〇）一月刊 外寸「二・七×一六・六糎」 印記「環翠書屋」  
（書名は書外題による。單邊。無界。内匡郭「二・七×一・二・四糎」 繪入。上二五丁中二六至六三丁下一九丁）

### 三代集哥奈句題和歌

寶曆十三年（一七六三）寫 外寸「二・八×一六・四糎」 印記「館章」（書名は書外題による。一一行。古今集句題  
百首譚一〇丁。後撰集句題一〇丁。拾遺集句題九丁。奥書「這三代集句題之哥一冊享保二十卯稔仲春寫し置たるを  
今誤寫を正して…寛延四年辛未季春上旬採筆於駿鶴邑冠松舍」 識語「寶曆十三癸未年從冠松舍乞借仲秋下旬採筆写  
畢可近日校合幽深」

### 都のつと一卷仁齋先生和歌集一卷

都釋宗久著 仁伊藤仁齋撰

〔安政四年（一八五七）頃〕寫 外寸「二・五・八×一七・五糎」（一七行。都七丁仁齋二九丁。都のつと識語「安政四年八  
月仙臺にのほる病にふすこと三十余日…」

### 似雲家集

釋似雲撰

〔江戸後期〕寫 外寸「二・七×一六・六糎」（書名は書外題による。一二行。三五丁。表紙に「題箋並河寒泉書」と  
ある。山岸氏識語「似雲家集一卷爲羽倉信一郎氏所贈矣」「年浪草拔粹也年浪草二十卷有之」

### 麥の舎集

高畠式部撰

慶應四年（一八六八）跋刊 外寸「二・五・八×一八・五糎」（書名は見返による。無匡郭。一二行。四六丁。朱點  
あり）

A 八九四

三冊

A 八九五

一冊

A 八九六

一冊

A 八九七

一冊

A 八九八

一冊

詠百首和歌

細川幽齋(玄巨)撰 飛鳥井雅章編

〔江戸後期〕寫 外寸「二七・七×二〇・三」 印記「風早藏書」(書外題「衆妙集」 一〇行。一〇八丁)

三草雜筆三卷

野之口(大國)隆正著

大坂心齋橋安土町 河内屋和助等 安政三年(一八五六)改正刊 外寸「二五・三×一七・七」 印記「石山藏書」

(單邊。無界。八行。内匡郭「一八×一二・二」 句點付。繪入。うた日記四〇丁。燐駁者上三六丁下二二丁。鼻くらべ三八丁)

文布

弓屋(油谷)倭文子著

〔江戸中期〕寫 外寸「二七・四×二〇」 印記「久智」(書名は見返による。一〇行。「伊香ほの道ゆきふり」一九丁、「ゆきかひ」一五丁半、「散のこり」一二丁半、「くさの露」一一丁。序末に「寶曆八のとしのやよひに村田春道しるす」とある。山岸氏識語「文布一冊弓屋倭文子之集也」)

師說撰歌和哥集

木戸元齋編

〔延享元年(一七四四)〕寫 外寸「二七・一×一九・五」 印記「下田氏記」「紅梅文庫」(前田善子)「久志本」(二〇行。五六丁半。識語「此之冊分□感阿師和書寫正校畢 享保十一年季春初七」「延享元年初夏」)

六集古哥抄

源泰貞編

〔江戸中期〕刊 外寸「二七×一八・七」 印記「西莊文庫」(小津桂窓)(書名は書外題による。無匡郭。一〇行。

A八九九

一冊

A九〇〇

三冊

A九〇一

一冊

A九〇二

一冊

A九〇三

一冊

一九丁

物名歌六卷

源泰貞編

寶曆十一年（一七六二）序刊 外寸「二七×一八・七糎」 印記「西莊文庫」（小津桂窓）（題簽「古題物名歌」） 無匡郭。  
一〇行。二四丁

A 九〇四  
一册

歌よみのころろえ一卷憐農民詞一卷

歌八木中谷（美穂）著 憐茂雄著

嘉永元年（一八四八）十一月石川義正寫 外寸「三二・六×一六糎」 印記「石川文庫」「義正」（無匡郭。九行。歌よみ  
七丁憐農民四丁）

A 九〇五  
一册

鴨河集附錄詠史歌二卷

長澤伴雄編

若山 阪本屋大二郎等 嘉永六年（一八五三）刊 洛石舍社中藏板 外寸「一八×一二・二糎」 印記「山嵯十茂能藏  
書」「友之助醒」「岸乃屋茂能」「山岸十茂能」（墨書）（無匡郭。一〇行。上五四丁下五九丁）

A 九〇六  
二册

漫吟集二十卷附鶴契週年

釋契沖撰

〔江戸中期〕寫 外寸「二七×一九・三糎」 印記「緘」（一一行。一卷三三丁半二卷二六丁三卷二七丁半四卷一八丁五  
卷一八丁半六卷一七丁半七卷二二丁半八卷三三丁半九卷一五丁半一〇卷一六丁一一卷二二丁半一二卷一四丁一三卷  
一二丁一四卷一二丁半一五卷一五丁一六卷三五丁半一七卷二二丁半一八卷二四丁半一九卷一六丁二〇卷三八丁半附  
一〇丁半。朱筆の書き入れあり）

A 九〇七  
七册

千々廼屋集三卷

千種有功(蔭道)撰

鶯蛙園文庫 安政二年(一八五五)三月刊 外寸「二六・二×一八・二」厘 (無匡郭。一〇行。上三六丁中三五丁下三六丁)

A九〇八

三册

苔清水三卷

神山魚貫著

安政元年(一八五四)序刊 松舍塾藏 外寸「二六・六×一九・二」厘 (書名は見返による。無匡郭。九行。上三六丁中二八丁下三九丁)

A九〇九

三册

松戸詠草四卷

釋白蓉軒桂谿撰

〔江戸末〕刊 外寸「二七・一×一〇」厘 印記「柏堂藏書」「高邑之印」「霞山」「高村氏」(墨書) (無匡郭。一二行。一卷三六丁二卷三六丁三卷四八丁四卷三五丁。〔京都幸町御池南 書林菱屋孫兵衛〕の朱印あり)

A九一〇

四册

蕉雨園集二卷

前波默軒(敬義)撰

文政元年(一八一八)五月刊 蕉雨園藏 外寸「二六・六×一八・七」厘 〔長松亭藏〕(墨書) (書名は序文首による。無匡郭。一〇行。上五三丁下三五丁。中山氏識語「嘉永七年寅六月十八日土田信成より形見ニ參ルニ冊之内也 中山五兵衛光位」)

A九一一

二册

稻葉集題詠二卷

本居大平詠

文政七年(一八二四)刊 本居氏須受能耶藏版 外寸「二六・三×一八」厘 (單邊。無界。一〇行。内匡郭「一九・八×一四・三」厘 上四八丁下四二丁。上卷四八丁表に三行分墨格あり。奥付に弘所として「江戸須原屋茂兵衛から勢州松阪柏屋兵助まで」全八書肆名あり)

A九一二

二册

鯁玉集 存卷六編二卷

加納諸平編

嘉永四年（一八五二）九月刊 柿園藏板 外寸「一八×一一・九糎」 印記「式畏齋川野藏」（無匡郭。一〇行。上九二丁下六五丁。奥付に弘所書林として「京都出雲寺文治郎から紀州若山綴田屋平右衛門まで」全九書肆名あり）

新明題和歌抄六卷

〔江戸中期〕柴田養元寫 外寸「二二・八×一五・九糎」 印記「式角文庫記（奥田三角）（書外題「新明題和詞集」一三行。一卷六七丁二卷二七丁三卷四八丁四卷三〇丁五卷四二丁六卷四四丁）

新題林和歌集十六卷

江城 平野屋喜兵衛・須原屋平助・近江屋源藏 正徳六年（一七一六）一月刊 外寸「二二・一×一六糎」（無匡郭。一四行）

類題現存歌選二卷

海野幸典（遊翁）編 清水榮太郎等補助  
嘉永七年（一八五四）十一月序刊 外寸「二三・二×一五・六糎」 印記「竹村」「藪醫笑越」（墨書）（單邊。無界。一二行。内匡郭「一八・八×一二・六糎」 上二六丁下一五丁。末の「作者姓名録」に墨格多數）

類題若菜集二卷

積書堂光英編

皇都 吉田屋治兵衛等 文政十年（一八二七）八月刊 外寸「二三・二×一五・九糎」 印記「北溟文庫（佐藤古夢）」「榜庵居士」（單邊。無界。一行。内匡郭「一八・一×一一・九糎」 上七〇丁下三三丁。「皇都松壽亭歌書目錄 吉田四郎右衛門藏板」五丁）

明倫歌集十卷

A 九二三  
二册

A 九一四  
三册

A 九一五  
六册

A 九一六  
二册

A 九一七  
二册

徳川齊昭編

東京 松崎半造 「文久二年（一八六二）脩徳館刊」明治中後印 外寸「二・八×一五・一糎」 印記「東京女子師範學校圖書之印」（無匡郭。八行。一卷二八丁二卷三二丁三卷二〇丁四卷一〇丁五卷二二丁六卷一〇丁七卷五丁八卷九丁九卷五丁一〇卷一五丁）

二八明題和歌集六卷

今川了俊編

〔江戸前期〕寫 外寸「二・六×一四糎」 （九行。春一〇五丁夏五五丁秋一一六丁冬五八丁戀一二六丁。雜上七二丁中八三丁下二二丁。寛永四年六月二日付「代金受取」の書付あり。岩山民部署名の塗箱入）

三艸集三卷

松平定信（樂翁）撰

文政十年（一八二七）跋刊 外寸「一三・三×九・七糎」 （無匡郭。一一行。むぐら一八丁よもぎ二七丁あさぢ四六丁半）

義正詠草一卷萬女詠草一卷

義宮部義正撰 萬宮部萬女撰

天明五年（一七八五）八月刊 外寸「一八・一×二・三糎」 印記「渡邊千秋藏書」「幽篁書屋八木□文庫印」（無匡郭。一〇行。義正七二丁萬女六一丁。奥付に弘所として「江戸小石川傳通院前 鷹金屋伊兵衛」あり）

義正記二卷

宮部義正・宮部萬女・宮部義道撰

〔江戸後期〕刊 外寸「一八・二×一・三糎」 （無匡郭。一〇行。上一〇七丁下五二丁。山岸氏識語「萬女之名見于書焉本草物語作者同人坎可考者也」）

しのすたれ 存卷第二集第六集

A 九一八

五册

A 九一九

八册

A 九二〇

三册

A 九二二

一册

A 九二三

一册



中島廣足詠

〔江戸末明治初〕寫 外寸「二三・九×一六糎」 印記「堀部」 （九行。二集四三丁六集五八丁）

中島廣足集拾遺

中島廣足著

〔嘉永元年（一八四八）十二月序〕寫 外寸「二四・八×一六・二糎」 印記「堀部」 （書名は書外題による。八行。三一丁。

山岸氏識語「本卷無題簽今假名中島廣足集拾遺」

近世三十六人撰一卷己未紀行一卷

近本居太平編 己本居太平著

若山 帶屋伊兵衛・京都 山城屋佐兵衛・大坂 秋田屋太右衛門 嘉永三年（一八五〇）十二月刊 外寸「二三×一五・三糎」（單邊。無界。八行。内匡郭「一八・一×一二・八糎」 近世五丁己未九丁）

明題和歌全集十五卷

今川了俊編

皇都 風月庄左衛門・須原屋平左衛門 寛政七年（一七九五）刊 外寸「二三・五×一五・八糎」 印記「堀田氏藏書之印」（單邊。無界。一五行。内匡郭「二七・八×一三・二糎」 山岸氏識語「堀田侯舊藏本也」）

明題和歌全集十四卷

今川了俊編

京都堀川通佛光寺下ル町 河南四郎右衛門 〔江戸後期〕刊 外寸「二二・五×一五・七糎」（單邊。無界。一三行。白口。内匡郭「二七・七×一一・六糎」）

新内裏中殿障子和歌一卷新内裏小御所色紙和哥一卷

〔江戸後期〕寫 外寸「二六・四×一八・六糎」（書外題「内裏御障子新古和歌」 九行。障子六丁半小御所一三丁半。

A 九二三

二册

A 九二四

一册

A 九二五

一册

A 九二六

一〇册

A 九二七

一四册

A 九二八

首に「亀尾山題雅咸郷」五丁あり

大裏名所三百首 建保三年十月廿四日

順徳天皇・藤原定家・藤原家隆著

享保二十年（一七三五）六月寫 外寸「二六・四×一九・二糎」（一〇行。五八丁）

新内裏清涼殿障子和歌一卷小御所障子和歌一卷孝明天皇御製一卷

烏丸光政等詠 源（網野）延平編

安政二年（一八五五）十一月寫 外寸「二七・五×一九・八糎」（書外題「安政二年新内裏清涼殿小御所色紙歌」假綴。一三行。新内裏五丁小御所七丁孝明一丁）

古學先生和歌集一卷取勝四天王院障子名所和歌四十六首一卷佐由利葉存卷上

古伊藤維楨（仁齋）等撰 取後鳥羽天皇等撰 佐佐百合女撰

〔江戸後期〕寫 外寸「二七・九×一九・七糎」（二三行。古學一九丁取勝四丁佐由利一二丁）

年中御會和歌集

〔江戸後期〕寫 外寸「二九・五×二〇・六糎」（書名は書外題による。卷頭「元祿五年正月十一日仙洞和歌御會始」一二行。七五丁。山岸氏識語「類聚名義抄其他同時也 元祿五年自正月至十二月御会」）

草縁集十二卷

天野政徳編

江戸京橋銀座 耕文堂伊勢屋忠右衛門・淺草南馬道通 文生堂桑村半藏 文政三年（一八二〇）二月刊 外寸「二六×一七・九糎」 印記「薛羅園圖書記」（單邊。無界。一四行。内匡郭「一九×一三・六糎」）「藏版目錄 東都文生堂・耕文堂」二丁）

一册

A九二九

一册

A九三〇

一册

A九三一

一册

A九三二

一册

A九三三

四册

## 怜野集十二卷

藤原雄風編 正木千軒校

東京 小林新兵衛等 「文化三年（一八〇六）十月跋刊」明治中後印 外寸「二三×一五・三厘」 印記「村井氏藏」（無  
匡郭。一四行）

## 蘆荻集六卷附蘆荻集汀のこづみ

狂歌堂眞顔著 大江千穎（燕栗園）編

江戸 西宮彌兵衛 文化十三年（一八一六）一月刊 外寸「三・八×一五・八厘」 印記「中村圖書」「待買堂」（岩本  
五一）（無匡郭。一一行。一卷二九丁二卷一七丁三卷二〇丁四卷一四丁五卷一二丁六卷五七丁附四八丁。「北林堂  
藏板書目 江戸中橋廣小路町 西宮彌兵衛」四丁）

## 草野集十二卷

木村定良編

東京 小林新兵衛等 「文政五年（一八二二）九月凡例刊」明治中後印 外寸「二三×一五・五厘」 印記「村井氏藏」  
（題簽「類題草野集」 無匡郭。一五行）

## むすび捨たるまぐらの草葉一卷きみのめくみ一卷

本居宣長編

天保四年（一八三三）二月中野澣衣寫 外寸「二七・五×一九・五厘」 印記「高松齋室」「高松」「樂水」（二〇行。むす  
び三三丁きみ二二丁。中野氏識語「天保四癸巳季二月四日中野澣衣うつしおはる㊦」）

## 扇合集

五葉舎編

文政二年（一八一九）小寺玉晁寫 外寸「二四・三×一六・三厘」 （書名は書外題による。一二行。四三丁。序文末「寛

A 九三四  
一二册

A 九三五  
四册

A 九三六  
一二册

A 九三七  
一册

A 九三八  
一册

政六年きさらぎ 五葉舎主人 識語「文政己年三州荻原にて寫焉 小寺玉晁」

二葉集

松平忠質・本庄道貫撰

〔江戸末〕寫 外寸「二六・五×一九糎」 印記「寫岡藏書」「渡邊千秋藏書」「金花園」「若山滋固」(書名は書外題による。一〇行。一一〇丁。序文末「安政四年八月源忠質」)

暮春白河尙齒會和歌并序

藤原清輔等詠 源元寛注

文化十三年(一八一六)淺岡廣美寫 外寸「二六×一九・五糎」 印記「星埜山麓」(卷頭副題「承安二年三月十九日於實莊嚴院行之」) 一一行。九丁。識語「文化十三年丙子首夏七日 主廣美寫(㊦精良齋廣美)」 識語「文政五年卯月廿六日調之 淺岡(㊦耕云齋醉月)」

藏山集

瀧口美領編

浪華 堀内庄兵衛 安永四年(一七七五)十一月刊 逢原堂・映江堂藏板 外寸「二・五×一五・九糎」 印記「紫鳳臨閣庫」 「成瀬新太郎」「成瀬文之介」(墨書) (無匡郭。一〇行。二八丁)

現存歌撰初編二編

海野幸典(遊翁)編

明治三年(一八七〇)根岸松雄寫 外寸「二四×一七・二糎」 印記「靜軒文庫」「靜軒」「根岸靜軒」 (一〇行。初編三五丁二編三三丁。識語「明治三歲庚午仲冬六のひぬき寫し終りぬ 松岡の主根岸松雄(㊦)」)

近葉菅根集十卷

清水濱臣編 木村完良校

A 九三九

一册

A 九四〇

一册

A 九四一

一册

A 九四二

二册(合綴一册)

A 九四三

江門 青藜閣須原屋伊八・京都 植村藤右衛門・江門 萬笈堂英平吉 文化十二年（一八一五）刊 外寸「二三×一五・五糎」印記「龍吟亭家藏印」（單邊。無界。一〇行。内匡郭「一七・三×一二・五糎」一卷二四丁二卷三〇丁三卷三一至三九丁四卷四〇至四五丁五卷四六至四七丁六卷四八至六九丁七卷七〇至九二丁八卷九三至一二四丁九卷一二五至一五四丁一〇卷一五五至二〇七丁）

五册

月詣倭歌集十二卷 校訂月詣集附考

賀茂重保撰 清水濱臣注 附考清水濱臣著

江戸神田鍋町 英平吉等 文化五年（一八〇八）閏六月刊 關卷第八 外寸「二五・八×一八・二糎」（無匡郭。一〇

A 九四四  
四册

行。頭注付。一卷一〇丁二卷一至二丁三卷三至三八丁四卷一五丁五卷一六至二八丁六卷二九至四一丁七卷一七丁九卷一八至三二丁一〇卷六丁一一卷七至九丁一二卷一〇至一八丁附考一九至二四丁）

月詣和歌集補說

横山由清校注

江戸芝神明前 尙古堂岡田屋嘉七等 安政五年（一八五八）二月跋刊 外寸「二六・一×一八・二糎」（書名は見返に  
よる。卷頭「月詣和歌集補」無匡郭。一〇行。頭注付。二〇丁）

A 九四五  
一册

大江戸倭歌集六卷

蜂屋重次郎編

江戸 須原屋伊八・須原屋茂兵衛 〔安政七年刊〕文久三年（一八六三）五月後印 外寸「二五・八×一八・二糎」（無  
匡郭。一〇行。一卷三八丁二卷三二丁三卷三五丁四卷三四丁五卷二八丁六卷四五丁）

A 九四六  
三册

續五明題和歌集 存卷戀雜四季

〔江戸後期〕寫 外寸「二六・六×二〇・五糎」（一二行。戀七三丁。雜上雜春一一丁雜夏七丁雜秋一五丁雜冬九丁。  
雜中三五丁雜下四七丁。四季一二二丁）

A 九四七  
三册

## 千草の花六卷

高寄正風編

〔明治十三年（一八八〇）六月宮内省藏版〕後印 外寸「二三・三×一五・一五」〔單邊。無界。一〇行。句點付。一卷四〇丁二卷一一三丁三卷八六丁四卷九〇丁五卷一〇五丁六卷七九丁。與A九四九番同版。奥付に發賣書肆として「西口忠助・吉川半七・穴山篤太郎」あり〕

A九四八  
六册

## 千草の花六卷

高寄正風編

宮内省 明治十三年（一八八〇）六月刊 外寸「二三・七×一五・四」〔單邊。無界。一〇行。句點付。一卷四〇丁二卷一一三丁三卷八六丁四卷九〇丁五卷一〇五丁六卷七九丁〕

A九四九  
六册

## 櫨紅葉八卷

三田葆光（櫨園）著 黒川眞道校 三田佶編

東京 三田佶 明治四十五年（一九一〇）六月刊 外寸「二・八×一五・八」〔印記「松浦伯爵家藏書」〕〔單邊。無界。一一行。内匡郭「一五・九×一二・二」〕 一卷四六丁二卷二二三卷二八丁四卷二二五卷七丁六卷六八丁七卷四五丁八卷三九丁。七卷八卷は石印本〕

A九五〇  
七册

## 幸隆類題和歌集

明和六年（一七六九）十二月橘持之寫 外寸「一七・五×二二・二」〔（一一行。七九丁。識語「明和六己丑歲十二月皇都洗湖齋橘持之書」）〕

A九五二  
一册

## 興風集

〔江戸末〕刊 松下邨塾藏版 外寸「一九・九×一二・三」〔印記「藤井藏書」「小林文庫」「依田三郎藏」〕〔鉛筆書〕〔單邊。有界。一〇行。内匡郭「一三・一×九・七」〕 三五丁〕

A九五二  
一册

句題和歌抄二卷

享保四年（一七一九）三月刊 外寸「二・四×一五・七糎」（單邊。無界。一三行。内匡郭「一七・四×一四・五糎」上二二丁下二二丁）

御垣の下草二卷

税所敦子撰

東京 松井總兵衛 明治二十二年（一八八九）十二月刊 外寸「二・六×一五・八糎」（無匡郭。一〇行。上五七丁下四五丁）

近世歌人師弟一覽

〔藤田惟中著〕

〔江戸末〕寫 外寸「三・四×一六・二糎」（九行。九六丁。朱筆の書き入れあり）

桂園一枝拾遺

香川景樹撰 渡忠秋編

〔江戸末〕寫 外寸「三・五×一六・二糎」（書名は書外題による。一二行。五四丁。序文末「嘉永二年七月 平忠秋誌」）

近葉和歌六帖 存卷春之部

江里川千照編

〔江戸末〕寫 外寸「三・四×一五・七糎」 印記「濱舍」（一〇行。四七丁。山岸氏識語「近葉和歌六帖恐六册歟今求春部一册他刊須探究者也」）

風雅百人選集二卷

海壽翁編

A九五三 二册	A九五四 二册	A九五五 一册	A九五六 一册	A九五七 一册	A九五八
------------	------------	------------	------------	------------	------

〔江戸後期〕寫 外寸「三・八×一六・四糎」 印記「上總關内東古堂」(二一行。上五二丁下四二丁)

歌俳百人選

海壽翁編

〔江戸後期〕寫 外寸「二四・六×一七・五糎」 印記「水紀之印」「網子」「川越藩源道義」(墨書) (書名は書外題による。一一行。二二一丁)

漢故事和歌集

昭和九年(一九三四)山岸氏家中寫 外寸「二七・一×一九・八糎」(一〇行。二四丁。山岸氏識語「漢故事和歌集一冊以松井本書寫了 昭和九年蕤賓林鐘之間家中書寫畢」 附録「漢故事和詞集 泊泊舎校正本」(版心に繪巻物綜合研究とある野紙にペン書き、一八枚))

漢故事和詞集

〔江戸後期〕寫 外寸「二九・一×一八・八糎」 印記「圖書寮」「越國文庫」(福井藩松平家) (八行。四〇丁。山岸氏識語「春嶽公旧藏本也」)

狂哥咄五卷

淺井了意(瓢水子松雲處士)著

〔江戸前期刊〕後印 外寸「二五・四×一七・八糎」 印記「廣記」(序文首「曾呂利狂歌噺」 單邊。無界。一二行。白口。雙魚尾。内匡郭「二・四×一六糎」 繪入。一卷一六丁二卷一五丁三卷二二丁四卷一五丁五卷一九丁)

四方歌垣宗匠遺稿

鹿都部(北川)眞顔著 香取百合磨編

文政十二年(一八二九)飜園華笑寫 外寸「三三・二×一七糎」 印記「小田人」「宗岡」等 (二二行。二二丁附録一二丁。飜園氏識語「此本應于玉之舎詞伯之需繕寫而贈之 政丑季秋飜園華笑書」山岸氏識語「華笑自筆眞顔遺稿也」)

二册

A 九五九

一册

A 九六〇

一册

A 九六一

一册

A 九六二

三册

A 九六三

一册



## 狂謔真寸鏡

栗柯亭木端詠 由縁齋貞柳添削

大坂心齋橋通傳馬町 永昌堂柏原屋佐兵衛〔享保二十一年（一七三六）一月江戸安井嘉兵衛刊〕江戸後期後印 外寸  
「二・八×一七糎」（無匡郭。一〇行。三五丁。〔永昌堂板行書目拔書 大坂心齋橋通傳馬町 柏原屋佐兵衛板〕三丁）

## 雅筵醉狂集七卷

正親町公通（風水軒白玉翁）著

大坂 池田屋三郎右衛門・河内屋宇兵衛〔享保十六年（一七三一）四月菅生堂・鶴池堂刊〕後印 闕卷第六 外寸  
「三×一六・二糎」印記「松遷堂主」（單邊。無界。九行。内匡郭「一七・二×一三・三糎」一卷三〇丁二卷二七丁  
三卷二二丁四卷二〇丁五卷二二丁七卷二九丁）

## 才和歌集十六卷

大田南畝（四方赤良）編

〔天明七年（一七八七）序刊〕後印 外寸「二・五×一五・九糎」〔金子爲治郎（墨書）（無匡郭。一二行。上三三丁  
下三三丁）

## 興歌考二卷一名皇國風流

林國雄（源真樹）著

文政四年（一八二二）八月刊 霞山文庫藏版 外寸「二六・五×一八糎」（單邊。無界。一〇行。内匡郭「一九・八×  
一四・二糎」句點付。上三八丁下四三丁）

## 良寛禪僧歌集

釋良寛撰 村山半牧編

〔明治初年〕刊 外寸「二六×一八・五糎」（單邊。無界。一〇行。一八丁。村山半牧の朱筆頭注・書き入れあり）

A 九六四

一册

A 九六五

六册

A 九六六

二册（合綴一册）

A 九六七

二册

A 九六八①

一册

又

新潟古町通 小林二郎 明治十二年（一八七九）三月刊 外寸「二六×一八・五糎」 印記「友之助醒」「渡邊貞三郎」（墨書）（與A九六八①同版）

A九六八②  
一册

傘松祖師道詠

釋道元著

享和三年（一八〇三）四月寫 外寸「二七・八×二〇糎」 印記「舒古」「明淨」「是」（八行。一二丁）

A九六九  
一册

夢庵戲歌集二卷

釋大我（孤立道人）著

京都 向松堂めとぎや宗八 「明和五年（一七六八）跋刊」後印 外寸「二五・七×一八・二糎」（無匡郭。一〇行。上三八丁下三九丁。「向松堂藏板書目 京都寺町三條下ル町 めとぎや宗八」二丁半）

A九七〇  
二册

道歌百人一首麓枝折

恠亭紀賤丸編

〔江戸後期〕刊 外寸「一七・五×一二・四糎」 印記「豆州田子忠山本」（書名は題簽による。單邊。無界。一四行。白口。無魚尾。内匡郭「一五・六×一〇・六糎」 繪入。二五丁。奥付に「京師□□寺町西書林□柳枝軒」の朱印あり。「道歌百人一首」の改題本）

A九七一  
一册

狂歌現在奇人譚 存卷三編卷上

八島春信（嶽亭定岡）著

〔江戸後期〕刊 外寸「二六・五×一八・二糎」 印記「松林」（無匡郭。一〇行。繪入。二七丁）

A九七二  
一册

連歌至要抄

金屋平兵衛 元祿十二年（一六九九）刊 外寸「一五・九×一一・二糎」 「保利永栄」「堀安左衛門」（墨書）（書名は書

A九七三

外題による。無匡郭。八行。一二三丁)

## 拾花集四卷

〔江戸中期〕刊 外寸「一七・三×一四・糶」(單邊。無界。九行。白口。内匡郭「一六・七×一二・四・糶」 一卷二九丁二卷二五丁三卷三五丁四卷三〇丁。山岸氏考證貼付)

## 連歌茶談後編

釋白雲堂無相著

文政五年(一八二二)刊 外寸「一九・四×一二・九・糶」(單邊。無界。八行。内匡郭「一四・三×一〇・二・糶」 一二六丁)

## 手引蔓

高井几董(夜半亭二世)著

明治四年(一八七一)四月實庵寫 外寸「一九・一×一三・八・糶」〔實庵藏書〕(墨書) (書名は序文首による。一三行。四三丁)

## 匠材集四卷

紹巴編

〔京都〕寺町通圓福寺町 秋田屋平左衛門 〔慶安四年(一六五二)刊〕後印 外寸「横本一三・七×二〇・九・糶」(無匡郭。一〇行。一卷二至六三丁二卷四七丁三卷五六丁四卷四八丁)

## 千句

寶曆十二年(一七六二)四月祐雅寫 外寸「横本一四・二×二〇・三・糶」(書名は書外題による。一四行。四〇丁。

〔卷頭に「寶曆十二年四月十七日於當亭興行」とあり。奥書「四月廿二日清書之畢 從四位上□臣祐雅」)

## 連歌之指合

一册

A九七四

一册

A九七五

一册

A九七六

一册

A九七七

四册(合綴二册)

A九七八

一册

紹巴著

明和八年(一七七二)寫 外寸「横本一五×二・四糎」 印記「一切庵帳祕」(二五行。漢字片假名。一一二丁。奥書「寛保二年正月日需里村昌迪先正所藏而撰得秋之午時者也 直躬・昌園」 識語「明和八年十二月日需而既昌園之水莖寫させはへる師傳相違無者也 輝味(花押)」

A 九七九  
一册

十問最祕抄一卷初心抄一卷

十問二條良基著 初宗祇作

昭和十七年(一九四二)山岸徳平寫 外寸「一九×一三・四糎」(八行。十問一六丁初心一三丁。山岸氏識語「以三州西尾町岩瀬文庫本影写者也」)

A 九八〇  
一册

天和三年七月十九日牛菴了叱禪門廿五回忌追善之連歌

〔江戸中期〕寫 外寸「横本一八・九×四八・二糎」(假綴。二六行。四丁)

A 九八一  
一册

うすひき歌信抄

釋諦住著

皇都寺町通松原下ル町 菊屋喜兵衛 安永八年(一七七九)一月刊 外寸「二二・五×一五・六糎」(四周雙邊。無界。九行。内匡郭「二七・八×一二・九糎」 頭注句點付。二九丁)

A 九八二  
一册

又

外寸「二二・八×一六・二糎」(與A 九八二同版)

A 九八三  
一册

賦疊字連歌

傳阿吟 高木讓編

A 九八四

東京 紫水文庫刊行會 昭和十四年（一九三九）四月影印 外寸「三・四×一五・三糎」（八行。七丁。底本「紫水文庫藏應永二〇年寫本」 別冊「疊字連歌讀例」福井久藏著、七頁。「椿亭記讀例」高木蒼梧著、六頁）

## 切字四妙記

嘉永五年（一八五二）五月刊 闕丁本文首二丁 外寸「一八・二×一四・一糎」 「宮内吉右衛門」（墨書）（書名は版心による。單邊。無界。一〇行。内匡郭「一五・二×一一・五糎」 二八丁）

## 天水抄 存卷下

宗養・昌休著

〔江戸前期〕刊 外寸「三×一六・二糎」 印記「塩埜健太郎圖書藏記」「塩野藏書」（書名は卷尾による。無匡郭。九行。二七丁）

## 至寶集

紹巴著

〔江戸中期〕寫 外寸「二四×一六・一糎」 印記「吉武」（一五行。三三丁）

## 連歌千四百句并法度

文化十四年（一八一七）一月道生寫 外寸「二三・五×一七・一糎」 印記「渡邊千秋藏書」「費紙之徒」（書名は書外題による。一一行。七二丁。奥書「右千句連哥定其の許より借えて写侍りぬ 文化十三年正月知判」 識語「右知周之本寫畢 文化十四年己正月道生（花押）」

## 紹巴三甫問答之事

紹巴著

〔江戸中期〕寫 外寸「二七・三×一八・五糎」 （一〇行。二六丁）

一冊・別冊讀例一冊

A 九八五  
一冊

A 九八六  
一冊

A 九八七  
一冊

A 九八八  
一冊

A 九八九  
一冊

さゝめこと二巻

釋心敬著

〔京都〕寺町通 中村五兵衛 元祿三年（一六九〇）三月刊 外寸「二六・六×一七・七糎」 印記「副田藏書」（無匡郭。一〇行。上四四丁下三〇丁）

A 九九〇  
二册

連哥書

紹巴著

〔江戸前期〕寫 外寸「二六・五×一九・六糎」 （書名は書外題による。一〇行。四三丁。山岸氏識語「紹巴連歌書一册紹巴自筆也」）

A 九九一  
一册

連歌老葉五卷

水野近守撰

〔江戸中期〕寫 外寸「二三・八×一六・六糎」 （書名は巻尾による。一一行。一卷一六丁二卷九丁三卷一四丁四卷八丁五卷一〇丁）

A 九九二  
一册

宗匠家御教諭

冷泉澄覺著

〔江戸後期〕寫 外寸「二三・五×一六・九糎」 （一二行。六六丁。山岸氏識語「冷泉澄覺より宮部義正に授けしものなり」）

A 九九三  
一册

連歌擇善集

宗牧編

文化十三年（一八一六）跋刊 外寸「二七・四×二〇糎」 （書名は題簽による。無匡郭。一〇行。頭注付。四四丁）

A 九九四  
一册

石山千句

三條西公條(仍覺)等撰

文化七年(一一八〇)江戸神西行桃寫 外寸「二四・六×一七・二糎」 印記「執事有恪」(一二行。四八丁。識語「右此

書者里村昌寅以藏本文化六年弥生浪花御城番御加番土井伊豫守殿家臣山中助十郎定其寫之今又文化七年江戸麹町於御屋敷寫之仲秋二十有二日始下筆同二十八日書寫畢 神西行桃印」)

### 紅梅千句

松永貞徳(長頭丸)等作

〔江戸後期〕寫 外寸「三三×一五・七糎」 (書名は封面による。一〇行。六三丁。卷末に「明暦元年乙未五月吉日」とある)

### 名所百韻 附發句聞書

宗祇著

〔江戸後期〕寫 外寸「三三・九×一六糎」 印記「修山堂圖書印」 (八行。一七丁附二三丁)

### 産衣七卷

混空編

大坂 鳥飼市兵衛・隅谷源右衛門・柏原清右衛門 (元禄十一年(一六九八)六月刊)後印 外寸「横本一一・一×一五・九糎」(單邊。無界。一七行。白口。内匡郭「九・四×一三・四糎」 一卷五七丁二卷三七丁三卷五〇丁四卷四四丁五卷四九丁六卷六六丁七卷二四丁)

### 里村昌程追善之連誄

里村昌陸著

〔江戸後期〕寫 外寸「一八・九×一二・七糎」 印記「龜川」「子豊眞舍」 (九行。一七二丁。卷末に「元禄五壬申曆十月日 昌坪判」とある。朱筆の書き入れあり)

A 九九五

一册

A 九九六

一册

A 九九七

一册

A 九九八

二册

A 九九九

一册

大原千句

道澄等著

〔江戸初期〕寫 外寸「横本一四・六×二〇・七糎」(書名は書外題による。卷頭「元龜二年二月五日」一四行。四八丁。識語「有人請懸点不已粵應其求一任言志耳 明曆戊戌孟夏廿六日如松子漫塗」)

賦何衣連歌

〔江戸中期〕寫 外寸「横本一七・五×二六・二糎」(八行。一二丁。卷末に「承應貳年正月」とある)

明日は雪 連歌

昌琢等撰

〔江戸前期〕寫 外寸「三・三×一六糎」(書名は書外題による。八行。八丁)

百番連譚合

宗長作 三條西實隆・牡丹花肖柏判

寛政十二年(一八〇〇)五月章甫寫 外寸「二四・五×一七・二糎」(一二行。四三丁。卷尾に「右宗長法師獨吟百番連歌合」とある。識語「享和二戌年九月屋代弘賢之本ヲ以一校了」朱書。朱筆の書き入れあり)

新撰菟玖波集二十卷

一條冬良等編

〔明治期〕寫 闕卷第一至五 外寸「二五・七×一八・五糎」印記「松門文庫所藏」(一〇行。筆者「第二册參議基徳、第三册公助僧正、第四册行二法師」山岸氏識語「往年大正年中求本書三册於坊間、今茲季夏文理大求實隆基綱公助行二筆新撰筑波集矣、不憶本書之底本者、即卷末記入筆者名」)

隨葉集十卷

A 一〇〇〇

一册

A 一〇〇一

一册

A 一〇〇二

一册

A 一〇〇三

一册

A 一〇〇四

三册



〔如睡著〕

〔江戸前期〕刊 外寸「二七・八×一九糎」 印記「忠雅堂」「赤志氏印」（赤志忠雅堂）（無匡郭。一一行。一卷一二丁半  
二卷一三丁裏至二一丁三卷二至三三丁半四卷三四丁裏至四一丁五卷九丁半六卷一〇丁裏至五一丁七卷七丁半八卷  
八丁裏至一五丁九卷一六至二六丁一〇卷二七至四三丁）

## 私語集二卷

釋心敬著

元祿十年（一六九七）四月寫 外寸「二三・五×一七糎」 印記「舍意」「我立杣住退院隱士俊賀藏」（墨書）（二三行。  
本三三丁末二丁。朱筆の書き入れあり）

## 連歌百句

釋心敬著

昭和十七年（一九四二）十二月山岸徳平寫 外寸「二七×一九・三糎」（封面「心敬僧都百句」 八行。一四丁。ほかに  
「二百五十番連歌合序」藤原兼良著、四丁。「勅に志たかふて發句を奉る記」藤原實隆著、六丁。山岸氏識語「以三河  
岩瀬文庫藏本影寫焉」

## 心敬法師庭訓

釋心敬著

昭和十七年（一九四二）寫 外寸「二七×一九・五糎」（八行。一六丁。山岸氏識語「以岩瀬文庫本影寫焉」）

## 連歌抄

釋心敬撰

昭和十八年（一九四三）寫 外寸「二七・二×一九・八糎」（書名は封面による。八行。五三丁。山岸氏識語「連歌抄一  
卷心敬自筆本云云ささめ言也七海兵吉氏藏本也 昭和十八年大呂上浣小松園主人福井氏写本借覽之際囑人書写者  
也」）

A一〇〇五

三冊

A一〇〇六

一冊

A一〇〇七

一冊

A一〇〇八

一冊

A一〇〇九

一冊

宗祇終焉記

宗長撰

〔江戸中期〕寫 外寸「二七・八×二〇・九糎」 印記「柳原」〔郡内上谷□屋柳傳〕（書名は書外題による。一〇行。一〇丁。識語「此一帖故ありて我いへの珍となし…己酉仲夏廿七莫荊田河上翁白譽」）

淀のわたり

宗祇著

〔江戸前期〕寫 外寸「二四・二×一七・三糎」（一〇行。九丁。識語「右言御自筆奥書之本と以寫成し也」）

七部婆心録七卷

曲齋註

萬延元年（一八六〇）跋刊 外寸「横本一二・五×一八・三糎」（單邊。無界。一六行。白口。無魚尾。内匡郭「一〇・二×一五・三糎」 一卷九五丁二卷六五丁三卷八二丁四卷四五丁五卷四八丁六卷九六丁七卷五七丁附録「延寶五年丁巳初懷帙」五九至六四丁。奥付に諸國書林として「京都山城屋佐兵衛から浪華鹽屋彌七まで」全五〇書肆名あり）

猿蓑一卷幻住庵記一卷續猿蓑一卷炭俵一卷

榎本其角編

皇都 井筒庄兵衛等 安永三年（一七七四）十一月刊 外寸「一五・五×一一糎」 印記「壺遊」 「おもし路野駒成」（墨書）（單邊。無界。一二行。内匡郭「一二・六×八・六糎」 猿蓑二九丁幻住庵三二至三六丁。續猿蓑四〇丁炭俵三三丁）

芭蕉七部集

松尾芭蕉著

〔江戸中期〕寫 外寸「一九・九×一三・四糎」（書名は書外題による。一〇行。全一〇八丁）

猿蓑集 存卷第五第六

A 一〇一〇

一册

A 一〇一一

一册

A 一〇一二

六册

A 一〇一三

一册

A 一〇一四

一册

松尾芭蕉著 向井去來・凡兆編

京都寺町 井筒屋庄兵衛 「元祿四年（一六九二）跋刊」後印 外寸「三・八×一六糎」（無匡郭。八行。五卷一〇丁六卷一〇丁）

芭蕉翁附合集

〔江戸後期〕寫 外寸「三・六×一七糎」 印記「石山樓」「湖月」（八行。五九丁）

桃の枝一卷短歌行一卷

〔江戸中期〕寫 外寸「二・〇×一九糎」 印記「榮」等 （一〇行。桃二〇丁短歌一二丁。「桃の枝」卷尾に「芭蕉翁道流五老并許六弟子横斜庵須弥弗孟遠 易安亭主人子候丈へ」とあり）

冬の日注解二卷

黃華庵升六著

〔江戸後期〕寫 外寸「三・四×一五・八糎」（二二行。乾三五丁坤三八丁）

曠野集八卷

荷兮編

元祿二年（一六八九）三月序刊 外寸「二・七×一六・一糎」 印記「坎窩」（無匡郭。八行。一卷一〇丁二卷一二至二二丁三卷二三至二九丁四卷三〇至三四丁五卷三五至三九丁。六卷一〇丁七卷一至二二丁八卷二三至二九丁半。山岸氏識語「阿羅野上、卷六以下欠焉 昭和九年七月上浣阿羅野下卷有焉以補之者也」 下卷は補配本、貼紙による書き入れ多数）

誹諧炭俵集二卷

志太野坡・小泉孤屋・池田利牛編

A 一〇一五

一册

A 一〇一六

一册

A 一〇一七

一册

A 一〇一八

一册

A 一〇一九

二册

A 一〇二〇

江戸白銀丁 本屋藤助・京都寺町 井筒屋庄兵衛 元禄七年(一六九四)六月刊 外寸「二・四×一五・五糎」 印記「森氏」(森立之) (無匡郭。八行。上三四丁下二七丁)

續猿蓑注解

月院社何丸撰釋 尺木堂公石著

東都日本橋通 野田七兵衛・京都市中立賣 浦井徳右衛門・寺町通 野田浩兵衛 文政六年(一八三三)十二月刊

月院社藏版 外寸「二・八・八×一二・六糎」 印記「羽州米澤新戸容膝舎」(常葺) (單邊。無界。一四行。内匡郭「二四・三

×九・八糎」 三〇丁。第一七丁裏一九丁表に墨格あり)

梅翁宗因發句集 附 西山家連誹系譜 一卷 誹諧 一流萬梅 一卷

一陽井素外編

文化二年(一八〇五)序刊 外寸「三・二×一六糎」 印記「蓼華園文庫」 (無匡郭。八行。梅翁五二丁西山六丁誹諧二六丁)

發句大槩

槐亭風悟編

〔江戸後期〕寫 外寸「三・九×一五・九糎」 印記「玉名」〔京寺町二條 書林橘屋治兵衛〕〔極佛〕(墨書) (書外題

〔正風發句大槩〕 一〇行。一六丁。序文末「天明丙午の秋序」)

松のしをり

梅左坊編

浪華高麗橋 藤屋善七 天保九年(一八三八)七月刊 外寸「横本一〇・八×一五・五糎」 印記「艸賀」 (題簽「判者高

點松のしをり」 單邊。無界。一〇行。内匡郭「八・七×一三・九糎」 八三丁)

都洲集二卷

八田喜左衛門(知紀)編

二册(合綴一册)

A 一〇二一

一册

A 一〇二二

一册

A 一〇二三

一册

A 一〇二四

一册

A 一〇二五

江戸芝神明前 岡田屋嘉七・京都三條通堺町 出雲寺文次郎・大坂心齋橋筋 河内屋喜兵衛 安政三年（一八五六）十二月刊 關卷上 外寸「一八・二×一二・六厘」（單邊。無界。一〇行。内匡郭「一四・一×九・三厘」 三五丁）

## 發句三代集初編・二編

指月亭編 栖霞堂助補 中和亭徒鳴校  
紀伊 世壽堂 弘化二年至嘉永四年（一八五二）序刊 外寸「一八・一×一二・二厘」 印記「岸藏書印」（單邊。無界。八行。内匡郭「一二・三×九・六厘」 初編三八丁二編四二丁）

## 俳諧一葉集前篇五卷後篇四卷

古學庵佛兮・幻窓湖中編 坎窩久藏校  
江戸 青雲堂 文政十年（一八二七）序刊 關卷前篇第三第五後篇第四 外寸「一七・九×一二・二厘」 印記「霜雅堂」「須田氏藏書」（單邊。無界。内匡郭「一四・二×九・五厘」 前篇一卷八三丁二卷附合之部①七三丁四卷附合之部③八六丁。後篇一卷紀行之部四三丁文之部三八丁二卷消息之部三七丁合評之部四二丁三卷遺言之部六三丁）

## 俳諧七柏集三卷

大島蓼太（雪中庵）編  
〔江戸〕本石町 西村源六 天明元年（一七八二）序刊 外寸「二二・七×一六厘」 印記「藤原杞英」「志雅」（無匡郭。八行。一卷五七丁二卷八〇丁三卷八一丁）

## 祕註俳諧七部集七卷

昭和六年（一九三二）八月寫 外寸「二三・九×一六・五厘」（一二行。一卷二八丁二卷一六丁三卷四七丁四卷二五丁五卷二〇丁六卷四二丁七卷二二丁。識語「三洲西尾岩瀬文庫本を以て謄寫せしむ昭和六年八月」）

## 去來選集

向井去來著

一册

A 一〇二六

二册

A 一〇二七

六册

A 一〇二八

三册

A 一〇二九

七册

A 一〇三〇

寛政十一年（一七九九）漁江寫 外寸「一九×一七・三糎」（書名は書外題による。假綴。九行。五八丁半附「修行數」五八丁裏至八四丁。奥書「此一卷者蕉門祕書也或人祕藏之年久矣至安永九庚子山本兔毛齊得乎傳写之。示時天明七丁未歲初夏可咲」寛政十一巳未正月借讀写之 漁江）

俳諧田莊のきり

樓室人編

〔江戸中期〕寫 外寸「二六・三×一二糎」（書名は書外題による。假綴。八行。七二丁）

麥林集六卷

中川乙由（麥林）著 杜菱麥浪校

京寺町二条 橘屋治兵衛 〔享保年間刊〕後印 關卷第三第四 外寸「二五・三×一四・六糎」（無匡郭。八行。一卷一七丁二卷一八至四二丁五卷二二丁六卷二三至五一丁。卷五・六は補配本）

〔五元集註〕

〔江戸後期〕寫 外寸「二四×一六・八糎」（三七丁。山岸氏識語「此一冊五元集註也不知作者何人焉註止于秋部。昭和四竜輯己巳中秋」）

小文庫

〔史邦編〕五竹庵評

〔江戸後期〕寫 外寸「二四・三×一六・六糎」 印記「平生周」「此閑」（書名は封面による。九行。二九丁）

俳諧埋木

北村季吟著

文化四年（一八〇七）伴直方寫 外寸「二三・五×一六・七糎」（書名は目次首による。書外題「季吟埋木集」 一一行。三五丁半。識語「此一帙以石羊子所藏而騰寫畢 于時文化四強圉單閼槐夏上浣東武四溪伴直方」）

一冊

A 一〇三一

一冊

A 一〇三二

二冊

A 一〇三三

一冊

A 一〇三四

一冊

A 一〇三五

一冊

俳諧深川集

濱田酒堂編

明治元年（一八六八）十月齋藤春宜寫 外寸「三・五×一六・二」糎 印記「齊藤氏圖書記」（書名は書外題による。  
一〇行。四四丁半。識語「明治元年戊辰年京都におゐて芭蕉堂公成社中之書敬寫之 神無月下旬柴廼家印」）

鶴芝集 善光寺之卷

〔江戸後期〕寫 外寸「三・七×一六」糎 （八行。一五丁。跋文「春も彌生のすゑ尾はりの志朗うしの我が家に旅寝  
したまひけるに：享和辛酉初夏柳莊」澤雲帶の識語あり）

二條家中興御誹諧之式 寛政二年九月五日於御殿中興行

〔江戸後期〕寫 外寸「二・四・五×一七」糎 （八至一〇行。一二丁）

ゆきみそれ

渥日亭春坡編

文化九年（一八一二）十月跋刊 外寸「三・七×一五・八」糎 印記「上小野三上」橘仙堂」（無匡郭。八行。繪入。  
一九丁）

蘿葉集

横井也有著 知樂舍達下編

〔江戸後期〕寫 外寸「一七・七×一七・九」糎 印記「駒塚山田氏圖書」（書名は書外題による。一二行。二三丁。山  
岸氏識語「蘿葉集一卷横井也有之句集也初篇也明和三年九月刊行」）

新山家集 一卷新二百韻 一卷

榎本其角編

A 一〇三六

一册

A 一〇三七

一册

A 一〇三八

一册

A 一〇三九

一册

A 一〇四〇

一册

A 一〇四一

〔江戸後期〕寫 外寸「三・八×一六・五糎」 (書名は書外題による。一二行。山家集六丁附三丁新二百韻一二丁)

根白草

杉谷堂井波編

明和五年(一七六八)序刊 外寸「三・七×一六糎」 印記「□溪」 (書名は書外題による。無匡郭。九行。二三丁半)

みなし栗

榎本其角編

〔江戸中期〕刊 外寸「三・八×一五・三糎」 印記「瀬國」 (無匡郭。八行。二三丁半)

へらず口二卷

松月堂不角編

寶曆七年(一七五七)姿角寫 外寸「三・五×一六・二糎」 (二一行。上二四丁下二四丁)

うつら衣三卷後篇三卷續篇三卷拾遺三卷

横井也有著 六林・垂穂編

大坂心齋橋通本町 鹽屋彌七 〔天明七年至文政六年刊〕天保八年(一八三七)六月後印 外寸「三・二×一五・四糎」  
印記「松園藏」 (二二行。上二二丁中一九丁下二七丁。後篇上一九丁中一九丁下二二丁。續篇上一七丁中一九丁下一九丁。拾遺上一九丁中一九丁下一八丁)

うつら衣二卷

横井也有著

〔江戸後期〕寫 外寸「三・八×一五・六糎」 (九行。上四七丁下三九丁。末に「寛保二戌八月武劾」とある)

うつら衣三卷

一册

A一〇四二

一册

A一〇四三

一册

A一〇四四

一册

A一〇四五

四册

A一〇四六

一册



横井也有著

明治三年（一八七〇）臼井廼無名法師寫 外寸「二四・三×一七・一厘」 印記「下總印旛郡臼井田町旭野智海」（二五行。上一六丁中一〇丁下一九丁。山岸氏識語「鶉衣一冊正編上中下也蜀山人選撰以前之本也」）

## うつら衣二卷

横井也有著 六林編

〔江戸後期〕寫 外寸「二四・六×一六・八厘」（二二行。上三三丁下二三丁。山岸氏識語「鶉衣以上四部十二卷板本有此二卷板本ノ正篇ニアタルモノ也板本ヲ以テ寫シ取レルモノナル事明矣 大正九年十二月二日以松井藏本附記」）

## 宇津良衣一卷續宇津良衣一卷

横井也有著

〔江戸後期〕寫 外寸「二六・八×一八・一厘」 印記「氣賀文庫」（書名は書外題による。一〇行。六六丁續六六丁。昭和六年の山岸氏識語あり）

## 俳文集

〔江戸中期〕寫 外寸「二七・七×二〇・七厘」（書名は書外題による。一一行。二三丁。常觀著「臥龍軒記」等二十三章）

## 蜀山人自筆百首狂歌

大田南畝（蜀山人）著

〔昭和期〕複寫 外寸「二五・九×一八・三厘」（書名は封面による。書外題「蜀山百首」 四行。三二丁。底本「文化十五年刊本」 山岸氏識語「蜀山百首一冊版本複寫也」）

## 聲文私言

吉田令世述

A一〇四七

一冊

A一〇四八

二冊

A一〇四九

二冊（合綴一冊）

A一〇五〇

一冊

A一〇五一

一冊

A一〇五二

〔文政頃〕寫 外寸「二四・九×一七・三糎」(假綴。一〇行。三〇丁。卷末に「文政八年といふとしの十一月十五日水戸の殿人吉田令世」跋文に「文政十季丁亥暮春愚善老人題」とある)

芭蕉文集 存卷天之部

小林風徳編

〔安永二年(一七七三)刊 外寸「三二・七×一五・三糎」(單邊。無界。八行。内匡郭「一八・八×一三・二糎」一二丁)

狂歌眞乃道 紫笛上人夷歌集

如雲舍紫笛詠

〔江戸後期〕寫 外寸「三二・七×一六糎」 印記「澤氏」(二〇行。繪入。三三丁。底本「明和八年正月大坂尼崎屋佐兵衛刊本」)

新編俳諧文集二卷

蕪庵蟹守編

江戸 小林新兵衛 文政八年(一八二五)序刊 外寸「三二・七×一五・六糎」(無匡郭。一一行。上一一丁下三九丁。出版書目「日本橋通貳町目 小林新兵衛[半丁]

南畝帖

大田南畝(蜀山人)著 長山孔寅繪

〔江戸末〕寫 外寸「二二・七×一五・七糎」(書名は書外題による。四行。繪入。三八丁。裏見返に「彫刻摺物師谷清好鐫」の墨書あり。底本「文政七年大坂秋田屋太右衛門刊本」)

月院社何凡傳 俳論語集序

子將著

〔文政三年(一八二〇)序〕刊 外寸「三二・七×一五・四糎」(書名は書外題による。單邊。無界。九行。内匡郭「一六・七

一册

A一〇五三

一册

A一〇五四

一册

A一〇五五

一册

A一〇五六

一册

A一〇五七

一册

×一二・五糎」 四丁)

俳諧神樂笛

墨水舎文雅編

〔江戸後期〕刊 外寸「二〇・二×二三・六糎」〔序文首〕俳諧ものは狂句神樂笛」 單邊。無界。七行。内匡郭「二五・七×一〇・二糎」 五丁)

俳諧寂栞三卷俳諧寂栞員外一卷

加舎白雄(春秋庵)選著 拙堂増補

江戸朝倉茅町 青藜閣須原屋伊八・本石町十軒店 萬笈堂英大助 文化九年(一八一二)五月刊 外寸「三二・二×一五・三糎」 (單邊。無界。九行。内匡郭「一六・八×一二・七糎」 上四六丁中四三丁下三三丁員外一六丁)

俳諧古今抄五卷

各務支考(蓮二坊)編

京寺町一條 野田治兵衛 享保十五年(一七三〇)二月跋刊 外寸「二二・八×一六・三糎」 印記「潔進堂圖書記」〔松亭藏六所持〕(墨書) (書名は序文首による。單邊。無界。一〇行。内匡郭「一八・九×一三・二糎」 一卷四〇丁 二卷四一丁三卷四二丁四卷四四丁五卷四七丁。〔獅子庵遺稿 俳諧書籍目錄〕半丁)

俳諧百首二卷

鳳泉逸史編

明治三十五年(一九〇二)四月鳳泉逸史寫 外寸「二六・四×一七・九糎」 印記「松洲書屋伊達氏圖書之印」(仙台藩伊達家) (書名は目次首による。一輯三八丁二輯三三丁)

獨言

上島鬼貫著

A 一〇五八

一册

A 一〇五九

三册

A 一〇六〇

五册

A 一〇六一

一册

A 一〇六一

〔江戸中期〕寫 外寸「二五・四×一七・三糎」 （書名は書外題による。八行。六二丁。底本「享保三年洛陽新井彌兵衛刊本」）

面問答

〔江戸後期〕寫 外寸「三三・五×一六・五糎」 （二三行。四四丁。卷末に「寛政七卯年十二月」とある）

續古論

各務支考稿

〔江戸中期〕寫 外寸「三三・八×一七・三糎」 印記「爾淵」 （二一行。二七丁）

早合點懷紙之句法

〔江戸後期〕寫 外寸「二四・一×一七・二糎」 （書名は封面による。一〇行。一五丁）

飛登理言

上島鬼貫著

享和三年（一八〇三）一月寫 外寸「二四・三×一七糎」 （書名は封面による。一三行。三三丁。底本「享保三年跋刊

本の轉寫本」 識語「享和三時癸亥睦月中旬於武江之假園仕公燈下書<sup>⑩</sup>」

蕉風無格論

蘇室久安著

慶應元年（一八六五）七月序刊 外寸「二五・八×一七・六糎」 （書名は題簽による。無匡郭。一二行。頭注付。一六丁）

俳諧新式廿五箇條知覺抄

一册	A 一〇六三
一册	A 一〇六四
一册	A 一〇六五
一册	A 一〇六六
一册	A 一〇六七

〔江戸後期〕寫 外寸「二八・五×一九・五糎」 印記「山田氏印」「佳雲庵」 （書外題「俳諧知覺抄」 一一行。五二丁。  
跋「寛延三庚午孟夏一紫庵七十八翁松蘿坊」 朱筆の註・書き入れあり）

## 俳諧今者昔一卷白川夜語二卷

俳佐々木彌次（森々庵松俊）著 白逸話房著  
文化三年（一八〇六）一月寫 外寸「二六・七×一九糎」 （二一行。俳諧二丁。白川上二丁半下四丁半）

## 彌三卷

〔江戸後期〕寫 外寸「三・八×一七糎」 （七行。四一丁。識語「右彌三卷跋雅丈…安永十辛丑年」）

## 蕉翁二拾五箇條一卷蕉門要領一卷師說奧儀一卷

蕉松尾芭蕉著  
文政七年（一八二四）六月山崎墨齋寫 外寸「三×一七・八糎」 印記「蛸笑」「芝川堂」 （書名は封面による。九行。  
蕉翁二二丁蕉門一四丁師說四六丁）

## 俳諧根源集四卷

一陽井素外編  
〔寛政九年（一七九七）序〕刊 關卷第三第四 外寸「三・五×一六糎」 （無匡郭。八行。内匡郭「一七・五×一・一・五糎」  
一卷三〇丁二卷三七丁）

## 饒舌錄二卷

元木阿彌著  
江都本石町十軒店 英大助 文化十三年（一八一六）刊 外寸「二・二×一五・八糎」 （見返「俳諧饒舌錄」 單邊。  
無界。一五行。内匡郭「二六×一二糎」 上七六丁下七八至一二三丁）

A一〇六八

一册

A一〇六九

一册

A一〇七〇

一册

A一〇七二

一册

A一〇七二

二册

A一〇七三

二册

俳諧二見貝

金馬仙松宇撰 春裡菴素大補

京寺町二條 橘屋治平衛 安永九年(一七八〇)三月序刊 外寸「横本七・二×一五・七糎」(單邊。有界。一二行。

内匡郭「六・一×一二・九糎」三四丁)

をたまき綱目二卷

京都六角堂前 錢屋長兵衛 (元祿十年一月洛下新井彌兵衛刊・安永十年(一七八二)京寺町通田中庄兵衛改版)後

印 闕卷下 外寸「二五・六×一〇・九糎」 印記「穗高藏書」龜扇」(書名は跋文首による。單邊。無界。大字七行。

内匡郭「一三・一×八・七糎」 八九丁附漢和式一七丁。「人々の爲に相成書物之目録 京都六角堂前 錢屋長兵衛」二丁)

俳諧名目抄

丈石齋宗順編

〔寶曆九年(一七五九)跋刊〕後印 外寸「一五・三×一〇・八糎」(單邊。無界。大字六行。内匡郭「一二・八×八・九糎」

四六丁)

俳諧通俗志二卷

兒島胤矩(員九)著

〔享保二年(一七一七)序刊〕後印 闕卷下 外寸「横本一二・六×一九・四糎」(單邊。無界。一行。内匡郭「一〇・八

×一七・七糎」 送假名付。七八丁)

俳諧通俗志二卷

兒島胤矩(員九)著

〔江戸後期〕重刊 闕卷下 外寸「横本一三・一×一九・五糎」 印記「小笠原藏書」「參雪菴主百樂」「吐月亭持也」(墨

A一〇七四

一册

A一〇七五

一册

A一〇七六

一册

A一〇七七

一册

A一〇七八

一册

書 (單邊。無界。一五行。内匡郭「二〇・七×一六・六糎」 訓點付。七八丁)

俳諧御傘十卷

松永貞徳著

帝畿 野田治兵衛・井上忠兵衛 (江戸前期刊)後印 外寸「横本一三・四×一九・七糎」 (單邊。無界。一六行。白口。  
内匡郭「二・一×一八・五糎」 一卷六五丁二卷四九丁三卷三六丁四卷四一丁五卷五八丁六卷五三丁七卷三二丁八卷  
三七丁九卷四〇丁一〇卷三四丁。朱筆の書き入れあり)

誹風柳多留百六十七編

吳陵軒可有等編

江都 花屋舊次郎 明和二年至文政十年(一八二七)序刊 闕第三十六至四十編第七十六至八十編第八十六至九十編  
第一百一至百六十七編 外寸「一五×一〇・五糎」 印記「直養西田」「今津高木氏圖書之印」 (無匡郭。九行。「俳諧風  
書品目錄 江都上野山王麓 花屋舊次郎」半丁)

流行新題冠句けそう文二卷

松風編

京都三条通寺町 丸屋善兵衛 (江戸後期刊)後印 闕卷上 外寸「一七・八×一一・八糎」 「齋藤慶之助持用也」明  
治廿二年五月一日 大町齋藤氏(墨書) (無匡郭。一〇行。三六丁。書籍目錄「京都書林三条通寺町西へ入町  
丸屋善兵衛板」半丁)

冠句十萬集ほか

信時庵雙羽等撰

京都 中村風祥堂 大正九年至大正十三年(一九二四)活版 外寸「横本二二・七×一八・五糎」  
内容「冠句京乃花」長生庵百歳宗匠撰、「國風冠句風月集」打睡庵山雄宗匠撰、「冠句菊の露」打睡庵山雄宗匠撰、「冠  
句千代の壽」信時庵金聲宗匠撰、「國風冠句明月集」三世打睡庵山雄宗匠撰、「國風冠句鴨川千鳥」鶴巢隣松羅宗匠撰、

A 一〇七九  
五册

A 一〇八〇  
一七册

A 一〇八一  
一册

A 一〇八二  
一〇册

「菊の香」信時庵金聲宗匠撰、「冠句返り咲」千載堂老師撰、「冠吟拾萬集」信時庵雙羽宗匠撰、「冠吟京土産」信時庵雙羽宗匠撰

## 狂言記五卷

大坂心齋橋北久太良町 橋本徳兵衛等 嘉永元年（一八四八）七月刊 外寸「横本一〇・一×一六・三厘」印記「鈴木藏書」（題簽「繪入狂言記」）單邊。無界。一九行。内匡郭「九・二×一四・七厘」句點付。繪入。一卷三〇丁二卷二八丁三卷二〇丁四卷二八丁五卷三九丁

## 亂舞人物錄

大坂本町 奈良屋長兵衛等 文化三年（一八〇六）一月刊 京都會和堂藏 外寸「横本六・九×一五・九厘」（單邊。無界。一四行。内匡郭「五・六×一四・三厘」）一三丁

## 亂曲扇拍子

〔寶永四年（一七〇七）刊 外寸「横本一一・一×一六厘」（書名は題簽による。無匡郭。九行。五〇丁）

## 大藏流狂言舞物謠集

天保八年（一八三七）清美寫 外寸「一九・五×二三・二厘」（書名は書外題による。八行。四一丁）

## 花傳抄八卷

世阿彌著

寛文五年（一六六五）九月刊 關卷第一第二 外寸「二六・一×一七・六厘」印記「莊方」「文州」「竹恵館」（書名は題簽による。無匡郭。九行。三卷三九丁四卷四五丁五卷四〇丁六卷三七丁七卷五〇丁八卷二四丁）

A 一〇八三  
五册

A 一〇八四  
一册

A 一〇八五  
一册

A 一〇八六  
一册

A 一〇八七  
六册



〔王代記〕

〔江戸前期〕寫 外寸「二五・九×一八糎」 （五行。三丁。奥書「本曲ハ明正天皇の御代に成れるものにしてまた當時の寫本なるへし光嚴天皇の御次に後醍醐という御帝ありて後村上後龜山の御號なし 當時の有様おもひやるへし（花押）」 朱筆の書き入れあり）

素謠花傳祕書并百番位付

〔江戸中期〕寫 外寸「二五×一八糎」 （書名は封面による。七行。漢字片假名。六〇丁。識語「享保七年寅九月吉日 平田吉左衛門尉入道淨布家快（花押）」）

仕舞付百番

洛陽今出川 林和泉 萬治元年（一六五八）十二月刊 外寸「二六・七×一八・八糎」 （書名は書外題による。單邊。無界。七行。白口。内匡郭「二・二×一六・三糎」 頭注付。小塩一二丁眞盛一四丁玉葛一二丁春栄一六丁富士太鼓九丁。朱筆の書き入れあり）

法音抄 実盛 春日龍神

釋惠空述

洛東 向旭山正立寺 貞享元年（一六八四）六月刊 外寸「二六・五×一七・五糎」 （單邊。無界。一〇行二〇字。白口。雙線魚尾。内匡郭「九・四×一四・一糎」 五六丁）

役者神事競三卷

八文舍自笑・梅枝軒泊鷺・一文舍他笑著

大坂 河内屋太助等 文政七年（一八二四）一月 外寸「横本一〇・八×一五・五糎」 （單邊。無界。一〇行。内匡郭「八・五×一三・三糎」 上四四丁中二六丁下四三丁）

吉岡三女敵討十卷

A一〇八八  
一册

A一〇八九  
一册

A一〇九〇  
一册

A一〇九一  
一册

A一〇九二  
三册（合綴一册）

文久二年（一八六二）松崎宗右衛門寫「關卷第五至八 外寸」三・八×一五・九「糧」印記「上州高瀬大須賀」（九行。訓點付。一卷一六丁二卷二〇丁三卷一五丁四卷一七丁九卷一五丁一〇卷四四丁。識語「于時文久二壬戌年季冬松崎宗右衛門行年六十九歲寫之」）

山姥太夫榮枯物語

梅暮里谷峨作

〔江戸末〕寫 外寸「三・四×一六糎」 〔文庫町中根氏〕（墨書）（一六行。五六丁）

盛衰花輝物語

〔江戸末〕寫 外寸「三・五×一六・八糎」  
〔文庫町中根氏〕（墨書）（二三行。八六丁）

## 〔常磐津集〕

東京 坂川平四郎〔文政年間至天保九年（一八三八）刊〕明治中後印 外寸二〇・六×一三・八釐〔副題〕常磐津文字太夫直傳〕無匡郭。 七至八行〕

内容「子寶三番叟」、「心中浮名の鯨鞘」、「袈重袷羅衣二卷」、「千種梵戀の兩道」、「道行蝶吹雪」、「内裡模様源氏紫」  
「色直肩毛氈」、「其姿花圖繪」、「假名手本忠臣藏鶴ヶ丘の段」、「壇ノ浦兜軍記琴責段」、「苧萱桑門常盤山の段」、「二  
谷嫩軍記組討の段」、「八犬義士譽勇猛富山の段」

## 石橋山根元記

南杣笑楚滿人作 藤川春英（九德齋）畫

〔江戸後期〕刊 外寸「二・五×二・五・一厘」〔單邊。無界。二七行。上大黒口。無魚尾。内匡郭「四・九×一〇・八厘」繪入。二五丁。山岸氏識語「此書繪本根元石橋山記卜標題シテ上中下冊ノ物也」〕

## 源平軍物語

二册 A  
一〇九三

一册 A  
一〇九四

一册 A  
一〇九五

A  
一〇九六

一册 A  
一〇九七

南柚笑楚滿人作 北尾政美(蕙齋)畫

〔江戸後期〕刊 外寸「二・三×一五・四糎」(單邊。無界。二九行。上大黒口。無魚尾。内匡郭「一五・六×二一糎」繪入。二五丁)

朝顔日記

常磐津文字大夫作 三味線佐々木市藏

尾張名古屋廣小路 玉澤屋新七 〔江戸末〕刊 外寸「二・三×一五・三糎」(無匡郭。七行。一二丁)

國性爺合戰

近松門左衛門作 竹田出雲椽清定校

大坂高麗橋 山本九右衛門・京都二條通寺町 山本九兵衛 〔江戸後期〕刊 外寸「二・三×一六・二糎」 印記「北村藏書」(無匡郭。七行。一〇三丁)

極彩色娘扇

二步堂等作

江戸 鱗形屋孫兵衛・京 山本九兵衛・大坂 吉川宗兵衛 〔寶曆十年(一七六〇)頃刊〕後印 外寸「二・二×一六・七糎」(角書「朝比奈藤兵衛 喧花屋五郎右衛門」 七行。九九丁)

〔謠曲叢書〕二十卷

皇都二條通御幸町 山本長兵衛 享保十八年(一七三三)四月刊 關卷第三第一〇第一二 外寸「二・八×一六・七糎」 印記「田丸信重」(無匡郭。七行。高砂至自然居士。田丸氏識語「天明三曆癸卯東都在住之内流義番數不殘以寶生友勝直章令改定也 田丸正純印」 朱點あり)

〔謠曲叢書〕二十卷

〔京都〕 山本長兵衛 〔元祿三年(一六九〇)六月刊〕後印 關卷第四第六第八 外寸「二・九×一六・六糎」 印記

A 一〇九八

一册

A 一〇九九

一册

A 一一〇〇

一册

A 一一〇一

一册

A 一一〇二

一七册

A 一一〇三

「田丸信重」(無匡郭。七行。放生川至雷電。田丸氏識語「天明三曆癸卯東都在住之内流義番數不殘以寶生友勝直章令改定也 田丸正純<sup>㊤</sup>」)

〔謠曲〕

天明三年(一七八三)田丸正純寫 外寸「三・八×一六・七糎」 印記「田丸信重」(無匡郭。七行。一冊大蛇・千引・草薙・錦戸・禪師曾我・三八丁。二冊皇帝・忠信・鶴龍田・飛雲・關原與市・三〇丁。奥書「右式拾五番者江戸在住之節爲致書写所持之天明三卯年暮春 田丸正純<sup>㊤</sup>」 田丸氏識語「天明三曆癸卯東都在住之内流義番數不殘以寶生友勝直章令改定也 田丸正純<sup>㊤</sup>」)

毛利千句十卷

紹巴・昌叱判

〔江戸後期〕寫 外寸「二六・四×二〇・一糎」(書名は書外題による。卷頭「文祿三年五月廿一日」 一四行。一卷 一一丁二卷一〇丁半三卷九丁四卷一〇丁五卷九丁六卷八丁七卷一〇丁八卷一〇丁九卷九丁一〇卷一〇丁。奥書「依尊命加奥書者也 文祿四年卯月上旬紹巴判」)

參考標注竹取物語讀本

鈴木弘恭著

東京 中外堂柳河梅次郎 明治二十二年(一八八九)二月刊 外寸「二・七×一四・九糎」(書名は書外題による。四周雙邊。無界。九行。内匡郭「二八・四×一一・七糎」 頭注句點付。五二丁)

又

〔明治二十二年(一八八九)二月東京中外堂柳河梅次郎刊〕後印 外寸「三・七×一四・九糎」 印記「山嵯十茂能藏書」(與A一一〇六番同版。「鈴木弘恭大人著述目録」一丁。書き入れあり)

竹取物語

一七冊

A 一一〇四

二冊

A 一一〇五

一冊

A 一一〇六

一冊

A 一一〇七

一冊

〔江戸前期〕寫 外寸「二三・四×一七・七糎」 （書名は書外題による。列帖装。一〇行。四七枚。識語「右竹取物語令書寫畢 正三位菅原長義」）

竹取物語抄二卷

小山儀（伯鳳）著 入江昌喜校補  
大阪心齋橋 松村九兵衛等 〔天明三年（一七八三）跋刊〕明治期後印 外寸「二五・五×一七・九糎」 （書名は見返による。單邊。無界。一二行。内匡郭「一九・六×一三・八糎」 頭注句點付。上五三丁下五二丁）

竹取翁物語解五卷

田中大秀著  
文政十三年（一八三〇）刊 尾張桐園藏版 外寸「二六・四×一八・二糎」 印記「田邊氏藏書」「岡村圖書」 （單邊。無界。一〇行。内匡郭「二〇・二×一四・五糎」 一卷五〇丁二卷五四丁三卷五四丁四卷五四丁五卷五六丁。奥付に製本所として「尾州名古屋本町十丁目 松屋善兵衛」あり）

たけとり物語二卷

〔江戸中期刊〕後印 外寸「二六・二×一八・五糎」 印記「十湖藏書」「エンシウ中ゼンチ松原」 （題簽「繪入竹とり物語」 單邊。無界。一一行。白口。無魚尾。内匡郭「一九・九×一四・三糎」 繪入。上三二丁下一九丁。下卷は補配本（外寸「二七・一×一八・七糎」）

竹取ものの語

文政八年（一八二五）岡野義方寫 外寸「二六・八×一九・三糎」 印記「岡野氏文庫」 （書名は書外題による。九行。三四丁。識語「文政八酉のとし祝月上の五日筆をとゝめぬ 岡埜みなものとの義方写印」）

紫文消息

橋本稻彦著

A 一一〇八  
一册

A 一一〇九  
二册

A 一一一〇  
五册

A 一一一一  
二册

A 一一一二  
一册

A 一一一三

大坂 宣英堂葛城長兵衛等 文化四年（一八〇七）七月刊 外寸「二七・八×一二・三糎」 印記「門司敬亮藏書」（書名は題簽による。單邊。無界。九行。内匡郭「一五・一×九・四糎」 頭注句點付。五二丁）

紫文製錦四卷

橋本稻彦著

大坂 宣英堂奈良屋長兵衛 「文化五年六月大坂葛城長兵衛等刊」文化十年（一八一三）六月後印 外寸「二七・九×一二・三糎」 （單邊。無界。九行。内匡郭「二四・二×九・五糎」 頭注句點付。一卷四四丁二卷五三丁三卷六五丁四卷三八丁）

源氏物語講義八卷首一卷

鈴木弘恭講義 小串隆筆記

東京 柳河梅次郎 明治十七年（一八八四）五月刊 外寸「二二・二×一五糎」 印記「前島藏書」（前島密）（四周雙邊。無界。一〇行。内匡郭「二四・二×一一・二糎」 頭注句點付。首卷一〇丁桐壺三〇丁帚木六〇丁空蟬一三丁夕顔五九丁半若紫五六丁末摘花三八丁紅葉賀三九丁半花宴一七丁）

源氏物語玉の小櫛九卷

本居宣長著

〔寛政十一年（一七九九）刊 本居氏須受能耶藏板 外寸「二七×一八・二糎」 印記「大崎文庫」（單邊。無界。一〇行。内匡郭「二〇×一四・六糎」 一卷四〇丁二卷六三丁三卷四三丁四卷四〇丁五卷四七丁六卷五八丁七卷五四丁八卷四二丁九卷五九丁）

源氏物語玉小櫛補遺二卷

鈴木胤（離屋）著

文政四年（一八二二）八月序刊 尾張波奈例屋藏板 外寸「二六・五×一八糎」 （單邊。無界。一〇行。内匡郭「一九・三×一四・五糎」 上二六丁下二六丁）

一册

A 一一四

四册

A 一一五

九册

A 一一六

九册

A 一一七

二册

すみれ草三卷

北村久備編

江戸山下町 萬屋太次右衛門等 文化十二年（一八一五）七月刊 外寸「二六・二×一八・二糎」〔書名は序文首による。見返「源氏物語系圖年立すみれ草」 無匡郭。一三行。上五・三丁中五四至九九丁下二二丁〕

すみれ草三卷

北村久備著

江戸芝神明前 岡田屋嘉七等 〔文化十二年（一八一五）江戸萬屋太次右衛門等刊〕後印 闕卷上 外寸「二六×一八・七糎」 印記「秋葉義之印」「下總崎房秋葉孫兵衛藏書」〔秋葉義之〕（與A一一一八番中下卷同版）

源氏物語忍草五卷

北村湖春著

〔天保五年（一八三四）〕刊 外寸「二五・二×一九・五糎」 印記「秋葉義之印」「友野藏書」「三軒舎」〔書名は目次首による。無匡郭。一〇行。一卷四七丁二卷四三丁三卷四七丁四卷四七丁五卷三五丁〕

源氏物語評釋卷一至卷四校正譯注源氏物語評釋首二卷源氏物語語釋一卷校正譯注源氏物語餘釋一卷

萩原廣道著

嘉永六年（一八五三）刊 鹿鳴草舎藏板 外寸「二六・一×一八・一糎」〔四周雙邊。無界。一一行。内匡郭「二・三×一五・五糎」 一卷三二丁二卷六四丁三卷一二丁四卷五六丁。校正上三九丁下四〇至八二丁。語釋三二丁。餘釋五四丁。語釋・餘釋は有界〕

又

大坂心齋橋通南久寶寺町 伊丹屋善兵衛等 〔嘉永六年（一八五三）鹿鳴草舎刊〕後印 外寸「二六・一×一八・五糎」

A 一一一八

三册

A 一一一九

二册

A 一一二〇

五册

A 一一二二

八册

A 一一二三①

印記「吉習堂記」「田上」「陳鴻」(與A一二二一番同版)

源氏物語評釋卷五至卷八源氏物語語釋二之卷校正譯注源氏物語餘釋二之卷

萩原廣道著

大阪 松村九兵衛等 [文久元年(一八六一)刊]明治期後印 外寸「二五・九×一八・五糎」(見返「校正譯注源氏物語評釋」五卷五五丁六卷四一丁七卷三八丁八卷一六丁。語釋二卷三三丁)

源註拾遺七卷

釋契沖著

京都 出雲寺文次郎等 天保五年(一八三四)八月刊 外寸「一七・五×一二・二糎」印記「上小野三上」(單邊。無界。一二行。内匡郭「一四・三×九・四糎」一卷一四丁二卷一五至三五丁半三卷三六丁裏至七一丁半四卷七二丁裏至一〇四丁五卷三七丁半六卷三八丁裏至七二丁七卷七三至一三六丁)

源語梯三卷

五井純禎(蘭洲)著

大坂 高橋平助等 天明四年(一七八四)九月刊 外寸「一五・九×一〇・九糎」印記「无礙菴」(今泉雄作)「檀本正忠」(單邊。無界。七行。内匡郭「一二×七・九糎」上五九丁補四丁中六四丁下四七丁)

源氏物語新釋總考

賀茂真淵著

大坂 奈良屋長兵衛等 文化十三年(一八一六)十二月刊 外寸「一八・二×一二・二糎」(單邊。無界。一〇行。内匡郭「一四・七×九・五糎」頭注句點付。二二丁)

源氏物語歌繪

李園主人編

八册

A 一二二 ②

五册

A 一二三

二册

A 一二四

三册

A 一二五

一册

A 一二六



〔天保八年（一八三七）序刊〕後印 外寸「二八・一×一二糎」〔單邊。無界。一六行。内匡郭「一五・四×一〇・一糎」繪入。三〇丁〕

原中最秘鈔二卷

釋行阿著

寛政七年（一七九五）花崎忠敬寫 闕卷上 外寸「二〇×一三糎」〔二三行。七丁。奥書「右雖以時尹自筆本寫之頗在脱簡後人其察之 明和三丙戌七月六日水月堂（花押）」寛政七乙卯年秋九月蒙君命 花崎忠敬百拜書〕

繪本源氏物語三卷

醉雅亭隴月著 寺井尙選畫

江戸日本橋通 吉文字屋治郎兵衛・大坂 吉文字屋市兵衛 寛延四年（一七五二）一月刊 外寸「二〇・五×一六糎」〔書名は題簽による。單邊。無界。内匡郭「一七・八×一三・五糎」繪入。上一〇丁中七丁下七丁〕

源氏物語五十四帖和詞

〔江戸中期〕寫 外寸「二・五×一六糎」〔八行。一四丁。識語「栞窓堂由比氏藤原演徴」〕

源語祕訣

〔江戸中期〕寫 外寸「二四・一×一七糎」〔二六行。一一丁。奥書「寛永九曆孟春十有六書焉兼与自筆借得證本校合之畢 自笑齋兼也判」 朱筆の書き入れあり〕

雨夜物語だみことば二卷

加藤宇萬伎著

〔江戸後期〕刊 外寸「二五・二×一七・七糎」〔書名は題簽による。單邊。無界。七行。内匡郭「二四・八×一五・一糎」上一九丁下三三丁。識語「通行本刊記左ノ如シ 安永六年酉年初夏 出雲寺文次郎・風月庄左衛門・吉田四郎右衛門・

一册

A 一二七

一册

A 一二八

三册（合綴一册）

A 一二九

一册

A 一二〇

一册

A 一二一

二册

梅村三郎兵衛)

手枕

本居宣長著

尾州名古屋本町通 東壁堂永樂屋東四郎等 寛政四年(一七九二)跋刊 外寸「二六×一八糎」印記「和田氏」さとう「石川藏書」(單邊。無界。九行。内匡郭「一九・八×一四・二糎」句點付。一四丁。「尾張名古屋書肆東壁堂製本署目錄記 尾州名古屋本町通七丁目 永樂屋東四郎藏板」五丁)

A 一三三

一册

少女卷抄注

鈴木胤(離屋)著

〔京都〕 風月莊左衛門・出雲寺文治郎・吉田四郎衛門 文政十年十月刊 外寸「二五・八×一八・二糎」印記「槇舎圖書之章」(書名は題簽による。單邊。無界。一行。内匡郭「二〇・三×一五・一糎」句點付。二六丁。別冊「少女卷抄註」岡田稔校。名古屋國文學會 昭和十一年三月翻刻。二八頁)

A 一三三

一册・別冊校註一册

源氏男女裝束抄後附

渡邊康映著 壺井義知訂正并頭注

〔享保二年(一七一七)刊〕文政頃後印 外寸「二五・七×一八・一糎」印記「曾我中村」(單邊。無界。九行。内匡郭「一九・七×一四・一糎」頭注付。二〇丁。與一三番後附同版)

A 一三四

一册

源氏男女裝束抄二卷後附一卷

月村齋宗碩著 壺井義知訂正并頭注 後附渡邊康映著

京都堀河通 錢屋七良兵衛・錢屋儀兵衛 (享保二年(一七一七)序刊)文政頃後印 外寸「二七・二×一八糎」印記「春彦之印」東洲文庫(小中村清矩)「鎌田正憲藏書」(單邊。無界。九行。内匡郭「二一・一×一四・三糎」頭注付。上二二丁下二二丁後附二〇丁。書き入れあり)

A 一三五

一册

續源語類字抄

兼也著

〔江戸前期〕寫 外寸「横本一八・二×二六糎」 印記「吉澤文庫」〔吉澤義則〕（一五行。八二丁。奥書「寛永十六曆維  
單闕南呂十有三誌焉 兼也判」）

源氏物語和歌

〔江戸中期〕寫 外寸「二六・八×一八・九糎」 （二二行。三六丁）

山路の露

〔江戸中期〕刊 外寸「二七・二×一九・二糎」 （書名は題簽による。無匡郭。一一行。句點付。三九丁）

弘安源氏論議

源具顯判著 塙保己一校

〔江戸末〕刊 外寸「二五・二×一七・六糎」 印記「物集文庫」〔物集高見〕「島原祕藏」〔松平忠房〕（羣書類從卷第  
三百十七物語部十一。無匡郭。一〇行。二七丁。山岸氏識語「大正十五年一月十四日以宮内省圖書寮本一校了 圖  
書寮本與類從本全同矣無異同也」 朱筆の書き入れあり）

源氏物語飛毛鏡

堀内昌郷著 堀内匡平補

〔安政六年（一八五九）一月跋刊〕後印 堀内氏松蔭藏版 外寸「二五・三×一八・三糎」 （單邊。無界。一〇行。内匡  
郭「一九・七×一五糎」 三八丁）

新板紅白けんし物語 存卷第四第五

A 一二三六

一册

A 一二三七

一册

A 一二三八

一册

A 一二三九

一册

A 一二四〇

一册

梅翁作 奥村政信畫

江戸川瀬石町 山口屋權兵衛 寶永六年(一七〇九)刊 外寸「二五・七×一七・四糎」 印記「竹裏館文庫」(竹中重門)

(書名は卷五題簽による。單邊。無界。一三行。内匡郭「一九・四×一三・二糎」 繪入。四卷帶木一八丁四卷花宴一〇丁五卷花宴二二丁。表紙の識語「欠本也此本何冊カ不知續刊ハ見エズ」 四卷帶木見返識語「桐壺帶木六冊ノ中四 花の宴五冊ノ中四五 三冊ナリ」)

紫文蛸之囀 存卷桐壺空蟬

多賀半七著

東叡山麓池之端 高橋與惣次・甲州府中柳町 清水九左衛門 享保八年(一七二三)九月刊 外寸「二六・八×一八・七糎」 (書名は題簽による。單邊。無界。一五行。内匡郭「三・八×一六・九糎」 頭注付。繪入。桐壺二〇丁空蟬一七丁)

伊勢物語増抄 存卷第一至三

〔江戸中期〕刊 外寸「一五・九×一一・三糎」 (書名は書外題による。單邊。無界。内匡郭「一三・三×九・五糎」 頭注付。繪入。一卷二四丁二卷一九丁三卷二八丁)

勢語臆談四卷

釋契沖著

〔江戸後期〕寫 外寸「二三・五×一六・六糎」 印記「中尾文庫」 (二四行。一卷六八丁二卷五四丁三卷六九丁四卷八三丁。奥書「右此勢語臆談四卷先年艸之…元祿五年季秋初三密乘桑門釋契沖」 識語「十三童源白雀借覽之暇寫之畢」 朱筆の書き入れあり)

勢語臆斷五卷

釋契沖著 田山敬義校

京都 吉田四郎右衛門・吉田屋新兵衛 享和三年(一八〇三)刊 外寸「二七・五×一九糎」 (單邊。無界。一二行。

A 一二四一  
三冊

A 一二四二  
二冊

A 一二四三  
一冊

A 一二四四  
四冊

A 一二四五  
五冊

内匡郭「一九・二×一四・六糎」 頭注付。一卷四三丁二卷四四丁三卷四五丁四卷四六丁五卷四七丁。「藏版書目 皇都書林三條通富小路西エ入町 吉田新兵衛」二丁

闕疑抄五卷

細川幽齋(藤孝)著

寛永十一年(一六三四)四月刊 闕卷第一 外寸「二七・七×一九・四糎」 印記「笥塘」 (書外題「伊勢物語闕疑抄」 無匡郭。一二行。二卷四六丁三卷三四丁四卷三二丁五卷四六丁)

闕疑抄五卷

細川幽齋(藤孝)著

慶長二年(一五九七)跋刊 外寸「二七・五×一九・五糎」 (無匡郭。一二行。一卷三六丁半二卷三七丁半三卷五一丁四卷三五丁五卷四三丁。山岸氏識語「闕疑抄二册合本九條公爵家舊藏本也慶長版本流布鮮少也」 朱筆の書き入れあり)

伊勢物語題號考

賀茂眞兄著

昭和四十五年(一九七〇)十月複寫 外寸「二四・五×一七糎」 (無匡郭。一〇行。三二丁。山岸氏識語「以實踐女子大學黒川本作之」)

伊勢物語拾穗抄五卷

北村季吟著

京都 長尾平兵衛 延寶八年(一六八〇)八月刊 外寸「二六×一八・五糎」 印記「中圖書印」 (單邊。無界。一二行。白口。雙線魚尾。内匡郭「三・四×一七・二糎」 頭注付。一卷二四丁二卷二〇丁三卷三三丁四卷二六丁五卷八丁)

參考伊勢物語二卷 附 一卷

A 一二四六

二册

A 一二四七

二册

A 一二四八

一册

A 一二四九

一册

屋代弘賢校

文化十四年(一八一七)二月跋刊 外寸「二六・五×一八・九糎」 附録の印記「今村河合之家」「河合氏圖書之記」「大岡文庫」(書名は題簽による。無匡郭。一〇行。上四九丁下五〇至八八丁附八九至九八丁。附録は補配本(外寸二六・五×一八・四糎)、同書奥付に製本弘所として「京都植村藤右衛門から江戸須原屋伊八まで」全四書肆名あり)

伊勢物語考異

建部綾太理著

〔京都〕 風月庄左衛門 明和六年(一七六九)刊 外寸「二六・五×一八・七糎」(單邊。無界。一〇行。内匡郭「二〇・一×一五・四糎」 一二丁)

伊勢物語二卷

建部綾太理校訂

〔京都〕 風月莊左衛門 明和六年(一七六九)刊 外寸「二六・六×一八・六糎」 印記「前川」(題簽「舊本伊勢物語」單邊。無界。八行。内匡郭「二〇×一五・二糎」 漢字傍訓付。上三三丁下三二丁)

伊勢物語集註十一卷

〔二華堂切臨編〕

慶安元年(一六四八)序刊 闕卷第十一 外寸「二六・八×一七・九糎」(書名は序文首による。無匡郭。一一行。一卷四二丁二卷三八丁三卷三八丁四卷五二丁五卷四二丁六卷三九丁七卷四四丁八卷三七丁九卷四三丁一〇卷四五丁)

闕疑抄五卷

細川幽齋(藤孝)著

〔江戸前期〕刊 闕卷第五 外寸「二七・六×一八・七糎」 印記「山嵯十茂能藏書」(無匡郭。一二行。一卷三二丁二卷三三丁三卷三四丁四卷三二丁。書き入れ・貼紙あり)

A 一一五〇

三冊

A 一一五一

一冊

A 一一五二

二冊

A 一一五三

一〇冊

A 一一五四

四冊

伊勢物語愚見抄五卷

一條兼良著

〔京都〕小川一條上町 田中理兵衛 寛文十三年（一六七三）六月刊 外寸「二六・七×一九・三厘」〔浦七〕（墨書）  
（無匡郭。一一行。一卷二六丁二卷二二三卷二四丁四卷二九丁五卷三二丁。山岸氏識語〔昭和十二年九月中浣頂戴木下正中博士藏本〕

伊勢物語註二卷

〔江戸中期〕寫 關卷下 外寸「二七・七×二〇・五厘」 印記「賀茂住人」讀杜艸堂〔寺田望南〕（二〇行。一〇四丁。  
山岸氏識語「此書逸題號矣二冊本ナルベシ歛下卷 關疑抄以前之註カ」

繪入伊勢物語

京 榎並甚兵衛・江戸 玉屋次郎兵衛 元祿十年（一六九七）刊 外寸「三一・五×一五・九厘」 印記「乘光」（書名  
は書外題による。單邊。無界。一一行。白口。無魚尾。内匡郭「一九・六×二三・八厘」 繪入。六六丁）

伊勢物語

〔江戸前期〕寫 外寸「二三・四×一六・六厘」 （書名は書外題による。列帖裝。草花文様裂表紙。一〇行。七〇枚。  
塗箱入）

い勢物かた里

〔江戸中期〕寫 外寸「二五・五×一八・二厘」 （書名は書外題による。列帖裝。一二行。五六枚。山岸氏識語「伊勢物  
語一帖古寫流布本也無輿書焉」

伊勢物語二卷

〔江戸中期〕寫 關卷下 外寸「二三・七×一八厘」 印記「宣」「胤」「東堂」（書名は書外題による。一〇行。八五丁。  
識語「此書名稱不明之缺本也」 書き入れあり）

A 一一五五

五册

A 一一五六

一册

A 一一五七

一册

A 一一五八

一册

A 一一五九

一册

A 一一六〇

一册

伊勢ものかた里

〔江戸前期〕寫 外寸「二五・一×一六・六糎」 印記「高木愛翫」「石川多伸」 「正保三年戊二月吉日此主」「三郎田中より」〔墨書〕（書名は書外題による。列帖装。一〇行。七二枚。識語「此本何方參候而茂御蠻可被下候信州佐久郡小諸市町太田源道正」「山岸氏識語」「伊勢物語古寫本一帖」）

A 一六二  
一册

眞名伊勢物語二卷

〔京都〕二條通 澤田庄左衛門 〔江戸前期刊〕寛永二十年（一六四三）九月後印 外寸「二五・五×一八・五糎」 印記「豫章館」（單邊。無界。八行。白口。雙花口魚尾。内匡郭「二〇・三×一五・三糎」 上二四丁下三三丁）

A 一六二  
一册

伊勢物語二卷

〔寛永二十年京都中村宗道菴重刊〕正保二年（一六四五）後印 外寸「二八×一八・五糎」 「山田船着町中津氏」〔墨書〕（書名は題簽による。無匡郭。一二行。句點付。繪入。上三九丁下四八丁）

A 一六三  
二册

伊勢物語二卷

京都 中村宗道菴 寛永二十年（一六四三）重刊 外寸「二七・三×一八・五糎」 （書名は題簽による。無匡郭。一二行。句點付。上二六丁下三四丁。與A 一六三番同版。但し繪無し。書き入れあり）

A 一六四  
二册

伊勢物語傍註二卷

賀茂（山本）季鷹著

東都 青藜閣須原屋伊八 安永五年（一七七六）十一月刊 外寸「二六・一×一八・三糎」 印記「灑汀文庫」（書名は序文首による。單邊。無界。一〇行。頭注句點付。内匡郭「一九・七×一五・五糎」 上二五丁下三七丁。識語「伊勢物語傍註高田與清自注奥書 明治丁酉初秋」 墨筆朱筆の書き入れあり）

A 一六五  
二册

伊勢物語古意六卷 附よしやあしや一巻

賀茂眞淵著 上田秋成校

A 一六六



大坂心齋橋南 文海堂敦賀屋九兵衛〔寛政五年（一七九三）九月浪華湍川與左衛門等刊〕後印 外寸「二七・三×一八・五糎」印記「長野縣尋常師範學校」（無匡郭。一三行。頭注付。一卷四六丁二卷三〇丁三卷三二丁四卷三一丁五卷三〇丁六卷三三丁附三二丁。附録は補配本。〔文海堂藏書豫頭目錄 大坂心齋橋南二丁目 敦賀屋九兵衛〕一丁）

七册

## うつほ物語二十卷

大坂 前川文榮堂河内屋源七郎 文化三年（一八〇六）補刻印 外寸「二五・六×一八・三糎」（書名は題簽による。單邊。無界。一一行。内匡郭「一九・六×一五・三糎」句點付。繪入。藏板目錄「大阪心齋橋通北久寶寺町 河内屋源七郎」半丁。墨筆朱筆の書き入れあり）

A 一一六七  
三〇册

## うつほ物語二十卷

延寶五年（一六七七）刊 外寸「二七・三×一九・四糎」印記「海北」「錦西」「義子」「毛利家」（書名は題簽による。單邊。無界。一一行。白口。無魚尾。内匡郭「二〇・一×一五・五糎」句點付。繪入）

A 一一六八  
三〇册

## 物語古寫本

〔江戸中期〕寫 外寸「二〇・一×一三・九糎」印記「黒川眞頼藏書」「黒川眞道藏書」「筒井藏書」「森鉄」（書名は書外題による。一三行。四三丁。山岸氏識語「黒川本筒井文庫藏本也 昨春借覽後俗事多端無返却之期偶然聞筒井氏藏書処分乃船橋訪筒井氏黒川本悉皆讓渡實踐女踐之件談合了 氏爲所贈本書於余之書架云云）

A 一一六九  
一册

## うつほ物語 俊蔭三卷

京都 林泉掾 萬治三年（一六六〇）八月刊 外寸「二三・五×一五・九糎」（書名は題簽による。單邊。無界。一〇行。白口。無魚尾。内匡郭「二五・三×一一・六糎」句點付。繪入。上三三丁中三四至六五丁下六六至九二丁。山岸氏識語「此書或綴一册而有書干標紙上下者同一書也」）

A 一一七〇  
三册

## 宇津保物語年立

殿村常久著

伊勢松阪 柏屋久七・柏屋徳兵衛 文政三年(一八二〇)十二月序刊 外寸「三・四×一六・三糎」(單邊。無界。  
一〇行。内匡郭「二七・四×一二・九糎」一二五丁)

A 一二七一

一册

空穂物語新治 存卷第十五至二十

巨勢利和著

巨勢利和自筆稿本 外寸「二四・九×一六・九糎」印記「堀田治郎」(一一行。上冊九七丁下冊一〇四丁。「金花堂」  
の印刷罫紙使用。山岸氏識語「宇津保物語新治二冊著者自筆本也(自卷一五至卷二十)巨勢家藏本十一冊」)

A 一二七二  
二册

空物語玉琴二卷

細井貞雄著

文化十二年(一八一五)七月刊 詞花堂藏板 外寸「二七・二×一八・五糎」(題簽「玉琴」單邊。無界。一〇行。内  
匡郭「二九・八×一四・九糎」一卷四〇丁二卷四七丁。奥付に製本所として「江戸中橋廣小路 西宮彌兵衛」あり)

A 一二七三  
二册

宇都保物語考

桑原刀自著

〔江戸後期〕寫 外寸「二七・四×一八・七糎」印記「下總崎房秋葉孫兵衛藏書」「秋葉義之印」(秋葉義之「稱意館藏  
本」(墨書) (九行。三二丁。山岸氏識語あり)

A 一二七四  
一册

宇都保物語 存卷第一俊蔭

嘉永五年(一八五二)磯貝知愼寫 外寸「二七・六×一九・五糎」(書名は書外題による。一〇行。八六丁。識語「己丑  
夏五月一過讀 保孝」「天保乙未夏五月初旬以校本寫了 山本俊亮兼山信果」朱筆の書き入れあり)

A 一二七五  
一册

おちくほ四卷

〔江戸後期〕寫 外寸「三・四×一六糎」(書名は封面による。一〇行。春七六丁夏八一丁秋五〇丁冬四九丁)

A 一二七六

おちくほ四卷

〔江戸前期〕寫 外寸「二七・二×一八・五糎」 印記「江澤氏藏」「靜廬江澤氏藏」（江澤靜廬）（書名は書外題による。  
一行。一卷六〇丁二卷五八丁三卷三九丁四卷三八丁。書き入れ・朱筆句點あり）

おちくほ物語四卷

上田秋成〔校〕

大坂 葛城長兵衛等 寛政十一年（一七九九）二月刊 闕卷第一 外寸「二六・二×一八・二糎」 印記「菅園藏記」  
（無匡郭。一〇行。句點付。二卷上三二丁下三〇丁。三卷四一丁四卷四二丁。墨筆朱筆の書き入れあり）

おちくほ物語註釋二卷

村田春海・橘千蔭著

東都小石川傳通院前 鴈金屋青山清吉・京橋南轉馬町 近江屋吉川半七 寛政四年（一七九二）刊 外寸「二五・八×  
一八・四糎」 印記「金爾主」（書名は序文首による。單邊。無界。一〇行。内匡郭「二・二×一五・五糎」 頭注付。  
上三二丁下三三至六五丁）

續落くほものがたり

中井積徳（履軒）著

〔江戸後期〕寫 外寸「二七×一九・二糎」 （一〇行。四六丁。識語「此續落窪物語者浪華儒生中井履軒所著也事見于  
上田秋成膽大小心録」）

おちくぼ十二卷 奈良繪本

〔江戸初期〕寫 外寸「二九・六×三・三糎」 （二〇行一八至一九字。一卷二九丁（うち奈良繪片面七枚）二卷三三丁（う  
ち奈良繪片面八枚）三卷二九丁（うち奈良繪片面七枚）四卷二八丁（うち奈良繪片面七枚）五卷二九丁（うち奈良繪片

四册

A 一二七七

四册

A 一二七八

四册

A 一二七九

二册

A 一一八〇

一册

A 一一八一

一二册（貴重書庫室）

面七枚）六卷二九丁（うち奈良繪片面七枚）七卷二〇丁（うち奈良繪片面七枚）八卷三三丁（うち奈良繪片面七枚）九卷二五丁（うち奈良繪片面七枚）一〇卷二五丁（うち奈良繪片面七枚）一一卷三三丁（うち奈良繪片面七枚）一二卷一八丁（うち奈良繪片面七枚）

## ます鏡十七卷

〔江戸前期〕刊 外寸「二七・六×一九・糶」 印記「懋哉館圖書印」「御書物方」〔昌平坂學問所〕（書名は題簽による。無匡郭。一〇行。句點付）

## 水鑑

釋一休宗純著

〔京都〕 中野市右衛門 寛永九年（一六三二）六月刊 外寸「二五・四×一七・六・糶」 印記「松福」〔松月禪菴宗智〕（墨書）（書名は版心による。無匡郭。一一行。句點付。一七丁）

## 水鏡抄

山岡元隣著

〔江戸前期〕刊 外寸「二五・八×一八・七・糶」 〔奇龍〕（墨書）（書名は序文首による。四周雙邊。無界。一二行。白口。無魚尾。内匡郭「三・六×一六・九・糶」 一八丁）

## 續世繼十卷

〔江戸後期〕寫 外寸「二六・六×一九・糶」 印記「久松少將所進」「昨非庵藏書記」「白川家學校藏」（書名は目次首による。一一行。句點付。一卷三五丁二卷三九丁三卷三二丁四卷三九丁五卷四〇丁六卷五六丁七卷四〇丁八卷三二丁九卷二五丁一〇卷二四丁。底本「慶安三年中野道伴刊本」）

## 續世繼十卷

〔江戸前期〕刊 外寸「二六・二×一八・七・糶」 （書名は目次首による。單邊。無界。一一行。白口。内匡郭「二〇・七

A 一一八二  
一〇冊

A 一一八三  
一冊

A 一一八四  
一冊

A 一一八五  
一〇冊

A 一一八六

×一七・一纏」 句點付。一卷三八丁二卷四〇丁三卷三二丁四卷四〇丁五卷四一丁六卷五七丁七卷四一丁八卷三二丁九卷二六丁一〇卷二五丁)

## 續世繼十卷

〔江戸中期〕寫 外寸「二六×一九纏」 (書名は目次首による。一一行。句點付。一卷三六丁二卷四〇丁三卷三二丁四卷三九丁五卷四〇丁六卷五六丁七卷四〇丁八卷三二丁九卷二五丁一〇卷二四丁。底本「慶安三年中野道伴刊本」山岸氏識語あり。朱筆の書き入れあり)

## 世繼物語

大阪 崇高堂河内屋八兵衛 (江戸後期刊)後印 外寸「二五・六×一八・一纏」 (書名は書外題による。無匡郭。一〇行。五〇丁。「崇高堂藏板目錄 大坂心齋橋筋南久寶寺町 河内屋八兵衛」二丁。山岸氏識語「蓬左文庫宇治物語卷四ハ世繼物語ト全同系ナリ」)

## 世繼物語

〔江戸後期〕刊 外寸「二七・七×一九・五纏」 (書名は題簽による。無匡郭。一〇行。五〇丁。題簽に「宇治大納言物語・小世繼」と墨書あり。與一一八九番同版。卷頭に識語「大鏡又曰世繼物語此書疑宇治大納言物語乎印行宇治大納言物語二卷大略相同間有増減 又按此書小世繼乎」あり。山岸氏識語「与宇治大納言物語対校之本也」)

## 大鏡八卷

〔江戸後期〕刊 外寸「二六×一八・八纏」 (書名は目次首による。無匡郭。一一行。句點付。一卷三二丁二卷一八丁三卷三七丁四卷一九丁五卷五二丁六卷二六丁七卷五〇丁八卷四〇丁。「流布本大鏡」に係る山岸氏覺書あり)

## 大鏡八卷

〔江戸前期〕刊 外寸「二七・七×一八・九纏」 印記「懋哉館圖書印」「御書物方」(昌平坂學問所) (書名は目次首による。無匡郭。一一行。句點付。一卷二七丁二卷一七丁三卷三七丁四卷一九丁五卷五二丁六卷二五丁七卷四六丁八卷

一〇冊

A 一一八七  
一〇冊

A 一一八九  
一冊

A 一一九〇  
一冊

A 一一九一  
四冊

A 一一九二  
八冊

四〇丁)

## 水鏡三卷

寶曆六年(一七五〇)三月村田橋彦寫 外寸「二二・六×一六・五糎」 印記「巖松堂古典部波多埜扱斯書」(波多野重太郎)「幽玉」(書名は目次首による。一二行。上三六丁半中三七丁半下二七丁。書簡に山岸氏識語「村田橋彦自筆本」)

## 水鏡三卷

〔江戸中期〕刊 外寸「二五・九×一八・八糎」 (書名は目次首による。無匡郭。一一行。句點訓點付。上卷四二丁中卷三八丁下卷四〇丁)

## 水鏡三卷

〔江戸前期〕刊 外寸「二七・六×一八・九糎」 印記「懋哉館圖書印」「御書物方」(昌平坂學問所) (無匡郭。一一行。句點訓點付。上卷四二丁中卷三八丁下卷四〇丁)

## 宇治大納言物語三卷

大坂 河内屋八兵衛 〔江戸中期刊〕天明六年(一七八六)後印 外寸「二・一×一五・五糎」 印記「千束文庫」(單邊。無界。一一行。内匡郭「二七・三×一三・四糎」 句點訓點付。上一八丁中一四行下一九丁。朱筆の校訂あり)

## 大和物語二卷

谷岡七左衛門 〔明暦三年(一六五七)二月刊〕後印 外寸「二・一×一五・六糎」 印記「巖松堂古典部波多埜扱斯書」(波多野重太郎)「本間」(單邊。無界。一一行。白口。無魚尾。内匡郭「一七・五×二一・九糎」 頭注付。繪入。上八六丁下七六丁。昭和廿五年九月二日の山岸氏書付けあり)

## やまと物語二卷

〔京都〕二條通玉屋町 村上平樂寺 〔慶安元年(一六四八)刊〕後印 外寸「二六・二×一七・六糎」 印記「松園圖書」

A 一一九三

一册

A 一一九四

三册

A 一一九五

三册

A 一一九六

一册

A 一一九七

五册(合綴一册)

A 一一九八

（書名は題簽による。單邊。無界。一二行。白口。内匡郭「二〇・七×一五・五糎」 上五一丁下四一丁。朱筆の書き入れあり）

又

外寸「二六・九×一七・八糎」 印記「本宮藏書」「須壽堂藏」（與A一一九八番同版）

## 大和物語二卷

皇都寺町通 鉛屋安兵衛 文化二年（一八〇五）四月刊 外寸「二五・八×一八・二糎」（無匡郭。一二行。頭注句點付。上四二丁下四一丁）

## 冠注大和物語三卷

井上文雄著 加藤千浪等校

江戸淺草茅町 須原屋伊八等 〔嘉永六年五月跋刊〕安政二年（一八五五）四月後印 穀風堂藏梓 外寸「二六・二×一八糎」（書名は見返による。無匡郭。一〇行。頭注付。上五三丁中五四至九三丁下九四至一三五丁。與A一二〇二番同版）

## 冠注大和物語三卷

井上文雄撰著 加藤千浪等校

嘉永六年（一八五三）五月跋刊 考槃莊藏梓 外寸「二六・三×一八・三糎」（書名は見返による。無匡郭。一〇行。頭注付。上五三丁中五四至九三丁下九四至一三五丁。朱筆の書き入れあり）

## 唐物語

〔藤原成範著〕 清水濱臣校

江戸日本橋通 須原屋佐助等 〔文化六年二月序刊〕文政十三年（一八三〇）八月後印 外寸「二五・八×一七・九糎」

一册

A 一一九

二册

A 一二〇〇

二册

A 一二〇一

三册

A 一二〇二

三册

A 一二〇三

一册

〔書名は提要首による。無匡郭。一〇行。頭注付。五二丁。與A一二〇四番同版〕

唐物語

〔藤原成範著〕 清水濱臣校

〔文化六年二月序刊〕後印 金花堂藏板 外寸「二五・六×一八糎」〔書名は提要首による。無匡郭。一〇行。頭注付。五二丁〕

唐物語二卷

〔藤原成範著〕 賀茂季鷹校

京都 蛭子屋市右衛門・江府 須原屋伊八・大坂 播磨屋九兵衛 文化六年（一八〇九）三月刊 外寸「二六・五×一八・四糎」印記「長崎文庫」「齋藤文庫（齋藤雀志）」「饗庭文庫（饗庭篁村）」（書名は版心による。單邊。無界。一〇行。内匡郭「二・二×一四・五糎」頭注付。本二九丁末三〇至五八丁。「藏版和書目録 錦小路通室町西江入 北側中程 恵比須屋市右衛門」半丁）

今昔物語倭部十五卷

源隆國撰 井澤長秀考訂纂註

平安六角通御幸町 柳枝軒茨城多左衛門〔享保五年一月刊〕享保六年（一二二二）後印 外寸「三二・六×一五・七糎」印記「田藤」（單邊。無界。一〇行。内匡郭「一八・二×一三・三糎」句點付。繪入。表紙に「前編」と墨書あり。「蟠 龍子井澤長秀先生輯録之書 柳枝軒藏板目録」一丁）

宇治拾遺物語十五卷

洛陽今出川 林和泉掾 萬治二年（一六五九）刊 關卷第八 外寸「二・七×一四・一糎」〔書名は目次首による。單邊。無界。一一行。白口。無魚尾。内匡郭「二六・四×二一・五糎」句點付。繪入〕

義經記 存卷第三至五

A 一二〇四  
一册

A 一二〇五  
二册

A 一二〇六  
一五册

A 一二〇七  
一四册



〔江戸中期〕刊 外寸「三・一×一六糎」〔單邊。無界。一四行。白口。無魚尾。内匡郭「一九・五×一四・二糎」訓點付。繪入。三卷二八丁半四卷四一丁五卷四〇丁。山岸氏識語「元祿二年版ノ再版本也版式同一也」〕

### 義經記八卷

〔寛文十三年（一六七三）刊〕後印 外寸「二五・四×一八・八糎」印記「副島家藏」〔副島種臣「藏田圖書之印」〕「松翠館圖書」〔藏書票〕（題簽「新板大字義經記」）單邊。無界。一四行。白口。無魚尾。内匡郭「二〇・八×一七・六糎」句點付。繪入。一卷一六丁二卷三二丁三卷二八丁四卷三八丁五卷四〇丁六卷四五丁七卷四八丁八卷二〇丁〕

### 義經記八卷

武陽 山口屋須藤權兵衛 元祿二年（一六八九）刊 外寸「二五・七×一八・二糎」印記「楠田之印」〔溝口氏〕〔墨書〕〔單邊。無界。一四行。白口。無魚尾。内匡郭「一九・五×一四・二糎」〕句點付。繪入。一卷一七丁二卷三三丁三卷二八丁四卷三九丁五卷四〇丁六卷四三丁七卷四五丁八卷二二丁〕

### 義經記八卷

寛永十二年（一六三五）一月刊 外寸「二七・九×一八・二糎」〔松翠館圖書〕〔藏書票〕「石田彌右衛門藏本也」〔墨書〕〔無匡郭。一二行。句點付。一卷一八丁二卷二六丁三卷三二丁四卷四三丁五卷四六丁六卷五二丁七卷五六丁八卷二四丁〕

### 義經物語八卷

昭和五年（一九三〇）十一月山岸德平寫 外寸「二七・三×一九・六糎」〔一一行。一卷二五丁二卷五〇丁三卷四三丁四卷六〇丁五卷五八丁六卷六七丁七卷五二丁八卷四〇丁。山岸氏識語「義經物語八卷以高木氏藏本書寫畢判官物語之系也」〕

### 義經記評判八卷

松風庵著

A 一一〇八

三册

A 一一〇九

八册

A 一一一〇

四册

A 一一一一

四册

A 一一一二

八册

A 一一一三

大坂安堂寺町心齋橋筋 大野木市兵衛 享保四年(一七一九)一月刊 外寸「二六×一八・七糎」 印記「信太郡松山村石嶋氏藏書印」(題簽「頭書繪入義經記大全」 單邊。無界。一二行。内匡郭「二・三×一六・五糎」 句點頭注付。繪入。一卷二四丁。二卷上三〇丁下二八丁。三卷上二四丁下二五丁。四卷上二五丁下四五丁。五卷上二九丁下三三丁。六卷上三四丁下二八丁。七卷上四〇丁下二五丁。八卷三四丁)

一〇冊

義經勳功圖會前編五卷

好花堂野亭作 西村中和畫 山田敏雄考訂

〔江戸後期刊〕後印 關卷第五 外寸「二四・七×一八糎」 「大分縣大分郡栗崎町大友正孝」(墨書) (單邊。無界。一二行。内匡郭「一八・五×一四・七糎」 句點付。繪入。一卷三六丁二卷三八丁三卷四〇丁四卷三二丁)

A 一二四  
四冊

木曾義仲勳功圖會前編五卷

好花堂野亭作 有阪蹄齋畫 山珪士信考訂

大坂 河内屋長兵衛等 天保四年(一八三三)一月刊 外寸「二五・五×一七・七糎」 「越後國蒲郡三條町扇屋七右衛門」(墨書) (題簽「義仲勳功圖會前編」 單邊。無界。一二行。内匡郭「一九・二×一四・五糎」 句點付。繪入。一卷二二丁二卷三三丁三卷三三丁四卷三二丁五卷三〇丁。〔著作堂新編國字小説近刻目次 書肆群玉堂石倉堂合梓〕等一丁半)

A 一二五  
五冊

櫻雲記

梅橘散人校

明和七年(一七七〇)伊勢平藏(貞丈)寫 外寸「二四・二×一七糎」 印記「上田文庫」(上田恭輔) (書名は書外題による。假綴。九行。漢字片假名。一〇二丁。奥付「桜雲記三冊者南朝三部書之其一也」 寶曆九年己卯二月廿八日「右桜雲記得山岡浚明之校本寫之畢梅橘散人浚判 明和七年庚寅正月十一日伊勢平藏貞丈」)

A 一二六  
一冊

南北太平記抄一卷常山紀談之内抄出一卷

〔江戸後期〕寫 外寸「三二・二×一八・五糎」 (二一行。南北一三丁常山三四丁)

A 一二七

陸奥話記

端亭子了的訓點并校

寛文二年（一六六二）跋刊 外寸「二六・五×一七・三」 印記「竹添氏書庫」（竹添井々）（版心「奥羽軍記」序文首「奥羽軍志」 四周雙邊。無界。八行。上下中黒口。三魚尾。内匡郭「二・六×一四・二」 漢字句點訓點付。二四丁。書き入れあり）

奥州後三年記三卷

洛陽今出川 林和泉掾 寛文二年（一六六二）刊 外寸「二六・三×一七・二」 印記「竹添氏書庫」（竹添井々）（四周雙邊。無界。一〇行。上下中黒口。三魚尾。内匡郭「二・八×一四・二」 漢字句點付。繪入。上二〇丁中一二丁下一〇丁。書き入れあり）

梅松論二卷

〔江戸前期〕寫 外寸「二七・二×一八・二」 〔二〇行。一卷四七丁二卷五〇丁。奥書「以林白水本写延寶戊午歲洛陽新贍本」識語「此書與太平記多異常具諸說六參訂惜矣…延寶己未春於彰孝館識」〕

保元物語三卷

〔江戸前期〕刊 外寸「二七・三×一九・六」 〔書名は二卷首による。一卷首「保元合戰記」 四周雙邊。無界。一〇行。上下中黒口。雙花口魚尾。内匡郭「二・四×一六・二」 漢字片假名句點付。一卷二七丁二卷三五丁三卷三〇丁〕

保元物語

〔江戸中期〕寫 外寸「二七・四×一九・三」 印記「長亭藏書」「石川氏所持」（墨書）（一五行。上三〇丁下三二丁。表紙右肩に「流布本」と墨書あり）

一册

A 一二二八

一册

A 一二二九

三册

A 一二三〇

二册

A 一二三一

三册

A 一二三二

二册

平治物語三卷

〔江戸前期〕刊 關卷第三 外寸「二六・六×一九・九」〔四周雙邊。無界。一一行。上下中黒口。雙花口魚尾。内匡郭「二一・四×一六・四」 漢字片假名句點付。一卷三三丁二卷三五丁〕

平治物語六卷

文化十二年（一八一五）石川氏寫 外寸「二七・五×一九・四」 印記「長亭藏書」「二冊の内与三兵衛持主」（墨書）（二三行。一卷一一丁半二卷一三丁半三卷一六丁四卷一一丁五卷一二丁半六卷一六丁。石川氏識語「平治物語貳卷加也此本何方へ參居候共早速此人へ御戻シ可被下候已上小野住石川梅染主 文化十二乙亥年初春生年廿歳寫之」山岸氏識語「流布本而分六卷者可參考也 本郷井上店求焉高木武氏舊藏本也云云」

承久軍物語三卷

塙保己一校

〔江戸末〕刊 外寸「二五・八×一七・六」 印記「物集文庫」（物見高見）（羣書類從卷第三百七十合戰部二。無匡郭。一〇行。一卷五〇丁二卷五〇丁三卷三八丁）

承久記二卷

〔江戸前期〕刊 外寸「二七・二×一八・八」 印記「白石氏藏書」（四周雙邊。無界。一二行。上下中黒口。雙花口魚尾。内匡郭「二一・三×一六・二」 漢字片假名句點付。上三五丁下二九丁。山岸氏識語「承久記有數本版本亦有二三種矣」 書き入れあり

花盡平系圖

〔江戸前期〕寫 外寸「二八・四×二一・九」 印記「賀茂保虎」「岡家藏」（書名は書外題による。一〇行。一二五丁。山岸氏識語「花盡平家系圖 平家花揃 平家花盡」

源平盛衰記四十八卷目一卷

A 一二三三  
二冊

A 一二三四  
二冊

A 一二三五  
一冊（三冊合綴）

A 一二二六  
一冊

A 一二二七  
一冊

〔江戸前期〕刊 外寸「二八・一×一九・四糎」 印記「來田宣親」〔前島藏書〕（前島密）（四周雙邊。無界。一二行。上下中黒口。雙花口魚尾。内匡郭「二・八×一六・四糎」 漢字片假名句點付）

源平盛衰記 存卷卷一至卷二十一

〔江戸後期〕寫 外寸「三三・六×一六・五糎」 〔北海道十勝國清水町北三條三丁目十七番地石橋象山藏書〕（藏書票）（單邊。有界。八行。内匡郭「二〇×一三・五糎」 漢字片假名。印刷罫紙使用）

源平盛衰記四十八卷目一卷

〔京都〕東洞院六角下町 山口氏 元祿十四年（一七〇二）一月刊 外寸「横本一三・七×一九・六糎」 印記「島田善治藏書票」（單邊。無界。一八行。白口。單線魚尾。内匡郭「一一・七×一七・四糎」 句點訓點付。繪入。大和綴に改裝）

源平盛衰記圖會六卷

秋里籬島編 西村中和・奥貞章畫

〔大坂〕〔群玉堂河内屋茂兵衛〕〔寛政十二年（一八〇〇）自序刊〕後印 外寸「二四・八×一七・九糎」（單邊。無界。一二行。内匡郭「二〇・六×一五・五糎」 訓點付。繪入。一卷五五丁二卷五二丁三卷五二丁四卷五三丁五卷五六丁六卷五一丁。出版書目「浪速書肆 心齋橋通博勞町南 河内屋茂兵衛藏版」〔七丁〕

こけ衣 存卷秋

〔江戸前期〕寫 外寸「三三・五×一六・六糎」（書名は書外題による。列帖裝。一〇行。四四枚）

古解吳呂裳五卷

〔江戸中期〕寫 外寸「三三・八×一六・六糎」 印記「谷方」（書名は書外題による。一一行。一卷四九丁二卷四五丁三卷五六丁四卷三五丁五卷三六丁）

A 一二三八

一三册

A 一二二九

二一册

A 一二三〇

一二册

A 一二三一

六册

A 一二三二

一册

A 一二三三

五册

## 源氏物語 明融本

明融等筆

〔室町後期〕寫 闕卷第一第二第八第一一二三四第三四至三六第四五第五一帖 外寸「二・二×一四・五糎」(列帖裝。一〇至一二行一八至二三字。朱點朱筆あり)

第三帖うつせみ一〇枚第四帖夕かほ四一枚第五帖わかむらさき四九枚第六帖すゑ摘花三一一枚第七帖紅葉賀二九枚第九帖葵四六枚第一〇帖さか木四八枚第一二帖須磨四九枚第一三帖あかし四一枚第一四帖みをつくし三四枚第一五帖よもぎふ二二枚第一六帖關屋五枚第一七帖繪合一八枚第一八帖松風二二枚第一九帖薄雲三一一枚第廿帖權二一枚第廿一帖少女五八枚第廿二帖玉かつら四五枚第廿三帖はつね一五枚第廿五帖螢一九枚第廿六帖常夏二六枚第廿七帖篝火四枚第廿八帖野分二〇枚第廿九帖みゆき二〇枚第三〇帖ふちはかま一四枚第三一帖まきはしら三三枚第三二帖梅か枝一九枚第三三帖ふちのうらは二七枚第三七帖横笛二三枚第三八帖すゝむし一四枚第三九帖夕霧八六枚第四〇帖御法一九枚第四一帖まぼろし三四枚第四二帖匂宮一六枚第四三帖かうはい一五枚第四四帖竹川三七枚第四六帖権本四〇枚第四七帖總角七八枚第四八帖さはらひ一八枚第四九帖寄生八一枚第五〇帖東屋五七枚第五二帖かげろふ五九枚第五三帖手ならひ七二枚第五四帖夢のうきはし一八枚)

## 狹衣四卷

〔江戸中期〕刊 外寸「三・四×一五・八糎」 印記「松乃や藏書」(單邊。無界。一一行。白口。無魚尾。内匡郭「二七・一×一一・四糎」 繪入。一卷上五二丁下四三丁。二卷上四八丁下六〇丁。三卷上四二丁中四八丁下五〇丁。四卷上四八丁中五三丁下五六丁。朱筆の書き入れあり)

## 狹衣四卷狹衣系圖一卷狹衣下紐二卷

〔江戸後期〕木活字印 闕卷第三上 外寸「二・八×一九・五糎」(無匡郭。一一行。一卷上四三丁下三六丁。二卷上四〇丁下五〇丁。三卷下六三丁。四卷上七五丁下四九丁。系圖一六丁下紐一卷四二丁二卷二〇丁。系圖・下紐は寫本)

A 一一三・四

四四冊(貴重書庫室)

A 一一三・五

一〇冊

A 一一三・六

一〇冊

狹衣四卷狹衣下紐四卷

〔京都〕烏丸通 三木親信 〔承應三年（一六五四）刊〕後印 外寸「二・七×一五・八糎」〔單邊。無界。一一行。白口。無魚尾。内匡郭「一六・七×一・一・五糎」 傍訓付。繪入。一卷上五二丁下四三丁。二卷上四八丁下六〇丁。三卷上四三丁中四八丁下五〇丁。四卷上四八丁中五三丁下五六丁。下紐一卷五二丁二卷三五丁三卷三六丁。四卷上三六丁中一七丁下一六丁。與A一二三八番同版。朱筆の書き入れあり〕

A 一二三七  
六册

狹衣四卷狹衣下紐四卷狹衣系圖一卷目錄一卷

〔京都〕烏丸通 三木親信 〔承應三年（一六五四）刊〕後印 外寸「三・二×一六糎」〔單邊。無界。一一行。白口。無魚尾。内匡郭「一六・七×一・一・五糎」 傍訓付。繪入。一卷上五二丁下四三丁。二卷上四八丁下六〇丁。三卷上四三丁中四八丁下五〇丁。四卷上四八丁中五三丁下五六丁。下紐一卷五二丁二卷三五丁三卷三六丁。四卷上三六丁中一七丁下一六丁。系圖一六丁目錄一三丁〕

A 一二三八  
一六册

榮花物語八卷目錄并系圖一卷

〔江戸中期〕刊 外寸「二六・一×一八・八糎」 印記「招京主人」「足立藏書」「安達印納藏」〔墨書〕〔書外題「榮花物語拔抄」 無匡郭。一一行。繪入。目錄・系圖四〇丁一卷三二丁二卷三三丁三卷四八丁四卷三五丁五卷五二丁六卷二八丁七卷三〇丁八卷三三丁〕

A 一二三九  
五册

榮花物語四十卷

〔江戸前期〕寫 關卷第一第三至第二第一五第一七 外寸「二七×一九・六糎」 印記「濱由藏書」〔一〇行。二卷首貼紙に「外題近衛殿尙嗣公筆」と墨書、四〇卷首貼紙に「此一册冷泉殿政爲卿筆」と朱書あり〕

A 一二四〇  
二七册

榮花物語四十卷

京都 和泉掾 明暦二年（一六五六）刊 關卷第三九第四〇 外寸「一九×一三糎」〔單邊。無界。一一行。白口。無魚尾。内匡郭「一一・八×八・八糎」 句點付〕

A 一二四一  
二一册

榮花物語 存卷第二十至二十四

〔江戸中期〕寫 外寸「二四・二×一八・五糎」 〔列帖装。一〇行。二〇卷八丁二二卷一三丁二三卷八丁二三卷一三丁二四卷一五丁〕

榮花物語八卷目録并系圖一卷

〔江戸中期刊〕後印 關卷第一第八 外寸「二五・九×一七・八糎」 〔無匡郭。一二行。繪入。目録・系圖四〇丁。二卷三三丁三卷四八丁四卷三五丁五卷五二丁六卷二八丁七卷三〇丁。與A一二三九番同版〕

榮華物語系圖

石井了俱作

〔江戸中期〕寫 外寸「三五・八×二一・二糎」 〔自帝王至源氏九面藤家系圖一二面〕

登里加閉伐也物語

〔江戸後期〕寫 外寸「三三・一×一七・一糎」 印記「藤廼屋藏」 〔書名は第一冊書外題による。九行。一冊六〇丁二冊六〇丁三冊六〇丁四冊六〇丁五冊四七丁。山岸氏識語「取替婆也五冊無奥書等者也」〕

とりかへはや四卷

〔江戸中期〕寫 關卷第二 外寸「二七・八×一八・八糎」 印記「緒方隨成」「平秀胤印」「子輔」「弘雅堂文庫の志るし」 〔九行。一卷八五丁三卷九一丁四卷九五丁。山岸氏識語「昭和十九年九月四日以前新宮城書藏之本午前中一校了該書之書寫不良ぬ」卷二缺分以吉沢本補之畢同本ハ新宮城書藏ノ印アリ 昭和十年八月上浣」 朱筆の書き入れあり〕

とりかへはや二卷

〔江戸前期〕寫 外寸「二七・二×一九・八糎」 印記「讀杜草堂」〔寺田望南〕 〔一二行。上九一丁下一二三丁。朱筆の書き入れあり〕

A一二四二  
二冊

A一二四三  
七冊

A一二四四  
折本一帖

A一二四五  
五冊

A一二四六  
三冊

A一二四七  
二冊



多武峰少將物語一卷鳴門中將物語一卷 名なら竹物語

塙保己一校

〔江戸末〕刊 外寸「二五・二×一七・四糎」 印記「尾張取田正耗藏書」「物集文庫」（群書類従卷四百八十二雜部三十七。無匡郭。一〇行。多武二五丁鳴門二六至三三丁）

A一二四八

一册

住吉物語

〔江戸前期〕寫 外寸「二三・四×一七・二糎」 印記「松岡柳子」「後藤圓治」（書名は書外題による。列帖裝。一〇行。八九枚内第二三至三一枚は後補鈔。山岸氏識語「住吉物語繪卷三卷松岡柳子藏本也徳川初期者也 昭和五年黃鐘晦以住吉物語繪卷校合了上卷了」「住吉物語一册後藤圓治氏寄贈者也」）

A一二四九

一册

住吉物語 存卷上

明治二十二年（一八八九）中川氏寫 外寸「二六・九×一八・五糎」（二二行。三八丁。識語「右住吉物語壹册者赤松祐以主近年御求得之由依懇望令得書寫畢 明治二十年十月權中講家中川□□書」山岸氏識語「本書与千種本殆同本也」）

A一二五〇

一册

住吉物語二卷

〔江戸後期〕寫 外寸「二五・六×一九・八糎」（書名は卷尾による。卷頭「住よし」 一一行。上三四丁下二三丁）

A一二五一

一册

住吉物語

塙保己一校

〔江戸末〕刊 外寸「二五・四×一七・六糎」 印記「桺齋」「阿波岐曾能藏書」（大津立嘉「得所託傳於久」「物集文庫」（物集高見）（群書類従卷第三百十物語部四。一〇行。六〇丁）

A一二五二

一册

すみよし物語二卷

〔京都〕 中野氏道也 寛永九年（一六三二）十二月刊 外寸「二六・八×一八糎」 印記「松霞」（無匡郭。一一行。上

A一二五三

三四丁下三五至五七丁)

住吉物語

塙保己一校

〔江戸末〕刊 外寸「二六・五×一七・九糎」 印記「巖松堂古典部波多埜扱斯書」(波多埜重太郎) (群書類従巻第三百十物語部四。一〇行。六〇丁。識語「住吉物語依前人御所望以祕本奥行也右書入ハ楳月堂書寫ノ本ヲ以テ改之」。  
與A一二五二番同版。書き入れあり)

住吉物語

文政二年(一八一九)二月寫 外寸「二七・二×一九・三糎」 (書名は書外題による。一〇行。五九丁。奥書「文政元年八月荻原氏藏以千種大納言有敬卿眞蹟本令寫畢寛光」識語「同年十二月上旬令寫之畢定保」)「おなしくことせという年のきさらきまたうつせるは志ほ子龍彦(花押)」 「又おなしき五年九月古本三本もて校合せし本もてよみあはせおきなへり」 山岸氏識語「本書同圖書寮桂宮本一册本」 朱筆の書き入れあり)

すみよし物語二卷

〔江戸中期〕寫 外寸「二七・一×一九・三糎」 (二一行。上三四丁下二三丁。底本「寶曆九年皇都梅村三郎兵衛求版本」)

住吉物語二卷

〔江戸前期〕寫 外寸「二八×二二・二糎」 (列帖装。九行。上三枚下一五枚)

世界物語

安政六年(一八五九)三月中村氏寫 外寸「二四・三×一六・三糎」 (八行。一七丁)

二册

A一二五四

一册

A一二五五

一册

A一二五六

一册

A一二五七

二册

A一二五八

一册

神代小町二卷

文化八年（一八一）閏二月寫 外寸「三・七×一六糎」 印記「山本之章」「山本藏書」（書名は封面による。一〇行。上二三下一六丁。朱筆の書き入れあり）

A 一二五九  
一册

おあむ物語一卷おきく物語一卷

〔江戸末〕寫 外寸「二四・二×一六・七糎」（九行。おあむ九丁おきく一三丁。句點付。繪入。底本「天保八年三可書屋刊本」 朱筆の書き入れあり）

A 一二六〇  
一册

十二支もの語

〔江戸後期〕寫 外寸「二四×一六・七糎」（二〇行。一三丁。山岸氏識語「十二支物語一曰十二類合戦物語或十二類合戦繪詞見于柳庵庚子紀行」）

A 一二六一  
一册

岩屋能草紙一卷いはやのさうし二卷

〔江戸後期〕寫 外寸「二四×一六・五糎」 印記「春風」（二〇行。句點付。岩屋四〇丁いはや上二五丁下二〇丁。岩屋末の識語「右岩屋草紙堀田正敦朝臣藏本ヲ以書寫了 右岩屋草紙一卷誤脱頗多不可判讀今新補流布印本以備參照」いはや末の識語「右岩屋能草紙以流布印本新補」山岸氏識語「岩屋の草子二部合綴也」）

A 一二六二  
一册

鉢かつき

〔江戸後期〕寫 外寸「三・九×一六・九糎」（書名は書外題による。九行。三五丁）

A 一二六三  
一册

松尾物語二卷

釋礫川著  
享和元年（一八〇）文日堂礫川寫 外寸「二五・六×一七・九糎」 印記「川田氏藏書印」（八行。上三三丁下三四丁。朱筆の句點あり。識語「棧道物語」）

A 一二六四  
一册

秋の夜長物語

京師三條通升屋町 出雲寺和泉掾〔江戸前期刊〕後印 外寸「二六・一×一八・五糎」〔單邊。無界。一一行。上下中黒口。雙花口魚尾。内匡郭「二・二×一五・九糎」 句點付。二八丁〕

今物語

藤原信實著 塙保己一校

〔江戸末〕刊 外寸「二六・四×一八・五糎」 印記「小林家圖書印」「歌城」〔小林歌城〕「三多」〔三田葆光〕（無匡郭。一〇行。三四丁。跋文末に「天明六年丙午二月廿五日檢校保己」とある。平〔三田〕氏識語「此今物語ハ小林歌城翁の藏書なりしを嘉永の初るころにやありけむ：此書ハ塙檢校か古写本を板本にせるもの、最初にていはく羣書類從數百卷の濫觴ともいふべきものなりと翁のかたられき 平葆光」

時秋物語一卷今物語一卷

今藤原信實著 塙保己一校

〔江戸末〕刊 外寸「二五・三×一七・五糎」 印記「豐洲」「物集文庫」〔物集高見〕（群書類從卷第四百八十三雜部三八。無匡郭。一〇行。頭注付。時秋三丁今物語四至三七丁）

西行四季物語四卷

洛陽堺町通 服部九兵衛 元祿四年（一六九一）五月刊 外寸「二二・六×一六・五糎」 印記「宮澤家藏」「秋葉義之印」〔下總崎房秋葉孫兵衛藏書〕（秋葉義之）（單邊。無界。九行。白口。無魚尾。内匡郭「一七・三×一三・五糎」 繪入。春一五丁夏一〇丁秋一二丁冬一四丁）

西行物語

〔江戸後期〕寫 外寸「二三・一×一五・八糎」 印記「大江義」「浦井藏」（書名は書外題による。一一行。四五丁。墨筆朱筆の書き入れあり）

A 一二六五	一册
A 一二六六	一册
A 一二六七	一册
A 一二六八	一册
A 一二六九	一册

西行物語二卷

〔江戸前期〕刊 闕卷上 外寸「二七・七×一七・七糎」 〔江州上埜三好〕（墨書）（書名は書外題による。無匡郭。一行。句點付。三〇丁）

四十二の物あらそひ一卷建保職人歌合一卷正盛公を悼ミ奉る詞一卷

〔江戸中期〕寫 外寸「二五・五×一八糎」 （書名は書外題による。列帖裝。九行。物あらそひ九枚職人五枚半正盛二枚半。物あらそひ及び正盛の末闕）

四十二の物あらそひ

〔江戸中期〕寫 外寸「二三・六×一六・七糎」 印記「三宅氏圖書之印」（三宅雪嶺）（書名は書外題による。一〇行。一二丁）

四十二のものあらそひ

山本明清考證

〔江戸〕 〔萬笈堂英遵〕 〔文政二年（一八一九）一月跋刊〕後印 外寸「二六・六×一八・七糎」 印記「文彦」（大槻文彦）等 〔單邊。無界。一行。内匡郭「三・八×一五・二糎」 頭注付。一九丁。〕和書部 萬笈堂英遵藏板目錄「一二丁」

百合大臣無縁退治

〔江戸中期〕寫 外寸「二七・七×一五糎」 （七至八行。五四丁。山岸氏識語「語物也、古淨瑠璃有之坎可調査也 百合大臣大臣蒙古退治一冊有缺坎自一段至七段」）

百合稚錦嶋五卷

其笑・瑞笑著

〔江戸中期〕刊 闕卷第五 外寸「二五・六×一八・一糎」 印記「濱屋天丸」「嶋儀」「竹谷」（貸本屋竹谷源治郎）（書名は目次首による。單邊。無界。二行。白口。無魚尾。内匡郭「一九×一五糎」 繪入。一卷二七丁二卷二七丁三卷

A一二七〇  
一冊

A一二七一  
一冊

A一二七二  
一冊

A一二七三  
一冊

A一二七四  
一冊

A一二七五  
四冊

二九丁四卷二九丁)

## 清水物語二卷

朝山素心(意林庵)著

〔寛永十五年(一六三八)十月洛陽敦賀屋久兵衛刊〕後印 闕卷下 外寸「二六・九×一八・八」(無匡郭。一一行。句點訓點付。三四丁。三四〇二番のツレ)

## 辯慶茂廼雅多理

〔江戸中期〕寫 外寸「二六・五×一九・五」 印記「澁柿園」〔澁柿園藏〕(墨書) (書名は書外題による。一一行。七一丁半。見返の山岸氏識語「弁慶物語一册塚原澁柿旧藏本也」)

## 八幡宮大菩薩御縁起

〔江戸中期〕寫 外寸「三四・八」 (書外題「八幡宮御縁記」 漢字片假名。彩色繪入)

## 鉢かつき物語

櫻川慈悲成作

〔江戸後期〕寫 外寸「三三・八×一六・七」 印記「俊雄」〔金子郷蓮花王院納所〕 (九行。二六丁)

## 和歌四十二の物あらそひ二卷

〔江戸〕大傳馬町 鱗形屋 〔江戸前期〕刊 外寸「一六・一×一一・三」 (單邊。無界。一二行。白口。無魚尾。内匡郭「一三・一×九・二」 繪入。上一六丁下一三丁)

## 忍寢物語

〔室町末江戸初期〕寫 外寸「二五・八×一八・八」 印記「市村藏書」 (書名は書外題による。一〇行。八六丁。山

A 一二七六

二册

A 一二七七

一册

A 一二七八

卷子本二卷

A 一二七九

一册

A 一二八〇

二册

A 一二八一

岸氏識語「志能比祢物語」一卷古寫本 右與丹鶴叢書本略同、但有弓尔平者之異同矣」

### きのふはけふの物語

〔江戸初期〕木活字印本 外寸「二五・二×一七・四糎」 印記「平出氏書室記」〔平出鏗二郎〕（無匡郭。一一行一九字。  
二七丁。識語「明治廿四年三月十二日讀了□□戸ことね」〔朱書〕 山岸氏識語「吉澤本」

### 天狗の内裏

〔江戸後期〕寫 外寸「二三・五×一六・一糎」 （八行。二八丁）

### 富士野雙紙

〔江戸後期〕寫 外寸「二四・九×一六・八糎」 印記「古意」 （二〇行。三二丁）

### 阿彌陀之御本地五卷

寛政七年（一七九五）七月野津與助寫 外寸「二六・二×一八・八糎」 印記「ヲホエ新屋」 （卷尾題「南無安妙地佛」  
九行。句點付。一卷一二丁半二卷一二裏至三三丁三卷二四至三三丁四卷三四至四四丁半五卷四五裏至五二丁）

### 熊野本地 御水殿

〔江戸中期〕寫 外寸「二三・七×一六・六糎」 （書名は書外題による。八行。三〇丁）

### しやかの御本地 存卷中

〔江戸中期〕寫 外寸「二三・八×一六・六糎」 （一五行。繪入。一三丁）

一册

A一二八一

一册（貴重書庫室）

A一二八三

一册

A一二八四

一册

A一二八五

一册

A一二八六

一册

A一二八七

一册

八幡の御本地三卷

文化十三年（一八一六）十二月野津彌一郎寫 外寸「二六・五×一八・八糎」 印記「ヲホエ新屋」（書外題「八幡宮御本地」 九行。句點付。上八丁中一〇丁下一七丁）

高賀三郎頼方傳記

明和四年（一七六七）二月小澤氏寫 外寸「二六・八×一八・五糎」 （書名は書外題による。 八行。 四二丁）

熊谷道行

天保八年（一八三七）寫 外寸「二七・八×二〇・二糎」 （九行。 三三丁。 識語「惡筆書寫申候 天保八酉年越後國頸城郡保倉谷板山村小山氏吉育右衛門寫」）

酒典童子物語三卷

安政四年（一八五七）八月寫 外寸「二七×一九・五糎」 印記「山吉文庫」（書名は書外題による。 八行。 句點付。 上一五丁中一五丁下二〇丁。 識語「安政四丁巳年七月江戸澤瀉屋清次郎所送也八月朔寫之：榎廼舍主人書」）

酒顛童子退治記二卷

〔江戸中期〕寫 外寸「二八・五×二二糎」 （八行。 乾三〇丁坤二二丁。 識語「法界散人七拾歳誌置」）

富士山人穴由來

嘉永五年（一八五二）九月寫 外寸「二四・二×一六・六糎」 印記「正若小瀧」「小瀧氏」（墨書）（見返「富士山人穴不思儀之由來」 九行。 二七丁）

富士之人穴物語之書

一册	A 一二八八
一册	A 一二八九
一册	A 一二九〇
一册	A 一二九一
一册	A 一二九二
一册	A 一二九三



天保五年（一八三四）寫 外寸「二七×一六・四糎」 「南山本村今井千代松持主」（墨書）（八行。三六丁）

## 富士能人穴

天保四年（一八三三）二月保倉谷板山村庄屋虎吉寫 外寸「二七・八×二〇糎」 （九行。三二丁）

## 富士人穴由來記五卷

〔江戸末寫 外寸「二七×一八・五糎」 （八行。訓點付。一卷六丁二卷九丁三卷七丁四卷六丁五卷七丁）

## 富士人穴由來記二卷

慶應四年（一八六八）二月芦舟寫 外寸「二八・二×一九・六糎」 （假綴。一二行。全一六丁）

## 新なぞつくし

〔昭和前期〕複製 外寸「一九×一三・六糎」 印記「飯塚文庫」 （題簽「新板なぞつくし」 單邊。無界。一二行。内匡郭「一六×一二・二糎」 上文下圖の全相本。五丁）

## 淨瑠璃姫

〔江戸後期〕寫 外寸「一九・二×一三・四糎」 （書名は書外題による。八行。一七丁。朱筆の書き入れあり）

## 男色狐敵討二卷

大阪 江戸藝術社 昭和三十二年（一九五七）七月複製 外寸「一八・一×一二・七糎」 （單邊。無界。内匡郭「一五・七

A 一二九四  
一册

A 一二九五  
一册

A 一二九六  
一册

A 一二九七  
一册

A 一二九八  
一册

A 一二九九  
一册

A 一三〇〇

×一一・八糎」 上五丁下六至一〇丁。底本「寶曆六年刊本」 別冊「黒本男色狐敵討(解題・繙刻)」六頁

廿三問答

釋夢窓疎石著

〔江戸〕 松會 萬治二年(一六五九)五月刊 外寸「二七・四×一八・八糎」(單邊。無界。一四行。白口。無魚尾。  
内匡郭「三・七×一六糎」 句點付。一三丁)

A 一三〇一

一冊

二冊・別冊解題一冊

くわんがくゐん物語二卷

東京 米山堂 昭和五年(一九三〇)七月複製 外寸「二八・四×一九・八糎」 印記「北游亭藏」(稀書複製會叢書之  
一)。題簽「糸入勸學院物語」 單邊。無界。一五行。内匡郭「三・三×一六・四糎」 句點付。繪入。上九丁下九丁。  
底本「寛文九年三月刊本」

A 一三〇二

二冊

鹿野武左衛門口傳はなし三卷

鹿野武左衛門作 菱川師宣畫

東京 米山堂 昭和二年(一九二七)五月複製 原闕卷中 外寸「二八・二×一九・七糎」 印記「大野氏藏書」(稀  
書複製會叢書之一)。書名は題簽による。卷頭「鹿野武左衛門口傳はなし」 單邊。無界。一四行。内匡郭「二・八×  
一六・五糎」 繪入。上一五丁下三〇至四一丁。底本「大傳馬三町目鱗形屋刊本」

A 一三〇三

二冊

あつまかがみ三代將軍 存卷第三

〔昭和期〕影印 外寸「一九・三×一三・四糎」(卷尾「東鑑三代將軍」 單邊。無界。一七行。内匡郭「二六・二×  
一一・八糎」 繪入。一二丁。底本「うろこ形や孫兵衛刊本」

A 一三〇四

一冊

新撰和哥論語二卷

徳富猪一郎編

東京 民友社 昭和六年(一九三二)九月影印 原闕卷上第一九丁以下・卷下一至八丁 外寸「二六・五×一八・二糎」

A 一三〇五

一冊

〔新成實堂叢書第三冊。單邊。無界。九行。内匡郭「二〇・九×一五・四糎」繪入。上一八丁下七丁。底本「元祿三年三月武陽城北平野屋吉兵衛刊本」附「新撰和歌論語」笹川臨風著、活版、二丁〕

## 酒天童子物語

〔江戸中期〕寫 外寸「二四・六糎」 印記「若王藏」 （書名は書外題による）

## 大江山繪詞二卷

〔江戸中期〕寫 關卷下 外寸「二五・五糎」 （書名は書外題による。裂裝。彩色繪入）

## 古今集童蒙抄 存卷下

〔江戸中期〕寫 外寸「二六・五糎」 「資直」（墨書）（裂裝。奥書「右後成恩寺禪定殿下御鈔也最可深祕矣 從三位藤資直（花押）」裏面に印縫あり。山岸氏識語「古今集童蒙抄下 上卷既歛落者也古今祕抄九條本与類從本之中間歟可有書写之誤脱歟」

## 古今和歌集 存卷第一春上

〔江戸中期〕寫 外寸「二五・八糎」 （卷頭に平田墨梅の極札あり）

## 陰陽雜記繪詞卷二卷

〔明治期〕寫 外寸「二〇・八糎」 （書名は書外題による。彩色略畫入。奥書「写本云此付喪神上下二卷之繪卷書寫畢 詞書者僧義拙書之 寛文六年月日（葉室前大納言頼業）」外題わきに「寛文六年月日葉室前大納言頼業公略畫」と墨書あり）

A 一三〇六  
卷子本一卷

A 一三〇七  
卷子本一卷

A 一三〇八  
卷子本一卷

A 一三〇九  
卷子本一卷

A 一三一〇  
卷子本一卷

文祿四年霜月十二日懷舊之連歌

〔江戸前期〕寫 外寸「一・八・五厘」  
（牙軸端、裂裝、金銀泥草花文樣料紙使用）

佐久羅物語十卷

〔昭和八年（一九三三）複製 外寸二五・五×一七・六釐〕（書名は書外題による。無匡郭。一〇行。句點付。繪入。一卷四九丁二卷二七丁三卷三七丁四卷三一丁五卷四〇丁六卷四四丁七卷四〇丁八卷四三丁九卷四三丁。一〇卷上三六丁下二二丁）

女郎花物語二卷

〔北村季吟著〕

〔江戸後期〕寫 外寸「一九×二三・五糎」(九行。上三五丁下三〇丁)

# 樵夫問答

冷泉爲村著

寶曆十一年（一七六）九月釋祐常寫 外寸「二〇×一四釐」 印記「三井寺山内圓滿院」（書名は書外題による。九  
行。二九丁。識語「右一冊号樵夫問答歟民部卿爲村以述作也從武君令借寫畢 寶曆十一辛巳歲九月十日十一日十二  
日三ヶ日書寫之 前大僧正祐常誌」）

にせものかたり

〔烏丸光廣著〕

東京 梅園 明治三年（一八六九）木活字印 外寸「二・五×一・五・三」釐（叢書五十種之一。單邊。無界。一〇行。內匡郭「一九・三×一三・三」釐） 九丁。「明治二年新春發兌目錄 東京本町四丁目 上州屋惣七」半丁）

## 因果物語三卷

卷子本一卷	A 一 三 二 一
-------	-----------------------

一	A
一	一
册	三
	一
	一

一册	A
	一
	三
	一
	三
	三

一册 A  
一  
三  
一  
四

一册 A  
一  
三  
一  
五

釋義雲・雲歩同撰

京東六條下珠數屋町 丁子屋九郎右衛門〔寛文二年（一六六二）刊〕後印 外寸「二五・五×一八・二厘」（單邊。無界。一二行。下黒口。雙魚尾。内匡郭「二〇・八×一五・六厘」 漢字片假名句點付。上二六丁中二七丁下二五丁）

西要抄二卷

釋證賢著

〔江戸前期〕刊 外寸「二六・五×二〇厘」（單邊。無界。九行。白口。雙花口魚尾。内匡郭「二〇・七×一八・一厘」 句點訓點付。上二八丁下二七丁）

石山寺緣起一卷〔石記〕一卷肥前國風土記一卷奥の橘一卷

石山釋宥應作 奥太同樓維休著

〔江戸後期〕寫 外寸「二四・五×一七・九厘」 印記「天賜園」「紅梅文庫」（前田善子）（九至一一行。石山寺二七丁〔石記〕一四丁肥前二六丁奥の橘三三丁）

中將姫行狀記七卷

釋致敬編

大坂本町 毛利田庄太郎 享保十五年（一七三〇）三月刊 外寸「二六・五×一八・五厘」 印記「北弓谷藏」（題簽「勸化資補中將姫行狀記」 單邊。無界。一一行。内匡郭「二〇・三×一四・八厘」 漢字片假名。一卷一八丁二卷三三丁三卷二二丁四卷三〇丁五卷二〇丁六卷一九丁七卷二二丁）

〔小野川谷風角力物語〕一卷筑前庄乃浦仙女物語一卷

小成嶋仙藏峯雄著 筑岡部久伯（梅山亭）著

〔寛政頃〕寫 外寸「二三・七×一六・五厘」 印記「安藤文庫」（小野川谷風角力物語）の書名は表紙墨書による。書外題「古今雜簿 角力仙女」 小野三三丁筑前一〇丁。安藤正享の識語あり）

A 一三二六

一册

A 一三一七

一册

A 一三二八

一册

A 一三二九

七册

A 一三三〇

一册

江戸紫眞實録

〔江戸末〕寫 外寸「二・八×一六・五糎」 印記「池田藏書」「琴亭藏書」「深憩堂」「青龜」 (一〇行。三三丁)

A 一三二一  
一册

佐倉夢物語

文久三年(一八六三)八月世古義敬寫 外寸「二四・五×一七糎」 印記「迎見亭」 (九行。二五丁)

A 一三三一  
一册

尾畑村山吹猫物語三卷

〔江戸後期〕寫 外寸「二七×一七・八糎」 〔弘化三年丙午歲九月中旬求之中山氏藏〕(墨書) (一〇行。二九丁)

A 一三三三  
一册

花郭公月雪物語

文政八年(一八一五)義方寫 外寸「二六・七×一九・二糎」 印記「柏原之印」「神原家圖書記」(神原甚造)「岡野氏文庫」  
〔岡栳〕「米齋中之右圖左史」(久保田米齋) (書外題「柴の戸物語」 一〇行。二四丁。識語「右一册早川前友ぬしのもとよりかりもとめ写置ぬ 文政八酉乃祝月日義方記之」)

A 一三三四  
一册

繪本曾我物語

長尾佐太郎著

大阪 文成堂長尾佐太郎 明治二十七年(一八九四)五月銅版印本 外寸「二七・三×一一・八糎」 (書名は見返による。題簽「繪本實録曾我物語」 單邊。無界。一六行。内匡郭「一四・八×九・九糎」 繪入。一二丁)

A 一三三五  
一册

曾我物語十卷

近藤瓶城校

東京 近藤圭造 明治十八年(一八八五)十月活版 外寸「一九・七×一二・三糎」 印記「近藤氏藏」 (存採叢書之一。)

A 一三三六  
三册

一一行

標註異本曾我物語十卷

生田目經德註釋

東京 誠之堂書店〔明治三十七年一月活版〕明治四十一年（一九〇八）四月後印 外寸「二三×一四・六糎」 印記「林文庫印」（二七四頁）

曾我實記

貝原益軒著

〔江戸〕日本橋通四丁目 まつさかや 〔江戸末〕刊 積玉堂梓 外寸「一九・五×一三・二糎」（書名は題簽による。單邊。無界。一三行。内匡郭「一七・一×一二・二糎」 繪入。二二丁）

曾我物語十二卷

洛陽三條寺町 安田十兵衛尉 寛永四年（一六二七）六月刊 外寸「二七・六×一八・四糎」（無匡郭。一二行。句點付。一卷五四丁二卷三四丁三卷三〇丁四卷三七丁五卷四八丁六卷三四丁七卷三七丁八卷三七丁九卷三四丁一〇卷二四丁一一卷二二丁一二卷二二丁）

曾我物語十二卷

寛文十一年（一六七二）九月刊 關卷第一第六 外寸「二六・九×一九・一糎」 印記「金子氏之藏書」（題簽「新板曾我物語」 單邊。無界。一五行。白口。無魚尾。内匡郭「二×一六・八糎」 句點付。繪入。二卷三三丁三卷「三三丁四卷二八丁五卷三六丁七卷三二丁八卷三三丁九卷二九丁一〇卷二〇丁一一卷一七丁一二卷一七丁。卷二見返に山岸氏識語あり）

曾我物語五卷

京師 躍鯉堂 元祿五年（一六九二）一月刊 外寸「二五・三×一七・九糎」 印記「館林藏書」「内藤藏書」（目次首「曾

A 一三二七

一册

A 一三二八

一册

A 一三二九

五册

A 一三三〇

一〇册

A 一三三一

我物語「題簽」根元曾我物語」 單邊。無界。一一行。白口。無魚尾。内匡郭「三二×一五・七糎」 漢字片假名。一卷  
二〇丁二卷三三丁三卷一九丁四卷二二丁五卷三三丁

## 曾我復讐記大全二卷

〔江戸後期〕寫 外寸「二五×一七・四糎」 (一四行。漢字片假名。上五三丁下五〇丁。上册見返に恵比壽の圖版あり)

A 一三三二  
二册

## 曾我物語評判十五卷序目一卷

馬場信意(玄隆)評註

京師 金屋平右衛門・二條通 田井利兵衛・武城 通本石町十軒店 古川進七郎 正徳六年(一七一六)四月刊 外  
寸「二五・三×一七・九糎」 (單邊。無界。一一行。内匡郭「二一・九×一五・七糎」 漢字片假名付)

A 一三三三  
一五册

## 曾我物語十卷

〔江戸後期〕寫 外寸「二四・五×一七・一糎」 印記「千葉文庫」「月明莊」(反町茂雄) (一一行。一卷三二丁二卷一六  
丁三卷一五丁四卷一二丁五卷一四丁六卷一六丁七卷九丁八卷一二丁九卷三三丁一〇卷一六丁。表紙右肩に「大石寺  
本」と墨書あり)

A 一三三四  
五册

## 曾我物語十二卷

〔寛永頃〕刊 外寸「二七・九×一九・一糎」 (單邊。無界。一二行。白口。無魚尾。内匡郭「二一・八×一六・七糎」  
句點付。一卷五二丁二卷三四丁三卷三〇丁四卷三五丁五卷四七丁六卷三三丁七卷三六丁八卷三七丁九卷三三丁一〇  
卷二四丁一一卷二〇丁一二卷二二丁)

A 一三三五  
一二册

## 曾我物語十二卷

〔江戸前期刊〕後印 外寸「二六・八×一九・二糎」 (單邊。無界。一二行。白口。無魚尾。内匡郭「二一・八×一六・七  
糎」 句點付。繪入。一卷五二丁二卷三八丁三卷三〇丁四卷三五丁五卷四七丁六卷三三丁七卷三六丁八卷三七丁九

A 一三三六  
一二册(合綴六册)



卷三三丁一〇卷二四丁一一卷二〇丁一二卷二二丁。與A一三三五番本文同版。但し卷二に錯簡あり。山岸氏識語「用寛永版入畫者也合綴爲六冊云云」

延寶元祿曾我物語二卷

〔寛政六年（一七九四）九月〕寫 外寸「二七・六×一七・三」 〔小見井中町中泉宜貞「北見氏」喜多見氏〕（墨書）  
〔題簽「曾我物語目錄」 一〇行。上三三丁下三三丁。山岸氏識語「題簽曰曾我物語目錄者誤記乎見第一枚表記者也」〕

繪本曾我物語

〔江戸末〕刊 外寸「三・三×一五・四」 〔吉岡〕（墨書）（書名は題簽による。單邊。無界。一三行。白口。單魚尾。  
内匡郭「一七・二×一二・二」 繪入。二二丁）

繪本曾我物語十卷

法橋中和畫

皇都寺町通 菱屋治兵衛等 享和三年（一八〇三）刊 闕卷第七 外寸「二・五×一五・八」 印記「越後三條大町  
扇屋」（單邊。無界。一行。内匡郭「二七・九×二三・二」 訓點付。繪入。一卷二三丁二卷二三丁三卷二三丁四  
卷二六丁五卷二五丁六卷二三丁八卷二七丁九卷二六丁一〇卷二八丁。識語「大正五年八月内野町藤田家藏本を受領  
す 山岸生」

曾我物語繪卷二卷

〔江戸後期〕寫 外寸「三・八×一七・五」 〔原書外題「富士卷狩」 假綴。一〇行。上一七丁下一五丁。卷末に「萬  
治庚子孟秋日勝田陽溪圖之」とあり。山岸氏識語「曾我物語繪卷の詞」卷二〕

曾我物語十二卷

〔江戸中期〕寫 外寸「二五・五×一九・二」 〔九行。一卷七三丁二卷五〇丁三卷四三丁四卷五一丁五卷五七丁六卷  
三四丁七卷五〇丁八卷五七丁九卷四八丁一〇卷三三丁一一卷三〇丁一二卷三二丁。朱筆の書き入れあり〕

A 一三三七

一冊

A 一三三八

一冊

A 一三三九

九冊

A 一三四〇

二冊

A 一三四一

一二冊

日本靈異記三卷

釋景戒著

京六角通御幸町 茨木多左衛門 正徳四年（二七四）刊 外寸「二・五×一六・一糎」 印記「櫻戸文庫」「椎本文庫」  
（橘守部）（卷三）卷尾「日本國現報善惡靈異記」 單邊。無界。一〇行。内匡郭「一九・六×一四・三糎」 漢字片假名。  
一卷二二丁二卷三〇丁三卷一九丁

日本國現報善惡靈異記三卷

釋景戒著 塙保己一校

〔江戸末〕刊 外寸「二六×一七・七糎」 印記「源明」「精癡居祕笈印」 （群書類從卷第四百四十七雜部二。無匡郭。  
一〇行。訓點付。上三七丁中四五丁下五一丁）

撰集抄九卷

釋西行著

〔京都〕 澤田庄左衛門 〔慶安三年（一六五〇）刊〕後印 關卷第六第七 外寸「二五・四×一八・二糎」 印記「荻廬屋  
記」 （單邊。無界。一一行。白口。内匡郭「二〇・九×一六・三糎」 句點傍訓付。一卷四二丁二卷二〇丁三卷三三丁  
四卷四二丁五卷二七丁八卷二〇丁九卷三六丁。與A一三四五番同版）

又

京都 澤田庄左衛門 慶安三年（一六五〇）刊 外寸「二七×一八糎」

撰集抄九卷

釋西行著

京都 村上平樂寺 慶安四年（一六五二）九月校刊 外寸「二七×一八・三糎」 印記「北越水原雪見庵」 （題簽「清書

A一三四二

三册

A一三四三

一册

A一三四四

四册

A一三四五

九册

A一三四六

九册

新板撰集抄」單邊。無界。一一行。白口。内匡郭「二・二×一六・三厘」句點傍訓付。一卷四二丁二卷二四丁三卷一九丁四卷二四丁五卷二八丁六卷四一丁七卷三二丁八卷三六丁九卷三四丁。山岸氏識語あり

撰集抄九卷

釋西行著

〔江戸後期〕寫 外寸「二六・八×一九・二厘」〔書外題「舊本撰集抄」〕一一行。一卷二二丁二卷二二丁三卷二六丁四卷一四丁五卷一七丁六卷一二丁七卷一八丁八卷五丁九卷一二丁。山岸氏識語「撰集抄木活字第二種本影写之本也」

寶物集三卷

釋性照（平康頼）著

〔京都〕高橋清兵衛 寛文元年（二六六）八月刊 外寸「二六・六×一八・二厘」〔單邊。無界。一一行。白口。内匡郭「二・三×一六・五厘」〕上三〇丁中二六丁下三二丁

寶物集三卷

釋性照（平康頼）著

〔江戸前期刊〕後印 外寸「二五・七×一八・四厘」印記「硯湖祕笈」（佐藤硯湖）「不許出門了蓮寺藏書」（與A一三四八番同版。但し刊記を削去。下卷末に「寛永二十年九月吉辰竹本佐左衛門刊本」の卷頭及び刊記部分を影寫して綴じ込み、山岸氏識語「寛永廿年整版本稀觀本也以長友氏本影写者也 三卷合綴爲一冊矣」とあり）

寶物集七卷

釋性照（平康頼）著

洛城 栗山宇兵衛・高橋清兵衛 元祿六年（二六九）刊 外寸「二七・六×一七・五厘」〔嘉永三戌年六月日求之願主宗道（墨書）（單邊。無界。九行。下黒口。無魚尾。内匡郭「一九・九×一三・九厘」〕漢字片假名傍訓付。一卷三五丁二卷五〇丁三卷四〇丁四卷三四丁五卷三六丁六卷二二丁七卷四六丁。寫工「時齋」

A一三四七  
一冊

A一三四八  
三冊

A一三四九  
三冊

A一三五〇  
七冊

## 十訓抄十二卷

攝陽 磯野氏〔江戸前期刊〕享保六年（一七二二）後印 外寸「三・一六・一〇」 印記「天游位圖書記」「至誠堂藏書印」「日尾荆山」（單邊。無界。一〇行。内匡郭「一・八・四×一・三・二」） 繪入。一卷二八丁二卷三〇丁三卷三三丁四卷二二丁五卷一七丁六卷二〇丁七卷二五丁八卷三三丁九卷三三丁一〇卷一九丁一一卷三三丁一二卷三〇丁）

## 發心集 存卷第一

鴨長明著

〔江戸前期〕刊 外寸「二・六×一・八・六」 印記「白蓮子藏本」「平塚藏書」（平塚運一）「春日岡山神庫藏本」（春日大社）（單邊。無界。一一行。白口。線魚尾。内匡郭「二・〇・七×一・五・六」） 繪入。三三丁）

## 和歌故事談

〔江戸後期〕寫 外寸「三・六×一・六」 （一〇行。二九丁）

## 古事談六卷

源顯兼著

〔江戸中期〕寫 外寸「二・六・五×一・九・九」 印記「信成之印」「伊藤」「崎房文庫」「秋葉義之印」「下總崎房秋葉孫兵衛藏書」（秋葉義之）（一〇行。漢字片假名。一卷三八丁二卷二八丁三卷四四丁四卷一六丁五卷二四丁六卷二六丁）

## 續古事談六卷

源顯兼著

〔江戸後期〕寫 闕卷第三 外寸「二・七・四×一・九・五」 印記「高橋藏書」「秋葉義之印」「下總崎房秋葉孫兵衛藏書」（秋葉義之）（一二行。一卷一八丁二卷三〇丁四卷一六丁五卷二四丁六卷二二丁）

## 古今著聞集二十卷

A 一三五  
一  
五册

A 一三五  
一  
一册

A 一三五  
三  
一册

A 一三五  
四  
三册

A 一三五  
五  
二册

橘成季著

〔大阪〕心齋橋筋順慶町 河内屋茂八・柏原屋清右衛門 〔元祿三年一月刊〕明和七年（一七七〇）三月後印 外寸  
「二・八×一六糎」 印記「藤邨藏書」 〔單邊。無界。一〇行。白口。無魚尾。内匡郭「一六・四×一三糎」 訓點付。  
一卷二四丁二卷四四丁三卷一五丁四卷一八丁五卷六四丁六卷四〇丁七卷一四丁八卷三〇丁九卷一八丁一〇卷二六丁  
一一卷二七丁一二卷三三丁一三卷一九丁一四卷九丁一五卷二四丁一六卷五四丁一七卷二五丁一八卷一八丁一九卷  
二二丁二〇卷四二丁）

## 古今著聞集二十卷

橘成季著

〔江戸後期〕寫 外寸「二七・八×二〇糎」 印記「緣山北溪義俊藏書」 〔門外不出三緣山三中溪清涼室藏〕（増上寺）（藏  
書票） 〔一一行。一卷二二丁二卷四二丁三卷一四丁四卷一六丁五卷五三丁六卷三五丁七卷一三丁八卷二五丁九卷  
一五丁一〇卷二二丁一一卷三三丁一二卷二九丁一三卷一七丁一四卷七丁一五卷二〇丁一六卷四五丁一七卷二〇丁  
一八卷二四丁一九卷一八丁二〇卷三四丁。墨筆朱筆の書き入れあり）

## 沙石集十卷

釋無住（道曉一圓）著

〔京都〕 吉野屋徳兵衛 〔江戸前期刊〕天和三年（一六八三）閏五月後印 外寸「二五・四×一七・二糎」 印記「嶋氏書  
記」 「廿日市正蓮寺」〔墨書〕 〔單邊。無界。一一行。白口。無魚尾。内匡郭「二・一×一五・一糎」 句點傍訓付。  
一卷上二二丁下二七丁。二卷上三二丁下二五丁。三卷上二六丁下二五丁。四卷上二三丁下二八丁。五卷上三二丁下  
三三丁。六卷上二五丁下三三丁。七卷上三二丁下三〇丁。八卷上二五丁下二三丁。九卷上二八丁下二八丁。一〇卷  
上一五丁下一九丁）

## 沙石集十卷

釋無住（道曉一圓）著

A一三五六

二〇冊

A一三五七

五冊

A一三五八

一〇冊

A一三五九

〔京都〕白山通三條上町 小嶋彌三右衛門 貞享三年（一六八六）閏三月刊 外寸「二七・一×一九・五糎」〔單邊。無界。一三行。白口。雙魚尾。内匡郭「二・二×一七・一糎」漢字片假名句點傍訓付。一卷二九丁二卷三四丁三卷三三丁四卷三三丁五卷四〇丁六卷三五丁七卷三五丁八卷二八丁九卷三三丁一〇卷二〇丁。書き入れあり〕

## 沙石集 存卷第一至三第九

釋無住（道曉一圓）著

〔江戸前期刊〕後印 外寸「二七・四×一七・六糎」〔四周雙邊。無界。一一行。上下中黒口。雙魚尾。内匡郭「二・三×一四・六糎」漢字片假名句點傍訓付。一卷三三丁二卷四〇丁三卷三八丁九卷三九丁〕

## 沙石集十卷

釋無住（道曉一圓）著

〔京都〕室町通鯉山町 小嶋彌左衛門 〔江戸前期刊〕正保四年（一六四七）後印 外寸「二八×一八・一糎」印記「吉澤文庫〔吉澤義則〕〔木村定右衛門持主〕〔義則〕〔墨書〕〔四周雙邊。無界。一一行。上下中黒口。雙魚尾。内匡郭「二・三×一四・六糎」漢字片假名句點傍訓付。一卷三三丁二卷四〇丁三卷三八丁四卷三八丁五卷四九丁六卷四二丁七卷四一丁八卷三三丁九卷三九丁一〇卷二四丁。與A一三六〇番卷第一至三第九同版〕

## 沙石集十卷

釋無住（道曉一圓）著

〔京都〕小嶋彌三右衛門 貞享三年（一六八六）閏三月刊 外寸「二五・七×一八・七糎」〔單邊。無界。一三行。白口。雙魚尾。内匡郭「二・二×一七・一糎」漢字片假名句點傍訓付。一卷二九丁二卷三四丁三卷三三丁四卷三三丁五卷四〇丁六卷三五丁七卷三五丁八卷二八丁九卷三三丁一〇卷二四丁。與A一三五九番卷第一至第九同版。A一三六一番卷第一〇同版本（正保四年刊本）補配。各卷末に「享保十乙巳歲十月十四日寂 本是院玄諦日審納之」の黒印あり〕

## 沙石集 存卷第一第二

釋無住（道曉一圓）著

一〇冊

A一三六〇

四冊

A一三六一

一〇冊

A一三六一

一〇冊（合綴五冊）

A一三六三

〔江戸前期〕刊 外寸「二六・五×一八・九糎」 印記「提禪」「須藤文庫」〔單邊。無界。一二行。上下中黒口。雙花口魚尾。内匡郭「二・七×一七・二糎」 漢字片假名句點傍訓付。一卷上二丁下一九丁。二卷上二丁下一六丁〕

## 沙石集畧抄

〔江戸後期〕刊 外寸「二六・四×一八・二糎」 印記「龍善藏」〔四周雙邊。無界。一一行。下黒口。無魚尾。内匡郭「二・〇・三×一四・八糎」 漢字片假名傍訓付。三七丁。序文末「文化十二乙亥ノ冬 嶺南窟無所著老僧誌」〕

## 雜談集十卷

釋無住（道曉一圓）著

〔京都〕要法寺門前 堤六左衛門 寛永二十一年（一六四四）七月刊 外寸「二六・五×一九・二糎」 印記「高嶋今津鳥來堂書林」〔單邊。無界。一二行。白口。雙魚尾。内匡郭「二・五×一七糎」 漢字片假名傍訓付。一卷二六丁二卷二七丁三卷二二丁四卷二二丁五卷二四丁六卷一六丁七卷一八丁八卷一三丁九卷二三丁一〇卷二二丁〕

## 續沙石集六卷

釋南溟著

皇都寺町通五條橋詰町 藤屋武兵衛 延享元年（一七四四）八月刊 外寸「二六×一七・九糎」〔單邊。無界。一〇行。内匡郭「二・〇×一四・九糎」 漢字片假名傍訓付。一卷二二丁二卷二〇丁三卷一七丁四卷二二丁半。五卷上一四丁半下一五丁半。六卷二三丁〕

## 新續著聞集十卷

〔江戸後期〕寫 關卷第一第二 外寸「二六・七×一九糎」 印記「櫻」〔一〇行。三卷二五丁四卷二五丁五卷三六丁六卷二八丁七卷二六丁八卷三三丁九卷三四丁一〇卷二四丁〕

## 猿著聞集五卷

八島定岡（嶽亭）著

一册

A 一三六四  
一册

A 一三六五  
五册

A 一三六六  
七册

A 一三六七  
八册

A 一三六八

大阪 前川善兵衛 (文化十二年刊)明治期後印 文榮堂藏板 外寸「二四・七×一七・五糎」印記「巖松堂古典部波多埜拔斯書」(波多野重太郎) (單邊。無界。一〇行。内匡郭「二八・六×二二・八糎」 一卷二丁二卷二丁三卷一九丁四卷一八丁五卷二丁)

眞言曠石集四卷

釋蓮體編

大坂北御堂前 毛利田庄太郎 (元祿六年(一六九三)一月京中河喜兵衛・大坂毛利田庄太郎刊)後印 外寸「二五・八×一八・四糎」印記「米澤大町大和屋本園渡部氏藏書」 「益田」(墨書) (序文首「曠石集」 四周雙邊。無界。一二行。下大黒口。單魚尾。内匡郭「二〇・三×一四・八糎」 漢字片假名句點傍訓付。一卷五五丁二卷五七丁。三卷本三二丁末三三丁。四卷本三六丁末三五丁。原刊記の「京富小路佛光寺上ル 中河喜兵衛」を削去。付「勸化必讀說法因緣集」の書簡)

眞言曠石集 存卷第四末

釋蓮體編

京富小路 中河喜兵衛・大坂北御堂前 毛利田庄太郎 元祿六年(一六九三)一月刊 外寸「二六・二×一八・三糎」 「清順右衛門」(墨書) (書名は版心による。卷頭「曠石集」 四周雙邊。無界。一二行。下大黒口。單魚尾。内匡郭「一九・九×一五糎」 漢字片假名傍訓付。三五丁)

續曠石集二卷

釋蓮體著

浪華本町御堂前 毛利田庄太郎・高麗橋壹町目 淺野彌兵衛 (享保十二年(一七二七)刊)後印 外寸「二六・三×一八・二糎」印記「志信之印」「明賢」 (四周雙邊。無界。一行。内匡郭「二〇×一四・五糎」 漢字片假名句點傍訓付。上本三九丁末四七丁。下本三二丁末四二丁)

本朝俗諺志五卷

五册

A 一三六九

六册

A 一三七〇

一册

A 一三七一

六册



菊岡沾涼(米山翁)著

延享三年(一七四〇)跋刊 外寸「三・六×一五・四糎」 「肥後隈本府中村直道家藏」(墨書) (單邊。無界。一一行。  
内匡郭「二七・七×一三・七糎」 繪入。一卷二〇丁二卷二〇丁三卷二〇丁四卷二〇丁五卷二〇丁)

### 說法因緣集三卷

〔江戸後期〕刊 外寸「二・五×一六糎」 (題簽「勸化說法因緣集」 四周雙邊。無界。一一行。下大黑口。單魚尾。  
内匡郭「一九・八×一三・三糎」 漢字片假名句點傍訓付。上四五丁中四〇丁下四八丁。書き入れあり)

### 合類大因緣要文後集十二卷

〔京都〕小森〔善左衛門〕 元祿五年(一六九二)刊 外寸「二五・三×一八・七糎」 (題簽「要文合類說法續因緣集」  
單邊。無界。一〇行。上下黑口。雙魚尾。内匡郭「二一・六×一七・一糎」 漢字頭注訓點付。一卷三三丁二卷三五丁  
三卷一六丁四卷二〇丁五卷二五丁六卷一六丁七卷一七丁八卷三三丁九卷一九丁一〇卷一九丁一一卷一六丁一二卷  
二〇丁)

### 合類大因緣集十二卷

花洛五條坊 小森善左衛門・清水九郎右衛門 貞享三年(一六八六)一月刊 外寸「二六・五×一九糎」 (單邊。無界。  
一一行。上下大黑口。雙魚尾。内匡郭「二一・八×一七・二糎」 漢字片假名頭注傍訓付。一卷三四丁二卷二九丁三卷  
二八丁四卷二二丁五卷二四丁六卷一四丁七卷二二丁八卷二二丁九卷二六丁一〇卷三〇丁一一卷二二丁一二卷二二  
丁。A 一三七四番の前集に相當)

### 歸命本願抄二卷西要抄二卷父子相迎二卷

釋隆堯著

天保八年(一八三七)三月跋刊 臺麓荷香庵藏板 外寸「一八・三×一二・四糎」 「梅辻所持」(朱書) (書外題「糸入三  
部假名抄」 無匡郭。一〇行。句點傍訓付。歸命上四四丁下四五至六二丁。西要上二四丁下二五至四八丁。父子上  
二二丁下二三至三七丁)

A 一三七二

一册

A 一三三三

三册

A 一三七四

一二册

A 一三七五

一二册(合綴二册)

A 一三七六

一册

中山觀音夢物語五卷一名八尾通夜物語後編

岡本一樂子著

〔江戸中期〕刊 外寸「二・五×一五・五糎」 「百足山望書堂北脇治右衛門紹滿」〔朱書〕（單邊。無界。一〇行。白口。無魚尾。内匡郭「一八・五×一三・七糎」 句點傍訓付。一卷二六丁二卷一三丁三卷一七丁半四卷一五丁五卷一四丁）

夜話聞問集

東柯亭著

寶曆四年（一七五四）自序寫 外寸「三・二×一六・六糎」 （書名は書外題による。一〇行。二四丁。山岸氏識語「夜話聞問集一册東柯亭未知何人余先年求之今茲製本者也」）

神風記五卷

匹田以正著

京都 錢屋義兵衛 〔寛文八年（一六六八）自序刊〕後印 外寸「二七・六×一八・七糎」 印記「庄内酒田小曾」 「齋藤高大夫」〔墨書〕（無匡郭。無界。一〇行。句點付。一卷二九丁二卷二〇丁三卷二〇丁四卷一九丁五卷二〇丁）

本朝續文粹十四卷

藤原季綱編 橘見林校

〔江戸後期〕寫 外寸「二七・六×一九・三糎」 印記「大江資衡」 （一一行。漢字訓點付。一卷一九丁二卷一六丁三卷二三丁四卷二六丁五卷二七丁六卷二六丁七卷一〇丁八卷二九丁九卷一九丁一〇卷一五丁一一卷二七丁一二卷六丁一三卷二二丁一四卷二四丁。識語「本朝續文粹十四卷得數本讎校焉 明和甲申仲冬廷尉所由大江資衡印」）

諷誦含藏二卷

昭和十八年（一九四三）山岸德平寫 原闕卷下 外寸「二七・二×二〇糎」 （書名は封面による。八行。八九丁。山岸氏識語「諷誦含藏一册大谷大學藏本也」）

A 一三七七

五册

A 一三七八

一册

A 一三七九

一册

A 一三八〇

四册

A 一三八一

一册

唱導鈔一卷寫岳文集一卷

唱安居院澄憲著 寫釋寫岳快倫著

昭和十七年（一九四二）寫 外寸「二七・四×一九・三糎」（八行至一〇行。漢字訓點付。唱導二五丁寫嶽二四丁。山岸氏識語「唱導鈔寫岳文集一冊以筑土氏本書者也十一月十九日夜訪東漸院而借來」）

A一三八二  
一冊

表白集 存卷第九至第十二

昭和十七年（一九四二）十二月山岸德平寫 外寸「二七・二×一九・二糎」（八行。白文。九卷一三丁一〇卷九丁一一卷一四丁一二卷四丁。山岸氏識語「表白集一卷彰考館藏本也未缺去八月下浣借來而十二月書寫者也」）

A一三八三  
二冊

表白集十二卷

昭和十七年（一九四二）寫 原關卷第五至八 外寸「二七×一八・九糎」（七行。白文。一卷二一丁二卷一八丁三卷二〇丁四卷一九丁九卷一五丁一〇卷一〇丁一一卷一八丁一二卷二七丁。底本「彰考館藏寫本」山岸氏識語あり）

A一三八四  
一冊

天台表白集

昭和十七年（一九四二）寫 外寸「二七・一×一九・三糎」（書名は書外題による。一〇行。漢字訓點付。五〇丁。山岸氏識語「天台表白集一卷大谷大學藏本也余調查澄憲之作文集頃借覽言泉集之序借出本書一覽後依囑人而書寫者也無類本故不可校訂者也」）

A一三八五  
一冊

高雄山高祖九百年忌表白

釋如幻・慧旭作

昭和二十六年（一九五一）六月山岸氏家中寫 外寸「二七・四×一九・五糎」（八行。漢字訓點付。二四丁。奥書「寛保元年四月四日於五智山写了 寂嚴」山岸氏識語「表白集一卷五智山如幻慧旭兩和上作也」）

A一三八六  
一冊

請諷誦文

昭和十八年（一九四三）寫 外寸「二七・三×一九・三糎」（書名は書外題による。六行。一二丁。漢字訓點付。山岸

A一三八七

氏識語「請諷誦文一卷彰考館本也昭和十七年大呂廿六日到彰考館返却願文類而更借來諷誦願文類翌年一月中浣書寫了」

一册





日本書紀神代講述鈔五卷

度會(出口)延佳著 山本廣足編

寛文十二年(一六七二)十二月序刊 闕卷第三 外寸「二六・二×一九・四糎」 印記「眞光寺」 (單邊。無界。大字七行小字一四行。白口。無魚尾。内匡郭「三・六×一六・五糎」 漢字片假名。一卷二二丁二卷二七丁四卷四二丁五卷二六丁)

一九二  
四册

神代卷藻鹽草六卷

玉木正英著

元文四年(一七三九)一月跋刊 外寸「二六×一八・四糎」 印記「細川氏」「細川氏藏書印」「立とものきし」「山崖十茂能藏書」 (單邊。無界。一六行。内匡郭「二×一五・三糎」 漢字片假名。一卷三七丁二卷四八丁三卷六二丁四卷五六丁五卷二七丁六卷五四丁)

一九二  
一册

神代紀髻華山蔭二卷

本居宣長著

大坂 伊丹屋善兵衛等 (江戸後期)刊 外寸「二五・七×一八糎」 印記「南紀樂天莊藏書」「雍□屋藏」「小田」 (書名は序文首による。單邊。無界。一〇行。白口。無魚尾。内匡郭「一九・五×一四・二糎」 上四〇丁下四一至五六丁。表紙裏に「鈴屋翁略年譜寛政十二年乃とところに云神代卷髻華山蔭既ニ成今年刻」と朱書あり)

一九二  
一册

稜威道別十三卷

橘守部著

天保十五年(一八四四)七月序刊 外寸「二五・四×一九・七糎」 印記「邦照」「重道之印」 (無匡郭。一〇行。一卷二六丁二卷四三丁三卷四七丁四卷四三丁五卷四三丁六卷三八丁七卷四六丁八卷四三丁九卷四四丁一〇卷四七丁一一卷三二丁一二卷三七丁一三卷五三丁)

一九二  
一三册

神代紀草芽三卷

栗田土満著

大阪 大野木市兵衛等〔文政二年（一八一九）八月跋刊〕明治期後印 外寸「二五・三×一八・一浬」（單邊。無界。  
八行。内匡郭「二〇・四×一五・三浬」 上五五丁中五一丁下七六丁）

先代舊事本紀十卷

度會（出口）延佳校

〔伊勢〕〔度會延佳〕延寶六年（一六七八）十二月跋刊 外寸「二六・一×一八・五浬」（題簽「鼈頭舊事紀」 單邊。  
無界。八行。白口。單線魚尾。内匡郭「二〇×一四・八浬」 一卷一三丁二卷一三丁三卷二〇丁四卷二二丁五卷二四  
丁六卷三二丁七卷三九丁八卷三三丁九卷二二丁一〇卷二七丁）

天八衢

岩下（滋野）貞融著

江戸 山城屋佐兵衛等 嘉永二年（一八四九）八月刊 外寸「二五・七×一八・一浬」 印記「姫嶋」（單邊。無界。  
一〇行。内匡郭「一七・八×一四・六浬」 二〇丁）

天御中主神考

渡邊鐵次郎著 渡邊重石丸考

京都 菅廼舍池村氏 明治六年（一八七三）六月刊 遠藤家藏版 外寸「二六・八×一八・五浬」 印記「三河國八名郡  
田中新墾田松坂藏書印」（松坂重賜）（單邊。無界。九行。内匡郭「二〇・三×一四・八浬」 二四丁）

神國決疑編三卷

龍野熙近（道旦）著

〔京都〕 古藤七郎兵衛 元祿四年（一六九二）九月刊 外寸「二五・七×一六・九浬」 印記「小松原九品寺」（單邊。  
三册

一九二五

三册

一九二六

五册

一九二七

一册

一九二八

一册

一九二九

三册



無界。八行。白口。單魚尾。内匡郭「二七・六×一三糎」 上一〇丁中二三丁下一九丁)

神國決疑編考證附校正

釋密成僧敏著

平安 向松堂著屋宗八〔江戸末〕刊 外寸「二六・二×一八・五糎」 (四周雙邊。無界。一〇行。下大黒口。單魚尾。  
内匡郭「一九・五×一四・六糎」 四一丁。「密成律師述作書目録 京都書林寺町通三條下ル 著屋宗八」二丁)

神道五部書五卷

度會(出口)延佳標記 釋日溪宗興訂正

京都 文昌堂永田調兵衛 明治六年(一八七三)十二月刊 外寸「一八・五×一二・八糎」 (書名は序文首による。單  
邊。無界。七行。内匡郭「二四・六×一〇・二糎」 頭注付。一卷一二丁二卷三三丁三卷二二丁四卷二二丁五卷四七丁)

造伊勢二所太神宮寶基本記

享保十八年(一七三三)十二月藤原孟嘉寫 外寸「二六・七×一九・二糎」 印記「甲斐國巨摩郡西八幡宮神庫」駒  
(九行。一二丁)

類聚神祇本源

度會(村松)家行著

〔江戸前期〕寫 外寸「二八・三×一九・五糎」 印記「正親町藏」(正親町家) (一〇行。二四丁。奥書「正平八年癸巳正  
月六日書寫畢校點了」 山岸氏識語「正親町伯爵家旧藏本」)

唯一神道名法要集二卷

卜部兼俱著

洛陽今出川 林和泉掾 明暦元年(一六五五)刊 闕卷上 外寸「二六・五×一七・七糎」 印記「談山大明神藏書二十  
部」 (四周雙邊。無界。八行。半黒口。雙魚尾。内匡郭「二〇・六×一四・七糎」 一二丁。卷末に「寛文八年戊申…

一九三〇

一册

一九三一

三册

一九三二

一册

一九三三

一册

一九三四

一册

五味氏山内木氏藤原豊旨奉納」の朱印あり

神代正語三卷

本居宣長著

文化十一年（一八一四）序刊 闕卷下 外寸「二六・六×一八・五糎」 （序文首「神代乃正語常磐草」 單邊。無界。  
一〇行。内匡郭「二〇・三×一五・五糎」 頭注付。上五二丁中三九丁）

一九三五①

二册

神代正語 存卷下

本居宣長著

文政十年（一八二七）二月中臣光久寫 外寸「二八・一×二〇・六糎」 「村一粒」〔墨書〕 （一〇行。四六丁。山岸氏識  
語「昭和十六年七月一日夜求神田之。卷下一册補写省圖也」）

一九三五②  
一册

古史徴四卷附録一卷

平田篤胤著

伊吹廼舍塾 文政二年（一八一九）五月刊 外寸「二六・五×一八・五糎」 印記「天真館」「金田藏書」 （單邊。無界。  
一〇行。内匡郭「二〇・三×一四・七糎」 春五五丁夏五六至一四一丁秋一四二至二一〇丁冬二一一至二九七丁附二七  
丁。「伊吹廼舍先生及門人著述刻成之書目 塾藏版」一丁（墨格あり）

一九三六  
五册

俗神道大意四卷

平田篤胤述 門人等筆記

伊吹廼舍塾 萬延元年（一八六〇）六月序刊 外寸「二三・四×一六・三糎」 印記「号可□性藤原名秀業字子靜□□□  
といふ通稱松本利助居ハ□坂大橋の辺ニあり」（松本秀業） （單邊。無界。内匡郭「一八・七×一三・四糎」 一〇行。  
漢字片假名。一卷四一丁二卷四九丁三卷四七丁四卷四五丁）

一九三七  
四册

赤縣太古傳三卷附録一卷

平田篤胤著 柴崎直古校

伊吹廼舍塾 明治三年（一八七〇）刊 外寸「二六・七×一八・四糎」 印記「高鳳」（單邊。無界。一〇行。内匡郭「二〇×一四・五糎」 一卷六〇丁二卷六一丁三卷七二丁附二丁。「伊吹廼舍先生及門人著述刻成之書目 塾藏版」一丁）

## 赤縣太古傳成文

平田篤胤著

伊吹廼舍塾 明治三年（一八七〇）刊 外寸「二六・七×一八・五糎」 印記「美濃安江氏記」（單邊。無界。七行。内匡郭「二〇×一四・二糎」 二二丁。「伊吹廼舍先生及門人著述刻成之書目 塾藏版」一丁（墨格あり）

## 靈能眞柱二卷

平田篤胤著

江戸 柏屋忠七等 文化十年（一八一三）十二月刊 外寸「二六・七×一八・二糎」 印記「止支比古」（單邊。無界。一〇行。内匡郭「二〇・五×一四・九糎」 上五六丁下五八丁）

## 祭具圖式

増田英治著

東京 増田英治 明治二十七年（一八九四）三月刊 外寸「二三・二×一五・六糎」（四周雙邊。無界。一〇行。内匡郭「一八・五×一二・九糎」 三〇丁）

## 増訂喪儀略一卷 増觸穢假服考一卷

古川躬行著

〔東京〕 汲古堂 明治四年（一八七一）刊 外寸「二六・五×一八・五糎」（單邊。有界。一〇行。内匡郭「二〇・三×一四・七糎」 二五丁附二六至三五丁）

## 延喜式祝詞正文一卷 附錄一卷

一九三八①

四冊

一九三八②

一冊

一九三九

二冊

一九四〇

一冊

一九四一

一冊

角田信道輯

東京 山中莊一郎 明治十七年（一八八四）一月活版 外寸「二・三×一・五糎」（二二行。二二丁附一五丁。書き入れあり）

一九四二  
一冊

## 祝詞考三卷

賀茂眞淵著

大阪 加藤伴之 明治十六年（一八八三）十一月刊 外寸「二・六×一・八・七糎」 印記「徳永」「徳永藏書」（墨書）  
（單邊。無界。七行。内匡郭「二・五×一・四・六糎」 上四七丁中三五丁下五九丁）

一九四三  
三冊

## 大祓詞後釋二卷附錄一卷

本居宣長著

大阪 伊丹屋善兵衛等 「明治期」刊 外寸「二・五・四×一・七・七糎」 印記「友之助醒」（單邊。無界。二二行。内匡郭「一九・六×一・四・四糎」 上六六丁下三九丁附四〇至六〇丁）

一九四四  
二冊

## 大祓執中抄三卷

近藤芳樹著

「明治期」寫 外寸「二・六・七×一・八・五糎」 印記「玉能舍記」「龜井大神主藏」（二〇行。天一八丁地二八丁人四三丁。底本「安政四年三月序刊本」 朱筆の頭注あり）

一九四五  
三冊

## 大祓詞天津菅麻二卷

六人部是香著

明治二十六年（一八九三）七月寫 外寸「二・四・五×一・七・一糎」（四周雙邊。有界。八行。上之一卷三八丁上之二卷三七丁下五二丁）

一九四六  
三冊

## 古語拾遺

齋部廣成著

東京 貴重圖書複製會 昭和十七年（一九四二）二月複製 外寸「二九・九糎」（書名は題簽による。底本「吉田良兼所藏嘉祿元年寫本」別冊「嘉祿本古語拾遺開題」宮地直一稿。二四頁）

古語拾遺

齋部廣成著

慶安二年（一六四九）八月加茂宣道寫 外寸「二七・四×一九・五糎」（八行。二三丁。嘉祿元年寫本の轉寫本。朱筆の書き入れあり）

古語拾遺

齋部廣成著

江之近州四宮社司大伴重堅 元祿九年（一六九六）十一月跋刊 外寸「二七・四×一八・七糎」 「森元信良」（墨書）（單邊。無界。八行。白口。單線魚尾。内匡郭「一九・九×一五・七糎」 頭注付。二三丁。墨筆朱筆の書き入れあり）

古語拾遺

齋部廣成著

大坂 河内屋喜兵衛 「元祿九年十一月跋刊」文久二年（一八六二）後印 外寸「二五・二×一七・八糎」 印記「郡山藩學校印」「鶴北」（單邊。無界。八行。白口。單線魚尾。内匡郭「一九・九×一五・七糎」 頭注付。二三丁）

又

印記「稜威廼舍」（與一九五〇番同版。墨筆朱筆の書き入れあり）

古語拾遺

齋部廣成著

一九四七  
卷子本一卷・別冊開題一冊

一九四八  
一冊

一九四九  
一冊

一九五〇  
一冊

一九五一  
一冊

一九五二

〔伊勢〕 氣吹廻舎 明治三年（一八七〇）三月序刊 外寸「二六・六×一八・四糎」 （單邊。無界。七行。内匡郭「一九・六×一四・六糎」 二三丁）

古語拾遺言餘鈔三卷

龍（龍野）熙近著

大坂 積玉圃柳原喜兵衛〔寶曆十二年一月野田藤八後印〕明治二年（一八六九）修 外寸「二五・一×一七・八糎」 印記「三條西藏書」（書名は序文首による。單邊。無界。五行。白口。雙花口魚尾。内匡郭「二・四×一五・一糎」 上六三丁中七〇丁下三三丁）

古語拾遺句解二卷

齋藤（藤原）齊延著

大阪 河内屋茂兵衛等〔元祿十一年（一六九八）二月刊〕後印 外寸「二五・三×一七・六糎」 印記「竹窗処藏」（單邊。無界。一〇行。白口。無魚尾。内匡郭「二〇・八×一四・九糎」 上一五丁下二〇丁）

古語拾遺節解四卷

高田宗賢著

寶永六年（一七〇九）一月跋刊 外寸「二四・六×一七・九糎」 （書名は卷末による。單邊。無界。七行。内匡郭「一九・八×一四・三糎」 一卷一九丁二卷二二丁三卷二四丁四卷二〇丁）

村上忠順標註古語拾遺

齋部廣成著 村上忠順（蓬廬）注

新堀邨 深見藤吉 明治八年（一八七五）十一月刊 外寸「二六・五×一八・五糎」 （單邊。無界。八行。内匡郭「二三・二×一五・二糎」 二二丁）

中臣祓抄

一册

一九五三  
三册

一九五四  
一册

一九五五  
五册

一九五六  
一册

清原宣賢編

〔江戸末〕寫 外寸「二五・七×一九・二糎」(書名は目次首による。九行。漢字片假名。五二丁。朱筆の書き入れあり)

中臣祓考索二卷

和田宗允(子成)著

萬治四年(一六六一)以降後印 外寸「二六・六×一七・三糎」(四周雙邊。無界。八行。白口。無魚尾。内匡郭「二一・六×一四・七糎」 上一九丁下二〇至四一丁)

中臣祓囊櫛

菅原信圓著

江戸 野田太兵衛・京 野田彌兵衛 元祿十二年(一六九九)九月刊 外寸「二五・七×一八・七糎」 印記「常尙之印」  
〔津金藏書〕「荒木田」(單邊。無界。一二行。白口。無魚尾。内匡郭「二一×一五・四糎」 四五丁)

中臣祓抄本二卷

〔京都〕 風月氏 慶安四年(一六五二)刊 外寸「二六・一×一九糎」 印記「河合氏藏書」等 (四周雙邊。無界。半黑口。雙花口魚尾。一〇行。内匡郭「二〇・一×一五・五糎」 漢字片假名頭注付。本二四丁末二五丁)

中臣祓松風鈔

青木永弘著

京都 著屋儀兵衛等 寛政四年(一七九二)三月刊 外寸「一八・三×一二・五糎」(單邊。無界。八行。内匡郭「二五・一×一〇・五糎」 四三丁)

又

(與一九六一番同版)

一九五七

一册

一九五八

二册(合綴一册)

一九五九

一册

一九六〇

一册

一九六一

一册

一九六二

中臣祓要信解三卷

源中之著

天明八年（一七八八）十二月小宮山清惟寫 外寸「二五・五×一六・糶」（一〇行。漢字片假名。上二一丁中二丁下二丁）

八部祓講釋

山崎美成著

東京 嶋屋平七等 「江戸後期江戸英屋文藏等刊」明治期後印 外寸「三二×一四・九・糶」（單邊。無界。八行。白口。無魚尾。内匡郭「一七・六×一三・一・糶」一八丁）

出雲國造神壽後釋二卷

本居宣長著

尾州名古屋 永樂屋東四郎 寛政五年（一七九三）九月序刊 外寸「二六・六×一八・五・糶」印記「三島文庫」「正孫之章」「西駿中根塚本氏記」（單邊。無界。二行。内匡郭「一九・六×一四・三・糶」上四七丁下四七至八一丁。朱點あり）

本朝神社考六卷

林道春（羅山）著

京都 上村次郎右衛門 「江戸前期」刊 外寸「二五・五×一八・七・糶」印記「野村藏書」（四周雙邊。無界。一〇行。半黒口。雙花口魚尾。内匡郭「二〇・二×一五・五・糶」一卷四九丁二卷四九丁三卷四四丁四卷四二丁五卷三三丁六卷三四丁）

本朝神社考六卷

林信勝（羅山）著

一册	一九六三
一册	一九六四
二册	一九六五
六册	一九六六
一九六七	



京都 越後屋治兵衛〔江戸前期京都上村次郎右衛門刊〕後印 外寸「二六×一八・六糎」 印記「武藏忌部」〔四周雙邊。無界。一〇行。半黒口。雙花口魚尾。内匡郭「二〇・二×一五・五糎」 一卷四九丁二卷四九丁三卷四四丁四卷四二丁五卷三三丁六卷三四丁〕

六册

## 神社考詳節

林信勝(羅山)著

京都 田原仁左衛門 正保二年(一六四五)刊 外寸「二八×一八・二糎」 印記「深和文庫」〔四周雙邊。無界。一〇行。半黒口。雙花口魚尾。内匡郭「二〇×一五・三糎」 四三丁〕

一九六八  
一册

## 牛頭天王曆神辯

平田篤胤著 江戸爲之校

寶永元年(一七〇四)序刊 平田篤胤塾藏版 外寸「二六・六×一八・四糎」 印記「湊西書畫舫記」〔單邊。無界。一〇行。白口。無魚尾。内匡郭「二〇・三×一四・六糎」 二七丁〕

一九六九  
一册

## 諸祭神略記

小池内廣(嚴藻)著

明治四年(一八七二)序刊 外寸「二六・二×一三・一糎」〔無匡郭。九行。四八丁〕

一九七〇  
一册

## 火水天神御傳略縁記三卷

〔明治期〕 火水天神町考學所寫 外寸「二三・八×一六・六糎」 印記「京都上堀川寺之内上ル火水天神町考學所」〔八行。上三九丁中三九丁下三九丁〕

一九七一  
三册

## 天神垂跡要記十卷

釋蓮了著 岩瀬蕙谷畫

皇都 石田忠兵衛・石田治兵衛 慶應元年(一八六五)刊 外寸「二五・九×一七・七糎」〔單邊。無界。九行。内匡

一九七二  
五册

郭「二〇・三×一五・二糎」 一卷一〇丁二卷一二至三〇丁三卷一五丁四卷二六至四五丁五卷二二丁六卷二二至四七丁  
七卷一九丁八卷二〇至四〇丁九卷二五丁一〇卷二六至四七丁

北野神社由來記

田中尙房著

京都 北野神社 明治十一年（一八七八）十月刊 外寸「二五・九×一八・五糎」 （四周雙邊。無界。一〇行。内匡郭

「一九・二×一四・五糎」 二七丁）

太秦牛祭畫卷

高島千春畫 岸本由豆流校

文化十四年（一八一七）一月跋刊 外寸「二六・四×一八・四糎」 印記「玖侶社記」（黒崎貞枝「里鹿」「本山」「安谷拾葉

文庫」（書名は題簽による。無匡郭。八丁）

洛陽十二社靈驗記

松浦星洲（應機庵主）著

皇都 尙書堂堺屋仁兵衛 （江戸後期）刊 外寸「二二・三×一五・七糎」 （單邊。有界。九行。白口。單魚尾。内匡

郭「一八・三×一三・四糎」 二六丁）

多武峰破裂記一卷 埵大職冠神像破裂記附録一卷

昌藝等著 附宣賀著

和歌山 多武峰惣中 享保四年（一七一九）刊 外寸「二六×一八・四糎」 印記「南邨文庫」「上杉藏書印」 （書名は題

簽による。無匡郭。八行。二〇丁附一一丁。附録跋「天保庚子冬十二月權大僧都宣賀識」

春日大宮若宮御祭禮圖三卷

藤原仲倫著

一九七三

一册

一九七四

一册

一九七五

一册

一九七六

一册

一九七七

奈良 春日神社 「寛保二年頃刊」大正十一年（一九三二）後印 外寸「二六・六×一九・一」〔單邊。無界。一〇行。内匡郭「二・五×一五・五」 上一五丁中二丁下三四丁〕

## 参考熱田大神縁起

伊藤信民撰 秦鼎（滄浪）校

文化八年（一八一）序刊 外寸「二六・七×一八・二」〔印記「宮澤氏藏」〕（單邊。有界。八行。内匡郭「三・五×一四・三」 頭注付。二九丁。朱筆の書き入れあり）

## 松崎天神鎮座考二卷追考一卷附記一卷

弘正方著

周防 水門居 嘉永二年（一八四九）刊 外寸「三五・七×一八・一」〔單邊。無界。八行。内匡郭「一九・三×一五・一」 漢字片假名。上三三丁下二六丁追考三丁附記六丁〕

## 大宰府天滿宮故實二卷

貝原篤信（益軒）著

〔江戸中期〕寫 外寸「二六・二×一九・五」〔（二二行。上二四丁下一九丁）

## 大宰府天滿宮故實二卷

貝原篤信（益軒）著

嘉永五年（一八五二）二月源豐保寫 外寸「二七・五×一九・二」〔（二一行。漢字片假名。上二六丁下二二丁）

## 筑紫大宰府神社舊天滿宮御略傳

西高辻信嚴著

福岡縣大宰府村 大宰府神社社務所 明治十九年（一八八六）二月刊 外寸「二二・七×一四・五」〔（題簽「大宰府神社御略傳」 單邊。無界。一〇行。内匡郭「一八・一×一二・三」 漢字片假名。八丁）

一册

一九七八

一册

一九七九

一册

一九八〇

一册

一九八一

二册

一九八二

一册

神職寶鑑二卷

半井眞澄編

京都 半井眞澄 明治三十二年(一八九九)三月刊 外寸「二四・八×一六・八糎」 印記「細川之章」 (四周雙邊。無界。一三行。内匡郭「一九・八×一四・三糎」 上編五一丁下編九八丁。繪入套印本)

くずばな二卷

本居宣長著

名古屋 市岡孟彦 享和三年(一八〇三)一月刊 外寸「二六・二×一八・二糎」 (單邊。無界。一〇行。内匡郭「一九・四×一四・二糎」 上三四丁下三九丁)

神社祭式一卷附錄一卷增加一卷

式部寮編

東京 山口屋佐七 [明治八年四月東京式部寮刊] 明治十一年(一八七八)七月增補 外寸「二五・八×一八糎」 印記「玉川原田之印」「東京府下荏原郡玉川村原田庄三郎」 (四周雙邊。無界。一〇行。内匡郭「一八・八×一四糎」 漢字片假名。繪入套印本。二五丁附三丁増一丁)

神武權衡錄 存卷上

松下郡高著

〔江戸後期〕刊 好古堂藏版 外寸「二三・五×一六糎」 印記「蟹澤藏書」「高火宗之印」 (單邊。無界。一六行。白口。單魚尾。内匡郭「一八×一二・一糎」 漢字片假名。九六丁。山岸氏識語「松下郡高著也郡高兵學者傳未詳也」)

水天宮御利生記二卷

石井寅太郎編

東京 信水會 明治十九年(一八八六)四月活版 外寸「一八・八×一二・七糎」 (上二六丁下二六丁)

一九八三

二册

一九八四

二册

一九八五

一册

一九八六

一册

一九八七

二册

安樂寺安置天滿宮御自作御神像并靈寶略御傳記

京都 北野天滿宮〔江戸後期刊 外寸「三・二×一六・三糎」〕（書名は題簽による。無匡郭。八行。四丁。卷末に「文龜三年二月廿五日北野天滿宮社人中」とある）

増訂平野集説

遠藤信允編 平野神社編

京都 官幣大社平野神社社務所 昭和十二年（一九三七）十一月活版 外寸「三・八×一六・一糎」 （二五五頁）

勸化伍衰殿五卷

釋誓譽著

京都 錢屋利兵衛・池田屋七兵衛・錢屋莊兵衛〔江戸前期刊〕安永六年（一七七七）一月後印 外寸「二五・七×一七・八糎」〔持主大國淨空天明二寅ノ八月十日求之（墨書）（單邊。無界。九行。白口。無魚尾。内匡郭「一九・七×一四・一糎」 漢字片假名。一卷一六丁二卷一七丁三卷一五丁四卷一六丁五卷一七丁。墨筆朱筆の書き入れあり）

史籍年表 年表餘・年表遺漏追加

伴信友編

東京 文淵堂淺倉屋久兵衛等〔弘化二年六月刊〕明治十六年（一八八三）六月後印 外寸「二六・二×一八・三糎」印記「上田文庫」（上田恭輔）（單邊。有界。七行。内匡郭「三・八×一五・五糎」 六二丁。書簡付）

和漢帝王年表六卷

太宰純（春臺）著

東都 須原屋茂兵衛 寶曆五年（一七五五）六月刊 外寸「二六・八×一八・二糎」印記「家枉愛奎浮嶋原帶笑園書畫之印」（單邊。有界。一〇行。内匡郭「二〇・五×一四・八糎」 一卷二〇丁二卷二一至四五丁三卷二五丁四卷二六至四八丁五卷二二丁六卷二二至四三丁）

一九八八  
一册

一九八九  
一册

一九九〇  
一册

二六七四  
一册

二六七五  
六册

和漢年契

高安昶（蘆屋山人）著

大阪 宣英堂葛城長兵衛等 天保二年（一八三一）十一月刊 外寸「二六・五×一八・一糎」 印記「眞墨」「白井氏印」「大給圖書之印」（單邊。有界。三〇行。内匡郭「八・八×一四・二糎」 四八丁。「葛城宣英堂梓行藏板和漢歴史書目」半丁）

二六七六  
一册

大日本史本紀七十三卷列傳百七十卷

徳川光圀編 男徳川綱條等校

嘉永四年（一八五二）五月跋刊 外寸「二六・五×一八・二糎」 印記「高崎文庫」（四周雙邊。有界。九行。内匡郭「二〇・二×一四・五糎」）

二六七七  
一〇〇册

史徴墨寶考證二卷第二編三卷

内閣修史局編

東京 大成館 明治二十年（一八八七）十月活版（二編 明治二十二年十二月活版 外寸「二七・二×一五・三糎」）（書名は目次首による。一三行。上四六丁下五三丁 二編一卷五八丁 二編二卷五九丁 二編三卷五九丁）

二六七八  
五册

史徴墨寶考證 卷下

内閣修史局編

東京 大成館 明治二十年（一八八七）十月活版 外寸「二六×一四・七糎」 （書名は目次首による。一三行。五三丁。二六七八番之普及版）

二六七九  
一册

大日本野史二百九十一卷首一卷總目三卷

飯田忠彦著 男飯田文彦訓點 竹中邦香校

東京 飯田文彦 明治十四年至明治十五年（一八八二）十一月活版 外寸「二〇・四×一三・五糎」 印記「前島藏書」

二六八〇  
一〇〇册

「前嶋氏圖書印」

又

闕卷第百六十七至二百九十一 印記「漆山文庫」(漆山順次)「苑田藏書」(與二六八〇番同版)

## 日本外史二十二卷

賴襄(山陽)著 男賴元協等校

大阪 河内屋喜兵衛等 嘉永元年(一八四八)八月刊 外寸「二六×一八・二厘」(單邊。有界。九行。内匡郭「一八・三×一二・二厘」)

## 日本外史年表二卷 附沿革圖

關機編

東京 稻田佐兵衛 明治九年(一八七六)二月刊 外寸「三・四×一五・三厘」 印記「學聚舍藏書」(單邊。有界。一〇行。内匡郭「一八・五×一一・七厘」 上三二丁下二七丁)

## 日本外史獨學三卷附錄一卷

太田成之編

東京 山中喜太郎 明治十六年(一八八三)八月銅版印本 外寸「一八・二×一二・二厘」 「原田市主」(墨書) (四周雙邊。有界。一一行。内匡郭「二四×九・一厘」 上七四丁中七二丁下四二丁。附錄「日本外史古戰場之圖」等七七丁)

## 日本政記十六卷

賴襄(山陽)著

天保九年(一八三八)序木活字印 闕卷第十五第十六 外寸「二五・七×一七・七厘」 印記「齋藤德次郎印」(高枅家藏) (單邊。無界。一〇行。内匡郭「一八・三×一二・八厘」 朱筆の書き入れあり)

二六八一  
六〇册

二六八二  
二二册

二六八三  
二册

二六八四  
四册

二六八五  
九册

日本政記考證二卷

林正射編

京都 竹岡文祐 明治七年（一八七四）十月刊 外寸「二八・二×二・七糎」 印記「竹窓処藏」「三郎」（四周雙邊。  
有界。八行。内匡郭「二四・四×九・八糎」 一卷二九丁二卷二六丁）

二六八六  
二册

日本政記便蒙三卷

尾本源吉郎編

京都 松山喜輔 明治九年（一八七六）十二月刊 外寸「一八・四×二・九糎」 印記「竹内藏書」（四周雙邊。有界。  
八行。内匡郭「二四・三×一〇・六糎」 上四八丁中五六丁下五六丁）

二六八七  
三册

日本略史四卷

笠間益三編

甲府 内藤傳右衛門 明治十年（一八七七）四月刊 外寸「一八・二×二・二糎」 （單邊。無界。一〇行。内匡郭  
「二三・三×八・九糎」 漢字片假名。一卷六九丁二卷五八丁三卷七四丁四卷八一丁）

二六八八  
四册

増修續王代一覽十卷

栗原信充（柳菴）編

大阪 河内屋茂兵衛・河内屋藤兵衛・江戸 山城屋佐兵衛 嘉永四年（一八五二）刊 栗原孫之丞藏版 外寸「二五・四  
×一七・五糎」 印記「土浦本町内田氏藏書」「筠軒藏書」（書外題「増修續王代一覽」 單邊。無界。一一行。内匡郭  
「一九×一四・五糎」 漢字片假名。一卷二五丁二卷一九丁三卷二〇丁四卷二二丁五卷二二丁六卷二三丁七卷一八丁  
八卷二四丁九卷二二丁一〇卷二〇丁）

二六八九  
一〇册

武家通鑑六卷首一卷

明和八年（一七七二）年四月閑湖齋孝純寫 外寸「二七・三×一九・二糎」 印記「新田岩松家藏本」（一一行。首三二

二六九〇



丁一卷三三丁二卷二五丁三卷三四丁四卷二九丁五卷四四丁六卷四九丁。序文末に「寛文庚戌六月：風焦子自序于其書」

## 倭人傳

鈴木直道編

〔明治期〕 鈴木直道寫 外寸「二五・一×一七・五糎」(左右雙邊。有界。一〇行。七七丁。内容は後漢書東夷傳、三國志魏書、晉書列傳等二十一史の拔書き。附「東夷三韓傳琉球傳夷傳目錄」別冊「學士會會報六九四號」(一九六七年一月)「魏志倭人傳を讀みなおす」黒田正夫著)

## 古事記三卷

太安萬侶奉勅撰 本居宣長訓讀

京都 永田調兵衛 〔明治三年四月刊〕明治八年(一八七五)後印 外寸「二六・一×一八・五糎」 印記「中村直行」(書名は卷末による。題簽「訂正古訓古事記」 單邊。無界。七行。内匡郭「二〇・三×一五・三糎」 上七二丁中八四丁下五四丁)

## 古事記 上卷并序

太安萬侶奉勅撰

東京 貴重圖書複製會 昭和十八年(一九四三)三月複製 外寸「二八・五×二三糎」(五行。五四丁。底本「吉田子爵所藏南北朝期寫本」 附錄「道果本古事記解説」宮地直一著。七頁)

## 日本書紀三十卷

舍人親王等奉勅撰

〔江戸前期〕刊 外寸「二六・九×一九糎」(單邊。無界。八行。上下小黑口。雙魚尾。内匡郭「三二・四×一五・七糎」源忠英による享保十四・十八年の校訂あり。墨筆朱筆の書き入れあり)

五冊

二六九一

一冊・別冊一冊

二六九二

三冊

二六九三

一冊

二六九四

十四冊

日本書紀三十卷 附 日本書紀文字錯亂備考三卷

舍人親王等奉勅撰 錯大關増業編

東都 松本平助・皇都 出雲寺文治郎・浪華 柳原喜兵衛〔文政七年三月黒羽城主刊〕〔江戸末〕後印 外寸「二・三  
×一五・六糎」 印記「播州三木氏圖書之記」〔單邊。無界。八行。内匡郭「一六・六×一二・五糎」〕

日本書紀 卷第十應神紀・應神紀裏書性靈集卷第一一

舍人親王等奉勅撰

京都 小林忠治郎 大正九年（一九二〇）八月複製 外寸「二・八・五糎」〔底本「田中勘兵衛所藏古寫本」 別冊「玻璃  
版應神紀附言」田中教忠著。二二頁〕

祕籍大觀日本書紀（帖之部）

大阪 大阪毎日新聞社 大正十五年（一九二六）四月至十二月複製 外寸「三〇・八×二一・六糎」〔底本「佐々木信綱  
藏及び宮内省圖書寮藏古寫本」 別冊「古寫本日本書紀解說」黒板勝美述。四五頁〕

内容 卷第一神代卷上殘卷、卷第二神代卷上下、卷第十應神天皇紀、卷第十二履中天皇紀・反正天皇紀、卷第十三  
允恭天皇紀・安康天皇紀、卷第十四雄略天皇紀、卷第十五清寧天皇紀・顯宗天皇紀・仁賢天皇紀、卷第十六武烈天  
皇紀、卷第十七繼體天皇紀、卷第二十一用明天皇紀・崇峻天皇紀、卷第二十二推古天皇紀、卷第二十三舒明天皇紀、  
卷第二十四皇極天皇紀

祕籍大觀日本書紀（卷之部）

大阪 大阪毎日新聞社 大正十五年（一九二六）三月複製 外寸「二七・八糎」〔底本「田中教忠、岩崎文庫及び前田  
侯爵家所藏古寫本」〕

内容 卷第十應神天皇紀、卷第二十二推古天皇紀、卷第十一仁德天皇紀、卷第二十四皇極天皇紀、卷第十四雄略天  
皇紀、卷第十七繼體天皇紀、卷第二十敏達天皇記

二六九五

一六冊

二六九六

卷子本二卷・別冊附言一

冊

二六九七

折本八帖・別冊解題一冊

二六九八

卷子本七卷

日本書紀 存卷第一第四第五第九第十二第十五至第十八第二十至第二十三第二十五第二十六第二十九第三十

舍人親王等奉勅撰

東京 貴重圖書複製會 昭和十六年（一九四二）四月至十二月複製 外寸「二三・一×一四糎」（底本「北野神社所藏古寫本」別冊「國寶北野本日本書紀解說」宮地直一稿。一八頁。與二七〇〇番同版）

日本書紀三十卷

舍人親王等奉勅撰

東京 貴重圖書複製會 昭和十六年（一九四二）四月至十二月複製 原闕卷第二第十四 外寸「二三・一×一四糎」（底本「北野神社所藏古寫本」別冊「國寶北野本日本書紀解說」宮地直一稿。一八頁）

日本書紀神代二卷

舍人親王等奉勅撰

東京 一誠堂 昭和三年（一九二八）十一月複製 外寸「二八・二×二〇糎」（單邊。無界。八行。上四一丁下四三丁。一誠堂創業二十五周年記念。附「慶長勅版『日本書紀神代卷』複製緣起、日本書紀を讀む」徳富學人（蘇峰）著。一五丁。書簡付）

日本書紀神代卷二卷 江家古本點

舍人親王等奉勅撰

〔京都〕 西村七郎兵衛等 元祿八年（一六九五）刊 外寸「二六・五×一八・二糎」 印記「綱徳」「日本信中更級清水里田口邨和田小林氏圖書」「小林」「白鶴菴圖書」（墨書）（題簽「校正標閱神代卷」 單邊。無界。六行。白口。單魚尾。內匡郭「二・一×一五・四糎」 一卷四一丁二卷四二丁）

日本書紀神代卷二卷

二六九九

一七冊・別冊解說一冊

二七〇〇

二八冊・別冊解說一冊

二七〇一

一冊

二七〇二

二冊

舍人親王等奉勅撰

東京 有朋堂 昭和十九年（一九四四）七月複製 外寸「三一・三×二八・六糎」（日本文獻學會叢刊之一。九行。上四五丁下四二丁。底本「水戸德川侯爵家所藏嘉曆三年沙門曇春寫本」附錄「國寶日本書紀神代卷（水戸本）解說」田山信郎著。一五頁）

釋日本書紀二十八卷目錄一卷

卜部兼方（懷賢）編

〔江戸前期〕刊 外寸「二七・三×一八・五糎」印記「長南軒藏書印」「大澤侍從兼下野守藏書」「大澤基孝」「長崎家塾切碇館藏」（目次首「釋日本紀」單邊。無界。八行。白口。雙魚尾。内匡郭「二〇・九×一五・八糎」）

日本紀私記 零本

明治三十八年（一九〇五）六月平子鐸嶺寫 關卷首 外寸「二六・七×一九・二糎」（書名は書外題による。八行。二二丁。小杉楓邨識語「右零本一卷以矢野玄道翁寫本書寫了明治十四年九月」。平子鐸嶺識語「右私記零本一卷以小杉楓村先生本令書寫訖」）

日本紀私記 零本

〔昭和期〕油印本 原關卷首卷中 外寸「二六・六×一八・九糎」（二二行。上一九丁下四六丁。底本奥書「日本紀私記二卷請多田政仲家藏而書寫之 享保十四年正月谷村光信」）

日本書紀私記三卷

服部久・吉松鼎輔校  
明治三十八年（一九〇五）五月平子鐸嶺寫 外寸「二六・八×一九・三糎」（八行。一卷十五丁二卷十二丁三卷二五丁。平子鐸嶺識語「内閣文庫本令謄寫記」）

日本書紀私見聞十卷

二七〇三  
二册

二七〇四  
一五册

二七〇五  
一册

二七〇六  
二册

二七〇七  
二册

東京 貴重圖書複製會 昭和十三年（一九三八）十月影印 外寸「二四・八×一六・六糎」（二二行。三七丁。底本「御巫清白所藏應永三十三年沙彌道祥寫本」 附録「道祥本日本書紀私見聞解説」宮地直一著。四丁）

一冊 二七〇八

日本書紀私見聞 神代上第二卷

東京 貴重圖書複製會 昭和十三年（一九三八）十月影印 外寸「二四・八×一六・六糎」（七行。神代上二五丁二卷二五丁。底本「御巫清白所藏古寫本」 附「春瑜本日本書紀私見聞解説」宮地直一著。五丁）

一冊 二七〇九

日本書紀通證三十五卷

谷川士清（淡齋）著

伊勢津 谷川士清五條天神宮 寶曆十二年（一七六二）刊 外寸「二六・六×一八・九糎」（四周雙邊。無界。九行。内匡郭「二・五×一五・三糎」 賣弘所として「京都出雲寺文治郎から風月莊左衛門まで」全六書肆名あり）

二七一〇  
二三冊

日本書紀撰者辨

河村秀興・弟河村秀根同考

尾張 木村六右衛門・京師 永田調兵衛 延享四年（一七四七）刊 外寸「二二・六×一五・八糎」 「杉浦文庫」（藏書票）（四周雙邊。無界。七行。内匡郭「一八・二×二二・四糎」 五丁。朱筆の書き入れあり）

二七一一  
一冊

日本紀文字錯亂備考三卷

大關増業著

下野國黒羽 黒羽領主 文政五年（一八二二）跋刊 外寸「二五・八×一八・二糎」 印記「榊原藏」（單邊。有界。一三行。内匡郭「一六・五×一二・五糎」 上三四丁中三三丁下四〇丁）

二七一二  
一冊

續日本紀四十卷

菅野眞道等奉勅撰

大坂 伊丹屋善兵衛等 （明暦三年（一六五七）跋刊）明治中後印 外寸「二五・八×一八・五糎」 印記「菅園藏記」

二七一三  
二〇冊

〔四周雙邊。無界。八行。大黒口。雙花口魚尾。内匡郭「一九・九×一五・五糎」〕

日本後紀二十卷

藤原冬嗣等奉勅撰

〔江戸後期〕寫 外寸「二九×一九・七糎」 印記「河邨藏書（河村秀祢）（二〇行。一卷二〇丁二卷一四丁三卷二二丁四卷二四丁五卷一四丁六卷一八丁七卷二五丁八卷一七丁九卷三〇丁一〇卷二〇丁一一卷二〇丁一二卷一四丁一三卷二二丁一四卷二二丁一五卷二二丁一六卷二四丁一七卷一九丁一八卷一八丁一九卷一六丁二〇卷一六丁。正徳二年水野祖衡の跋文、享保六年伊庭太郎の跋文あり）

日本逸史四十卷増考異一卷

鴨祐之編

神京 柳枝軒茨城方道・柴軒烏谷長庸 享保九年（一七二四）刊 外寸「二七・五×一九・一糎」 印記「浪華菅廟寺井家文庫」「藤井」「正雄」（單邊。無界。八行。内匡郭「二〇・三×一四・三糎」 朱筆の書き入れあり）

日本逸史考異

京都 柳枝軒茨木方道・柴軒烏谷長庸 〔享保九年（一七二四）刊〕江戸後期後印 外寸「二七・五×一八・四糎」 印記「平戸藩藏書」「子孫之寶」「樂歲堂圖書記」（松浦靜山）「松浦伯爵家文庫樂歲堂圖書記」（藏書票）（單邊。無界。八行。内匡郭「一九・九×一四・四糎」 四一丁。與「二七一五番考異同版。」「柳枝軒藏書目録 六角通御幸町西へ入町 小川多左衛門」五丁）

續日本後紀纂詰二十卷

邨岡良弼纂詰

東京 近藤出版部 明治四十五年（一九一二）三月活版 樸溪書院藏版 外寸「三二・八×一五・八糎」

文徳實録 卷第一

二七一四  
一〇冊

二七一五  
二一冊

二七一六  
一冊

二七一七  
一〇冊

藤原基經等奉勅撰

〔明治期〕寫 外寸「二七・二×一九・四糎」〔書外題〕文德實錄卷一考證 一〇行。二七丁。朱筆の點・書き入れ・付箋あり

二七一八

一冊

類聚國史 第百七十一

菅原道眞著

東京 育德財團 昭和八年（一九三三）九月複製 外寸「二八・三糎」〔尊經閣叢刊之一。底本「前田家所藏平安期寫本」 附録「古本類聚國史卷第百七十一略説」一枚〕

二七一九

卷子本一卷

類聚國史 第百六十五

菅原道眞著

東京 育德財團 昭和七年（一九三二）五月複製 外寸「二九・一糎」〔尊經閣叢刊之一。底本「前田家所藏平安期寫本」 別冊「古本類聚國史解説」一三頁〕

二七二〇

卷子本一卷・別冊解説一冊

（日本）新國史 卷十二

源俊房著

昭和十七年（一九四二）寫 外寸「二六・八×一九・二糎」〔九行。八丁。山岸氏識語「新國史一冊神宮文庫本也」〕

二七二一

一冊

本朝世紀

藤原通憲著 貴重圖書影本刊行會編纂

京都 便利堂内貴重圖書影本刊行會頒布事務所 昭和十六年（一九四一）十二月複製 外寸「三一・五糎」〔書名は解説による。題簽「日本紀略」 底本「田中忠三郎所藏鎌倉期寫本」 附録「國寶本朝世紀古鈔本殘缺壹卷」一枚〕

二七二二

卷子本一卷

扶桑略記三十卷

釋皇圓著

二七二三

東都 出雲寺萬次郎 文政三年（一八二〇）刊 官板 關卷第一 外寸「二六・一×一八・一糎」（單邊。無界。一〇行。  
内匡郭「二〇・六×一五糎」 漢字訓點付）

新國史

源俊房著

昭和十七年（一九四二）十一月山岸德平寫 外寸「二七・二×一九・二糎」（九行。二四丁。山岸氏識語「新國史一卷圖  
書寮本也」）

光孝宇多兩帝記一卷延長記 吏部王記 一卷

昭和十七年（一九四二）十一月寫 外寸「二七・四×一九・三糎」（一〇行。光孝七丁延長二五丁。山岸氏識語「延長記  
光孝宇多兩帝記圖書寮本也」 朱筆の書き入れあり）

史料二十卷

塙保己一等編

〔大正期〕活版 外寸「三三×一五・三糎」 印記「淺井氏藏」（題箋「宇多天皇事記史料」）

史料 存卷第一第二

塙保己一等編

東京 溫故學會 大正八年（一九一九）一月活版 外寸「一八・八×一二・八糎」（題箋「宇多天皇事記史料」 一卷  
二八頁二卷三七頁）

吾妻鏡集解二卷

高桑駒吉等編

東京 大日本圖書 明治二十九年（一八九六）十二月活版 外寸「二二・七×一五・六糎」 印記「竹内氏藏書」（上  
八四丁下八九丁）

一五册

二七二四

一册

二七二五

一册

二七二六

六册

二七二七

一册

二七二八

二册



鎌倉史 存卷第一至第七

小川弘(北海)著 村田直景校

東京 村田直景 明治十六年(一八八三)二月刊 立志塾藏板 外寸「三・五×一四・九糎」(單邊。無界。一〇行。

内匡郭「二六・五×一一・一糎」 一卷一二丁二卷一二至二二丁表三卷二二丁裏至二九丁四卷二二丁五卷一二至三三丁

六卷二四至三三丁七卷三四至四二丁)

二七二九  
二册

南狩錄三卷

味池修居著

東京 文成社 昭和六年(一九三一)六月活版 外寸「三・六×一三・八糎」 印記「月冷藏書之印」(上一九丁中

二九丁下二五丁。附錄「味池修居事略」岡直養著。四丁)

二七三〇  
二册

十三朝紀聞七卷

安田照矩編 男安田頼矩校

明治四年(一八七二)刊 其親樓藏版 外寸「一八・七×二二・九糎」 印記「豆陽南江問鄉環翠軒藏書記」(見返「增訂

慶弘紀聞附今日抄」單邊。有界。一〇行。内匡郭「一六×一〇・五糎」 漢字頭注訓點付。一卷二六丁二卷二二三

卷五〇丁四卷四二丁五卷二二丁六卷五二丁七卷二九丁)

二七三一  
四册

府朝事略十二卷

吉川久勁著

茨城縣鹿島町 吉川國男若不足塾 明治三十四年(一九〇二)十一月活版 外寸「三×一五・四糎」 印記「高等師範

大塚文庫之印」(上六六丁下六七丁)

二七三二  
二册

將門記

寛政十一年(一七九九)六月跋刊 原闕卷首十餘行 外寸「二六・四×一八・八糎」 印記「大橋藏書」(大橋長熹)(無

二七三三

匡郭。八行。三五丁。山岸氏識語「將門記一冊上田博士遺書也」

眞福寺本將門記

高橋貞一訓讀

昭和十八年（一九四三）高橋貞一寫 外寸「二五・四×一八糎」 （書名は書外題による。九五丁。一〇行二〇字詰原稿用紙使用。書き入れあり）

安徳天皇潜幸遺蹟

高山昇著

東京 皇典講究所印刷部 明治三十一年（一八九八）十月活版 外寸「三三・五×一四・九糎」 （一〇二頁）

扶桑見聞私記惣目錄二卷

〔明治期〕寫 外寸「二二・六×一五・九糎」 （一〇行。上四〇丁下三九丁）

扶桑見聞私記辨偽一卷姓氏辨一卷

伊勢貞丈著

安永六年（一七七七）九月刑部源定主寫 外寸「二六・八×一九糎」 印記「培達堂」菅譜藏之（大窪菅譜） （一〇行。漢字片假名。扶桑三四丁姓氏八丁。附「姓氏辯附説」伊勢貞丈著。四丁）

鎌倉北條九代記十二卷

大坂 秋田屋太右衛門等 （延寶三年（一六七五）大坂澁川清右衛門刊）江戸中期後印 外寸「二五・四×一八・二糎」 印記「紀州船津尾鷲屋」 （書名は目次首による。單邊。無界。二行。白口。單線魚尾。内匡郭「二・二×一六・五糎」 一卷三二丁二卷三二丁三卷三二丁四卷二九丁五卷三〇丁六卷三二丁七卷二九丁八卷二七丁九卷二四丁一〇卷二六丁 一一卷二八丁一二卷三二丁）

一冊

二七三四

一冊

二七三五

一冊

二七三六

一冊

二七三七

一冊

二七三八

一二冊

曾我復讐記

土田泰藏著

東京 土田泰藏 明治十年（一八七七）五月刊 外寸「一八・二×一二・七糎」（單邊。有界。八行。三四丁）

參考北條時賴記圖會五卷後編五卷

池田悠（東籬）作 松川半山畫

東武 山崎屋清七等 弘化五年（一八四八）刊（後編）〔江戸末〕刊 外寸「二四・八×一八糎」 印記「濱口」「本越」「館野」（單邊。無界。一二行。内匡郭「一八・一×一三・五糎」 一卷一九丁二卷二四丁三卷二五丁四卷二五丁五卷二五丁。後編一卷一六丁二卷二七丁三卷二七丁四卷二七丁五卷三三丁。「軍書小説類藏版目錄 大坂心齋橋通北久寶寺町 河内屋源七郎」三丁。奥付に製本處として「大阪心齋橋通北久寶寺町四丁目十八番地 前川源七郎」あり）

蒙古寇紀二卷

長村鑑（仲槃）纂輯 荒川忠元等同校

東京 元寇弘安役六百五十年記念會 昭和六年（一九三一）七月影印 外寸「二三・六×一六・五糎」（九行。上四五丁下六三丁。底本の序文末「文化十三年丙子春正月長村鑒識」）

三楠實錄上編十二卷中編五卷下編五卷

畠山郡興（竹隱）著

大坂 河内屋宇兵衛 享保六年（一七二二）五月刊 外寸「二六・三×一八・六糎」 印記「松平氏藏書印」（松平齊典）（單邊。無界。一〇行。内匡郭「二〇・二×一四・九糎」 漢字片假名）

親房卿被贈結城狀即關城書一卷吉野御事書案一卷上月記一卷

親北畠親房著 上堀秀也・上月滿吉著

〔江戸中期〕寫 外寸「二一・八×一五・三糎」 印記「阿波國文庫」（徳島蜂須賀家）（二〇行。親房六丁吉野六丁上月

二七三九

一册

二七四〇

一〇册

二七四一

一册

二七四二

一二册

二七四三

一册

四丁。奥書「右上月記以立原萬藏本校合了」 朱筆の書き入れあり

明徳記三卷

寛永九年（一六三二）刊 外寸「二六・六×一九・三糎」 印記「鎌田正憲藏書」（四周雙邊。無界。一二行。上下大黒口。雙花口魚尾。内匡郭「二・五×一七糎」 漢字片假名。上二丁中二九丁下二三丁）

鎌倉大草紙

元文二年（一七三七）石黒報清寫 外寸「二六・九×一九・七糎」 印記「待賈堂」「美織文成愛書」（岩本五）「すみその弘正」（八行。漢字片假名。九三丁。朱筆の書き入れあり）

鎌倉大草紙脱漏卽足利持氏滅亡記

東京 甫喜山景雄 明治十六年（一八八三）八月活版 外寸「二三×一五・四糎」 印記「金山郁貳之章」「金山郁二藏書」「古書保存會印」（我自刊我書之一。書名は題簽による。二二丁）

續太平記狸首編三十一卷首一卷

伊南芳通著  
貞享三年（一六八六）刊 外寸「二七・五×一九・三糎」 印記「松平氏藏書印」（松平齊典）（四周雙邊。無界。一〇行。上下大黒口。雙線魚尾。内匡郭「二〇・三×一五・八糎」）

後太平記四十二卷目錄一卷

多多良一龍（南宗庵）編 井上氏家（正重）校  
江府 渡邊善右衛門 延寶五年（一六七七）刊 外寸「二七・三×一九・四糎」 印記「松平氏藏書印」（松平齊典）（四周雙邊。無界。一二行。上下大黒口。雙花口魚尾。内匡郭「二一・六×一六・八糎」）

後太平記評判五十九卷目錄一卷

二七四四  
三册

二七四五  
一册

二七四六  
一册

二七四七  
三册

二七四八  
四三册

多多良一龍(南宗庵)編

〔京都〕 木原次郎右衛門・河合四郎兵衛 延寶九年(一六八二)五月刊 外寸「二七・六×一九・七糎」(單邊。無界。  
一二行。白口。雙魚尾。内匡郭「三・五×一七糎」

大塔物語

釋堯深著 成澤七郎左衛門校

江都 萬笈堂英屋大助 嘉永四年(一八五二)八月刊 外寸「二八・六×一九・五糎」(無匡郭。七行。四一丁)

大塔物語

釋堯深著

〔江戸末〕寫 外寸「二七×一九・三糎」(題簽「大塔物語原本謄寫」 六行。五一丁)

甲越春秋四卷

松原泰(子寧)著

江戸 山城屋佐兵衛等 慶應三年(一八六七)跋刊 外寸「二五・六×一七・八糎」 印記「善交」(四周雙邊。有界。  
九行。内匡郭「一八・六×一二・六糎」 一卷三五丁二卷三二丁三卷二六丁四卷三四丁)

理慶尼の記 一名 武田勝頼滅亡記

理慶尼著

江戸 玉巖堂和泉屋金右衛門等 〔天保八年(一八三七)三可書屋刊〕後印 外寸「二五・七×一八・六糎」 印記「山岡  
英子」〔西山藏書〕(書名は題簽による。單邊。無界。一〇行。内匡郭「二〇・一×一四・四糎」 頭注付。二八丁。〔玉  
巖堂製本書目 江戸横山町三丁目 和泉屋金右衛門〕九丁)

理慶尼の記

理慶尼著

二七四九

三〇冊

二七五〇

一冊

二七五一

一冊

二七五二

四冊

二七五三

一冊

二七五四

昭和十一年(一九三六)五月寫 外寸「二六・九×一九・二」(書名は書外題による。左右雙邊。無界。二行。一八丁。山岸氏識語「理慶尼の記脱題簽而已田夜物語後人之誤記也。讃岐高松藩松平頼壽伯披雲閣藏本云云」朱筆の書き入れあり)

本朝戰國策

〔明治期〕寫 外寸「二五×一八・三」(原敬)〔墨書〕(書名は序文首による。八行。二〇丁)

二七五五  
一册

室町殿日記八卷

榑村長教編

〔江戸後期〕寫 外寸「二七×一九・三」(書名は目次首による。一〇行。一卷三六丁二卷三一丁三卷一九丁四卷一九丁五卷二五丁六卷二八丁七卷二四丁八卷六〇丁。卷頭に山岸氏識語あり)

二七五六  
六册

諸家前太平記十四卷

京都 菱屋治兵衛 正徳六年(一七一六)一月刊 闕卷之一 外寸「二五・五×一七・八」(單邊。無界。一二行。内匡郭「二〇・四×一四・八」)

二七五七  
七册

本朝三國志三十五卷目錄一卷

皇都 山岡四郎兵衛・江戸 須原屋茂兵衛・玉置次郎兵衛 寶永六年(一七〇九)刊 外寸「二六・二×一八・一」(印記「松平氏藏書印」(松平齊典)〔單邊。無界。一行。内匡郭「二×一五・九」〕漢字片假名)

二七五八  
三六册

越後記大全二十卷

〔江戸後期〕寫 外寸「二・八×一五・三」(印記「和洋漢越後新潟資本所磯部宗次郎「いそべ」升傳」(八行。漢字片假名。一卷二〇丁二卷二〇丁三卷二五丁四卷二二丁五卷二四丁六卷二二丁七卷二二丁八卷一八丁九卷二六丁一〇卷二二丁一一卷二二丁一二卷二五丁一三卷二六丁一四卷二五丁一五卷三三丁一六卷二八丁一七卷二〇丁一八卷二五丁一九卷二五丁二〇卷二二丁。書き入れあり)

二七五九  
二〇册

近古史談字解四卷

大槻清崇（磐溪）著 福井淳解

大阪 積善館石田忠兵衛 〔明治三十四年活版〕明治三十八年（一九〇五）後印 外寸「一九×一三糎」（一二九頁）

近代正說碎玉話十卷即武將感狀記

熊澤正興（淡庵）編

〔正徳六年（一七一六）序刊〕江戸後期後印 關卷第五至第八 外寸「二五×一七・九糎」（單邊。無界。一一行。内匡郭「一九・四×一五・五糎」 漢字片假名。一卷二四丁二卷二二丁三卷二六丁四卷二六丁九卷三二丁一〇卷三五丁）

武者物語二卷

松田一樂入道（秀任）編

〔江戸末〕寫 外寸「三・七×一六・五糎」 印記「王鳳」「山岸旭生藏書」等（書名は卷末による。一二行。上二丁下二八丁。奥書「萬延元年庚申年八月十九日」）

武藏燈

〔江戸中期〕寫 外寸「二四・二×一七・一糎」（書外題「明曆三丁酉正月大火記」 假綴。八行。四七丁）

赤穂義人錄

室直清（鳩巢）著

慶應二年（一八六六）埜溝秀一寫 外寸「二五・七×一六・四糎」 印記「百□舍」（四周雙邊。有界。一二行。四二丁。印刷野紙使用）

赤城義臣傳十四卷首一卷

片嶋武矩（深淵子）編

二七六〇

一册

二七六一

六册

二七六二

一册

二七六三

一册

二七六四

一册

二七六五

〔江戸後期〕寫 外寸「二六・五×一八・四糎」(假綴。一一行。漢字片假名。底本「享保四年自序寫本」繪入。首一九丁一卷二五丁二卷二五丁三卷二四丁四卷二六丁五卷二六丁六卷二四丁七卷二〇丁八卷二四丁九卷一七丁一〇卷二二丁一一卷二〇丁一二卷二〇丁一三卷一五丁一四卷二二丁)

一五册

赤穂四十七士傳二卷

青山延光(珮弦齋)著

江戸 山城屋佐兵衛等 嘉永四年(一八五二)跋刊 外寸「二五・七×一七・五糎」印記「山本信行」(珮弦齋雜著之一。單邊。有界。一〇行。内匡郭「一八・四×二二・七糎」上二三丁下二四至五一丁)

二七六六  
二册

赤穂義士對話纂輯録

堀内傳右衛門著

〔江戸後期〕寫 外寸「三三・六×一六・九糎」(九行。九三丁)

二七六七  
一册

三王外記三卷

東武野史訊洋子著

〔江戸後期〕寫 外寸「三三・一×一六・五糎」(書名は書外題による。一一行。憲王一九丁文王七丁章王三丁。識語「三王外記三卷太宰春臺撰也或曰澁井大室撰歟 訊洋子」)

二七六八  
一册

三王外紀三卷

東武野史訊洋子著

〔江戸後期〕寫 外寸「三三・九×二二・二糎」印記「中井文庫」「完月亭文笑」(墨書)(書名は書外題による。一一行。憲王二四丁文王八丁章王四丁。附録「三王外紀侯名録」墨筆朱筆の書き入れあり)

二七六九  
一册

三王外記三卷

東武野史訊洋子著

二七七〇



〔江戸中期〕寫 外寸「二八・二×二〇・七糎」 （書名は巻尾による。假綴。一〇行。憲王三六丁文王九丁章王四丁。序「題三王外記：明和甲申夏探幽子記」 朱筆の書き入れあり）

## 明和時津風隱密錄

〔江戸後期〕寫 外寸「二・四×一三・八糎」 「甲斐國巨摩郡逸見：小澤榮吉」（墨書） （書名は目次首による。九行。四八丁）

## 澤海騷動大栄寺通夜物語

寛政元年（一七八九）成海信孝寫 外寸「二四・三×一六・七糎」 印記「漆山文庫」（漆山順次） （書名は目次首による。題簽「大栄寺通夜物語」 七行。三一丁。山岸氏識語「大栄寺中蒲原郡澤海村ナリ曹洞禪宗也」）

## 美女復讐實記

〔江戸後期〕寫 外寸「二四・二×一七糎」 （八行。三八丁。跋「富永贍翁先生皆傳 平欽政記」 識語「原本外題燭蠻塾欽政日記とあり」）

## 西丸御書院番松平外記刃傷之始末

〔江戸末〕寫 外寸「二二・三×一六・六糎」 （書名は書外題による。一四行。一七丁。奥書「文政六未年四月より十月にいたる」）

## 文政六年松平外記餘聞

〔江戸末〕寫 外寸「一九・六×一三・四糎」 印記「永井」 （書名は書外題による。六行。六七丁）

## 水戸見聞實記

坂井四郎兵衛編

一册

二七七  
一册

二七七  
一册

二七七  
一册

二七七  
一册

二七七  
一册

二七七  
一册

水戸 知新堂支店 明治二十八年(一八九五)一月活版 外寸「三・七×一六・二糎」(二〇八丁)

外櫻田一件

萬延元年(一八六〇)七月工藤氏寫 外寸「二五×一五・六糎」 印記「穗高藏書」(書名は書外題による。七行。三六丁)

啓運録

村田峰次郎編

京都 田中治兵衛 明治三十年(一八九七)十一月活版 尊攘堂藏板 外寸「三・七×一五・八糎」(五五丁)

東台戦記五卷

明治七年(一八七四)一月寫 外寸「二五・四×一六・六糎」(二〇行。一卷一〇丁二卷九丁三卷八丁四卷九丁五卷一〇丁)

大祕録前集四卷

池田成章著

〔江戸後期〕寫 外寸「二四×一七・二糎」 印記「棟居」勢屯棟居」(八行。一卷二六丁二卷二八丁三卷二〇丁四卷三二丁)

環齋記聞

鎌田環齋著

〔江戸後期〕刊 外寸「横本二・八×一八・二糎」 印記「浦和宿仲町吉野屋豊治郎」「よしの家」薰風」(單邊。無界。一四行。白口。單魚尾。内匡郭「二〇・四×一五・二糎」六〇丁)

神皇正統記六卷

一册

二七七七  
一册

二七七八  
一册

二七七九  
一册

二七八〇  
二册

二七八一  
一册

北畠親房著

京都 風月宗知〔江戸初期刊〕慶安二年（一六四九）後印 外寸「二五・八×一八・二糎」 印記「牧野氏」（單邊。無界。一〇行。白口。無魚尾。内匡郭「二・七×一五・七糎」 一卷三四丁二卷二四丁三卷三〇丁四卷二九丁五卷三三丁六卷三二丁）

二七八二

二册

## 神皇正統記

北畠親房著

奈良縣吉野町 龍門文庫阪本千代 昭和四十三年（一九六八）十一月複製 印刷「京都 便利堂」 外寸「二六・一×二〇・六糎」〔阪本龍門文庫複製叢刊之八。大和綴。一二行。漢字片假名。一八丁。底本「龍門文庫所藏古寫本」〕

二七八三

一册

## 中朝事實二卷

山鹿高祐（素行）著

東京 東京武藏野書院 昭和十二年（一九三七）十月影印 外寸「二七・八×一九・六糎」（一〇行。天七九丁地七九丁。附錄「解說」廣瀬豐著）

二七八四

二册

## 保建大記二卷

栗山愿（潛鋒）著

〔京都〕六角通御幸町 茨城多左衛門 正德六年（一七一六）刊 外寸「二五・七×一七・九糎」 印記「棚津藏書」（單邊。無界。九行。内匡郭「一九×一四・六糎」 漢字句點訓點付。上一五丁下二二丁）

二七八五

二册

## 通語十卷

中井積德（履軒）著

大阪 河内屋記一兵衛・江戸 須原屋茂兵衛 天保十四年（一八四三）十二月刊 外寸「二五・一×一七・九糎」 印記「藤崎藏書」（左右雙邊。有界。九行。内匡郭「一八・一×二・二糎」 漢字句點訓點付。一卷八丁二卷九至一六丁三卷一七至三〇丁四卷三一至四四丁五卷二一丁六卷二三至二四丁七卷二五至三六丁八卷三三丁九卷二四至四五丁一〇卷

二七八六

三册

四六至五二丁

傳疑小史

中井積徳(履軒)著

江戸 平野屋平助等 嘉永三年(一八五〇)刊 外寸「二一・三×一五・二」  
印記「阿川義道」「阿川所藏」(單邊。  
有界。八行。内匡郭「一四六×一〇・二」  
「二二丁。書き入れあり」)

二七八七  
一册

國史纂論十卷

山縣禎(太華)編

〔東京〕 鈴木瀧三郎 明治十一年(一八七八)二月刊 外寸「二二・四×一五・二」  
印記「山崖十茂能藏書」「山岸氏  
藏書之章」(單邊。無界。九行。内匡郭「一八・六×一二・六」  
一卷二八丁二卷三七丁三卷四一丁四卷三七丁五卷  
三九丁六卷三六丁七卷三七丁八卷三二丁九卷三四丁一〇卷三五丁)

二七八八  
五册

日本名家史論鈔四卷

清田嘿編

東京 磯部太郎兵衛 明治十三年(一八八〇)四月刊 外寸「一八・五×一二・四」  
(四周雙邊。有界。一二行。内  
匡郭「一四・一×九・九」  
一卷二八丁二卷三四丁三卷四一丁四卷四四丁)

二七八九①  
四册

續日本名家史論鈔三卷

齋藤實穎編

東京 磯部太郎兵衛 明治十二年(一八七九)五月活版 外寸「一七・八×一二・二」  
(一卷二四丁二卷二六丁三卷  
三四丁)

二七八九②  
三册

金鋤論二卷

釋大我絶外著

二七九〇

京師 柳枝軒小川多左衛門 寶曆十二年（一七六二）七月序刊 外寸「二五・五×一八・二糎」 印記「中山氏藏書之記」  
（中山久四郎）「益田藏書之證第四百號」 （四周雙邊。有界。一〇行。内匡郭「一九・六×一三糎」 漢字句點訓點付。  
上二七丁下二八丁。書き入れあり）

## 上宮聖德法王帝說證註

狩谷望之（極齋）著 長田權次郎校

東京 裳華房 明治四十三年（一九一〇）七月活版 外寸「二五・三×一五糎」 （題簽「法王帝說證註」 一三丁）

## 菅家傳

東京 侯爵前田家育德財團 昭和十九年（一九四四）六月複製 外寸「三三・二糎」 （書名は解説による。卷頭「小野  
天神御傳并御託宣等」 底本「前田家所藏元祿二年寫本」 別冊「菅家傳解説」一六頁）

## 菅家寔錄三卷

松本慎（愚山）著

〔京都〕 北村庄助・北村四郎兵衛 寛政十年（一七九八）十二月刊 外寸「二八・四×一八・九糎」 印記「葛廼家文庫」  
〔千葉葛野〕「榮郭齋藏」〔筒井喜一郎〕（無匡郭。一〇行。繪入。松一五丁竹二七丁梅三三丁）

## 菅家御一代記

文化十三年（一八一六）六月池田氏寫 外寸「二三・七×一六・九糎」 （一一行。一九丁）

## 菅公傳

天保三年（一八三二）四月太尾橋長昭寫 外寸「二三・八×一七・一糎」 （書名は書外題による。一一行。二二丁）

一册

二七九一

一册

二七九二

卷子本一卷・別冊解説一  
册

二七九三

三册

二七九四

一册

二七九五

一册

〔菅公略傳〕

龜井昱(昭陽)著

東都 和泉屋善兵衛 嘉永二年(一八四九)三月刊 外寸「二・八×一五・二糎」 印記あり (左右雙邊。有界。八行。  
内匡郭「一三・九×九・一糎」 一六丁)

二七九六  
一册

又

〔東都〕 〔和泉屋善兵衛〕 〔嘉永二年(一八四九)三月刊〕 外寸「二・八×一五・二糎」 印記「清齋」 (左右雙邊。  
有界。八行。一六丁。與二七九六番同版。但し奥付闕)

二七九七  
一册

種生傳即兼好法師傳

篠田厚敬著

〔江戸中期〕寫 外寸「二四・二×一六・九糎」 印記「白石氏藏書」 〔黒川文庫〕(朱筆) (一〇行。二〇丁)

二七九八  
一册

嵯峨野之露

谷森善臣著

東京 青山堂書房 明治三十五年(一九〇二)九月活版 外寸「三・六×一六・六糎」 (一〇八頁)

二七九九  
一册

種玉菴宗祇傳

福住道佑(竹溪逸人・如松子)著

昭和二年(一九二七)山岸德平寫 外寸「二七×一九・八糎」 (九行。一〇丁。山岸氏識語「種玉菴宗祇傳一册圖書寮  
藏本也」)

二八〇〇  
一册

賊禁祕誠談二卷

弘化三年(一八四六)二月山崎文平寫 外寸「二七・三×一九・五糎」 (一〇行。上四七丁下四九丁。識語「于時弘化第  
三丙午年二月滿而又十一日之且書寫成 土 長岳郡殖田郷本庄住山崎文平(花押)」)

二八〇一  
二册

## 神君御祕章

文政十三年（一八三〇）寫 外寸「二五・七×一九・二糎」（九行。二〇丁。識語「文政十三庚寅晚秋六十五翁謹写」）

二八〇二  
一册

## 正保遺事

矢野玄道著

明治九年（一八七六）十月中尾五百寫 外寸「二七・五×一九・九糎」 印記「中尾藏書」（一〇行。九丁。中尾氏識語「此一册以栗田寛先生手筆本書写了」）

二八〇三  
一册

## （空前絶後盲人之王）塙檢校傳

渡邊知三郎編 塙忠韶校

東京 黃眉山房 明治二十五年（一八九二）十一月活版 外寸「三・八×一六・七糎」（二四丁）

二八〇四  
一册

## 小野湖山翁小傳

豐橋市教育會編

豐橋 豐橋市教育會 昭和六年（一九三二）十一月活版 外寸「二・二×一五・三糎」（一一一頁）

二八〇五  
洋裝一册

## 本朝年代人物掌覽前編二卷

鶴峰戊申編

京都 北村太助等 文政八年（一八二五）九月刊 外寸「横本二・五×一八・二糎」（單邊。有界。一四行。内匡郭「二〇・七×一四・五糎」 上六一丁下七七丁）

二八〇六  
二册（合綴一册）

## 日本古今人物史七卷

宇都宮由の著

寛文十二年（一六七二）五月刊 外寸「二六・三×一六・三糎」 印記「子孫永保／雲煙家藏書記」（安西雲煙）「霞亭圖書」

二八〇七  
七册

(渡邊霞亭) (單邊。無界。九行。白口。無魚尾。内匡郭「一・八×一・三・四糎」 一卷二八丁二卷二五丁三卷一八丁四卷二二丁五卷一六丁六卷一七丁七卷二〇丁)

七 武

林春齋(恕)著

寛文四年(一六六四)一月跋刊 外寸「二七×一八・二糎」 印記「白石氏藏書」 「鵜飼氏藏書」(墨書) (四周雙邊。無界。一〇行。白口。雙花口魚尾。内匡郭「二〇・二×一四・九糎」 二六丁)

七 武

林春齋(恕)著

〔江戸〕 中野左太郎・〔京都〕婦屋仁兵衛 延寶四年(一六七〇)五月刊 外寸「二七・三×一九・一糎」 「嫦娥亭氏藏書」(朱筆) (四周雙邊。無界。六行。白口。單魚尾。内匡郭「三・四×一六・九糎」 鼈頭本。二七丁)

國朝諫諍錄二卷

藤井臧(懶齋)著

貞享四年(一六八七)序刊 外寸「二六×一八・二糎」 印記「毛利藏書」 「許斐櫻家」(墨書) (單邊。無界。八行。白口。單魚尾。内匡郭「二〇・三×一四・七糎」 上三九丁下三八丁)

新古事鏡六卷 卽 雜雜拾遺

藤原行定著

石梁齋 (元和三年(一六一七)跋)江戸中期刊 外寸「三・九×一六・四糎」 印記「香雅堂記」 (書名は見返による。單邊。無界。一〇行。白口。無魚尾。内匡郭「一七・五×一三・七糎」 一卷二四丁二卷三三丁三卷二四丁四卷二二丁五卷二五丁六卷二二丁)

本朝遯史二卷

二八〇八

一册

二八〇九

一册

二八一〇

二册(合綴一册)

二八一

三册



林靖（讀耕齋）著

京都 大森安右衛門 寛文四年（一六六四）刊 外寸「二五・八×一七・一糎」 印記「成經之印」「源成經之印」「杉本」「栖霞館」（四周雙邊。無界。一〇行。白口。無魚尾。内匡郭「二×一四・一糎」 上三一丁下三八丁。朱筆の書き入れあり）

二八二一

二册（合綴一册）

扶桑隱逸傳三卷

釋元政（日政）著

〔江戸中期〕刊 外寸「二七・五×一八・三糎」 （書名は目次首による。單邊。無界。九行。白口。無魚尾。内匡郭「一九・八×一三・五糎」 繪入。上三九丁中四一丁下三八丁）

二八一三

三册

本朝孝子傳三卷

藤井臧（懶齋）著

京都寺町通松原下ル町 勝村治右衛門等 〔貞享三年（一六八六）八月刊〕後印 外寸「二五・二×一七・六糎」 印記「工藤八之助藏書」（單邊。無界。九行。白口。單魚尾。内匡郭「一九・六×一四・五糎」 繪入。上四八丁中五〇丁下七八丁）

二八一四

三册

本朝孝子傳三卷

藤井臧（懶齋）著

〔京都〕 西村孫右衛門 貞享三年（一六八六）八月刊 外寸「二五・四×一八糎」 印記「増田氏藏書印」（單邊。無界。九行。白口。單魚尾。内匡郭「一九・四×一四・三糎」 繪入。上四八丁中五〇丁下七八丁）

二八一五

三册

古史言行頌二卷

萩原正平著 井上頼罔校

東京 神習舎 明治五年（一八七二）跋刊 外寸「二六・七×一八・六糎」 印記「増田藏」（單邊。無界。一〇行。内匡郭「二〇・一×一四・五糎」 上四六丁下四六丁。「名越舍大人及門人著述書目 神習舎塾藏版」一丁）

二八一六

二册

曾我二孝子傳

河津祐淳著

慶應元年（一八六五）八月序刊 外寸「二・二×一四・九糎」（單邊。無界。一〇行。内匡郭「一八・八×一二・一糎」一二丁）

二八一七  
一册

近世人鏡錄十卷附錄一卷

角田簡（九華）著

玉瑞堂 文政四年（一八二二）七月序刊 外寸「二五・九×一八・二糎」（單邊。有界。一一行。内匡郭「一八・二×一二・八糎」一卷二〇丁二卷二八丁三卷四五丁四卷四二丁五卷二八丁六卷二八丁七卷二六丁八卷三〇丁九卷二九丁一〇卷三六丁附三七至四二丁）

二八一八  
一〇册

勢免天話艸二十卷續編二十卷

澁井德章等編

〔江戸後期〕寫 關卷正編第一八至二〇 外寸「二六・六×一九糎」 印記「五十嵐甚藏圖書之記」（無匡郭。一〇行。山岸氏識語「正篇卷之七欠也」）

二八一九  
一三册

近世叢語八卷

角田簡（九華）著

大坂 加賀屋善藏・東都 和泉屋庄次郎・京都 伏見屋藤右衛門 文政十一年（一八二八）刊 外寸「二五・六×一七・九糎」 印記「長氏藏書」（左右雙邊。有界。一〇行。内匡郭「一七・五×一一・八糎」一卷三二丁二卷二二丁三卷三三丁四卷二二丁五卷一八丁六卷一六丁七卷三三丁八卷一八丁）

二八二〇①  
四册

續近世叢語八卷

角田簡（九華）著

二八二〇②

江戸 岡田屋嘉七等 弘化二年（一八四五）刊 外寸「二五・五×一七・五糎」 印記「長氏藏書」（左右雙邊。有界。  
一〇行。内匡郭「一七・八×一一・八糎」 一卷二七丁二卷二三丁三卷二六丁四卷二五丁五卷二七丁六卷一八丁七卷  
一六丁八卷一八丁）

名家略傳四卷

山崎美成著 千賀春城訂

大阪 河内屋茂兵衛等 天保十二年（一八四一）自序刊 外寸「二四・一×一七・三糎」 印記「丘氏之記」「五十嵐藏書」  
「報本堂松岡氏藏書記」（松岡萬）「著洲堂櫻物窓」（單邊。無界。一一行。内匡郭「一九・四×一四・三糎」 一卷二八  
丁二卷三〇丁三卷三〇丁四卷三一丁）

古學小傳三卷

清宮秀堅（棠陰）著

千葉縣佐原町 清宮利右衛門 明治三十六年（一九〇三）七月活版 外寸「三三×一五・四糎」（一卷三〇丁二卷三一  
丁三卷三六丁。附錄「松下見林略傳」四丁「祖父棠陰翁小傳」二丁）

先哲叢談八卷

原善（念齋）著

江戸 玉巖堂和泉屋金右衛門等 文化十三年（一八一六）九月刊 外寸「二五・五×一八糎」（左右雙邊。有界。一〇  
行。内匡郭「一七・五×一二・二糎」 漢字句點訓點付。一卷一五丁二卷二四丁三卷二三丁四卷二八丁五卷二八丁六卷  
三〇丁七卷二五丁八卷二八丁。「玉巖堂藏梓目錄 東都兩國横山町三丁目 和泉屋金右衛門」七丁。墨筆朱筆の書き  
入れあり）

先哲叢談後編八卷

東條信耕（琴臺）著

大阪 群玉堂河内屋茂兵衛等 文政十三年（一八三〇）五月序刊 外寸「二五・五×一八糎」（左右雙邊。有界。一〇

四册

二八二一

四册

二八二一

三册（合綴一册）

二八二三①

四册

二八二三②

四册

行。内匡郭「一七・四×一二・二」[「榧」漢字句點訓點付。一卷「三三・二卷」「三三・三卷」「三四・四卷」「二二・五卷」「三三・六卷」「二八・七卷」「二七・八卷」「三七・丁」。「琴臺東條先生著述書目 江戸慶元堂」半丁。朱筆の書き入れあり]

先哲叢談續編十二卷

東條信耕（琴臺）著

東京 千鐘房北畠茂兵衛 明治十七年（一八八四）一月刊 外寸「二五・五×一八・榧」 印記「山邨氏藏書畫之章」（左右雙邊。有界。一〇行。内匡郭「一七・六×一二・二」[「榧」漢字句點訓點付。一卷「二五・丁」「二卷」「三〇・丁」「三卷」「二五・丁」「四卷」「二九・五卷」「二四・六卷」「二二・七卷」「二五・八卷」「三三・九卷」「二六・丁」「一〇卷」「二五・丁」「一卷」「三〇・丁」「二卷」「三八・丁」]

先哲叢談年表

東條信耕（琴臺）著

大阪 河内屋茂兵衛等 （文政十年（一八二七）十月自序江戸慶元堂・青雲堂刊）後印 外寸「二五・五×一八・榧」 印記「久須美」「於浪花得之」（左右雙邊。有界。一〇行。内匡郭「一七・四×一二・二」[「榧」二四・丁。朱筆の書き入れあり]

先哲傳記

〔明治期〕寫 外寸「二六・八×一九・四」[「榧」 印記「土館長言藏本」（一四行。二九・丁）

先哲像傳四卷

原義胤（徳齋）著

大阪 河内屋茂兵衛等 （弘化元年（一八四四）序刊）後印 潤身堂藏梓 外寸「二五×一七・八」[「榧」 印記「林氏圖書」「東園文庫」（林東園）（書名は目次首による。單邊。無界。一〇行。内匡郭「一七・四×一一・九」[「榧」 一卷「三三・二」「二卷」「二五・丁」「三卷」「二六・丁」「四卷」「二七・丁」。書目「浪花書林 心齋橋通博勞町角 河内屋茂兵衛藏板」八丁。朱筆の書き入れあり]

二八二三③

六册

二八二三④

一册

二八二四

一册

二八二五

一册

又

弘化元年（一八四四）序刊 潤身堂藏梓 外寸「二五×一七・八糎」 印記「安達藏」（與二八二五番同版）

## 近世偉人傳初編二卷二編二卷三編二卷四編二卷五編二卷

蒲生重章（子闇）著

東京 蒲生重章青天白日樓 明治十年至明治十四年（一八八一）刊 外寸「二二・二×一五糎」 印記「竹浦文庫」「關憲窩文庫章」（左右雙邊。有界。一〇行。内匡郭「一六・五×一一・八糎」 頭注付。初編上三七丁下四〇丁。二編上三一丁下三八丁。三編上四一丁下三七丁。四編上三一丁下三八丁。五編上三二丁下三七丁。發兌人「東京 青山清吉・東生龜次郎・森田鐵五郎」 奥付に發行書林として「信州上田原町鼠屋甲造から江戸柳原町川越屋松次郎まで」全一八書肆名あり。但し初篇のみ鼠屋甲造に代えて「西京姉小路上ル町 菱屋孫兵衛」とする）

## 近世偉人傳初編二卷二編二卷三編二卷四編二卷五編二卷義集初編二卷二編二卷

蒲生重章（子闇）著

東京 蒲生重章青天白日樓 明治十年至明治十七年（一八八四）刊 外寸「二二・三×一五糎」 印記「松嶺私立學校之印章」（義集の目次首「近世偉人傳義次集」 左右雙邊。有界。一〇行。内匡郭「一六・五×一一・八糎」 頭注付。初編上三七丁下三九丁。二編上三一丁下三八丁。三編上四一丁下三七丁。四編上三二丁下三八丁。五編上三二丁下三七丁。義集初編上二九丁下三六丁。二編上三四丁下四二丁。與二八二七番五編まで同版。但し初編の發行書林は「鼠屋甲造」ほか同一の書肆）

## 近世偉人傳三編二卷

蒲生重章（子闇）著

東京 蒲生重章青天白日樓 明治十二年（一八七九）刊 外寸「二二・二×一五糎」 （左右雙邊。有界。一〇行。内匡郭「一六・五×一一・八糎」 頭注付。上四一丁下三七丁。與二八二七番三編同版）

二八二六  
四冊

二八二七  
一〇冊

二八二八  
一四冊

二八二九  
二冊

近世畸人傳五卷

伴資芳(蒿蹊)著 三熊思孝(花顛)畫

大阪 河内屋茂兵衛等 [寛政二年(一七九〇)三月序刊]後印 外寸「二五・三×一八糎」印記「多奈加乃勝比呂」  
「五十嵐氏藏書」(無匡郭。一二行。一卷三〇丁二卷四〇丁三卷四二丁四卷三八丁五卷四三丁。書目「大坂心齋橋博  
勞町 河内屋茂兵衛梓」三丁)

二八三〇①  
五册

續近世畸人傳五卷

三熊思孝(花顛)編 伴資芳(蒿蹊)校

平安 長村太助等 寛政十年(一七九八)一月刊 外寸「二五・三×一八糎」印記「五十嵐氏藏書」「日本目耕」「白水」  
(無匡郭。一二行。一卷三四丁二卷四四丁三卷三三丁四卷三三丁五卷二九丁)

二八三〇②  
五册

譚海四卷

依田百川(學海)著

東京 鳳文館 明治十七年(一八八四)八月刊 (三・四卷) 東京 博文館 [明治十八年六月刊]明治二十七年  
(一八九四)六月後印 外寸「二三・七×一五・六糎」(三・四卷)「二三・二×一五・六糎」(單邊。有界。一〇行。内匡郭  
「二六・五×一一・三糎」 一卷五三丁二卷五三丁三卷五二丁四卷五四丁)

二八三一  
四册

武家華族名譽傳 存初編下

子安信成編 山本勝月畫

東京 子安信成 明治十三年(一八八〇)十二月銅版印 外寸「一八・二×一二・一糎」(單邊。無界。一二行。内匡  
郭「一四・三×九・二糎」 三三丁。奥付に發兌として「東京 山中市兵衛」あり)

二八三二  
一册

諸家人物誌二卷

池永豹(南山道人)著

二八三三

大坂 柏原屋喜兵衛・江戸 西村源六 寛政十二年（一八〇〇）一月刊 外寸「一五・二×一〇・七厘」（單邊。無界。  
一一行。内匡郭「二・九×八・六厘」 上七四丁下二五丁）

續諸家人物誌三卷

青柳文藏（東里・茂明）著

東京 大川錠吉 〔文政十二年（一八二九）浪華 伊丹屋善兵衛・秋田屋太右衛門・東都 須原屋茂兵衛刊〕明治期後  
印 外寸「一五・三×一〇・八厘」 印記「松洲書屋伊達氏圖書之印」（仙臺藩伊達家）（四周雙邊。無界。一一行。内  
匡郭「二・九×八・八厘」 上三六丁中三八丁下四〇丁）

三名家略年譜一名墨林清芬 野呂介石先生田能村竹田先生賴山陽先生

熊谷直之著

京都 熊谷鳩居堂 〔明治四十年八月活版〕明治四十四年（一九一一）七月訂正三版 外寸「一九・六×一二・四厘」  
（四四丁）

俳諧種卸増補三國人名牒

古來庵存疑著 龍鱗庵素月訂補 高井蘭山校

江戸 須原屋伊八・大坂 河内屋八兵衛 文化九年（一八一二）刊 外寸「一八・八×一二・七厘」（單邊。無界。三  
段組。内匡郭「二・六×一〇・四厘」 六三丁）

江戸當時諸家人名錄初編一卷二編一卷

二編 扇面亭編 層山堂校

江戸 層山堂 〔文化十二年九月至文政元年江戸西村宗七刊〕文政三年（一八二〇）修訂 外寸「一八・二×一二・一厘」  
印記「桃舍藏」（單邊。有界。五行。内匡郭「三・五×九・六厘」 初編「三丁二編一九丁」）

江戸今世醫家人名錄初編

武井周朔（櫟滙）、稻葉濶堂（得齋）同編

文政二年（一八一九）十一月刊 兩塾藏版 外寸「一八・四×二二・一糎」（單邊。有界。八行。内匡郭「二三・三×八・六糎」四〇丁。墨格多數）

二八三八  
一册

江戸現在廣益諸家人名錄一卷附錄一卷

天保七年（一八三六）序刊 外寸「一七・八×二二・二糎」（單邊。有界。六行。内匡郭「一三・四×九・三糎」四三丁附九丁。墨格あり）

二八三九  
一册

江戸現在廣益諸家人名錄

〔天保七年（一八三六）序刊〕後印 外寸「一七・八×二二・二糎」（單邊。有界。六行。内匡郭「一三・四×九・三糎」四三丁。與二八三九番同版。但し附錄闕。墨格あり）

二八四〇  
一册

安政文雅人名錄

〔江戸〕弘文堂細谷義兵衛 安政七年（一八六〇）序刊 外寸「横本二一・八×一八・四糎」（書名は題簽による。單邊。有界。八行。内匡郭「一〇・七×一五・六糎」七二丁）

二八四一  
一册

平安人物誌三卷附錄一卷追加一卷

弄翰子編

皇都 尙書堂堺屋仁兵衛 嘉永五年（一八五二）一月刊 外寸「一五・八×一一・二糎」（單邊。有界。七行。内匡郭「一二・六×八・六糎」上一丁中一二至三二丁下三三至五七丁附五八至六二丁追加六三至六七丁。〔尙書堂藏版書目 皇都書房三條通柳馬場東入町 尙書堂堺屋仁兵衛藏〕一〇丁）

二八四二  
一册

養徳錦顯文鈔

堀直格著

嘉永六年（一八五三）刊 花廼家藏版 外寸「一七・四×八・五糎」（單邊。有界。五行。内匡郭「一二・九×六・一糎」

二八四三  
一册



四三丁

## 江戸諸家人名録二卷

相見繁一編

東京 圖書刊行會・吉川弘文館 大正七年（一九一八）十二月活版 外寸「一八・九×一二・三・三厘」  
内容 「江戸當時諸家人名録」（文化十二年）（文政元年）。「當時現在廣益諸家人名録」（天保七年）（天保十三年）（文久元年）

二八四四  
二册

## 尾張名家誌初編二卷

細野忠陳（要齋）著

尾州名古屋 井筒屋文助 安政四年（一八五七）十一月刊 寂感舎藏版 外寸「二五・七×一八・厘」（左右雙邊。有界。  
一〇行。内匡郭「二七・四×一一・九厘」 上一五丁下二二丁）

二八四五  
二册

## 尾張名家誌初編二卷二編二卷補遺一卷増張城名家墓所集覽一卷

細野忠陳（要齋）著 （増）小寺王晁編

（初編）尾州名古屋 井筒屋文助 安政四年（一八五七）十一月刊 （二編・補遺・張城）東京 山本景三 大正七年（一九一八）三月油印本 外寸「二五・七×一八・厘」（一〇行。初編上一五丁下二二丁。二編上二六丁下二四丁補一一丁附一二丁。與二八四五番初編同版）

二八四六  
五册

## 廣島縣儒者傳

手島益雄著

東京 東京藝備社 大正十四年（一九二五）一月活版 外寸「三三・八×一六・四厘」（偉人傳第一編。二六頁）

二八四七①  
一册

## 廣島縣續儒者傳

手島益雄著

二八四七②

東京 東京藝備社 大正十四年（一九二五）十月活版 外寸「二三・八×一六・四糎」〔偉人傳第一〇編。二六頁〕

廣島縣先賢傳

手島益雄著

東京 東京藝備社 昭和十八年（一九四三）活版 外寸「二五・六×一八糎」〔二〇〇頁〕

華山法皇山陵私考

兒島左久雄著

東京 兒島左久雄徳風館 明治二十八年（一八九五）活版 外寸「三三・四×一六・一糎」〔三〇丁〕

長慶天皇山中陵私考

天野隆義著

山梨縣瑞穂村 天野隆義 昭和十二年（一九三七）七月活版 外寸「一八・九×一二・六糎」〔書名は題簽による。大和綴。九三頁〕

姓序考

細井貞雄著

江戸 萬屋太次右衛門 文化十一年（一八一四）五月刊 詞花堂藏板 外寸「二五・五×一八・七糎」〔單邊。無界。一行。内匡郭「二九・六×一四・八糎」 三八丁〕

歷朝大綱

〔江戸末〕寫 外寸「二五・二×一八・八糎」 印記「井上氏」（井上頼圀）〔書名は書外題による。八行。二七丁。朱筆の書き入れあり〕

續皇胤紹運錄 即 本朝皇胤續紹運錄

一冊  
二八四八  
一冊  
二八四九  
一冊  
二八五〇  
一冊  
二八五一  
一冊  
二八五二

速水房常等著

〔江戸後期〕寫 外寸「二七×一九・二厘」 印記「松本藏書」「岸本家藏書」「岸本由豆流」（一二行。三五丁）

纂輯御系圖

横山由清・黒川眞頼同編

〔東京〕元老院 明治十年（一八七七）刊 外寸「二六×一八・二厘」（無匡郭。一〇行。上冊四八丁下冊五〇丁）

纂輯御系圖

横山由清・黒川眞頼同編 佐藤誠實校

東京 須原屋松成堂松成伊三郎 〔明治十一年元老院刊〕明治二十七年（一八九四）四月後印 外寸「二五・八×一八・二厘」 印記「滋賀縣蒲生郡金田尋常小學校」（無匡郭。一〇行。上冊四八丁下冊五〇丁）

集成御系譜考四卷附錄一卷

屋葺政衛（冠山）編

四日市 屋葺政衛 大正五年（一九一六）五月活版 外寸「三・四×一六・二厘」（一卷五二丁二卷四四丁三卷四九丁四卷二二丁附四四丁）

皇位繼承篇十卷附錄一卷

横山由清・黒川眞頼同編

東京 元老院 明治十一年（一八七八）刊 外寸「二六×一八・三厘」（角書「舊典類纂」 四周雙邊。無界。一三行。内匡郭「二〇・三×一四・七厘」 漢字片假名。一卷一七丁二卷二七丁三卷三七丁四卷二四丁五卷三〇丁六卷二六丁七卷四二丁八卷四一丁九卷二四丁一〇卷二六丁附六五丁。）

皇位繼承篇十卷附錄一卷

横山由清・黒川眞頼同編

二八五三

一冊

二八五四

二冊

二八五五

二冊

二八五六

四冊

二八五七

六冊

二八五八

東京 須原屋松成堂松成伊三郎〔明治十一年元老院刊〕明治二十七年（一八九四）四月後印 外寸「二五・五×一八・二糎」 印記「金田青年文庫」「滋賀縣蒲生郡金田尋常小學校」（四周雙邊。無界。二三行。内匡郭「二〇・三×一四・七糎」 漢字片假名。一卷一七丁二卷二七丁三卷三七丁四卷二四丁五卷三〇丁六卷二六丁七卷四二丁八卷四一丁九卷二四丁一〇卷二六丁附六五丁）

中臣宮處氏本系帳考證二卷

敷田年治（百園）著

東京 玄同舎 明治二十八年（一八九五）十二月刊 外寸「二六・四×一八・四糎」〔單邊。無界。七行。内匡郭「二〇・二×一四・四糎」 上二四丁下二七丁。〕「百園敷田年治先生著述書目」二丁）

斷絶諸家大概竝親王家略傳

文政十二年（一八二九）九月刑部爲純寫 外寸「二五・一×一七・八糎」 印記「爲純之印」「□白文庫」「吉水王宮重代以進藤藏」（墨書）（一二行。一九丁。刑部爲純識語「湊河昇平遺意書物之内殿上諸家兩三卷之其一也爲忘由緒加筆如件」 朱筆の書き入れあり）

諸家知譜拙記三卷

土橋定代編

洛陽 平野屋佐兵衛 貞享三年（一六八六）九月刊 外寸「二七・八×一七・五糎」〔無匡郭。五行。上一二丁中五五丁下三七丁〕

改正増補諸家知譜拙記五卷

土橋定代編 速水房常校正 速水忠常補

皇都 竹原好兵衛 天保十年（一八三九）一月刊 外寸「二七×一九糎」〔書名は目次首による。無匡郭。五行。一卷一二丁二卷三三丁三卷二二丁四卷二七丁五卷三九丁。朱筆の書き入れあり〕

六册

二八五九  
二册

二八六〇  
一册

二八六一  
三册（合綴一册）

二八六二  
五册

鎌倉將軍家譜

林道春（羅山）著

東京 豐田政恆 明治十六年（一八八三）九月活版 外寸「二三×一五・二糎」 印記「伊達邦宗藏書」「伊達菊重郎圖書之印」「伊達菊重郎圖書之章」（伊達邦宗）（一八丁）

後奈良院宸記 莫明抄

後奈良天皇著

東京 宮内廳書陵部 昭和二十六年（一九五二）三月複製 外寸「二八・四糎」 （卷頭「後奈良院宸記 天文十五年秋七月已後 但八月十三日已後至九月一日欠并十二月欠」 底本「宮内廳書陵部所藏天文十五年識語寫本」 別冊「莫明抄解題」二八頁）

後奈良天皇宸記（天聽集）

後奈良天皇著

東京 國民精神文化研究所 昭和十七年（一九四二）三月影印 外寸「三五・七×一八糎」 （書名は奥付による。國民精神文化研究所文獻之「二六・一二行。三七丁。底本「佐佐木信綱所藏天文四年寫本」 別冊「後奈良天皇宸記（天聽集）解說釋文」田中久夫著。一三三頁）

右大臣師輔公記二卷即九曆

藤原師輔著

〔江戸末〕寫 外寸「二六・五×一八糎」 印記「本間文庫」 （書名は書外題による。八行。上一九丁下一三丁）

御堂關白記 近衛侯爵家世寶 具註曆自筆本

藤原道長著

京都 立命館大學 昭和十一年（一九三六）十月活版 外寸「三四・五×二一・五糎」 （四三九頁。附「御堂關白記解說」

二八六三

一冊

二八六四

卷子本一卷・別冊解題一冊

二八六五

一冊・別冊解說一冊

二八六六

二冊（合綴一冊）

二八六七

一冊

黑板勝美識。一三頁。「藤原道長略年譜并略系圖」二頁

水左記

源俊房著

東京 宮内廳書陵部 昭和二十九年至三十年（一九五五）複製 外寸「二九・二糎」（書名は題簽による。各卷副題「康平七年自正月至六月」「康平七年自七月至十一月」 底本「宮内廳書陵部所藏康平七年自筆寫本」 別冊「水左記解説附釋文」二二頁、一五頁

土右記

源師房著

東京 宮内廳書陵部 昭和二十九年（一九五四）複製 外寸「二八・二糎」（書名は題簽による。副題「延久元年四月至六月」 底本「宮内廳書陵部所藏九條家舊藏鎌倉期寫本」 別冊「土右記解題附逸文」二〇頁

台記

藤原頼長著

東京 宮内廳書陵部 昭和三十五年（一九六〇）複製 外寸「二九・五糎」（書名は解題による。外題「保延五年夏宇治左府記」「仁平二年秋宇治左府記」 底本「宮内廳書陵部所藏鎌倉期寫本」 別冊「書陵部藏台記解題」一四頁

八鄰通聘攷十一卷附一卷

權藤成卿纂修補訂

東京 權藤成卿 昭和六年（一九三一）七月自筆本影印 外寸「三三・六×一五・五糎」（單邊。有界。一一行）

顯承述略九卷

萩原裕編

東京 北畠茂兵衛等 明治九年（一八七六）八月刊 外寸「二二・七×一五・三糎」 印記「今杜山東之家」「三宅氏圖書

二八六八

冊 卷子本二卷・別冊解説二冊

二八六九

冊 卷子本一卷・別冊解題一冊

二八七〇

冊 卷子本二卷・別冊解題一冊

二八七一

五冊

二八七二

四冊

之印」(三宅雪嶺) (四周雙邊。無界。一〇行。内匡郭「二四・九×一〇・八糎」 一卷四丁二卷一四丁三卷一二丁四卷一七丁五卷一三丁六卷一七丁七卷一四丁八卷二二丁九卷一四丁)

隣交徵書初編二卷二編二卷三編二卷

伊藤松(威山)輯 男伊藤鶴校

學本堂 天保九年至天保十一年(一八四〇)刊 外寸「二六・五×一八・六糎」 (左右雙邊。有界。一〇行。内匡郭「一八・六×一二・九糎」 初編一卷四三丁二卷四二丁。二編一卷四七丁二卷三九丁。三編一卷四七丁二卷四〇丁)

朝鮮信使登城御禮之次第

〔江戸後期〕寫 外寸「二三・五×一五・四糎」 印記「本文文庫」(本山彦一)「齋藤藏書」 (封面「朝鮮人登城御禮之次第」 一〇行。漢字片假名。一四丁)

道統小傳二卷

武田信成(兼山)著

〔京都〕 杉田勘兵衛尉 正保四年(一六四七)刊 外寸「二七・九×一八・九糎」 印記「槇田斯興圖書」 (書名は卷末による。四周雙邊。無界。八行。中黒口。上中下花口魚尾。内匡郭「一九・九×一四・七糎」 上三二丁下四二丁)

聖哲芳規

〔明治期〕寫 外寸「二七・二×一九・六糎」 (書名は目次首による。一六行。一一七丁)

近世儒林年表

内野五郎三(皎亭)著

東京 吉川弘文館 大正三年(一九一四)六月活版 外寸「一九・七×一〇・四糎」 印記「有馬氏印」 (書名は封面による。題簽「増補近世儒林年表」 一〇三頁。書簡付)

二八七三

六册

二八七四

一册

二八七五

二册

二八七六

一册

二八七七

一册

近世儒林年表

内野五郎三(皎亭)著

東京 内野五郎三 大正十五年(一九二六)十二月活版 外寸「一八・六×一七・四糎」(書名は封面による。題簽「訂正増補近世儒林年表」 七〇頁)

大江匡房卿傳

近藤芳樹著

東京 稻垣常三郎 明治二十三年(一八九〇)十月活版 外寸「三・八×一五糎」(一二丁。下象鼻に「長周叢書」とあり)

二十一代集才子傳八卷

〔昭和期〕寫 外寸「二七×一九・二糎」(九行。一卷五三丁二卷三六丁三卷五二丁四卷八六丁五卷九一丁六卷八二丁。七卷上五〇丁下四四丁。八卷上七四丁下三七丁。山岸氏識語「二十一代集才子傳十卷圖書寮藏本也」)

逸號年表

藤原貞幹著

京城 鷗鵬摠四郎 寛政十年(一七九八)刊 外寸「二九・七×三二・四糎」(單邊。無界。一〇行。内匡郭「二〇・六×一五・五糎」 一二丁)

日本書紀神代卷風葉集九卷首一卷

山崎闇齋著 出雲路敬和編

東京 伊藤書店創立事務所 昭和十九年(一九四四)七月活版 外寸「一八・七×一七・九糎」(三九八頁)

將門記傳

織田完之著

東京 會通社 明治四十年(一九〇七)五月活版 外寸「三・三×一五糎」 印記「小山清根」羽田文吉」(四〇頁)

二八七八  
一册

二八七九  
一册

二八八〇  
一〇册

二八八一  
一册

二八八二  
洋装一册

二八八三  
洋装一册



長慶天皇ヲ皇代ニ列セラルル件ニ關シ樞密院ニ御諮詢ノ議案及理由書 大正十五年十月二十日

〔大正十五年（一九二六）十月寫〕昭和期複寫 外寸「二六・九×一九・七糎」（一〇行。五八丁）

室町殿日記十五卷

榑村長教編

〔昭和期〕複寫 外寸「二六・九×一八・一糎」（書名は書外題による。假綴。一〇行。山岸氏識語「淺野圖書館本」）

冥途道中無多苦里戲

〔江戸後期〕寫 外寸「二七・九×一九・五糎」 印記「保谷平井」巖松堂古典部波多埜拔斯書（波多野重太郎）（七行。一變一六丁半二變一二丁半三變一六丁。山岸氏識語「本文中松平外記の刃傷沙汰は別にあり」〔付箋〕）

忠臣藏人物評論

扁屈道人著

京都 錢屋惣四郎 天明元年（一七八二）六月刊 外寸「一七・六×一二・一糎」（單邊。無界。八行。内匡郭「二四・五×九・九糎」二〇丁。書簡付）

鏡山實錄

〔江戸後期〕寫 外寸「二四・四×一七糎」（書名は卷末による。一〇行。三三丁）

肥後物語

龜井道載（南冥）著

天保五年（一八三四）市川伯昭寫 外寸「二六・七×一九・三糎」（二三行。五一丁）

二八八四  
一册

二八八五  
一五册

二八八六  
一册

二八八七  
一册

二八八八  
一册

二八八九  
一册

龍の宮物語

〔江戸末〕寫 外寸「二五×一七・三糎」 (九行。一四丁。山岸氏識語「水戸藩の継嗣問題なり 作り物語にあらず」)

二八九〇  
一冊

南山踏雲錄

伴林六郎(光平)著

〔京都〕平樂寺村上勘兵衛 明治元年(一八六八)十一月刊 外寸「一五・二×一〇・九糎」 印記「遼雀樓圖書」(四周雙邊。無界。九行。内匡郭「二・二×九糎」 四四丁)

二八九一  
一冊

源威集

昭和二十八年(一九五三)一月寫 外寸「三・三×一九・六糎」 (九行。漢字片假名。五四丁。山岸氏識語「源威集一卷史料編纂所藏本也今茲昭和二十八年一月中浣書写者也」)

二八九二  
一冊

後醍醐天皇御事蹟

奈良縣吉野町 吉野神宮奉贊會 昭和七年(一九三二)七月活版 外寸「三×一五糎」 (一二二頁)

二八九三  
洋裝一冊

瓜生判官事蹟

瓜生寅著 弟瓜生復・瓜生震同校

東京 博文館 明治三十七年(一九〇四)十二月活版 外寸「二・九×一四・九糎」 印記「高等師範學校寄宿舎」(五八頁)

二八九四  
洋裝一冊

義奴八助傳

釋大我絶外(孤立道人)著

東都 植村藤三郎・皇都 植村藤右衛門・植村藤次郎 寶曆十年(一七六〇)十月刊 外寸「二六・九×一七・八糎」

二八九五  
一冊

「神兒寫藏書」〔朱書〕（四周雙邊。有界。一〇行。内匡郭「一九・四×一三・三厘」一二丁。〔平安書肆植村玉枝軒儒書藏板目錄 京都書林玉枝軒堀川通高辻上ル丁 植村藤右衛門〕二丁）

## 原采蘋 日本唯一の閨秀詩人

春山育次郎著

大正二年（一九一三）讀賣新聞切抜き帖 外寸「二七・一×一九・二厘」（假綴。四二丁）

## 原采蘋女史 日本唯一の閨秀詩人

春山育次郎著

〔福岡縣秋月〕 原采蘋先生顯彰會 昭和三十三年（一九五八）十月油印本 外寸「二四・四×一七・三厘」（二〇行。一八八頁）

## 日柳燕石

長尾折三（藻城）著

〔大正期〕寫 外寸「三・七×一六・六厘」（書外題「日下燕石逸事談」 一〇行。二六丁。附錄「讃岐の勤王家に就いて」草薙金四郎著、「皇國千字文」日柳政章著。朱筆の書き入れあり）

## 堀口藍園

荒木眞平（毛水）著

群馬縣澁川町 堀口藍園傳記刊行會 大正九年（一九二〇）九月活版 外寸「二三・一×一四・七厘」（大和綴。一八三頁）

## 隱士堀口藍園の尊王精神

田部井鹿藏著

東京 新絃社 昭和十八年（一九四三）八月活版 外寸「一八×二三厘」（四六頁）

二八九六  
一冊

二八九七  
洋裝一冊

二八九八  
一冊

二八九九①  
一冊

二八九九②  
洋裝一冊

先哲叢談八卷後編八卷 附年表一卷

原善(念齋)著 後編東條信耕(琴臺)著

東京 村上眞助等 明治十三年(一八八〇)十二月銅版印本 同盟書屋藏版 外寸「八・七×六糎」(四周雙邊。有界。  
一〇行。一卷一五丁二卷二四丁三卷三三丁四卷二八丁五卷二八丁六卷三〇丁七卷二五丁八卷二八丁。後編一卷三  
丁二卷二三丁三卷三四丁四卷二二丁五卷三三丁六卷三八丁七卷二七丁八卷三七丁附二四丁)

二九〇一  
九册

日本虞初新志二卷

近藤元弘(仲毅)輯

愛媛縣上高柳村 武市英俊 明治十四年(一八八一)六月活版 風詠舍藏版 外寸「一八×一二・一糎」(一〇行。一  
卷四〇丁二卷四四丁。山岸氏識語「富岡鐵齋旧藏本也…虞初新誌本朝新誌日本新誌有之也」)

二九〇二  
二册

日本名家詳傳三卷

大阪 赤志ナカ 明治四十年(一九〇七)六月活版 關卷天 外寸「一八・七×一二・五糎」 印記「小林文庫之印」  
(地一四三至二六九頁人二七〇至四三〇頁)

二九〇三  
洋裝二册

函館游寓名士傳二卷

井口一眠著

函館 植田清治 明治二十五年(一八九二)二月活版 外寸「一九・七×一二・四糎」 印記「前島藏書」(上二六丁下  
三四丁)

二九〇四  
二册

羽陰詩家小傳

深澤多市編

大正二年(一九一三)十二月序活版 外寸「二三・五×一五・一糎」 印記「高橋圖書之記」(大和綴。三八丁)

二九〇五  
一册

新發見の資料に據る新待賢門院御陵墓攷 堀 永和四年賢耀自筆觀心寺參詣諸堂巡

禮記に就いて

川瀬一馬著

東京 川瀬一馬 昭和十四年（一九三九）十月活版 外寸「二七・八×一九・四糎」（四二頁）

看聞日記四十一卷別記一卷附卷一卷

京都 便利堂内貴重圖書影本刊行會頒布事務所 昭和十年（一九三五）十月活版 宮内省圖書寮藏版 外寸「二〇・三×一四・五糎」 印記「古澤文庫」（吉澤義則）（別冊「看聞日記解題・凡例」八頁）

日本金石年表

奥田一夫（百朋齋主人）校定

名古屋 奥田一夫 明治四十二年（一九〇九）十月活版 外寸「三・九×一六・一糎」（五三丁。朱筆の書き入れあり。書筒付）

増訂日本金石年表

奥田抱生（主客説詩堂主人）著

名古屋 奥田棄三郎 大正十年（一九二二）十一月活版 外寸「三・八×一六糎」（五二丁。朱筆の書き入れあり）

東大寺要録 存卷第二

〔昭和期〕寫 外寸「二七・三×一九・一糎」（九行。七八丁。山岸氏識語「徵古資料」二冊古谷清氏寄贈昭和廿三年夷則十八）

古京遺文

狩谷望之（掖齋）著

〔昭和初期〕寫 外寸「二六・八×一八・九糎」 印記「海鹽友竹」（書名は書外題による。八行。五七丁。山岸氏識語「古京遺文」一冊昭和六年南呂下浣裝潢矣）

二九〇六

一冊

二九〇七

四三冊・別冊解題一冊

二九〇八

一冊

二九〇九

一冊

二九一〇

二冊

二九一一

一冊

南京遺文

佐佐木信綱・橋本進吉編

東京 佐佐木信綱 大正十年（一九二二）十月影印 外寸「四〇・二×二八・五糎」 （書名は目次首による。大和綴。六二枚。附録「南都祕笈第一集解説」佐佐木信綱ほか著。七頁）

南京遺文附卷

佐佐木信綱・橋本進吉著

東京 佐佐木信綱 大正十年（一九二二）十月活版 外寸「三二・一×一六糎」 （一〇六頁）

後越碑銘集初編

釋觀勵編

越後小戸 知新館 文化十四年（一八一七）一月序刊 外寸「二二・八×一九糎」 （左右雙邊。有界。九行。内匡郭「二六・七×一〇・六糎」 二五丁）

艷情笑史初編

眞嶋與敬編

大坂 赤澤政吉 明治十四年（一八八二）一月刊 外寸「一七・七×一〇・三糎」 （單邊。有界。九行。内匡郭「二三・三×八糎」 一二丁）

琴史六卷

（宋）朱長文撰

古書流通處用南陵徐氏藏揚州詩局康熙四十五年九月重刻本影印 外寸「二〇・三×一八・六糎」 （左右雙邊。有界。一行二一字。内匡郭「二五・七×一〇・三糎」 一卷一五丁二卷一六丁三卷二〇丁四卷二四丁五卷八丁六卷一二丁）

新刻鄒魯故事五卷即四書故事

二九一二  
一册・別册解説一册

二九一三  
一册

二九一四  
一册

二九一五  
一册

二九一六  
二册〔漢籍〕

(明)魏時應編 (明)林時若音釋 黃雲龍校

寛文九年(一六六九)〔京都〕山村傳右衛門據萬曆四十六年刊本重刊 外寸「二六・三×一五・八糎」 印記「慎齋」 閣古堂信「藤氏冠□」等 「自嘲齋主人藏本之部」(墨書) (四周雙邊。無界。九行二〇字。白口。雙花口魚尾。内匡郭「一八・六×一一・四糎」 一卷四一二卷三五丁三卷一〇丁四卷二四丁五卷三三丁。朱筆の書き入れあり)

### 神檀實記

金教獻編

京城 大倭教本司 大正三年(一九一四)二月活版 外寸「二一・八×一五・二糎」 (二一行。漢字ハングル文字。五二丁。刊記「開天四千三百七十一年甲寅刊」)

### 續紀歷朝詔詞解六卷

本居宣長著

伊勢松阪日野 須受能耶 享和三年(一八〇三)九月刊 外寸「二六・三×一七・六糎」 (序文首「歷朝詔詞解」 單邊。無界。一二行。内匡郭「一九・五×一四・二糎」 一卷四九丁二卷三三丁三卷三七丁四卷四四丁五卷七二丁六卷四七丁。奥付に製本所として「文海堂柏屋兵助」あり)

### 延喜式 卷第六 九條家本延喜式齋院司

藤原時平等奉勅撰

京都府深草町 官幣大社稻荷神社 昭和七年(一九三二)複製 外寸「二七・八糎」 (別紙書付に山岸氏識語「九條公爵家藏の延喜式古寫本廿八卷の二」とあり。卷子本豫定の未表裝本)

### 延喜式 卷第四

藤原時平等奉勅撰

京都府深草町 官幣大社稻荷神社 昭和八年(一九三三)七月複製 外寸「二八・七糎」 (底本「九條公爵家所藏古寫本」 別冊「九條家本延喜式大神宮篇解説」木村春太郎稿。一五頁)

二九一七

二冊〔漢籍〕

二九一八

一冊

二九一九

六冊

二九二〇

一卷

二九二一

卷子本一卷・別冊解説一冊

延喜式神祇十卷

藤原時平等奉勅撰

〔江戸末〕寫 外寸「二六・五×一八・七糎」(書名は書外題による。一二行。一卷一九丁二卷一四丁三卷一五丁四卷二三丁五卷三〇丁六卷一〇丁七卷一六丁八卷二二丁九卷三三丁一〇卷一九丁。跋「文龜三年十二月卜部兼俱」)

延喜式 卷第八

藤原時平等奉勅撰

京都府深草町 官幣大社稻荷神社 大正十五年(一九二六)七月影印 外寸「三五・七×二四・一糎」(書名は卷末による。帙題「九條家本延喜式祝詞」 包背裝。二七丁。底本「九條公爵家所藏古寫本」)

延喜式 卷第十

藤原時平等奉勅撰

三重縣松阪 神宮皇學館 昭和三年(一九二八)五月影印 外寸「三五・六×二四・一糎」(書名は卷末による。四八折。底本「武田祐吉所藏古寫本」 附録「延喜式卷第十解説」宮地直一著。四頁)

十七條憲法

聖徳太子作

〔昭和期〕複製 外寸「二八糎」(題簽「上宮太子十七憲法」 底本「法隆寺所藏古寫本」)

十七條憲法 嘉禎本

東京 美術書院 昭和二十二年(一九四七)五月活版 外寸「二九・四×二一・二糎」 印記「田重之印」(書名は題簽による。六〇頁)

聖徳太子御憲法玄惠註抄

釋玄惠著 奥田正造編

二九三  
一〇冊

二九三  
一冊

二九四  
折本一帖

二九五  
卷子本一卷

二九六  
一冊

二九七



東京 森江書店 昭和十五年（一九四〇）十月活版 外寸「三・三×一五・六糎」（二六〇頁）

## 十七憲法和解

廣瀬進一口述 藤田祐眞筆記

東京 水野佐助 明治二十二年（一八八九）三月刊 外寸「三・七×一五・四糎」（單邊。無界。一二行。内匡郭「二・三×一二・九糎」一二丁）

## 聖德太子五憲法

〔江戸前期〕攝州妙法禪寺知藏比丘活山跋刊 外寸「二五・六×一七・八糎」印記「瑞典之印」（書名は題簽による。四周雙邊。無界。七行。上下大黒口。無魚尾。内匡郭「一九・三×一三・六糎」三三丁。書き入れあり）

## 推古帝勅五憲法

釋神阿編

京都 華頂勸學院 明治五年（一八七二）五月刊 外寸「二四・五×一八糎」（單邊。無界。九行。内匡郭「一九・六×一四・四糎」四二丁）

## 法曹類林 卷第百九十二卷第百九十七卷第二百

藤原通憲著

東京 内閣文庫 昭和三十三年（一九五七）三月複製 外寸「二八・七糎」（底本「内閣文庫所藏金澤文庫舊藏嘉元二年寫本」別冊「法曹類林解説」一四頁）

## 法曹至要鈔三卷

坂上明兼著 鵜飼信之（石齋）訓點

洛陽 村上勘兵衛 寛文二年（一六六二）十月刊 外寸「二七・七×一七・九糎」印記「橘成□」（四周雙邊。無界。九行。上下白口中大黒口。無魚尾。内匡郭「一九・五×一四・三糎」上五二丁中四二丁下三五丁）

一册

二九二八

一册

二九二九

一册

二九三〇

一册

二九三一

卷子本三卷・別冊解説一册

二九三二

四册

御成敗式目 貞永元年八月十日

寛永五年（一六二八）刊 外寸「二六・六×一八・七糎」 「内野村鹿藏忠左衛門」（墨書）（無匡郭。六行。三八丁）

二九三三  
一册

御觸書之寫控 慶應四年辰年卯月日

慶應四年（一八六八）織田甚内寫 外寸「二四・八×一七・三糎」 「織田甚内平幸」（墨書）（書名は書外題による。假綴。六行。四七丁。別紙書付「明治六年三月三十日名東縣權令林茂平ほか二名連署」一枚）

二九三四  
一册

政祕録

〔江戸末〕瀬尾丹下寫 外寸「二四×一七・二糎」 「大字東田井瀬尾丹下書持」（墨書）（八行。八八丁。朱筆の書き入れあり）

二九三五  
一册

古實刑罰傳記

寛政五年（一七九三）二月鶴見傳助寫 外寸「二三・九×一六・四糎」 印記「源式逸」「正傳齋」等（書名は書外題による。八行。漢字片假名。九丁。市村傳右衛門の墨書あり）

二九三六  
一册

安永年間蒲原用水外書留

〔江戸末〕寫 外寸「二三・九×一六・七糎」 印記「小林藏書」（書名は書外題による。一四行。五七丁。山岸氏識語「本書則西蒲原郡下熟知村落之書留也」）

二九三七  
一册

服忌令

天保三年（一八三二）九月寫 外寸「二四・二×一六・五糎」 印記「可來之印」（七行。一八丁。識語「右者書物師江戸日本橋通老町目出雲寺和泉掾發行之板本有之 天保三辰年九月日寫之」）

二九三八  
一册

九條家故實

文化十年（一八一三）寫 外寸「二四・三×一七・三糎」 印記「服部」「梁塵館圖書記」（七行。二八丁）

新改正職原摘要

東京 和泉屋市兵衛・須原屋茂兵衛 明治二年（一八六九）十月刊 外寸「橫本七・一×一六・一糎」 印記「上小野三上」（單邊。無界。一六行。内匡郭「五・八×一三・八糎」 漢字片假名。五七丁）

職原抄支流五卷

天和三年（一六八三）十月刊 外寸「一五・七×一・一・三糎」（單邊。無界。一〇行。白口。雙魚尾。内匡郭「一二・七×九・八糎」 漢字片假名。一卷一二丁二卷一二至三三丁三卷二四至三七丁四卷一六丁五卷一七至四三丁）

職原抄支流五卷

洛下 井上忠兵衛〔江戸中期〕刊 外寸「二七×一九・三糎」 印記「大野藏本」「松嶋富督」（墨書）（單邊。無界。一行。白口。無魚尾。内匡郭「二×一四・三糎」 漢字片假名。一卷九丁二卷一〇至一七丁三卷一八至二八丁四卷二九至四〇丁五卷四一至六〇丁）

職原鈔辨疑私考三卷

壺井義知著

京師 唐本屋八郎兵衛 享保三年（一七一八）刊 外寸「二七・八×一八・二糎」（單邊。無界。九行。内匡郭「二〇・三×一四・三糎」 漢字片假名。上三七丁中三九丁下三六丁）

職原抄〔私抄〕

清原宣賢（環翠軒宗武）著

〔江戸中期〕寫 外寸「二九・三×二二・四糎」（二〇行。漢字片假名。八二丁。識語「以講尺之次私抄事重可書加而已環翠軒宗九判」）

二九三九  
一册

二九四〇  
一册

二九四一  
一册

二九四二  
一册

二九四三

三册

二九四四

一册

職原抄引事大全九卷首一卷目録一卷

清原宣賢著 槇木悦集注

〔京都〕 吉田庄左衛門 萬治二年（一六五九）一月刊 外寸「二七・六×一九・四糎」〔四周雙邊。無界。九行。下象鼻黒口。雙魚尾。内匡郭「二〇・六×一五・七糎」 首卷五九丁目録一四丁一卷二二丁二卷五〇丁三卷五〇丁四卷三八丁五卷二六丁六卷五五丁七卷五四丁八卷一七丁九卷五一丁〕

二九四五  
五册

官職俗談

目賀田守蔭著

東京 和泉屋金右衛門 明治二年（一八六九）刊 外寸「一八×一二・七糎」〔題簽「官位百敷草」 單邊。無界。九行。内匡郭「一四・九×一〇・三糎」 七〇丁〕

二九四六  
一册

官位之次第

〔明治期〕寫 外寸「二四・五×一六・八糎」 印記「進藤」〔書名は書外題による。假綴。九行。一一丁〕

二九四七  
一册

有職問答五卷

多々良義隆問 三條西實隆答

洛陽 林和泉 萬治二年（一六五九）刊 外寸「二五・七×一八・八糎」〔四周雙邊。無界。八行。大黒口。雙魚尾。内匡郭「二〇・一×一四・八糎」 一卷二八丁二卷二〇丁三卷二〇丁四卷一八丁五卷二四丁。朱筆の書き入れあり〕

二九四八  
一册

職官志六卷

蒲生秀實著

浪華 松根堂 天保六年（一八三五）刊 關卷第六 外寸「二五・二×一八糎」〔四周雙邊。有界。一〇行。内匡郭「一九・六×一四・三糎」 一卷四二丁二卷四九丁三卷四七丁四卷二二丁五卷五一丁〕

二九四九  
五册

後宮略解

松岡行義(丹治真人)著

嘉永五年(一八五二)四月江川左金吾良安寫 外寸「二五・九×一八・七糎」(二一行。三〇丁)

冠位通考

石原正明著

尾州名古屋 永樂屋片野東四郎等 文政元年(一八一八)六月刊 外寸「二六・七×一八・三糎」印記「伊藤文庫」  
(無匡郭。一〇行。三九丁。「尾張書肆東壁堂製本目錄 名古屋玉屋町 永樂屋東四郎」一丁)

官位俗訓四卷

三宅環翠(遵生軒)著

京都 著屋勘兵衛等 享保十一年(一七二六)自序刊 外寸「三二×一五糎」「三宅氏藏書」(藏書票) (單邊。無界。  
一〇行。内匡郭「一八・四×一二・二糎」一卷一六丁「卷一五丁三卷一四丁四卷一四丁」)

唐官鈔三卷

伊藤長胤(東涯)著

〔江戸中期〕寫 外寸「三二・四×一六・四糎」(二〇行。漢字片假名。上三四丁中二七丁下三九丁)

唐官鈔三卷

伊藤長胤(東涯)著

寛保二年(一七四二)二月水竹居主人寫 外寸「二二・八×一六・四糎」印記「闇章堂藏」(二二行。漢字片假名。上  
二七丁中二四丁下三二丁)

官職通解

千葉玄之(藝閣)輯

二九五〇	一册
二九五二	一册
二九五三	一册
二九五四	一册
二九五五	

安永四年（一七七五）十一月刊 外寸「二・七×一六・二糎」 印記「石川氏藏書記」 「三州石井新田石原治左衛門」  
（墨書）（左右雙邊。有界。九行。内匡郭「一七・八×一二・九糎」 漢字片假名。二四丁）

官職通解

千葉玄之（藝閣）輯

江戸 萬笈堂英平吉 「安永五年十一月刊」文政九年（一八二〇）後印 外寸「二・七×一五・七糎」（左右雙邊。有界。九行。内匡郭「二七・八×一二・九糎」 漢字片假名。二四丁。書き入れあり）

懷玉雲上示正鑑 存卷乾

御園憲澄編

〔東京〕〔山本庄兵衛・出雲寺萬次郎〕 明治元年（一八六八）刊 圓融府貫練學館藏梓 外寸「二六・一×一一・二糎」  
〔題簽〕雲上示正鑑 單邊。無界。一〇行。内匡郭「一三・四×九糎」 八丁）

儀式十卷

山田以文（錦所）校 男山田有孝等再校

大坂 吉田善藏等 天保五年（一八三四）刊 外寸「二五・九×一八・四糎」（單邊。無界。八行。内匡郭「二〇・一×一五・二糎」 一卷三二丁二卷二九丁三卷二七丁四卷三九丁五卷三四丁六卷三〇丁七卷二九丁八卷二八丁九卷三二丁一〇卷二八丁。別紙書き付け一枚）

北山抄十卷

藤原公任著

〔江戸中期〕寫 關卷第六第九 外寸「二六・九×一八・五糎」（一〇行。一卷五三丁二卷四六丁三卷五八丁四卷四三丁五卷四四丁七卷四一丁八卷二〇丁一〇卷四一丁。卷第七末に「異本云承保三年借小一條本七月晦日書始八月四日午書了同五日令定實一校了」とある。朱筆の書き入れあり）

一册

二九五六

一册

二九五七

一册

二九五八

一〇册

二九五九

八册

朝野群載三十卷

三善爲康編

〔江戸後期〕寫 關卷第七第一〇第一四第一八第一九第二三至第二五第二九第三〇 外寸「二六・五×一九・八糎」印記「西莊文庫」〔小津桂窓〕「中川家藏書印」〔中川忠英〕「鈞消」 〔九行。一卷一五丁二卷二八丁三卷四四丁四卷四〇丁五卷六八丁六卷四七丁八卷三二丁九卷三二丁一一卷四五丁一二卷四五丁一三卷三九丁一五卷三二丁一六卷三五丁一七卷三二丁二〇卷三三丁二一卷三三丁二二卷四〇丁二六卷三三丁二七卷一九丁二八卷二四丁〕

朝野群載三十卷

三善爲康編

〔江戸後期〕寫 關卷第二二第二三至第三〇 外寸「二四・五×一八・三糎」印記「白河文庫」〔白河松平家〕「立教館圖書印」〔桑名藩校〕「桑名文庫」〔桑名藩松平家〕 〔八行。一卷一六丁二卷三二丁三卷五一丁四卷四四丁五卷七五丁六卷五三丁七卷二二丁八卷三五丁九卷三七丁一〇卷二七丁一一卷五二丁一二卷五三丁一三卷四五丁一四卷三五丁一五卷三四丁一六卷四二丁一七卷三六丁一八卷三五丁一九卷三六丁二〇卷三八丁二二卷四五丁。卷一封面に「以速水房常本今校合畢」と貼紙あり。朱筆の書き入れあり

江談抄 卷第四

大江匡房談 藤原實兼記

東京 侯爵前田家育徳財團 昭和十三年（一九三八）八月複製 外寸「二七・六糎」 〔尊經閣叢刊之一。底本「前田家所藏寛元三年寫本」 別冊「前田本江談抄解説」二三頁〕

江談抄五卷

大江匡房談

〔江戸後期〕寫 外寸「二七・五×一九・五糎」印記「道阿」「仲野家藏」「仲野安雄藏」〔墨書〕 〔一二行。一卷二〇丁二卷一七丁三卷二七丁四卷二七丁五卷二二丁〕

二九六〇  
一〇冊

二九六一  
一五冊

二九六二  
卷子本一卷・別冊解説一冊

二九六三  
五冊

禁祕抄釋義二卷

關根正直著

東京 吉川弘文館 大正十年（一九二二）十月活版 外寸「二・七×一五・三厘」（上一五四頁下一四四頁）

名目鈔

洞院實熙著

〔江戸中期〕寫 外寸「二・七・九×一九・五厘」（書外題「禁中名目鈔」 七行。二七丁。底本「洛陽今出川林和泉掾時元刊本」 朱筆の書き入れあり）

中外抄 卷下

中原師元編

東京 育徳財團 昭和九年（一九三四）三月複製 外寸「三・〇・二厘」（尊經閣叢刊之一。底本「前田家所藏建曆二年寫本」 別冊「中外抄下卷解説」三四頁）

御代始鈔一卷有職袖中鈔六卷

御一條兼良著 今泉定介編

東京 吉川半七 明治三十三年（一九〇〇）六月活版 外寸「二・九×一五・四厘」（故實叢書之一。御代二六頁有職九四頁）

後土御門天皇御即位之書

天明七年（一七八七）十一月比良木櫛宜寫 外寸「三・一×一六・八厘」（書名は書外題による。七行。六〇丁。朱筆の書き入れあり）

祕說辛酉革命國字解

寛政十三年（一八〇二）一月源時言寫 外寸「二・六・六×一九・七厘」（六行。漢字片假名。二四丁）

二九六四

二册

二九六五

一册

二九六六

卷子本一卷・別冊解説一册

二九六七

一册

二九六八

一册

二九六九



天崩記

〔江戸中期〕寫 外寸「二四・七×一六・五糎」〔佐古氏〔墨書〕（書名は書外題による。假綴。一〇行。一二丁。卷頭に「寶曆十二年七月十二日申之上刻大行皇帝崩御…」とある）

二九七〇  
一册

帝皇歷代御謚號勘文

水原政整（五清）著  
寶曆七年（一七五七）四月和多田倫術寫 外寸「二八・二×一九・四糎」〔書外題「謚號勘文 親長卿記」 假綴。一三行。七丁）

二九七一  
一册

帝皇歷代御謚號勘文

水原政整（五清）著  
寛保元年（一七四一）岡田宗殖寫 外寸「二七・二×一九・五糎」 印記「信古堂圖書印」「對梅宇主萩原乙彦藏于俳書二酉精舍」「神原家圖書記」「神原甚造」「米齋中之右圖左史」（久保田米齋）〔書外題「謚號勘文 親長卿記」 一三行。七丁。山岸氏識語「後花園院御謚號也」〕

二九七二  
一册

加階帖

〔江戸末〕寫 外寸「二五・四×一九・七糎」〔書名は書外題による。一一行。漢字片假名。一七丁）

二九七三  
一册

任大臣大饗記等少々

〔江戸後期〕寫 外寸「二八・三×二〇・四糎」〔書名は見返による。一〇行。三五丁）

二九七四  
一册

宣下抄

〔寛政六年（一七九四）寫 外寸「二六・三×一九・八糎」 印記「源通正印」〕（書名は書外題による。一一行。三五丁。奥書「明應二年二月借他筆令書寫了權中納言藤原判／寛政六年四月校合了左近衛權少將水□」 朱筆の書き入れあり）

位記宣旨 堀口宣案

淡路守藤原泰豊著

寛政十年（一七九八）十二月寫 外寸「二七×一八・二糎」 印記「池南文庫」 （書名は書外題による。六行。九丁）

保延元年放生會記

皇后宮權大夫師時著

享保二年（一七一七）八月寫 外寸「二四・七×一七糎」 印記「鳥返軒」直好〕（八行。八丁。奥書「享保丁酉年八月 中甸子日神寶預祢宜光信誌」）

維摩講師研學堅義次第第三卷

東京 宮内庁書陵部 昭和四十八年（一九七三）七月複製 原闕卷下 外寸「二九・七糎」 （書名は表紙による。副題「上 自齋衡二年至寛徳二年」中 自永承元年至治承四年 裏面承德以後文書」 底本「宮内庁書陵部所藏建久八年 寫本」 下巻は京都大學所藏。別冊「『維摩講師研學堅義次第』解題附下巻釋文」四五頁）

四季艸七卷

伊勢平藏（貞丈）著 長澤伴雄校正

若山 阪本屋喜一郎等 天保八年（一八三七）刊 絡石舎藏版 外寸「二五・三×一八・一糎」 （四周雙邊。無界。一〇行。内匡郭「二〇・三×一四・九糎」 一卷五二丁二卷三六丁三卷三〇丁四卷四四丁五卷四二丁六卷四六丁七卷三八丁。書筒付）

二九七五  
一冊

二九七六  
一冊

二九七七  
一冊

二九七八  
卷子本二卷・別冊解題一冊

二九七九  
七冊

單騎要略被甲辨五卷

村井昌弘編

江戸 野田太兵衛・京都 野田彌兵衛 享保十四年（一七二九）九月刊 外寸「二三・三×一六・四糎」 印記「賞月堂」  
「池末氏印」「熊本市上通二丁目河嶋書店」（單邊。無界。九行。内匡郭「一八・二×一三・七糎」 一卷「三二丁二卷  
二四至四五丁三卷四六至六六丁四卷六七至八六丁五卷八七至一一丁。「村井昌弘先生述作盧橘堂版行目錄」半丁）

磨撰筆記三卷

〔明治期〕寫 外寸「三〇・二×二一〇・五糎」 （書外題「進納禮」 九行。漢字片假名。上二丁中一九丁下二三丁。傳  
書系圖「小笠原大膳大夫長時至福地常治」 朱筆の書き入れあり）

酌并座中立ふるまい四卷即酌并記

伊勢貞順著 伊勢貞益注 伊勢貞丈（安齋）増注  
享和四年（一八〇四）三月寫 外寸「二六・七×一八・八糎」 （書名は第二卷卷頭による。題簽「酌并記」 一〇行。一  
卷一一丁二卷一一丁三卷九丁四卷八丁。朱筆の書き入れあり）

九書辨解萬駢之次第

〔江戸中期〕寫 外寸「二三・七×一六・五糎」 印記「藤藏書」 （書名は書外題による。卷頭「萬駢之次第」 九行。  
六三丁。書き入れあり）

小笠原流駢方百ヶ條

江戸 永壽堂西村與八 天保十四年（一八四三）一月刊 外寸「二二・六×一五・七糎」 （單邊。無界。一六行。内匡  
郭「一七・四×一二・七糎」 繪入。二〇丁）

包結記二卷

伊勢貞丈（安齋）編 屋代弘賢（輪池）校

二九八〇  
五册

二九八一  
一册

二九八二  
一册

二九八三  
一册

二九八四  
一册

二九八五

〔京都〕 靜幽堂 天保十一年（一八四〇）三月序刊 外寸「二六・三×一八・四糎」 （書名は目次首による。單邊。無界。  
一〇行。内匡郭「二・四×一四・八糎」 繪入。上二六丁下二七至八〇丁）

夜鶴書札鈔

世尊寺行能著

〔江戸後期〕寫 外寸「二五×一八・三糎」 印記「横田藏書」「太田氏圖書」 （書名は書外題による。一一行。漢字片假  
名。一三丁。墨筆朱筆の書き入れあり）

女房文翰式

山本基庸著

〔江戸後期〕寫 外寸「二六・五×一八・六糎」 「月堂新井嘉治所藏」（墨書） （書名は書外題による。一〇行。五九丁）

歲中行事之内 賀茂祭

狩野種信書

正徳元年（一七一）六月寫 外寸「四二・四糎」 （書外題「歲中行事 賀茂臨時祭」 彩色繪卷。奥書「正徳元歲辛卯  
六月上旬ニ寫之 狩野修理」 印縫あり）

公事十二月

岡田爲恭畫

東京 西東書店 明治四十五年（一九一二）五月複製 外寸「二二・二糎」 （底本「原富太郎所藏天保十四年筆寫本」  
「解説」吉田光美著）

雲圖鈔二卷

享保十年（一七二五）十一月近藤主水寫 外寸「二七・五×一九・三糎」 印記「崇覺文庫」 （書名は目次首による。  
一〇行。乾五二丁坤三〇丁）

二册

二九八六

一册

二九八七

一册

二九八八

卷子本一卷

二九八九

卷子本一卷

二九九〇

二册

日中行事略解

大石千引著

文政三年（一八二〇）十月跋刊 外寸「二六・五×一八・三厘」（書名は題簽による。無匡郭。一行。二七丁。闕丁多數）

公事根源集釋三卷

松下見林（西峯）著

大阪 河内屋茂兵衛等 「元祿七年（一六九四）六月京都平樂寺村上勘兵衛刊」後印 外寸「二五・八×一八・八厘」印記「竹窓文庫」「中尾藏書」「和氣」（書名は題簽による。卷頭「公事根源」 單邊。無界。一〇行。白口。無魚尾。内匡郭「三・二×一六・八厘」 上三六丁中四三丁下四三丁）

泰階月令 存卷第三第四

中山直溫述

〔江戸末〕寫 外寸「二七・三×一九・四厘」 印記「堀口美賢藏」（八行。三卷五〇丁四卷五三丁。朱筆の書き入れあり）

宮中年中行事三卷

乙葉觀山筆

〔大正期〕複製 外寸「三二・六厘」（書名は題簽による。底本「三井家所藏彩色繪入寫本」 添付札に「大正十四年五月十五日龍」とある）

歲時故事

迪齋道允著

寛文四年（一六六四）跋刊 外寸「二五・一×一八・四厘」 印記「鈴木文庫」（鈴木醇庵）（書名は書外題による。單邊。無界。一行。中黒口。雙魚尾。内匡郭「二〇・六×一五・九厘」 二二丁。見返に「寛永二年改之 井筒屋」と墨書あり）

國朝佳節錄

松下見林(西峯)編

大坂 森田庄太郎 貞享五年(一六八八)刊 外寸「二六・四×一七・七糎」(四周雙邊。無界。一一行。白口。無魚尾。  
内匡郭「一九・八×一四・九糎」(二二丁)

二九九六  
一册

民間年中故事要言七卷

菟遊燕編

攝陽 鷹金屋庄兵衛・洛陽 上村平左衛門・武州 萬屋清兵衛 元祿十年(一六九七)刊 外寸「二四・六×一六・七  
糎」(單邊。無界。一〇行。白口。單魚尾。内匡郭「一八・七×一三・九糎」 漢字片假名。一卷二四丁二卷一八丁三  
卷一八丁四卷二五丁五卷二四丁六卷二二丁七卷一七丁)

二九九七  
四册

草偃和言

會澤安(正志齋)著

常陸久慈郡靜 靜神社 嘉永五年(一八五二)刊 外寸「二五・七×一七・五糎」(單邊。無界。九行。内匡郭「二〇・三  
×一五・二糎」 六四丁)

二九九八  
一册

釋奠誌

徳島 岡本昇 大正九年(一九二〇)六月活版 外寸「一五・二×一一・三糎」(二三丁)

二九九九  
一册

懸物圖鏡

西村知備著

文化三年(一八〇六)七月跋刊 外寸「二六・一×一九・七糎」 印記「田聖再印」「關氏文庫」(書名は題簽による。無  
匡郭。繪入。九丁半)

三〇〇〇  
一册

舊儀裝飾十六式圖譜解説書

京都 京都美術協會 明治三十六年（一九〇三）九月活版 外寸「二三・一×一五・七糎」（書名は題簽による。大和綴。二八四頁）

## 類聚雜抄 存卷第四

明治期「元祿十七年（一七〇四）四月跋刊」後印 外寸「三二・四×三二・六糎」（書名は目次首による。大和綴。無匡郭。彩色繪入。一冊二四丁二冊二〇丁。奥付に賣弘所として「江戸 岡田屋嘉七・中屋徳兵衛」あり）

## 四節會御裝束圖

「江戸中期」寫 外寸「二七・六×二〇・三糎」 印記「實在之章」（書名は書外題による。大和綴。二八丁）

## 裝束抄

三條西實隆著

天明九年（一七八九）九月山中氏寫 外寸「二六・八×一九・九糎」（書外題「西三條裝束抄」 大和綴。一〇行。漢字片假名。四六丁。朱筆の書き入れあり）

## 裝束拾要抄二卷

「江戸」 須原屋伊八 寛政十年（一七九八）三月刊 外寸「二六・九×一八糎」（單邊。無界。一〇行。内匡郭「二・三×一四・三糎」 漢字片假名。上三六丁下三二丁）

## 裝束圖式二卷

京都 出雲寺和泉掾 元祿五年（一六九二）十月刊 外寸「二三・七×一五・九糎」（單邊。無界。一一行。白口。單魚尾。内匡郭「一九・一×一三・二糎」 上三三丁下三〇丁）

## 新野問答三卷

三〇〇一  
一冊

三〇〇二  
二冊

三〇〇三  
一冊

三〇〇四  
一冊

三〇〇五  
二冊

三〇〇六  
二冊（合綴一冊）

新井君美(白石)問 野宮定基答

安永三年(一七七四)一月伊勢平藏貞丈寫 外寸「三・九×一六・七糎」 印記「井上毅藏」(書名は書外題による。)

一〇行。上二丁中三九丁下六二丁。山岸氏識語「新野問答三册井上毅藏書也」

僧服記一名増福貴

船橋經賢著

享和四年(一八〇四)一月常陸介爲善寫 外寸「二・四×一六・五糎」 印記「進藤」等 (書名は書外題による。九行。一七丁)

上代衣服考一名神服考

豐田豐(長敦)述

明治三年(一八七〇)十月刊 外寸「二・六×一八・二糎」(單邊。無界。一〇行。内匡郭「二〇×一四・八糎」 五八丁附七丁)

歷世女裝考四卷

岩瀬百樹著

京都 福井源次郎 弘化四年(一八四七)刊 外寸「二・五・四×一七・九糎」 印記「川本」(單邊。無界。一二行。内匡郭「二〇・八×一五・三糎」 一卷三二丁二卷三三丁三卷三三丁四卷三四丁)

儀式雜藝

〔明治期〕寫 外寸「三・八×一六・五糎」(書名は書外題による。一二行。二六丁)

節序紀原

如松著

三〇〇七	三册
三〇〇八	一册
三〇〇九	一册
三〇一〇	四册
三〇一一	一册
三〇一二	



京都 上坂勘兵衛〔貞享元年三月序刊〕寶永四年（一七〇七）一月後印 外寸「一五・八×一〇・六糎」（單邊。無界。八行。白口。單魚尾。内匡郭「一一・六×八・四糎」五〇丁）

## 常陸國風土記

水戸 聽松軒 天保十年（一八三九）刊 外寸「二六・二×一七・五糎」（書名は序文首による。單邊。無界。八行。内匡郭「二〇・九×一四・六糎」三〇丁）

## 標注播磨風土記二卷

敷田年治（百園）著

新潟 石丸忠胤 明治二十年（一八八七）八月刊 外寸「三五・八×一八・一糎」（單邊。無界。八行。内匡郭「二・三×九・七糎」頭注傍訓付。上三〇丁下二九丁。奥付に發兌所として「新潟區田中町 玄同舎」あり。「百園敷田年治先生著述書目」二丁「玄同舎藏板書目 東京市赤坂區赤坂仲ノ町九番地 製本元 玄同舎」一丁）

## 訂正出雲風土記二卷

千家俊信校

浪華 岡田茂兵衛等 文化三年（一八〇六）七月刊 外寸「二五・八×一七・七糎」印記「青木氏藏書印」（單邊。無界。八行。内匡郭「二〇・四×一五・二糎」頭注付。上四八丁下四九至九一丁。「梅之舎大人著述書目」半丁）

## 出雲風土記假字書三卷

富永芳久著

大阪 河内屋茂兵衛 安政三年（一八五六）八月自序刊 外寸「二五・二×一七・九糎」印記「富永之印」「富永」（單邊。無界。八行。内匡郭「一九・三×一四・九糎」上三七丁中三八至六六丁下六七至一〇二丁。書目「大坂心齋橋通博勞町角 河内屋茂兵衛」半丁）

## 肥前國風土記

一册	三〇一六
二册	三〇一五
二册	三〇一四
一册	三〇二三
二册	三〇一六

〔昭和期〕複製 外寸「二〇・七×一三・八糎」〔書名は書外題による。列帖装。八行。一七丁。山岸氏識語「肥前國風土記一冊鎌倉寫本猪熊信男本ナリ」(貼紙)〕

三〇一七  
一冊

## 肥前風土記

宇治五十槻校

三〇一八

浪華 柳原喜兵衛 寛政十二年(一八〇〇)五月刊 外寸「二六・七×一八・八糎」印記「松舍印」(間宮永好)〔書名は序文首による。單邊。無界。一〇行。内匡郭「二・二×一五・五糎」一五丁〕

一冊

## 肥前風土記

宇治五十槻校

三〇一九

大阪 積玉圃河内屋喜兵衛等 〔寛政十二年(一八〇〇)五月浪華柳原喜兵衛刊〕後印 外寸「二五・一×一七・八糎」〔書名は序文首による。單邊。無界。一〇行。一五丁。内匡郭「二・三×一五・六糎」頭注付。書筒付〕

一冊

## 豊後風土記

宇治五十槻校

三〇二〇

大阪 積玉圃河内屋喜兵衛等 〔寛政十二年(一八〇〇)五月序刊〕後印 外寸「二四・九×一七・六糎」印記「梅州」〔書名は見返による。單邊。無界。八行。内匡郭「二・三×一四・七糎」一二丁〕

一冊

## 箋釋豊後風土記

唐橋世齊(君山)著

三〇二一

〔豊後岡〕田能村孝憲 文化元年(一八〇四)九月刊 外寸「二五・九×一八・四糎」印記「梧陽堂三井氏藏書記」〔南天莊(井上通泰)〔左右雙邊。有界。九行。内匡郭「一七・四×一三糎」漢字句點訓點付。一七丁〕

一冊

## 日本風土記

〔明治期〕寫 外寸「二七・四×一九糎」〔書名は書外題による。八行。五三丁。墨筆朱筆の書き入れあり〕

三〇二二

諸國里人談五卷

菊岡沾涼(米山)著

江戸 須原屋平左衛門・池田屋源助 寛保三年(一七四三)一月刊 外寸「二・七×一五・六糎」(單邊。無界。  
一行。内匡郭「一七・七×一三・六糎」 一卷二〇丁二卷二二丁三卷二〇丁四卷一九丁五卷二〇丁)

國郡全圖 存卷上

青生元宣(東谿)編

文政十一年(一八二八)序刊 外寸「二六・七×一八・八糎」 印記「加納「加納菊次良」「大坂東區瓦町岡田政吉」「大  
阪東區瓦町吳服商人岡田政吉拜」(墨書) (書名は序文首による。無匡郭。四一丁)

日光山道志留邊

小嶋鶴次郎編

栃木 小嶋鶴次郎 明治二十年(一八八七)四月刊 外寸「一八・五×一二・五糎」(四周雙邊。九行。内匡郭「二三・九  
×一〇・一糎」 繪入。六一丁)

下野國誌十二卷

河野守弘著 田崎明義(草雲)畫

栃木縣中村 下野國誌刊行會 [嘉永三年四月刊]大正五年(一九一六)三月後印 外寸「二五・九×一八・一糎」(無  
匡郭。八行。一卷二一丁二卷四二丁三卷三九丁四卷二九丁五卷二五丁六卷三五丁七卷三六丁八卷三二丁九卷三八丁  
一〇卷二九丁一一卷三八丁一二卷三六丁)

墨水遊覽誌

花屋敷菊塲著

一册

三〇二三

五册

三〇二四

一册

三〇二五

一册

三〇二六

四册

三〇二七

文政十一年(一八二八)六月序刊 花屋鋪藏版 外寸「二六・七×一六・二厘」(四周雙邊。無界。一一行。内匡郭「一九×一三・八厘」 三三丁)

新編鎌倉志八卷首一卷

河井恆久(友水)著 松村清之(伯胤)訂 力石忠一(叔貫)補  
洛陽 柳枝軒茨木方淑 貞享二年(一六八五)八月刊 外寸「二七・四×一八・二厘」 印記「宍戸昌藏書記」「宍戸氏文庫」「宍戸昌」 (四周雙邊。無界。一〇行。白口。單魚尾。内匡郭「二〇・五×一五厘」 漢字片假名。首卷二七丁一卷三六丁二卷八七丁三卷六三丁四卷四四丁五卷一三丁六卷三六丁七卷五七丁八卷三三丁)

富士山の自然界

山梨縣編纂

甲府 山梨縣 大正十四年(一九二五)七月活版 外寸「一八・五×一〇・四厘」(二一六頁。發賣「東京 東京寶文館」)

富士山信仰の新展望

加藤玄智著

富士宮 富士山本宮淺間神社 昭和三十一年(一九五六)五月活版 外寸「二七・二×一〇・八厘」(五三頁)

靈山富士案内(内篇)

林治一著

富士宮 官幣大社淺間神社本宮社務所 [大正四年八月活版]大正九年(一九二〇)八月後印 外寸「一八・四×一〇・四厘」(二五四頁)

富士山道知留邊 前編

松園梅彦編 柳下徳次郎校 玉蘭齋貞秀畫

一册

三〇二八

一二册

三〇二九

洋裝一册

三〇三〇

洋裝一册

三〇三一

洋裝一册

三〇三二

東京 青山堂雁金屋清吉〔明治期刊〕外寸「横本一一・一五・七糎」印記「水戸青山氏藏」（青山家）（單邊。無界。一三行。内匡郭「九・二×一三・四糎」五六丁）

## 不盡叢誌附綴 第一綴

明治期新聞切り抜き帖 外寸「二〇・二×一三・三糎」（全一九丁。内容 巖生稿「登嶽之記」日本新聞明治三十一年八月二六日至九月九日、淀江生稿「登嶽紀行」東洋新報明治二十四年八月十六日、「野中至氏の富士登山案内」明治二十九年七月二十一日、「雜報―富士山頂の建碑終る―」明治三十一年九月一日）

## 富士野御狩日記

〔江戸前期〕菅沼勝直寫 外寸「横本一五・七×二〇・二糎」印記「勝直」（二一行。二四丁。菅沼氏識語「右遠州守狹山侯之藏書也有故爲借寫置者也」）

## 輿樗地藏尊略緣起

駿河上小林村 卓錫山地藏禪院〔江戸後期刊〕後印 外寸「二四・四×一六・三糎」（表紙「富士山出現輿樗地藏尊略緣起」假綴。無匡郭。八行。四丁）

## 登富士山記

中山廷伸・宮地維則著  
文政七年（一一二四）深瀬庫寫 外寸「二二・五×一五・四糎」（單邊。有界。一〇行。漢字片假名。一八丁。奥書「享和紀元辛酉臘月宮地維則」）

## 不二日記一卷 附 不盡山記一卷

釋在融著 増岡部東平著  
天保十四年（一八四三）序刊 外寸「二五・七×一八・二糎」印記「泉南光明寺陳阿藏書印」「南泉岸和田後曼荼羅院陳阿藏書記」（靈仰）「有不爲齊」（伊藤介夫）（題簽「扶茲日記」單邊。無界。一〇行。内匡郭「二〇・二×一四・四糎」）

一册

三〇三三  
一册

三〇三四  
一册

三〇三五  
一册

三〇三六  
一册

三〇三七  
一册

二二丁附三丁)

富士日記

賀茂季鷹著

〔江戸後期〕寫 外寸「二四・七×一七糎」 印記「平□常滿」〔書外題「不二日記」 一〇行。四九丁。山岸氏識語「寛政二年七月十八日登山也」〕

三〇三八

一冊

芙蓉記一卷 附 芙蓉圖卷

莊田子謙(豐城)著

〔江戸中期〕寫 外寸「二五×一七・三糎」 (大和綴。九行。一一丁。識語「寛保二年壬戌春三月東方隆」)

三〇三九

一冊

百富士四卷

河村正春(岷雪)作・畫

大阪 澁川清右衛門・江戸 西村源六 〔明和四年自跋刊〕天明五年(一七八五)九月後印 外寸「二五・四×一八糎」 印記「安樂菴」「閑齋」「佐藤祐藏書印」 (書名は序文首による。無匡郭。繪入。一卷二六丁二卷二六丁三卷二五丁四卷二八丁)

三〇四〇

二冊

横濱繁昌記初編

錦溪人(柳川春山)著 太平逸士校

幕天書屋 〔明治期〕刊 外寸「三・七×一五・三糎」 (單邊。無界。八行。内匡郭「一八×一二・四糎」 一二丁)

三〇四三

一冊

甲斐叢記 存卷之四

大森欽(快庵)編 秋山復校

〔江戸末〕刊 外寸「二六×一八・四糎」 印記「深澤之章」 (單邊。無界。一二行。白口。無魚尾。内匡郭「二〇・三×一五・七糎」 繪入。四六丁)

三〇四四

一冊

山梨縣地誌略

小野泉編

甲府 内藤傳右衛門 明治九年（一八七六）十二月活版 山梨縣藏版 外寸「三二・六×一五・一糎」（四三丁）

信濃奇談二卷附錄一卷

中邨元恆著 堀内元鎧編

愛知縣大曾根村 矢野平兵衛 明治十八年（一八八五）五月刊 外寸「二五・七×一八・二糎」（單邊。無界。一〇行。  
内匡郭「一八・八×一四・二糎」 頭注付。上一四丁下一七丁附二丁。發兌所「名古屋 松雲堂松屋平兵衛」 書簡付）

北越奇談前編六卷

橘茂世（崑崙）著 葛飾北齋補畫 柳亭種彥校

東都 西村與八・浪花 河内屋太助 文化八年（一八一）序刊 闕卷第三 外寸「三一・一×一六糎」 印記「清伊」  
「三平麴大長」（單邊。無界。一〇行。内匡郭「一八・六×一二・九糎」 繪入。一卷二〇丁二卷二四丁四卷三三丁五  
卷二六丁六卷二〇丁。六卷一九丁裏に墨格あり。「永壽堂藏書目錄 江戸馬喰町二丁目角 西村屋與八」二丁）

新潟富史一卷附一卷

寺門靜軒著

安政六年（一八五九）自序刊 克己塾藏版 外寸「二二・七×一六・二糎」 「岩谷氏書」（墨書）（左右雙邊。有界。  
一〇行。内匡郭「一五・五×一〇・八糎」 二七丁附二〇丁）

又

印記「北越黑瀨圓名」 「鐵生館北洲」（墨書）（與三〇四八番同版）

洛陽觀音廻道之記

三〇四五

一册

三〇四六

一册

三〇四七

五册（合綴一册）

三〇四八

一册

三〇四九

一册

京都 松壽軒美濃屋平三衛門 文化十四年(一八一七)六月刊 外寸「横本一〇・八×一六糎」(單邊。無界。一二行。内匡郭「九×一三・二糎」 一〇丁)

京城勝覽二卷

貝原篤信(益軒)著 下河邊拾水畫

京都 越後屋治兵衛等 天明四年(一七八四)刊 外寸「一八×一二・五糎」 印記「松邨藏書」(題簽「京都めく里」單邊。無界。一〇行。内匡郭「一五・五×一〇・五糎」 上文下圖。上三四丁下五〇丁)

淀川兩岸一覽二卷宇治川兩岸一覽二卷

曉鐘成(晴翁)著 松川半山畫

大坂 河内屋喜兵衛・江戸 山城屋佐兵衛・京都 俵屋清兵衛 文久元年至文久三年(一八六三)刊 外寸「一八×一二・二糎」(書名は見返による。單邊。無界。八行。内匡郭「一五・七×一〇・二糎」 繪入。淀川上ノ上三九丁上ノ下三三丁下ノ上二七丁下ノ下二七丁。宇治上二〇丁下二五丁)

日野誌一卷附カナカキ方丈記一卷

田中勘兵衛著

東京 田中忠三郎 昭和八年(一九三三)六月影印 外寸「二三×一六糎」(二一行。八七丁附一四丁)

皇都濫觴記

(江戸後期)寫 外寸「三三・五×一三・五糎」(一〇行。一二丁附圖一二丁)

京の水二卷

秋里籬島(湘夕)編 下河邊拾水畫

大坂 河内屋太助 寛政二年(一七九〇)序刊 外寸「二四・八×一七・五糎」 印記「長藏書」「壽」「資本安井」(單邊。

三〇五〇  
一册

三〇五一  
二册

三〇五二  
六册

三〇五三  
一册

三〇五四  
一册

三〇五五  
二册



無界。一〇行。内匡郭「一八・五×二・一・一厘」 上三二丁下二五丁。「大坂書林森本文金堂藏板目錄 心齋橋通 河内屋太助」二丁

## 都名所圖會六卷

秋里籬島(湘夕)著 竹原信繁(春朝齋) 畫  
皇都 吉野屋爲八 天明六年(一七八六)刊 外寸「二七・三×一八・五厘」 印記「林氏藏書」 (書名は目次首による。  
單邊。無界。一三行。内匡郭「二・一×一五・八厘」 繪入。一卷三六丁二卷五一丁三卷八五丁四卷六五丁五卷七八丁  
六卷五〇丁)

三〇五六  
六册

## 大和名所圖會六卷

秋里籬島(湘夕)著 竹原信繁(春朝齋) 畫  
浪華 高橋平助等 寛政三年(一七九二)五月刊 外寸「二六×一八・五厘」 (書名は目次首による。單邊。無界。  
一三行。内匡郭「二・一×一五・六厘」 繪入。一卷二八丁二卷四四丁三卷五九丁四卷五三丁五卷五七丁。六卷乾  
五一丁坤八五丁)

三〇五七  
七册

## 攝州有間溫湯記

林道春(羅山)・堀正意(杏庵)著  
〔江戸末寫 外寸「横本一五・八×一八・五厘」 (書外題「攝州有馬溫湯記」 一四行。九丁。奥書「元和七年辛酉仲夏  
日羅山散人道春藁」寛永四年秋九月記尾陽醫官法眼洛澁杏庵正意誌」 朱筆の書き入れあり)

三〇五八  
一册

## 攝津名所圖會九卷

秋里籬島(湘夕)著 竹原信繁(春朝齋) 畫  
大阪 河内屋喜兵衛等 〔寛政十年(一七九八)九月浪花森本太助等刊〕後印 外寸「二五・七×一八厘」 (書名は目次  
首による。單邊。無界。一三行。内匡郭「二・四×一五・八厘」 繪入。一卷六七丁二卷五八丁三卷七三丁。四卷上  
五一丁下五二至八七丁。五卷六六丁。六卷上四四丁下四五至九〇丁。七卷五七丁。八卷上四三丁下四四至九三丁。

三〇五九  
一二册

九卷五七丁)

播磨めぐりの記

田原相常著

大坂 田原屋平兵衛・藤屋彌兵衛・栢原屋與左衛門 明和九年(一七七二)三月刊 外寸「一八・八×二・九糎」(見返「播磨巡覽記」 單邊。無界。八行。内匡郭「一四・三×九・一糎」 繪入。四一丁附録二丁)

三〇六〇

一册

鳥取縣郷土誌

鳥取 鳥取縣女子師範學校 昭和十一年(一九三六)三月活版 外寸「二一・八×一五・八糎」(郷土研究第二輯。五〇九頁)

三〇六一  
洋装一册

島根縣管内出雲國地誌略

清水清太郎著

〔松江〕 清水清太郎 明治十二年(一八七九)六月活版 外寸「二一・七×一四・八糎」 印記「中村所藏」(書名は見返による。巻首「島根縣管内地誌略」 三二丁。印刷所「京都好文堂」)

三〇六二

一册

四國靈場道乃栞

嘉永四年(一八五二)三月序刊 外寸「横本二一・三×一六・一糎」 印記「四宮書庫」(書名は封面による。單邊。無界。九行。内匡郭「九・二×一三・六糎」 三二丁)

三〇六三  
一册

萬國夢物語五卷

西村遠里著

〔江戸後期〕寫 闕卷第一第二第三上 外寸「二五・一×一八糎」 印記「小竹齋」(篠崎小竹) (一〇行。三卷下一二丁 四卷一二丁五卷一九丁。朱筆の書き入れあり)

三〇六四  
一册

遊名山記四卷

(明)都穆(玄敬)撰 (日本)黒田善(元民)等同校  
文政九年(一八二六)京都吉田屋治兵衛等刊 外寸「二二・五×一五・六糎」 印記「文艸館記」 (左右雙邊。有界。九行二字。内匡郭「一六・一×一一・三糎」 一卷一六丁二卷一五丁三卷一六丁四卷一六丁)

三〇六五

二册〔漢籍〕

唐土名勝圖會六卷

岡田尙友(玉山)編 岡田尙友・岡文暉(熊岳)・大原民聲(東野)畫  
大坂 龍章堂河内屋吉兵衛等 文化二年(一八〇五)八月序刊 外寸「二五・八×一八・二糎」 印記「鳥羽」 (單邊。無界。一行。内匡郭「二〇・五×一五・四糎」 一卷四六丁二卷四七丁三卷七八丁四卷六七丁五卷七〇丁六卷七六丁)

三〇六六  
六册

唐土名山圖會三卷

鈴木雍(芙蓉)著  
江戸 須原屋茂兵衛・京都 勝村治右衛門・大坂 秋田屋太右エ門〔享和元年十月刊〕文政十一年(一八二八)六月補刻 外寸「二六×一八・二糎」 「飯島南洋藏」(墨書) (書名は見返による。單邊。無界。内匡郭「一九・二×一三・八糎」 上一四丁中二三丁下二三丁)

三〇六七  
三册

渡天海上記

天保十四年(一八四三)七月宇楚氏寫 外寸「三三・六×一六・六糎」 (八行。一五丁)

三〇六八  
一册

參天臺五臺山記八卷

釋成尋著  
文化十年(一八一三)八月寫 外寸「二三・九×一七・二糎」 印記「西莊文庫」(小津桂窓) (九行。一卷四四丁二卷三四丁三卷四三丁四卷三七丁五卷五二丁六卷四五丁七卷四四丁八卷三五丁)

三〇六九  
八册

參天臺五臺山記八卷

釋成尋著

天保二年（一八三一）釋盈源寫 闕卷第六至第八 外寸「二六・六×一九・五糎」 印記「若王藏」釋盈源印」（九行。一卷二九丁二卷三〇丁三卷四三丁四卷三七丁五卷五五丁。朱筆の書き入れあり）

龍動新繁昌記四編

（英）ジョン・マレイ著 （日本）丹羽純一郎譯述

東京 高橋源吾郎 明治十一年（一八七八）三月刊 外寸「一八・五×一二・七糎」 印記「大江氏藏書章」（四周雙邊。無界。一〇行。内匡郭「二三・四×九・七糎」 初編四二丁二編四四丁三編四五丁四編四四丁）

諸國道中たび鏡

加治柴山編

東都 奎文房和泉屋半兵衛 弘化四年（一八四七）十二月刊 外寸「横本二一・三×一六糎」（書名は序文首による。單邊。無界。二〇行。内匡郭「九・七×一三・五糎」 五九丁）

五海道中細見獨案内 存卷下

江戸 須原屋茂兵衛等 安政五年（一八五八）刊 外寸「横本八・二×一八・五糎」（書名は題簽による。單邊。無界。内匡郭「六・八×一六糎」 繪入。六〇丁）

東海道本曾街道中細見記

江戸 須原屋茂兵衛 天保十三年（一八四二）一月刊 外寸「一七・五×一一糎」（書名は書外題による。單邊。無界。内匡郭「一三・二×九糎」 繪入。六九丁）

西國巡禮細見大全

保野通尙著 池田東離補 森川保之畫

三〇七〇

五册

三〇七一

四册

三〇七二

一册

三〇七三

一册

三〇七四

一册

三〇七五

京都 四方翠松園平野屋茂兵衛〔文政八年十一月京都菊屋喜兵衛刊〕天保十一年（一八四〇）四月修訂 外寸「横本  
一一×一六・二糎」〔書名は序文首による。單邊。無界。一四行。内匡郭「八・九×一三・二糎」 繪入。二二〇丁。〕神  
佛順拜洋岳巡行圖記目次「八丁）

## 鬼室集斯墳墓考

遠藤宗義編

滋賀縣八幡町 滋賀縣蒲生郡教育會 明治三十六年（一九〇三）十二月活版 外寸「三・二×一六・二糎」〔四八頁〕

## 煙花小筆二卷

風狂山人編

醉月樓 元治元年（一八六四）刊 外寸「二×八・五糎」〔左右雙邊。有界。七行。内匡郭「八・七×六・三糎」 上  
二七丁下二二丁）

## 又

印記「天下之公寶今有我祕庫」〔梅本氏〕「有城啓造」〔墨書〕（與三〇七七番同版）

## 東京妓情三卷

田島象二（醉多道士）著

東京 東生龜治郎 明治十六年（一八八三）十月刊 外寸「一八・五×一二・五糎」 印記「同樂野槐」〔四周雙邊。無  
界。九行。内匡郭「二四・五×九・五糎」 上二二丁中二八丁下三七丁）

## 花柳事情三卷

田島象二（醉多道士）著

東京 澤佐與 明治十三年（一八八〇）十二月刊 外寸「一八・三×一二・六糎」〔四周雙邊。無界。九行。内匡郭

一册

三〇七六  
洋裝一册

三〇七七  
二册（合綴一册）

三〇七八  
二册

三〇七九  
三册

三〇八〇  
三册

「一四・一×九・四糎」 上三四丁中三四丁下二三丁)

遊里提燈

〔江戸〕 玉屋山三郎 安政五年(一八五八)刊 外寸「一七・七×一二糎」〔耽酒亭安定〕(墨書) (書名は書外題による。單邊。無界。内匡郭「一四・五×一〇・三糎」 四〇丁)

三〇八一  
一册

柳橋新誌初編

成島柳北(何有外史)著  
〔東京〕 奎章閣山城屋政吉 明治七年(一八七四)四月刊 外寸「二〇・二×一五糎」(左右雙邊。有界。一〇行。内匡郭「一六・五×一一・五糎」 三〇丁)

三〇八二  
一册

新橋雜記 存卷第一編

松本萬年著  
東京 稻田政吉 明治十一年(一八七八)八月刊 外寸「二・三×一五・一糎」 印記「目黒藏書」「目黒氏」(左右雙邊。有界。一〇行。内匡郭「二六・六×一一・五糎」 二七丁)

三〇八三  
一册

眼橋新話

高橋雨窓著  
東京 玉山堂山城屋佐兵衛 〔明治期〕刊 外寸「二・八×一五・四糎」(四周雙邊。無界。八行。内匡郭「一七×一一・八糎」 一二丁)

三〇八四  
一册

文明餘誌田舎繁昌記二卷

松本萬年著  
東京 文昌堂磯部屋太郎兵衛 明治八年(一八七五)二月刊 外寸「二・三×一五・二糎」(題簽「田舎繁昌記」 四周雙邊。有界。九行。内匡郭「一五・一×一〇・四糎」 初篇「三三丁二篇「二〇丁」)

三〇八五  
二册

御本日記附注 右文故事第一種 三卷 御本日記續錄 右文故事第二種 三卷

近藤守重著

〔明治期〕活版 外寸「一八・八×一二・四糎」〔存採叢書之一。上二九丁中二五丁下二丁。續上二七丁中二九丁下一三丁〕

掌中群書一覽

多田直洪〔定學堂主人〕著

浪華 海部屋勘兵衛・東都 前川六左衛門 文化九年（一八一二）月刊 外寸「横本七・一×一六・七糎」 印記「篠笥氏文庫」「友安圖書之記」「栖舍文庫」（友安三冬）（單邊。有界。一六行。内匡郭「六×一四・二糎」 六〇丁）

群書一覽和書部六卷

尾崎雅嘉著

浪華 海部屋勘兵衛等 享和二年（一八〇二）六月刊 外寸「一八・八×一二・七糎」〔單邊。無界。一四行。内匡郭「二四・三×九・五糎」 一卷一〇八丁二卷一二五丁三卷一〇四丁四卷一〇七丁五卷一〇九丁六卷一二三丁〕

官版書籍解題目錄二卷

櫛山精一〔堯陳〕譯

江戸 出雲寺萬次郎 弘化四年（一八四七）刊 外寸「一八・五×一二・四糎」 印記「泉邨」〔見返「官版書籍解題略」單邊。有界。一二行。内匡郭「二四・一×九・七糎」 上三八丁下五二丁〕

古典聚目第一集

嵩山堂編

東京 青木恆三郎 明治二十九年（一八九六）六月活版 外寸「二四・六×一〇糎」〔五四丁〕

和漢軍談紀略考大成

三〇八六  
四册

三〇八七  
一册

三〇八八  
六册

三〇八九  
二册（合綴一册）

三〇九〇  
一册

大郷信齋増訂 牧野善兵衛補 海西鶴峯校  
東都 和泉屋喜兵衛等 天保十二年(一八四二)刊 外寸「一六・四×六・七糎」 印記「淺野氏藏書印」(書名は見返による。單邊。有界。五行。内匡郭「一三・九×六・五糎」 二八折)

和漢軍書要覽二卷

吉田一保著  
浪華 藤屋善七・藤屋禹三郎 [安永七年一月刊]天保十一年(一八四〇)三月後印 外寸「二五・四×一〇・六糎」 印記「姫路産物會社 小網町壹丁 川嶋屋彦兵衛」 「瑞穂野從容堂藏」(墨書) (單邊。無界。六行。内匡郭「一三・八×七・二糎」 漢字片假名。上六一丁下六二至一三七丁)

一覽博識 存卷一卷二

茹蔵山人著  
江戸 須原屋三郎兵衛・須原屋茂兵衛・須原屋善助 安永九年(一七八〇)十月刊 外寸「一八・二×一三糎」 印記「房□之印」 (單邊。無界。九行。内匡郭「一三・五×九・七糎」 漢字片假名。一卷一八丁二卷一三丁)

近代著述目錄八卷

堤朝風編 英遵補定  
[江戸末]寫 外寸「二四・八×一六糎」 印記「生二館圖書記」 (二三行。一卷一四丁二卷一一丁三卷一二丁四卷八丁五卷一〇丁六卷一二丁七卷五丁八卷一〇丁)

經解書目

池田四郎次郎著  
東京 修省書院 大正十二年(一九三三)四月活版 外寸「一九×一一・六糎」 (九〇頁)

古書疑義舉例七卷

三〇九一  
折本一帖

三〇九二  
一册

三〇九三  
一册

三〇九四  
二册

三〇九五  
一册



（清）俞樾（蔭甫）撰

民國十四年（一九二五）一月上海古書流通處景印 外寸「二〇・二×一三・三浬」（單邊。有界。一一行二四字。內匡郭「二四・五×一〇・八浬」 一卷一六丁二卷一六丁三卷一六丁四卷一六丁五卷一六丁六卷一六丁七卷一九丁。朱筆の書き入れあり）

## 書目答問不分卷 附別錄一卷 附國朝著述書家姓名略一卷

（清）張之洞撰

民國九年（一九二〇）上海掃葉山房石印 外寸「二〇・五×一三浬」 印記「金子藏書」（金子彦二郎）（四周雙邊。有界。一四行二七字。內匡郭「二六・三×一〇・八浬」 經目「三丁史目」三丁子目一九丁集目一八丁叢目二丁別錄二丁姓名七丁。「掃葉山房發行石印精本書籍目錄戊午正月重訂」一五丁）

## 古今僞書考

（清）姚際恆（首源）撰

文政五年（一八二二）江戸昌平坂學問所刊 外寸「一八・五×二二・七浬」 印記「溫古」（左右雙邊。有界。九行二二字。內匡郭「二二・二×九・一浬」 四七丁。朱筆の書き入れあり）

## 古今僞書考

（清）姚際恆（首源）撰 男姚祥齡校字

光緒三年（一八七七）蘇州文學山房木活字印 外寸「三〇×一八浬」 印記「謬々洞生」（四周雙邊。有界。九行二二字。內匡郭「一八・七×一二・三浬」 上冊二九丁下冊三〇至四八丁）

## 祕府略 卷第八百六十八布帛部三

滋野貞主等撰

〔東京〕〔育徳財團〕 大正十二年（一九二三）一月複製 外寸「二八・二浬」（底本「前田家所藏平安末寫本」）

三〇九六

三冊〔漢籍〕

三〇九七

二冊〔漢籍〕

三〇九八

一冊〔漢籍〕

三〇九九

二冊〔漢籍〕

三一〇〇

卷子本一卷

簾中鈔三卷

藤原資隆著

〔明治期〕寫 闕卷中 外寸「二七・三×一八・八糎」 印記「桂氏藏書」(桂譽正) (二〇行。漢字片假名。上六七丁下五七丁。山岸氏識語「簾中鈔二冊中卷元來缺本也他日以良本可書寫者也桂氏即越後新津町桂氏萬卷樓旧藏本也」)

二中歴十三卷

東京 育徳財團 昭和十二年(一九三七)六月複製 外寸「二二・五×一五・二糎」 (尊經閣叢刊之一。七行。底本「前田家所藏古寫本」 別冊「古寫本二中歴解説」二二頁)

頭書増補訓蒙圖彙二十一卷目錄一卷

中村之欽(陽齋)編

元祿八年(一六九五)刊 外寸「二二・五×一六・六糎」 (單邊。無界。一八行。白口。無魚尾。内匡郭「一九・八×一四・九糎」)

頭書増補訓蒙圖彙二十一卷目錄一卷

中村之欽(陽齋)編

〔寛政元年(一七八九)三月皇都九臯堂谷口勘三郎等刊〕後印 外寸「二二×一五・六糎」 「平野楠吉」(朱書) (題簽「増補頭書訓蒙圖彙大成」 單邊。無界。一五行。内匡郭「一八・四×一三・七糎」 奥付に發兌書肆として「江戸須原屋茂兵衛から勝村伊兵衛まで」全一一書肆名あり)

頭書増補訓蒙圖彙 存卷一至卷八卷二十一

中村之欽(陽齋)編

皇都 九臯堂谷口勘三郎等 寛政元年(一七八九)三月刊 外寸「二二・五×一五・九糎」 印記「美家貞」他 「新井政常(墨書) (單邊。無界。一八行。内匡郭「一九・二×一四・七糎」 第一冊卷一至卷三補配 外寸「二二・六×一六・一糎」)

三一〇一

二冊

三一〇二

一三冊・別冊解説二冊

三一〇三

八冊

三一〇四

一〇冊

三一〇五

四冊

唐土訓蒙圖彙十四卷目錄一卷

平住專庵(周導)著

浪華 河内屋吉兵衛等 (享保四年浪華寶文堂刊)享和二年(一八〇二)後印 外寸「二六・二×一八・六糎」印記「少府圖書」(單邊。無界。一八行。内匡郭「一八・二×一三・七糎」繪入。「名所記總目錄」二丁。二冊目表紙に「天保五星甲午十一月十二日校正」と墨書あり)

和漢分類諸家名數五卷

神田白龍子編

江府 西村載文堂・帝畿 西村市郎右衛門 享保四年(一七一九)一月刊 外寸「二一・九×一五・七糎」(書名は卷尾による。單邊。無界。九行。内匡郭「二五・八×一二・七糎」一卷一八丁二卷四三丁三卷二八丁四卷二四丁五卷二六丁)

萬物故事要決八卷

大坂 秋田屋太右衛門・江都 須原屋茂兵衛 (享保十二年一月皇都前田武兵衛刊)文政七年(一八二四)二月補刻 外寸「二五・五×一七・九糎」(單邊。無界。一一行。内匡郭「二・九×一五糎」漢字片假名。一卷一九丁二卷一四丁三卷一七丁四卷五丁五卷一六丁六卷一四丁七卷二四丁八卷一五丁)

類字假名遣七卷

荒木田盛徵著

〔京都〕 荒川宗長 寛文六年(一六六六)九月刊 外寸「横本一三・二×一九・二糎」(單邊。無界。一五行。白口。無魚尾。内匡郭「一・九×一七・八糎」一卷四四丁二卷一八丁三卷二二丁四卷二四丁五卷一六丁六卷二二丁七卷二二丁)

增補大成正誤假名遣

三一〇六  
五册

三一〇七  
五册

三一〇八  
四册

三一〇九  
七册

加茂季鷹著 鶴峯彦一郎(海西)増補 鶯亭梅彦校

江戸日本橋通四丁目 金華堂須原屋佐助〔江戸末〕刊 外寸「横本八・二×一八・五糎」(單邊。有界。一八行。白口。

無魚尾。内匡郭「六・八×一六・四糎」 九〇丁)

日本神字考二卷

(清)沈文榮(梅史)譯 弟沈文煒(蘭生)校 園田弘編

東京 園田弘〔明治十四年四月序刊〕明治十七年(一八八四)十一月修 外寸「三・四×一六糎」 印記「渡邊千秋藏

書」(四周雙邊。無界。一〇行。内匡郭「一八×一二・二糎」 上二四丁下三〇丁。奥付に發賣として「東京 潤生舎・

九春社」あり)

日本神字考二卷

(清)沈文榮(梅史)譯 弟沈文煒(蘭生)校 園田弘編

明治十四年(一八八二)四月序刊 外寸「三・四×一六糎」 印記「森藏書」「鬼洞文庫」(出口神曉) (四周雙邊。無界。

一〇行。内匡郭「一八・一×一二・四糎」 上二四丁下三〇丁。例言及び各卷首に墨格あり)

日本古代文字考 存卷下

落合眞澄著

東京 吉川半七 明治二十一年(一八八八)七月刊 外寸「二六・三×一八・八糎」(單邊。無界。一二行。内匡郭

「一九・五×一三・七糎」 漢字片假名。三〇丁)

和字濫觴編

弘化三年(一八四六)五月寫 外寸「一九・八×一三・八糎」(書名は書外題による。一六行。漢字片假名。二四丁)

地名字音轉用例

三一〇

一冊

三一

二冊

三二

一冊

三一

一冊

三一

一冊

本居宣長著

尾州名古屋本町通 永樂屋片野東四郎等〔江戸後期〕刊 外寸「二六・二×一八・二糎」 印記「熊本縣上通二丁目書  
鋪川口屋又次郎」〔單邊。無界。一〇行。白口。無魚尾。内匡郭「一九・八×一四・三糎」 一三丁。卷末に出版目錄  
七丁あり〕

三二一五

一冊

## 字彙莊嶽音十二卷

釋文雄僧谿著

皇都 中西卯兵衛 寶曆四年（一七五四）月刊 外寸「三三×一六・一糎」 印記「日進堂」〔單邊。有界。八行。内  
匡郭「一九・四×一二・八糎」 一卷一二丁二卷一二丁三卷八丁四卷九丁五卷一〇丁六卷九丁七卷一八丁八卷一二丁九  
卷一〇丁一〇卷一五丁一一卷一二丁一二卷九丁〕

三二一六  
四冊

## 諧韻瑚璉

中井積徳（履軒）著 崇文院編

東京 崇文院 昭和六年（一九三二）四月活版 外寸「二七・二×一七・九糎」〔崇文叢書第二輯之四十四。三三丁〕

三二一七

一冊

## 字音考 卷第一附一卷

木澤天籟著

〔明治期〕寫 外寸「二七・二×一八・四糎」 印記「觀導處」〔罫紙。九行。漢字片假名。假綴。二二丁附一三丁。帙に「木  
澤天籟草稿」と墨書あり〕

三二一八

二冊

## 最勝王經音義

昭和十九年（一九四四）四月金兒祝夫寫 外寸「二七・九×一九・五糎」〔書名は書外題による。六行。一三丁。山岸  
氏識語「古鈔最勝王經音義一卷佐々木博士藏本也金兒氏爲餘所贈者也昭和十九年仲呂中流」〕

三二一九

一冊

## 日本釋名三卷

貝原篤信(益軒)編

京師 長尾平兵衛・上嶋瀬平 元祿十三年(一七〇〇)刊 外寸「二・五×一六・一糎」 印記「山下藏書」「寶玲文庫」  
(フランク・ホーレー)「慶應義塾圖書館印」(單邊。無界。九行。白口。無魚尾。内匡郭「一七・七×一三・二糎」  
上四三丁中五八丁下六〇丁。「貝原先生編輯日新堂藏版目録 大阪 村上清三郎・京都 同治兵衛・江戸 升屋五  
郎右衛門」(半丁)

三一・二〇  
三冊

東雅二十卷目錄一卷

新井君美(白石)著

東京 吉川半七 明治三十六年(一九〇三)三月活版 外寸「三・三×一五・五糎」 印記「梅氏藏書」(六〇二頁)

三一・二一  
五冊

諺艸七卷一名雅俗俚言諺草

貝原重春(好古)編

〔京都〕 田中庄兵衛 元祿十四年(一七〇二)一月刊 闕卷第三 外寸「二・三×一五・七糎」 印記「大慈悲軒藏書」  
「平宜堂藏書」(單邊。無界。九行。白口。無魚尾。内匡郭「一七・三×一三・一糎」 一卷六〇丁二卷五〇丁四卷  
二七丁五卷四三丁六卷六三丁七卷二九丁。朱筆の書き入れあり)

三一・二二  
六冊

本朝俚諺九卷

井澤長秀(蟠龍)著

隈本 寺尾勘衛門・京師 田中庄兵衛 正徳五年(一七一五)一月刊 闕卷二上 外寸「三・五×一六糎」 印記「柏  
屋孝藏」「征□之印」(單邊。無界。九行。内匡郭「一八・二×一二・四糎」 一卷上三三丁下三三至五二丁。二卷下  
二一至三九丁。三卷二二丁四卷二四丁五卷二七丁六卷二八丁七卷三三丁。八卷上一九丁下二〇至三九丁。九卷二六丁)

三一・二三  
一一冊

齊東俗談七卷

松浦默(交翠)著

〔京都〕 田中庄兵衛 貞享二年(一六八五)一月刊 外寸「二・七・五×一七・五糎」 印記「關藤文庫之印」(題簽「齊東

三一・二四  
二冊

本朝世諺俗談」單邊。無界。一一行。白口。無魚尾。内匡郭「二一×一四・五糎」漢字片假名。一卷一四丁二卷一五丁三卷一六丁四卷二二丁五卷二二丁六卷一〇丁七卷七丁。墨筆朱筆の書き入れあり

故事辯解

山口銀造編 吉澤環・三好鐘同校

東京 山口銀造 明治十七年（一八八四）十一月活版 外寸「一八・四×二二・四糎」印記「川池氏藏書」（四一丁）。  
發兌所「有終社」

活語指掌

編輯寮編

東京 水村松五郎 明治二十年（一八八七）九月刊 外寸「二八×二二糎」（題簽「官版語彙活語指掌」四周雙邊。有界。一〇行。内匡郭「二三・二×八・九糎」一二丁）

語彙別記二卷

編輯寮編

東京 水村松五郎 明治二十年（一八八七）九月刊 外寸「一八・五×二二・八糎」印記「山崖十茂能藏書」「山岸氏藏書印」「友之助醒」（四周雙邊。有界。一〇行。内匡郭「二三・二×八・九糎」上一八丁下一一丁）

ちまたの石ふみ二卷

拜郷蓮茵著

京都 福井源次郎 明治十二年（一八七九）三月刊 外寸「二三・五×一五・四糎」印記「良空純潮」「雲洞居士持授與純潮」（墨書）（四周雙邊。無界。一一行。内匡郭「一七・九×二二・二糎」上三八丁下二七丁）

又

（與三二二八番同版）

三二二五

一册

三二二六

一册

三二二七

一册

三二二八

二册

三二二九

西園詞三徑三卷

荒木田守良著

昭和二十九年（一九五四）一月寫 外寸「二七・五×一九・五糎」（二二行。上三七丁中本七三丁中末六八丁下八五丁。

山岸氏識語「西園詞三徑上中下神宮文庫本也以京大研究室轉寫本書寫畢」

友鏡底廻影二卷

東條義門著

昭和八年（一九三三）寫 外寸「二七×一九・五糎」（一〇行。上一〇四丁下一〇五丁。山岸氏識語「友鏡底廻影一卷

以保科孝一先生藏寫本書寫畢分綴而爲上下二卷矣」

辨玉霰論

三井高蔭著

昭和二十九年（一九五四）十一月山岸氏家中寫 外寸「二七・七×一九・七糎」（二〇行。三〇丁。山岸氏識語「辯玉霰

論一冊借覽長澤氏寫本之序書寫者也」

初學日本文典二卷

物集高見著 根本直苗校

東京 出雲寺萬次郎 「明治十一年七月刊」明治二十三年（一八九〇）十二月後印 外寸「三三×一五・八糎」印記「古

川」（四周雙邊。無界。一〇行。内匡郭「二七・二×一一・九糎」上五七丁下五三丁。朱筆の書き入れあり）

日本文典

新保正興稿

「明治期」寫 外寸「三三・七×一六・五糎」（一五行。三七丁）

二冊

三二三〇

四冊

三三三一

二冊

三三三二

一冊

三三三三

二冊

三三三四

一冊



辨太宰氏和讀要領

伴部安崇（八重垣翁）著

〔江戸中期〕寫 外寸「二七・六×一八糎」 印記「好問堂」（山崎美成）「待賈堂」（岩本五一）「渡邊千秋藏書」（廣瀬藏書）  
（書外題「辯和讀要領」 九行。漢字片假名。四八丁。奥書「天保九歲次閏茂秋九月二十三日流覽一過 正秀」 書き  
入れあり）

發字便蒙解

源公増（黃龍）著 平野幹・小川道記編

東都 鳳金屋清吉 嘉永元年（一八四八）四月刊 外寸「一八×一二糎」 印記「育英館褒賜」（單邊。無界。七行。  
内匡郭「二三・五×九・七糎」 漢字片假名。三〇丁）

訓點復古二卷

日尾瑜（荆山）著 本間忠等校

江戸 芳潤堂須原屋源助 天保六年（一八三五）一月自序刊 外寸「二六・五×一七・八糎」印記「源間藏書」 「源間彌  
三郎求之」（墨書）（左右雙邊。有界。一〇行。内匡郭「一八・五×一三・五糎」 上四二丁下四二丁）

新撰字鏡十二卷 天治本

釋昌住著

東京 西東書房 昭和八年（一九三三）二月影印 外寸「二四・三×一七糎」（八行。底本「東京帝室博物館所藏天治  
元年甲辰五月十日寫本」 別冊「新撰字鏡攷異」（山田孝雄編。一四五頁。「新撰字鏡索引」（五五頁）

字 鏡

京都 便利堂内貴重圖書影本刊行會頒布事務所 昭和八年（一九三三）九月複製 外寸「二九・三×二六・四糎」（六  
行。一冊一五六頁二冊二一四頁。底本「岩崎文庫所藏古寫本」 別冊「岩崎文庫所藏古鈔字鏡解說」（岡田希雄著。六頁）

三一三五

一冊

三一三六

一冊

三一三七

二冊

三一三八

六冊・別冊攷異・索引一

冊

三一三九

二冊・別冊解說一冊

類聚名義抄 法 零本

菅原是善著

昭和二十五年（一九五〇）影印 外寸「二七・七×一六・八糎」（七行。三四六頁。底本「宮内省書陵部所藏清水谷公掛舊藏鎌倉期寫本」 別冊「圖書寮本類聚名義抄解説」二六頁）

類聚名義抄篇目

菅原是善著

〔昭和期〕影印 外寸「二七・三×一六・六糎」（七行。六頁。底本「觀智院所藏古寫本」）

畫引節用明治正字典

古座谷徳次郎編

大阪 岡田藤三郎 明治三十年（一八九七）六月銅版印本 外寸「一一・三×七・八糎」（書名は題簽による。四周雙邊。有界。八行）

内容「鼈頭漢語明治無雙玉篇」 三八四頁。〔國民實益いろは字典〕 三八四頁

小説字林一名俗語集

桑野銳（顧柳散人）編

東京 文永堂武田傳右衛門 〔明治十七年序刊〕明治三十九年（一九〇六）八月後印 外寸「一一・九×八・五糎」（四周雙邊。有界。六行。内匡郭「九・六×六・一糎」 一二六丁）

畫引小説字彙

秋水園主人編

大坂 山口又一郎等 寛政三年（一七九二）十一月刊 外寸「一六・一×一一・二糎」 印記「三好藏書」（單邊。有界。七行。内匡郭「二・四×八・三糎」 漢字片假名。四五丁。〔崇高堂藏板目錄 大阪 河内屋八兵衛〕一二丁）

三一四〇

一冊・別冊解説一冊

三一四一

一冊

三一四二

一冊

三一四三

一冊

三一四四

一冊

一步抄

〔江戸後期〕寫 外寸「横本一五×二二・二糎」 二〇行。六一丁。山岸氏識語「寛文戊申十一月吉日吉野屋惣兵衛開版…戊申ハ寛文八年ナリ」〔別紙〕

妙音經

白石泰玄〔霸臺〕著

京都 吉田作兵衛・江戸 須原屋平助・大坂 多田勘兵衛 文化八年（一八一二）六月刊 外寸「三・一×一六糎」〔四周雙邊。無界。九行。内匡郭「一七・三×一二・六糎」 漢字片假名。二二丁〕

助字考證二卷 附助語義一卷

伊藤長胤〔東涯〕著

皇都 山岡勘右衛門・瀬尾源兵衛・梅村彌右衛門 寛延四年（一七五二）刊 外寸「二七・二×一八・二糎」 印記「拙軒圖書」（書名は目次首による。單邊。無界。九行。内匡郭「二〇・五×二四・七糎」 上一三丁下二附一〇丁。朱筆の書き入れあり）

助字喘一卷用字喘一卷

小澤精菴著 受業弟子編

〔江戸末〕寫 外寸「二四・一×一六・九糎」 〔山崖十茂能藏書〕〔墨書〕 二一行。漢字片假名。助字三七丁用字一一丁。別紙書付一葉あり）

語辭喘一卷助辭喘一卷成語法一卷

小澤精菴著 受業弟子編

〔昭和期〕寫 外寸「二六・四×一八・一糎」 八行。漢字片假名。語辭一丁助辭二四丁成語一六丁。版心に「困學堂」と墨書あり）

三一四五  
一册

三一四六  
一册

三一四七  
二册

三一四八  
一册

三一四九  
一册

伊呂波字引 卷下

釋日我作

〔昭和期〕景照 外寸「二・一×一六・四糎」(書名は書外題による。有界。七行。八四枚。底本「房州保田町妙本寺所藏永祿二年十二月自筆寫本」)

三一五〇  
一箱

色葉字類抄三卷

橘忠兼著

東京 育徳財團 大正十五年(一九二六)六月複製 原闕卷中 外寸「二八×一七・一糎」(尊經閣叢刊之一。列帖裝。七行。漢字片假名。上五七枚下六二枚。底本「前田家所藏養和頃寫本」 別冊「色葉字類抄解説」八頁)

三一五一  
二冊・別冊解説一冊

伊京集

京都 便利堂 昭和十六年(一九四一)三月複製 外寸「三三・二×二一・八糎」(單邊。有界。一一行。漢字片假名。一三三頁。底本「帝國圖書館所藏室町末寫本」 別冊「伊京集解題」新村出著。七頁)

三一五二  
一冊・別冊解題一冊

節用假字遣一卷附錄一卷

早川廣海編

天保二年(一八三一)一月跋刊 外寸「一五・八×一〇・九糎」(單邊。有界。六行。内匡郭「一二・七×八・四糎」六九丁附一四丁。序文第二丁に墨格あり)

三一五三  
一冊

雅語譯解

鈴木朗編

尾州名古屋 萬屋東平・美濃屋清七・京都 天王寺屋市郎兵衛 文政四年(一八二二)刊 外寸「二五×一〇・四糎」(單邊。有界。六行。内匡郭「一二・六×七・八糎」 七六丁)

三一五四  
一冊

丘良偈之朋涅

由之著

越後出雲崎 橘屋〔江戸後期〕刊 外寸「横本八・七×一八・三糎」 印記「靜廬江澤氏藏」〔江澤靜廬〕（書外題「くらげのほね」 單邊。無界。一六行。白口。無魚尾。内匡郭「七・一×一六糎」 四八丁。奥付に發兌者として「越後新潟他門通北村彌三次から新發田上町原津左衛門まで」全六書肆名あり）

丘良偈之朋涅

由之著

〔江戸後期越後出雲崎橘屋刊〕後印 外寸「横本九・二×一九・二糎」 印記「梅考庵」「鏡露」「岢月庵」〔墨書〕（單邊。無界。一六行。内匡郭「七・一×一六糎」 四八丁。與「三一五番同版。但し刊記及び發兌人闕」）

雜字類編七卷

柴野邦彦（栗山）著 柴野貞穀重修 辻言恭校

大坂 河内屋喜兵衛等 文政七年（一八二四）三月序刊 外寸「二・二×一五・九糎」 「柴木重房」〔墨書〕（左右雙邊。有界。九行。内匡郭「一八・四×一三・五糎」 漢字片假名。一卷三六丁二卷三三丁三卷二五丁四卷二〇丁五卷三五丁六卷四二丁七卷一八丁）

雜字類編 存卷一至卷三

柴野邦彦（栗山）著 柴野貞穀重修 辻言恭校

〔文政七年（一八二四）三月序刊〕後印 外寸「二・二×一五・七糎」 （左右雙邊。有界。九行。内匡郭「一八・四×一三・五糎」 漢字片假名。一卷三六丁二卷三三丁三卷二五丁。與「三一五番同版。但し見返闕」）

檜の婦手二卷目錄一卷

楫取魚彦著

大阪 奈良屋喜兵衛・伊丹屋善兵衛 嘉永四年（一八五二）刊 外寸「二五・七×一七・八糎」 （單邊。無界。七行。内匡郭「二〇・三×一四・八糎」 目錄二〇丁上九四丁下九五至二〇二丁）

三一五五

一册

三一五六

一册

三一五七

二册（合綴一册）

三一五八

一册

三一五九

五册

箋注倭名類聚抄十卷

狩谷望之〔掖齋〕著

〔東京〕印刷局 明治十六年（一八八三）活版 外寸「二・五×二四・五糎」

名物六帖

伊藤長胤（東涯）纂輯

大阪 岡島眞七等 〔享保十年刊〕安政六年（一八五九）五月修 闕服章箋身體箋動物箋植物箋 外寸「二・三×一六・五糎」〔單邊。有界。七行。内匡郭「二・八×一・二・八糎」 漢字訓點傍訓付。首一三丁天文箋二一丁時運箋一六丁地理箋五七丁人品箋二〇一丁官室箋六八丁飲饌箋七丁器材箋二七八丁人事箋二七丁。下象鼻に「耕價堂藏」 〔奎文館藏〕「惺惺齋藏」等あり〕

經史摘語二卷

鈴木澶洲（煥卿）編 滕正純校 隣徳卿再訂

江戸 須原屋伊八 安永三年（一七七四）序刊 外寸「三・九×一五糎」〔左右雙邊。有界。七行。内匡郭「一七・八×一二・四糎」 上三六丁下四二丁。朱筆の書き入れあり〕

日本文典考證二卷

中根淑著 小川亮編

岐阜 水谷善七 明治十二年（一八七九）一月刊 外寸「二・九×一五・五糎」〔四周雙邊。有界。一〇行。内匡郭「二七・四×一二・三糎」 上四四丁下一九丁。賣弘所として「東京 森屋治兵衛」とある。朱筆書き入れあり〕

縣居雜錄 存卷第一

加茂眞淵著

〔江戸〕〔英平吉郎〕 文化九年（一八一二）七月序刊 外寸「二六・七×一八・二糎」 印記「讀杜艸堂」〔寺田望南〕「鶴

三一六〇  
一〇冊

三一六一  
二二冊

三一六一  
二冊（合綴一冊）

三一六三  
二冊（合綴一冊）

三一六四  
一冊

室文庫「谷雲館」「三宅藏書第九十號」(題簽「縣居雜錄補抄」) 單邊。無界。九行。内匡郭「二・一×一四・九糎」四六丁。「麻生園大人校定書目 本石町十軒店 英平吉郎」(半丁)

## 皇國辭解二卷

大村光枝著

〔昭和十三年(一九三八)十月〕寫 外寸「二七・八×一九糎」(書名は目次首による。一二行。上三九丁下四三丁)

## 歲華一枝一卷補遺一卷

端庵先生編 星野善行校

文政十一年(一八二八)跋刊 流芳亭藏版 外寸「一九・一×二二・九糎」(單邊。有界。九行。内匡郭「二・二×九・四糎」二五丁補二〇丁)

## 四時遊人必得書二卷

山田敬直編 眞部尙武・芳村秉同校

京都 越後屋治兵衛等 文久元年(一八六一)刊 外寸「二二・六×一五・九糎」印記「響泉堂森琴石」[T. MAEDA] (左右雙邊。有界。一〇行。内匡郭「一五・七×二二・二糎」上ノ上二丁上ノ下三八丁下三三丁)

## 分韻故事一卷永平開山道元大和尚(假名)法語一卷

〔江戸後期〕寫 外寸「二七・八×二〇・三糎」(書名は書外題による。六行。漢字片假名。分韻六二丁永平五丁)

## 梨窓隨筆一卷梨窓二筆一卷

釋惠空著

浪速 河内屋宇兵衛 享保六年(一七二二)九月刊 外寸「二六・三×一八・六糎」(單邊。無界。一二行。内匡郭「二・四×一五・五糎」漢字片假名。二九丁二筆三二丁)

三一六五

二册

三一六六

二册

三一六七

一册

三一六八

一册

三一六九

二册

東見記二卷

人見壹(卜幽軒)著

京都 柳枝軒茨木多左衛門 貞享三年(一六八六)六月刊 外寸「三・七×一四・七糎」(單邊。無界。八行。白口。  
無魚尾。内匡郭「一五・八×一・一・六糎」 漢字片假名。上四二丁下四八丁)

又

外寸「三・九×一六・二糎」 印記「藤浪氏藏」(藤浪剛一) 「乾々齋書屋」(藏書票) (與三二七〇番同版)

三一七一  
二冊

雜話筆記十卷

神田勝久(白龍子)著

〔江戸中期〕寫 外寸「三・一×一六・一糎」 印記「鮎貝藏書」 (九行。一卷二九丁二卷三六丁三卷三八丁四卷四六  
丁五卷二八丁六卷三二丁七卷三三丁八卷五四丁九卷四九丁一〇卷五五丁)

三一七二  
五冊

東海談二卷

篠崎維章(東海)著

〔江戸後期〕寫 外寸「三・三×一六・五糎」 (二一行。上一二丁下一八丁)

三一七三  
一冊

和學辨四卷

篠崎維章(東海)著

東都 中村屋治兵衛・吉文字屋治郎兵衛 寶曆八年(一七五八)一月刊 外寸「三・三×一六糎」 印記「篁園文庫」(竹  
内篁園)「平出氏書室記」(平出鏗二郎) (單邊。無界。一〇行。内匡郭「一七・七×一三・一糎」 一卷一二丁二卷一三  
丁三卷一四丁四卷一四丁。表紙に識語あり。朱筆の書き入れあり)

三一七四  
一冊

橘牕茶話三卷



雨森東(芳洲)著 篠崎應道(安道)校

大阪 高橋喜助等 天明六年(一七八六)刊 外寸「二五・五×一八・一」 印記「透山堂」「透山堂圖書記」(四周雙邊。  
有界。一〇行。内匡郭「二八×一三・五」 上四〇丁中三九丁下三六丁。「高橋興文堂藏書手本目錄 大阪心齋橋通  
久寶寺町 鹽屋平助」二丁「興文堂發行書目 大阪心齋橋通南久寶寺町 高橋平助」半丁)

## 講習餘筆四卷

中村明遠(蘭林)著

平安 葛西市郎兵衛・北村庄助 延享四年(一七四七)九月刊 外寸「二六×一八・五」(四周雙邊。有界。一〇行。  
内匡郭「二〇・三×一四・二」 漢字片假名。一卷「二六丁二卷一九丁三卷二七丁四卷二七丁」)

## 撈海一得二卷

鈴木澹洲(煥卿)著

洛陽 柏原屋清右衛門・東都 須原屋伊八 明和八年(一七七二)刊 外寸「二六・三×一八・二」 印記「積翠軒」(石  
井光雄) (四周雙邊。有界。一〇行。内匡郭「二〇・五×一四・九」 漢字片假名。上二九丁下三六丁。「青藜閣藏  
版書目錄 江戸淺草茅町」二丁目 須原屋伊八「七丁。書き入れあり」)

## 久保之取蛇尾三卷

入江昌喜著

大阪 積玉圃河内屋喜兵衛等 嘉永三年(一八五〇)一月序刊 外寸「二六・八×一八・五」 印記「魚住文庫」(題  
簽「真珠之舩」 無匡郭。一三行。上二七丁中二丁下三〇丁。「積玉圃藏書目錄」二丁)

## 東牖子五卷

田宮仲宣(橘庵)著

泰文書堂 享和元年(一八〇二)序刊 外寸「二五・四×一七・八」 印記「イ忠」「常」(封面「橘庵漫筆」 單邊。無  
界。一〇行。内匡郭「一七・八×一三・二」 一卷「二丁二卷二〇丁三卷二〇丁四卷二〇丁五卷二〇丁」)

三一七五

三册

三一七六

四册

三一七七

二册

三一七八

三册

三一七九

五册

閑田文艸五卷

伴資芳(蒿蹊)著 男伴資規等編

皇都 文臺屋太兵衛等 享和三年(一八〇三)三月刊 外寸「二六・二×一八・五糎」 印記「岡崎藏書」「松村」(無匡郭。一二行。一卷四一丁二卷三二丁三卷四〇丁四卷四二丁五卷五四丁。卷五首「附録門人文集」)

筆のすさひ三卷

橘泰著

京師 野田藤八等 文化三年(一八〇六)一月刊 外寸「二六・二×一八・三糎」 印記「藏田氏」(單邊。無界。一〇行。内匡郭「二〇・四×一四・三糎」 一卷三〇丁二卷二八丁三卷三三丁)

臺山隨筆二卷

廣瀬清風(臺山)著

東都本石町十軒店 椀屋伊三郎等 「江戸後期」刊 外寸「二五・九×一七・六糎」(單邊。無界。九行。白口。無魚尾。内匡郭「一七・三×一三・二糎」 上二〇丁下二〇丁)

談鋒資銳二卷

荒井堯民(晴湖)著

江戸 玉巖堂和泉屋金右衛門等 文政十二年(一八二九)五月序刊 外寸「二五・八×一八・一糎」 印記「田口」(單邊。無界。九行。内匡郭「一九・六×一四・四糎」 上二七丁下二二丁。「玉巖堂製本書目 江戸横山町三丁目 和泉屋金右衛門」九丁)

松の落葉四卷目錄一卷

藤井高尙著

大阪 鹽屋卯兵衛等 天保三年(一八三二)十二月刊 外寸「二四・七×一八・八糎」 印記「鵜飼藏書」(單邊。無界。

三一八〇	五册
三一八一	三册
三一八二	二册
三一八三	二册
三一八四	五册

一〇行。内匡郭「一八・八×一四・一糎」 目錄一二丁一卷五二丁二卷六〇丁三卷六五丁四卷六八丁。書き入れあり

擁書漫筆四卷

高田與清著

東都 伊勢屋忠右衛門・角丸屋甚助・松屋要助 文化十四年（一八一七）三月刊 外寸「二六・三×一八糎」 印記「廣文堂」「藤原」「或忠」（單邊。無界。一一行。内匡郭「一九・八×一三・九糎」 繪入。一卷三三丁二卷三三丁三卷三五丁四卷上二五丁四卷下二六至三八丁。「耕文堂藏版目錄 新橋南大阪町 伊勢屋忠右衛門」二丁）

雙樹落葉三卷

名島政方（桃源）著

京都 勝村治右衛門等 天保十二年（一八四二）十月跋刊 外寸「二五・六×一八糎」 印記「下總香取郡高萩里石橋傳藏可候」「萩社」（單邊。無界。一二行。内匡郭「一九・九×一四・二糎」 上三三丁中二七丁下一九丁）

閑聖漫錄

會澤安（正志齋）述

水戸 須原屋安治郎等 文久三年（一八六三）刊 外寸「二五・五×一七・四糎」 印記「小葉文庫」（單邊。無界。一〇行。内匡郭「二〇×一四・一糎」 四〇丁）

口嗜小史二卷附錄一卷

西田春耕著

東京 須原鐵二 明治二十年（一八八七）四月刊 外寸「二三・四×一三糎」 印記「前田氏尊經閣圖書記」（尊經閣文庫）（單邊。無界。一〇行。内匡郭「二六×九・五糎」 上三三丁下二九丁附九丁）

文武徒然艸三卷

太田持資（道灌）著

三一八五	五册
三一八六	三册
三一八七	一册
三一八八	二册
三一八九	

享和二年（一八〇二）跋刊 外寸「二五・五×一七・七糎」 印記「筑木 柏勘改」（書名は題簽による。序首・版心「我宿艸」單邊。無界。九行。内匡郭「一六・八×一五・六糎」 繪入。上一八丁中一九丁下一八丁。「崇高堂藏板目錄大坂心齋橋筋南久寶寺町 河内屋八兵衛」二丁）

大東世語五卷

服部元喬（南郭）著

江都 嵩山房小林新兵衛 寛延三年（一七五〇）三月刊 外寸「二五・五×一七・一糎」 印記「託枝珍藏」「靜齋藏記」等（單邊。有界。九行。内匡郭「二〇・四×一四・七糎」 一卷一八丁二卷二三丁三卷二〇丁四卷二四丁五卷二二丁）

大東世語五卷

服部元喬（南郭）著

江都 嵩山房小林新兵衛 「寛延三年（一七五〇）三月刊」後印 外寸「二五・八×一八糎」 （單邊。有界。九行。内匡郭「二〇・四×一四・九糎」 一卷一八丁二卷二三丁三卷二〇丁四卷二四丁五卷二二丁）

怪談全書五卷

林道春（羅山）著

京都 福森兵左衛門・江戸 中野孫三郎 元祿十一年（一六九八）八月刊 外寸「二六・一×二六・九糎」 （單邊。無界。九行。下半黒口。雙魚尾（下は花口魚尾）。内匡郭「一九・八×一四・一糎」 漢字片假名。一卷二二丁二卷二三丁三卷一九丁四卷二〇丁五卷一四丁）

怪談實錄五卷

浪華亭紀常因著

江戸 天野屋甚八・須原屋茂兵衛 明和三年（一七六六）一月刊 外寸「三二・六×一五・九糎」 印記「祥雲堂」（單邊。無界。一〇行。内匡郭「二七・二×一三・一糎」 一卷一九丁二卷一八丁三卷一七丁四卷一五丁五卷一六丁）

二册

三一九〇

二册

三一九一

五册

三一九二

五册

三一九三

五册